

令和6年度（2024年度）
予算補足説明資料

境港市

目 次

◎一般会計

(歳入)

市税	1
地方譲与税	5
利子割交付金	6
配当割交付金	6
株式等譲渡所得割交付金	7
法人事業税交付金	7
地方消費税交付金	7
環境性能割等交付金	7
国有提供施設等所在市町村助成交付金	7
地方特例交付金	8
地方交付税	8
交通安全対策特別交付金	8
臨時財政対策債	8

(歳出)

実施事業一覧	9
議会費	26
総務費	32
民生費	100
衛生費	156
労働費	218
農林水産業費	219
商工費	251
土木費	278
消防費	341
教育費	345
基金充当事業一覧	412

◎特別会計

国民健康保険費	415
駐車場費	435
介護保険費	439
市場事業費	454
後期高齢者医療費	462

◎人件費の説明

466

令和 6 年度市税予算対前年度対照表

	6 年 度 予 算			5 年 度 予 算		
	調 定 額	収 入 率	予 算 額 (A)	調 定 額	収 入 率	予 算 額 (B)
市 民 税	1,738,555	99.65	1,732,490	1,781,180	99.49	1,772,046
個人均等割	60,525	99.60	60,282	60,501	99.42	60,150
個人所得割	1,289,510	99.60	1,284,351	1,409,602	99.42	1,401,426
個人小計	1,350,035	99.60	1,344,633	1,470,103	99.42	1,461,576
法人均等割	126,288	99.58	125,757	127,856	99.64	127,396
法人税割	262,232	99.95	262,100	183,221	99.92	183,074
法人小計	388,520	99.83	387,857	311,077	99.80	310,470
固 定 資 産 税	1,897,259	99.62	1,890,048	1,830,622	99.62	1,823,666
土 地	425,905	99.62	424,286	422,084	99.62	420,480
家 屋	935,325	99.62	931,770	925,829	99.62	922,311
償却資産	536,029	99.62	533,992	482,709	99.62	480,875
国 有 交 付 金	46,732	100.00	46,732	44,445	100.00	44,445
軽 自 動 車 税	132,896	99.55	132,304	133,125	99.44	132,379
現年課税分 (種別割)	126,078	99.53	125,486	122,297	99.39	121,551
環境性能割	6,818	100.00	6,818	10,828	100.00	10,828
市 た ば こ 税	262,643	100.00	262,643	251,754	100.00	251,754
入 湯 税	12,392	100.00	12,392	10,409	100.00	10,409
現 年 小 計	4,090,477	99.66	4,076,609	4,051,535	99.58	4,034,699
滞 繰 分	56,935	23.00	13,095	66,711	28.22	18,827
徴 収 猶 予 分	0	0.00	0	1,230	100.00	1,230
滞 繰 小 計	56,935	23.00	13,095	67,941	29.52	20,057
合 計	4,147,412	98.61	4,089,704	4,119,476	98.43	4,054,756

(単位：千円・%)

5年決算見込			6年予算-5年予算		6年予算-5年決算	
調定額	収入率	決算額(C)	増減額(A-B)	比率	増減額(A-C)	比率
1,928,809	99.65	1,922,135	△ 39,556	97.77	△ 189,645	90.13
60,721	99.60	60,478	132	100.22	△ 196	99.68
1,436,689	99.60	1,430,942	△ 117,075	91.65	△ 146,591	89.76
1,497,410	99.60	1,491,420	△ 116,943	92.00	△ 146,787	90.16
126,288	99.58	125,757	△ 1,639	98.71	0	100.00
305,111	99.95	304,958	79,026	143.17	△ 42,858	85.95
431,399	99.84	430,715	77,387	124.93	△ 42,858	90.05
1,922,181	99.62	1,914,875	66,382	103.64	△ 24,827	98.70
425,565	99.62	423,947	3,806	100.91	339	100.08
934,325	99.62	930,774	9,459	101.03	996	100.11
562,291	99.62	560,154	53,117	111.05	△ 26,162	95.33
44,444	100.00	44,444	2,287	105.15	2,288	105.15
129,607	99.55	129,029	△ 75	99.94	3,275	102.54
122,972	99.53	122,394	3,935	103.24	3,092	102.53
6,635	100.00	6,635	△ 4,010	62.97	183	102.76
262,643	100.00	262,643	10,889	104.33	0	100.00
12,392	100.00	12,392	1,983	119.05	0	100.00
4,300,076	99.66	4,285,518	41,910	101.04	△ 208,909	95.13
63,341	20.71	13,117	△ 5,732	69.55	△ 22	99.83
629	100.00	629	△ 1,230	0.00	△ 629	0.00
63,970	21.49	13,746	△ 6,962	65.29	△ 651	95.27
4,364,046	98.52	4,299,264	34,948	100.86	△ 209,560	95.13

(款) 1 市 税 目	(項) 1 市 民 税 説 明
1 個 人 1,344,633 《税務課》	<p>現年課税分 均等割 60,282</p> <p>3,500 円 × 17,293人 = 60,525千円 (税 額) (収入率)</p> <p>60,525千円 × 99.60% = 60,282千円</p> <p>所得割 1,284,351</p> <p>前年度実績を考慮して、総所得金額、所得控除を見込み、税率6%を乗じて積算し、そこから税額控除等を差し引き、それに分離課税分、退職所得課税分及び更正分を加算して積算。</p> <p>(課税標準額) (税 率)</p> <p>25,077,000千円 × 6% = 1,504,620千円 (調整控除額)</p> <p>1,504,620千円 - 30,092千円 = 1,474,528千円 (税額控除等)</p> <p>1,474,528千円 - 76,803千円 = 1,397,725千円 (分離課税分)</p> <p>1,397,725千円 + 10,871千円 = 1,408,596千円 (退職所得分)</p> <p>1,408,596千円 + 10,707千円 = 1,419,303千円 (更 正 分)</p> <p>1,419,303千円 + 9,456千円 = 1,428,759千円 (定額減税分)</p> <p>1,428,759千円 - 139,249千円 = 1,289,510千円 (税 額) (収入率)</p> <p>1,289,510千円 × 99.60% = 1,284,351千円</p>

(款) 1 市 税 目	(項) 1 市 民 税 説 明
2 法 人 387,857 《税務課》	<p>令和5年度実績見込額を考慮して積算。</p> <p>現年課税分 均等割 125,757</p> <p>事業所数925社を見込み積算。</p> <p>(税 額) (収入率)</p> <p>126,288千円 × 99.58% = 125,757千円</p> <p>法人税割 262,100</p> <p>(税 額) (収入率)</p> <p>262,232千円 × 99.95% = 262,100千円</p>

(款) 1 市 税 (項) 2 固定資産税

目	説 明
1 固定資産税 1,890,048 《税務課》	<p>現年課税分</p> <p>土 地 424,286 令和6年度評価替えの価格調査基準日であるR5.1.1時点の鑑定評価価格の7割を目途に評価を行い、宅地及び宅地比準土地については、R5.1.1からR5.7.1までの地価の下落状況を反映させた時点修正を実施し、課税標準額の負担調整措置等を行い積算。</p> <p>(税 額) (収入率) 425,905 × 99.62% = 424,286</p> <p>家 屋 931,770 令和5年中の新增築された家屋を、新築分159件、増築分21件と見込み積算。</p> <p>(税 額) (収入率) 935,325 × 99.62% = 931,770</p> <p>償却資産 533,992 前年度実績を勘案して積算。</p> <p>(税 額) (収入率) 536,029 × 99.62% = 533,992</p>
2 国有資産等所在 市町村交付金 46,732 《税務課》	<p>中国四国防衛局の対象資産増に伴い増額。</p> <p>国及び県からの通知額を計上。</p>

(款) 1 市 税 (項) 3 軽自動車税

目	説 明
1 軽自動車税 132,304 《税務課》	<p>種別割 過去の増減台数を考慮して積算。</p> <p>現年課税分 種別割 125,486 令和6年4月1日の登録台数を15,344台と見込み積算。</p> <p>(税 額) (収入率) 126,078,800円 × 99.53% = 125,486千円</p> <p>環境性能割 6,818 県からの通知額を計上する。</p>

(款) 1 市 税 (項) 1 市 民 税 2 固 定 資 産 税 3 軽 自 動 車 税

目	説 明			
滞納繰越分 13,095 《収税課》	区 分	調定額	収入額	収入率
	市 民 税	24,431	7,402	30.30%
	個人	22,284	6,923	31.07%
	法人	2,147	479	22.31%
	固定資産税	29,827	5,243	17.58%
	軽自動車税	2,677	450	16.81%
	合 計	56,935	13,095	23.00%
	収入率を、令和4年度実績(19.33%)から令和5年度見込(20.71%)への上昇が1.38ポイントであるため、前年度以上の伸びを見込み滞納繰越分全体で23%として算出。			

(款) 1 市 税 (項) 4 市 た ば こ 税

目	説 明
1 市たばこ税 262,643 《税務課》	近年の売払い本数がほぼ横ばいのため令和5年度決算見込額と同額を見込む。 令和5年度見込額 40,086千本×6,552円/千本 = 262,643千円

(款) 1 市 税 (項) 6 入 湯 税

目	説 明
1 入湯税 12,392 《税務課》	令和5年度見込額と同額を見込む。

(款) 2 地方譲与税 (項) 1 地方揮発油譲与税

目	説 明
1 地方揮発油譲与税 16,680 《財政課》	地方揮発油税の58%の額が都道府県・指定市に、42%の額が市町村に道路延長及び道路面積に応じて譲与される。 県からの通知額を計上。

(款) 2 地方譲与税 (項) 2 自動車重量譲与税

目	説 明
1 自動車重量譲与税 52,484 《財政課》	自動車重量税の407/1000の額が道路延長及び道路面積に応じて市町村に譲与される。 県からの通知額を計上。

(款) 2 地方譲与税

(項) 3 特別とん譲与税

目	説 明
1 特別とん譲与税 24,319 《税務課》	<p>境港への入港に係る特別とん税を関係2市に按分して譲与される。</p> <p>【按分率】 境港市 97.86% 松江市 2.14%</p> <p>令和5年度上期及び令和4年度下期の実績をもとに積算。</p> <p>令和5年度上期分 11,248 令和4年度下期分 13,071</p>

(款) 2 地方譲与税

(項) 4 航空機燃料譲与税

目	説 明
1 航空機燃料譲与税 2,397 《財政課》	<p>航空機燃料税の4/13の額を着陸料収入及び騒音の著しい地区の世帯数に応じて、1/5が都道府県、4/5が市町村に譲与される。</p> <p>令和5年度見込み等に基づき算出。</p>

(款) 2 地方譲与税

(項) 5 森林環境譲与税

目	説 明
1 森林環境譲与税 4,780 《農政課》	<p>災害防止等の観点から、森林の適正な整備を促進するため、間伐や林業の担い手確保・育成、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用として譲与される。</p> <p>譲与税額は、私有林人工林面積(5.5/10)、林業就業者数(2/10)、人口(2.5/10)で按分される。</p> <p>県からの通知額を計上。</p>

(款) 3 利子割交付金

(項) 1 利子割交付金

目	説 明
1 利子割交付金 2,265 《税務課》	<p>県民税利子割収入額に所要の調整を加えた後、99%を乗じて得た額の3/5を当該市町村の個人県民税に対する割合で按分して交付される。</p> <p>県からの通知額を計上する。</p>

(款) 4 配当割交付金

(項) 1 配当割交付金

目	説 明
1 配当割交付金 19,766 《税務課》	<p>上場株式等の配当に対し、鳥取県が県民税として5%を課税し、99%を乗じて得た額の3/5を県内市町村に対し、当該市町村の個人県民税に対する割合で按分して交付される。</p> <p>県からの通知額を計上する。</p>

(款) 5 株式等譲渡
所得割交付金(項) 1 株式等譲渡
所得割交付金

目	説明
1 株式等譲渡所得割 交付金 17,951 《税務課》	上場株式等の譲渡に係る所得金額に対し、鳥取県が県民税として5%を課税し、99%を乗じて得た額の3/5を県内市町村に対し、当該市町村の個人県民税額に対する割合で按分して交付される。 県からの通知額を計上する。

(款) 6 法人事業税
交付金(項) 1 法人事業税
交付金

目	説明
1 法人事業税交付金 64,161 《税務課》	法人市民税法人税割の税率引き下げに伴う減収分の補填措置として、法人事業税(都道府県税)の一部が都道府県から市町村へ交付される交付金。 法人事業税の7.7/100(法人税割の税率引下げ2%相当分)が県内各市町村の従業員数の割合で按分して交付される。 県からの通知額を計上する。

(款) 7 地方消費税交付金

(項) 1 地方消費税交付金

目	説明
1 地方消費税交付金 862,699 《財政課》	都道府県間で精算後の地方消費税の1/2相当額を、一般財源分については、市町村の人口及び従業者数に応じて、社会保障財源分については、市町村の人口に応じて交付される。 令和5年度見込み等に基づき算出。

(款) 8 環境性能割等交付金

(項) 1 環境性能割交付金

目	説明
1 環境性能割交付金 11,288 《財政課》	自動車税環境性能割から徴収費を控除した額の43%の額が市町村の道路延長及び道路面積に応じて交付される。 県からの通知額を計上。

(款) 9 国有提供施設等
所在市町村助成
交付金(項) 1 国有提供施設等
所在市町村助成
交付金

目	説明
1 国有提供施設等 所在市町村助成 交付金 227,623 《税務課》	自衛隊が使用する飛行場、演習場などの用に供する固定資産が所在する市町村に対し、当該固定資産の価格及び当該市町村の財政状況等を考慮して交付される。 令和5年度決定額と同額とする。 227,623

(款) 10 地方特例交付金

(項) 1 地方特例交付金

目	説明
1 地方特例交付金 169,649 《財政課》	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅借入金等特別税額控除に伴う減収補てん特例交付金 令和5年度見込み等に基づき算出 ・定額減税に伴う個人市民税減収補填特例交付金 定額減税による個人市民税の減収額の見込みに基づき算出。

(款) 11 地方交付税

(項) 1 地方交付税

目	説明																
1 地方交付税 3,560,000 《財政課》	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R6年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通交付税</td> <td>3,110,000</td> <td>3,100,000</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>特別交付税</td> <td>450,000</td> <td>450,000</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,560,000</td> <td>3,550,000</td> <td>0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>〔令和5年度普通交付税の決定額は、当初算定時3,150,544千円、追加交付分84,248千円、総計3,234,792千円〕</p> <p>地方財政計画等に基づき算出。</p>	区分	R6年度	R5年度	増減	普通交付税	3,110,000	3,100,000	0.3%	特別交付税	450,000	450,000	0.0%	計	3,560,000	3,550,000	0.3%
区分	R6年度	R5年度	増減														
普通交付税	3,110,000	3,100,000	0.3%														
特別交付税	450,000	450,000	0.0%														
計	3,560,000	3,550,000	0.3%														

(款) 12 交通安全対策
特別交付金(項) 1 交通安全対策
特別交付金

目	説明
1 交通安全対策特別 交付金 3,332 《管理課》	<p>道路交通法に定める反則金を財源として、道路交通安全施設（道路照明、カーブミラー、ガードレール等）の設置及び管理に要する経費に充てるために国から交付される。</p> <p>令和5年度見込み等に基づき算出。</p>

(款) 22 市債

(項) 1 市債

目	説明						
7 臨時財政対策債 29,035 《財政課》	<p>平成13年度以降の地方財政対策として、地方交付税の財源が不足した場合に、その不足する金額の一部を補てんするための特例的な地方債。元利償還金は、後年度全額交付税措置される。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R6年度</th> <th>R5年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,035</td> <td>105,200</td> <td>△ 72.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(令和5年度の決定額は62,710千円)</p> <p>地方財政計画等に基づき算出。</p>	R6年度	R5年度	増減	29,035	105,200	△ 72.4%
R6年度	R5年度	増減					
29,035	105,200	△ 72.4%					

【令和6年度実施事業一覧】

■一般会計

単位：千円

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
議会事務局	1	1	1	市議会運営費	6,814	6,817	3	
議会事務局	1	1	1	市議会議員人件費	121,286	120,576	△ 710	
総務課	1	1	1	市議会事務局人件費	33,878	33,860	△ 18	
議会事務局	1	1	1	市議会テレビ中継委託事業	2,550	2,530	△ 20	
議会事務局	1	1	1	全国市議会議長会負担金	306	306	0	
議会事務局	1	1	1	中国市議会議長会負担金	63	52	△ 11	
議会事務局	1	1	1	鳥取県市議会議長会負担金	150	150	0	
議会事務局	1	1	1	全国市議会議長会特定第三種漁港協議会負担金	80	80	0	
議会事務局	1	1	1	政務活動費交付金	3,600	3,600	0	
議会事務局	1	1	1	全国市議会議長会基地協議会負担金	167	167	0	
議会事務局	1	1	1	西日本市議会職員研修会中国部会開催特別負担金	12	0	△ 12	
議会事務局	1	1	1	議会改革推進事業	105	553	448	26
議会事務局	1	1	1	日本海政経懇話会会費	55	55	0	
議会事務局	1	1	1	議会だより発行事業	1,562	1,562	0	
議会事務局	1	1	1	全国市議会議長会各協議会等出席者負担金	105	102	△ 3	
議会事務局	1	1	1	議会中継インターネット配信事業	466	0	△ 466	
議会事務局	1	1	1	議会タブレット端末導入活用事業	3,238	2,402	△ 836	28
議会事務局	1	1	1	中海・宍道湖圏域市議会議長会 会長市運営事業	0	305	305	30
総務課	2	1	1	職員安全衛生費	5,440	5,735	295	
総務課	2	1	1	表彰式典費	608	644	36	
総務課	2	1	1	各種委員会費	124	124	0	
総務課	2	1	1	職員研修費	4,505	4,218	△ 287	
総務課	2	1	1	総務一般管理費	104,305	130,232	25,927	
秘書広報課	2	1	1	秘書一般管理費	2,173	2,501	328	32
総合政策課	2	1	1	指定管理候補者選定委員会	38	38	0	
秘書広報課	2	1	1	全国市長会分担金	216	216	0	
秘書広報課	2	1	1	鳥取県市長会負担金	2,009	2,009	0	
総務課	2	1	1	ライフプラン関連施策実施負担金	49	0	△ 49	
総務課	2	1	1	メンタルヘルス事業負担金	98	0	△ 98	
総務課	2	1	1	総務人件費	347,434	426,044	78,610	
DX推進課	2	1	1	基幹業務システム運営事業	55,894	122,800	66,906	33
DX推進課	2	1	1	庁内LAN運営事業	20,884	24,301	3,417	
DX推進課	2	1	1	鳥取情報ハイウェイ維持管理事業	546	546	0	
DX推進課	2	1	1	総合行政ネットワーク維持管理事業	924	2,941	2,017	35
秘書広報課	2	1	1	ホームページ運営事業	1,980	1,980	0	
秘書広報課	2	1	1	日本海政経懇話会会費	55	55	0	
DX推進課	2	1	1	自治体ICT共同化推進事業	1,403	1,395	△ 8	
DX推進課	2	1	1	情報システム強靱性向上事業	17,141	17,690	549	
秘書広報課	2	1	1	山陰中央新報政経懇話会会費	40	40	0	
総務課	2	1	1	職員スマイル向上事業	733	767	34	
DX推進課	2	1	1	庁内事務デジタル化事業	51,493	38,793	△ 12,700	36
DX推進課	2	1	1	窓口改革推進事業	0	12,313	12,313	38
DX推進課	2	1	1	DX専門人材受入事業	0	1,334	1,334	40
秘書広報課	2	1	2	広報費	8,851	8,801	△ 50	

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
総務課	2	1	2	例規管理費	1,613	1,488	△ 125	
秘書広報課	2	1	2	情報発信事業	240	240	0	
財政課	2	1	3	財務一般事務費	69	68	△ 1	
財政課	2	1	3	減債基金積立金	0	37,000	37,000	
出納室	2	1	4	会計管理費	3,540	3,526	△ 14	
出納室	2	1	4	口座振替加入促進事業	373	363	△ 10	
総務課	2	1	5	財産管理費	3,363	1,441	△ 1,922	
総務課	2	1	5	施設維持管理費	35,003	39,947	4,944	
総合政策課	2	1	5	集会所管理費	465	639	174	
総務課	2	1	5	公用車等維持管理費	10,072	9,703	△ 369	41
総務課	2	1	5	庁舎施設整備事業	15,455	27,727	12,272	42
総合政策課	2	1	5	集会所改修事業	577	14,573	13,996	43
都市整備課	2	1	5	夕日ヶ丘分譲地定期借地用地取得事業	3,702	1,394	△ 2,308	44
総合政策課	2	1	5	渡地区コミュニティ供用施設整備事業	67,488	4,341	△ 63,147	45
教育総務課	2	1	5	旧誠道小学校管理費（教育総務課）	335	306	△ 29	46
総合政策課	2	1	5	集会所電気料補助金	850	850	0	
総務課	2	1	5	旧誠道小学校管理費（総務課）	2,120	1,585	△ 535	47
都市整備課	2	1	5	分譲用地管理費	450	450	0	
水産商工課	2	1	5	旧さかいポートサウナ管理費	870	1,455	585	48
水産商工課	2	1	5	旧さかいポートサウナ施設活用事業	47	0	△ 47	
総合政策課	2	1	6	企画一般管理費	216	239	23	
都市整備課	2	1	6	基地対策総務費	211	230	19	
観光振興課	2	1	6	米子鬼太郎空港利用促進事業	10,459	10,091	△ 368	49
総合政策課	2	1	6	みんなでまちづくり推進会議費	250	250	0	51
総合政策課	2	1	6	コミュニティ助成事業	7,500	7,200	△ 300	52
総合政策課	2	1	6	市民活動推進事業補助金	1,600	1,600	0	53
財政課	2	1	6	緑と文化のまちづくり基金積立金	2	2	0	
総合政策課	2	1	6	市民活動センター運営事業	3,635	3,715	80	54
都市整備課	2	1	6	米子鬼太郎空港アクセス通路負担金	47	71	24	
総合政策課	2	1	6	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(管理費)	26,122	26,993	871	56
総合政策課	2	1	6	市民活動センター登録団体連絡協議会補助金	62	66	4	
管理課	2	1	6	鳥取県国土調査推進協議会負担金	113	90	△ 23	
都市整備課	2	1	6	全国基地協議会分担金	16	0	△ 16	
都市整備課	2	1	6	防衛施設周辺整備全国協議会分担金	13	12	△ 1	
総合政策課	2	1	6	ふるさと納税PR事業	253,315	227,238	△ 26,077	58
財政課	2	1	6	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金積立金	455,064	458,065	3,001	
総合政策課	2	1	6	移住定住促進事業	600	430	△ 170	
総合政策課	2	1	6	中海・宍道湖・大山圏域市長会負担金	9,755	9,899	144	60
総合政策課	2	1	6	鳥取大学振興協会会費	15	15	0	
管理課	2	1	6	地籍調査事業	50,376	35,643	△ 14,733	62
総合政策課	2	1	6	鳥取県西部地域振興協議会負担金	46	126	80	64
総合政策課	2	1	6	境港市総合戦略推進事業	70	1,487	1,417	
観光振興課	2	1	6	高校生通学費助成事業補助金	458	298	△ 160	65
総合政策課	2	1	6	まちづくり将来世代育成事業	82	0	△ 82	
総合政策課	2	1	6	米子工業高等専門学校振興協会会費	30	30	0	
都市整備課	2	1	6	空家利活用移住定住奨励金	1,000	600	△ 400	66

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
総合政策課	2	1	6	境港出会い応援事業	0	430	430	67
総合政策課	2	1	6	移住定住支援事業	4,300	3,300	△ 1,000	68
総合政策課	2	1	6	高等学校学生寮運営事業費補助金	0	451	451	69
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	1	7	公平委員会管理費	165	154	△ 11	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	1	7	全国公平委員会連合会負担金	4	11	7	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	1	7	全国公平委員会連合会中国支部負担金	1	1	0	
財政課	2	1	8	財政調整基金積立金	1	1	0	
防災危機管理課	2	1	9	防災行政無線維持管理費	8,310	8,056	△ 254	
防災危機管理課	2	1	9	鳥取県被災者住宅再建等支援基金寄附金	3,618	3,618	0	
防災危機管理課	2	1	9	防災連携備蓄整備事業	352	2,566	2,214	
防災危機管理課	2	1	9	境港市防災会議費	25	25	0	
防災危機管理課	2	1	9	樋門管理費	699	778	79	
防災危機管理課	2	1	9	防災対策講演会開催事業	113	108	△ 5	
防災危機管理課	2	1	9	鳥取県防災無線(衛星系)施設保守負担金	1,486	535	△ 951	
防災危機管理課	2	1	9	境港市同報無線利用者協議会負担金	49	49	0	
防災危機管理課	2	1	9	自主防災組織育成補助金	1,068	1,075	7	70
防災危機管理課	2	1	9	高潮等対策事業	3,856	4,141	285	
防災危機管理課	2	1	9	境港市国民保護協議会費	22	22	0	
防災危機管理課	2	1	9	防災一般管理費	1,683	1,390	△ 293	
防災危機管理課	2	1	9	防災訓練実施事業	54	70	16	
防災危機管理課	2	1	9	コミュニティ助成事業(自主防災組織育成助成事業)	3,300	4,000	700	72
観光振興課	2	1	9	防災情報ステーション等整備事業	1,339	1,336	△ 3	
防災危機管理課	2	1	9	境港市原子力発電所環境安全対策協議会費	180	277	97	
防災危機管理課	2	1	9	被災者支援システム導入事業	0	763	763	73
水産商工課	2	1	10	国際交流促進事業	1,681	1,493	△ 188	
財政課	2	1	10	国際交流基金積立金	1	1	0	
水産商工課	2	1	10	環日本海拠点都市会議費	689	1,558	869	75
水産商工課	2	1	10	国際交流員招致事業	11,280	10,705	△ 575	76
水産商工課	2	1	10	環日本海市民交流促進事業補助金	590	600	10	
水産商工課	2	1	10	外国人材地域交流事業	280	280	0	77
水産商工課	2	1	10	多文化共生推進事業	569	574	5	78
水産商工課	2	1	10	瑋春市との友好都市提携30周年記念事業	905	0	△ 905	
観光振興課	2	1	11	市民バス運行事業	68,074	67,352	△ 722	79
観光振興課	2	1	11	市民バス整備事業	24,829	1,664	△ 23,165	81
総合政策課	2	1	12	人権教育振興費	3,011	3,055	44	
総合政策課	2	1	12	男女共同参画施策推進事業	843	558	△ 285	82
総合政策課	2	1	12	人権ふれあいフェスティバル事業	639	701	62	
総合政策課	2	1	12	とっとり被害者支援センター負担金	98	98	0	
総合政策課	2	1	12	人権教育推進事業補助金	330	330	0	
総合政策課	2	1	12	鳥取県人権文化センター負担金	421	421	0	
総合政策課	2	1	12	西部地区人権・同和教育振興会議負担金	15	18	3	
総合政策課	2	1	12	鳥取県人権教育推進協議会負担金	35	29	△ 6	
総合政策課	2	1	12	社会を明るくする運動補助金	50	50	0	
総合政策課	2	1	12	人権擁護委員協議会負担金	126	126	0	
総合政策課	2	1	12	部落解放・人権政策確立要求実行委員会負担金	52	52	0	
総合政策課	2	1	13	自治会振興費	9,560	9,469	△ 91	

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
収 税 課	2	1	13	市税等過誤納金還付金	16,500	16,500	0	
防災危機管理課	2	1	13	自衛官募集事務費	46	42	△ 4	
防災危機管理課	2	1	13	災害見舞金支給事業	50	50	0	
総合政策課	2	1	13	境港市防犯協議会補助金	600	5,995	5,395	84
観光振興課	2	1	13	境水道渡船代替バス運行事業負担金	1,796	2,661	865	86
総 務 課	2	1	13	市民総合保険事業(総務課)	1,864	1,869	5	
総合政策課	2	1	13	市民総合保険事業(総合政策課)	396	376	△ 20	
総合政策課	2	1	13	境港市自治連合会補助金	644	644	0	
総 務 課	2	1	13	鳥取県交通安全協会境港地区協会負担金	25	25	0	
総 務 課	2	1	13	境港安全運転運行管理者協議会負担金	34	34	0	
観光振興課	2	1	13	地方バス路線維持対策事業補助金	9,723	10,036	313	87
総合政策課	2	1	13	まちづくり若者委員会運営事業	70	0	△ 70	
総合政策課	2	1	13	犯罪被害者等見舞金支給事業	300	300	0	88
総 務 課	2	2	1	固定資産評価審査委員会	51	55	4	
総 務 課	2	2	1	税務人件費	118,950	132,401	13,451	
税 務 課	2	2	1	鳥取県市町村税務協議会負担金	1,188	1,206	18	
税 務 課	2	2	1	資産評価システム研究センター負担金	75	75	0	
税 務 課	2	2	2	市税賦課事務費	15,233	11,435	△ 3,798	
税 務 課	2	2	2	地方税共同機構負担金	2,153	2,581	428	
税 務 課	2	2	2	地方税電子申告等支援サービス運用事業	2,706	3,498	792	89
税 務 課	2	2	2	字図管理システム改修事業	0	2,459	2,459	90
収 税 課	2	2	3	市税徴収事務費	3,479	3,366	△ 113	
収 税 課	2	2	3	公売事務費	670	744	74	
市 民 課	2	3	1	中長期在留者住居地届出等事務費	16	16	0	
市 民 課	2	3	1	戸籍住民基本台帳事務費	689	1,355	666	
市 民 課	2	3	1	住民基本台帳ネットワーク運用事業	2,539	4,278	1,739	92
市 民 課	2	3	1	戸籍事務システム運用事業	4,300	4,388	88	
総 務 課	2	3	1	戸籍住民基本台帳事務人件費	43,755	36,326	△ 7,429	
市 民 課	2	3	1	旅券交付事業	344	345	1	
市 民 課	2	3	1	マイナンバーカード運用事業	7,991	7,670	△ 321	93
市 民 課	2	3	1	証明書等コンビニ交付運営事業	2,520	3,055	535	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	1	選挙管理委員会一般管理費	1,397	1,370	△ 27	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	1	明るい選挙推進事業	62	60	△ 2	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	1	全国市区選挙管理委員会連合会分担金	25	25	0	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	1	鳥取県都市選挙管理委員会連合会分担金	0	25	25	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	1	全国市区選挙管理委員会連合会中国支部分担金	7	7	0	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	1	鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金	6	6	0	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	1	投票者タクシー移動支援事業	0	145	145	95
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	2	境港市長選挙費	0	15,675	15,675	96
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	4	3	鳥取県知事選挙及び鳥取県議会議員選挙費	10,017	0	△ 10,017	
総 務 課	2	5	1	委託統計調査	88	77	△ 11	
総 務 課	2	5	1	住宅・土地統計調査費	3,243	0	△ 3,243	
総 務 課	2	5	1	全国家計構造調査	0	2,635	2,635	97
総 務 課	2	5	1	漁業センサス	572	0	△ 572	
総 務 課	2	5	1	農林業センサス	0	782	782	98
総 務 課	2	5	1	国勢調査調査区設定	0	218	218	99

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	6	1	監査委員費	2,087	2,123	36	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	6	1	全国都市監査委員会負担金	0	14	14	
総務課	2	6	1	監査委員事務局人件費	17,688	17,255	△ 433	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	6	1	西日本都市監査事務研修会負担金	3	3	0	
監査委員事務局兼選挙管理委員会事務局	2	6	1	山陰都市監査委員会負担金	13	13	0	
福祉課	3	1	1	社会福祉管理費	179	179	0	
福祉課	3	1	1	民生委員推薦会	36	36	0	
子育て支援課	3	1	1	女性相談支援費	2,784	2,742	△ 42	
福祉課	3	1	1	福祉資金貸付事業	1,200	1,200	0	
財政課	3	1	1	障害者福祉基金積立金	2	2	0	
市民課	3	1	1	国民健康保険費特別会計繰出金	309,906	289,234	△ 20,672	100
子育て支援課	3	1	1	全国女性相談支援員連絡協議会会費	3	3	0	
総務課	3	1	1	社会福祉事務人件費	149,435	174,717	25,282	
福祉課	3	1	1	境港市社会福祉協議会補助金	28,795	29,989	1,194	
福祉課	3	1	1	境港市民生児童委員協議会補助金	1,000	1,000	0	
福祉課	3	1	1	法外援護扶助費	3,788	3,796	8	
福祉課	3	1	1	行旅死病人等扶助費	300	400	100	
福祉課	3	1	1	境港市社会福祉協議会バス団体会費	3	3	0	
長寿社会課	3	1	1	要援護者台帳システム構築事業	143	261	118	
福祉課	3	1	1	境港市地域福祉計画策定・評価委員会	45	45	0	
福祉課	3	1	1	生理の貧困対策事業	27	27	0	
福祉課	3	1	1	光熱費高騰に係る生活困窮世帯支援事業	11,220	3,250	△ 7,970	101
福祉課	3	1	1	戦没者遺族等援護事業	387	390	3	
福祉課	3	1	1	生活困窮者等自立支援事業	5,242	5,315	73	102
福祉課	3	1	1	子どもの居場所づくり事業補助金	0	2,000	2,000	104
市民課	3	1	2	国民年金事務費	2,271	2,841	570	
福祉課	3	1	3	障がい福祉管理費	375	171	△ 204	
福祉課	3	1	3	障がい者自立支援管理費	3,839	4,545	706	
福祉課	3	1	3	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(障害認定審査会)	1,181	1,181	0	
福祉課	3	1	3	障がい者自立支援給付費(介護給付・訓練等給付)	909,740	982,153	72,413	105
福祉課	3	1	3	障がい者自立支援給付費(補装具)	8,589	6,961	△ 1,628	
福祉課	3	1	3	障がい児通所支援費	232,340	271,849	39,509	107
福祉課	3	1	3	地域生活支援事業	29,916	27,941	△ 1,975	109
福祉課	3	1	3	障がい者相談支援事業	10,976	10,976	0	
福祉課	3	1	3	聴覚障がい者生活支援事業負担金	135	72	△ 63	
福祉課	3	1	3	特別障害者手当等支給事業	20,081	21,187	1,106	
福祉課	3	1	3	福祉の店販売機能強化事業補助金	4,151	3,831	△ 320	
福祉課	3	1	3	障がい児(者)地域生活体験事業補助金	196	205	9	
福祉課	3	1	3	障がい児児童発達支援センター利用者負担金軽減事業補助金	112	69	△ 43	
福祉課	3	1	3	障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業補助金	132	139	7	
福祉課	3	1	3	障害者相談員設置事業	100	100	0	
福祉課	3	1	3	福祉有償運送運営協議会負担金	20	15	△ 5	
福祉課	3	1	3	重度心身障がい児(者)福祉タクシー料金助成事業	1,534	1,990	456	
福祉課	3	1	3	ストーマ装具取得費補助金	373	387	14	
福祉課	3	1	3	心身障害者扶養共済掛金助成事業	29	0	△ 29	
福祉課	3	1	3	境港市障がい児者プラン策定・評価委員会	180	39	△ 141	

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
福祉課	3	1	3	地域生活支援拠点整備事業	274	270	△ 4	
福祉課	3	1	3	全国手話言語市区長会負担金	10	10	0	
福祉課	3	1	3	障がい福祉サービス利用コーディネート機能強化事業	1,000	1,000	0	111
福祉課	3	1	3	障がい者自立支援給付費	46,535	47,629	1,094	112
福祉課	3	1	3	障がい児者交通費助成事業	1,308	1,201	△ 107	
福祉課	3	1	3	障がい児(者)意思疎通支援事業	3,128	3,410	282	113
福祉課	3	1	3	障がい者在宅生活支援事業	2,687	2,479	△ 208	
福祉課	3	1	3	障がい福祉団体等運営補助金	470	470	0	
福祉課	3	1	3	ほっとはあと事業	848	846	△ 2	115
福祉課	3	1	3	障がい者就労支援事業	2,788	1,713	△ 1,075	117
福祉課	3	1	3	重度障がい児者総合支援事業	7,704	16,255	8,551	119
長寿社会課	3	1	4	敬老事業	1,465	1,501	36	121
長寿社会課	3	1	4	高齢者クラブ補助金	3,697	3,719	22	
長寿社会課	3	1	4	老人福祉センター運営事業	6,619	8,925	2,306	
長寿社会課	3	1	4	高齢者住宅改良事業補助金	1,066	1,066	0	122
長寿社会課	3	1	4	生活支援ハウス運営事業	9,637	9,650	13	
市民課	3	1	4	鳥取県後期高齢者医療広域連合負担金	453,026	470,995	17,969	123
市民課	3	1	4	後期高齢者医療費特別会計繰出金	126,293	143,849	17,556	124
長寿社会課	3	1	4	社会福祉法人利用者負担軽減事業補助金	5,277	6,211	934	
長寿社会課	3	1	4	介護保険費特別会計繰出金	558,247	599,391	41,144	
財政課	3	1	4	地域福祉基金積立金	2	2	0	
長寿社会課	3	1	4	高齢者ふれあいの家事業	10,093	10,078	△ 15	
長寿社会課	3	1	4	成年後見サポートセンター運営推進事業	692	698	6	
長寿社会課	3	1	4	高齢者見守りネットワーク構築事業	217	232	15	
長寿社会課	3	1	4	生活支援サービス事業	155	108	△ 47	125
長寿社会課	3	1	4	介護職理解促進事業	64	83	19	
長寿社会課	3	1	4	ねりんピックはばたけ鳥取2024境港市実行委員会負担金	1,392	19,553	18,161	126
長寿社会課	3	1	4	介護ロボット・ICT導入支援事業補助金	67,620	0	△ 67,620	
長寿社会課	3	1	4	買物環境確保推進事業	0	1,540	1,540	127
長寿社会課	3	1	4	老人保護事業	22,284	16,673	△ 5,611	128
長寿社会課	3	1	4	在宅生活支援事業	2,850	4,875	2,025	129
市民課	3	1	5	特別医療費助成事業	185,952	234,981	49,029	131
総務課	3	2	1	児童福祉事務人件費	228,866	235,813	6,947	
子育て支援課	3	2	1	児童扶養手当支給事業	143,536	141,225	△ 2,311	133
子育て支援課	3	2	1	助産施設措置費	420	500	80	
子育て支援課	3	2	1	家庭児童相談室運営事業	2,727	2,772	45	
子育て支援課	3	2	1	災害遺児手当支給事業	96	96	0	
福祉課	3	2	1	特別児童扶養手当支給事務費	180	205	25	
健康づくり推進課	3	2	1	子育て・親育ち支援事業	197	118	△ 79	
子育て支援課	3	2	1	子育て短期支援事業	147	146	△ 1	134
教育総務課	3	2	1	児童クラブ運営事業	56,192	60,605	4,413	
子育て支援課	3	2	1	要保護児童対策地域協議会運営事業	42	48	6	
子育て支援課	3	2	1	児童虐待防止啓発事業	188	173	△ 15	
教育総務課	3	2	1	児童クラブ運営費補助金	2,400	8,344	5,944	135
子育て支援課	3	2	1	子育てサークル活動補助金	200	200	0	
子育て支援課	3	2	1	児童手当支給事業	417,497	390,688	△ 26,809	136

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
子育て支援課	3	2	1	地域子育て支援センター運営事業	27,281	30,430	3,149	
子育て支援課	3	2	1	就学前の食育推進事業	152	591	439	137
子育て支援課	3	2	1	鳥取県家庭相談員連絡協議会負担金	4	4	0	
子育て支援課	3	2	1	子ども・子育て会議運営事業	78	117	39	138
子育て支援課	3	2	1	子育て拠点施設環境整備事業	0	7,535	7,535	139
子育て支援課	3	2	1	子どもの育ちを支える事業	1,537	1,589	52	140
子育て支援課	3	2	1	子育て世代訪問支援事業	1,457	1,764	307	141
子育て支援課	3	2	1	ファミリーサポートセンター利用料助成事業	202	286	84	
子育て支援課	3	2	1	療養生活支援事業	24	24	0	
子育て支援課	3	2	1	子育てのための施設等利用給付事業	5,560	3,406	△ 2,154	
子育て支援課	3	2	1	世帯第3子等副食費助成事業	5,022	4,005	△ 1,017	
子育て支援課	3	2	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業(児童福祉施設等)	3,730	0	△ 3,730	
教育総務課	3	2	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業(児童クラブ)	2,400	0	△ 2,400	
子育て支援課	3	2	1	未就園児等全戸訪問事業	1,337	1,560	223	142
子育て支援課	3	2	1	保育環境改善等事業	12,053	4,866	△ 7,187	143
教育総務課	3	2	1	新型コロナウイルス感染症拡大防止事業補助金(児童クラブ)	300	0	△ 300	
教育総務課	3	2	1	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金	0	462	462	144
健康づくり推進課	3	2	1	こころとからだの健康事業	282	282	0	145
子育て支援課	3	2	2	公立保育所運営費	200,496	237,955	37,459	146
子育て支援課	3	2	2	特定教育・保育施設運営費補助金	62,241	76,717	14,476	
子育て支援課	3	2	2	病児・病後児保育事業	8,406	8,450	44	
子育て支援課	3	2	2	保育所地域活動事業	108	108	0	
子育て支援課	3	2	2	私立保育所等運営費	1,010,181	1,038,098	27,917	147
子育て支援課	3	2	2	日本スポーツ振興センター共済掛金(保育所)	99	91	△ 8	
子育て支援課	3	2	2	鳥取県子ども家庭育み協会負担金	15	15	0	
子育て支援課	3	2	2	鳥取県人権保育連絡会会費	19	19	0	
子育て支援課	3	2	2	保育所待機児童対策事業	2,100	2,550	450	
子育て支援課	3	2	2	公立保育所環境整備事業	1,619	2,071	452	
子育て支援課	3	2	2	子育て支援保育料等軽減事業	2,291	2,135	△ 156	
子育て支援課	3	2	2	公立保育所ICTシステム事業	1,148	1,136	△ 12	
子育て支援課	3	2	2	保育士研修等オンライン化推進事業	240	240	0	
子育て支援課	3	2	2	保育所等整備事業補助金	0	78,540	78,540	149
子育て支援課	3	2	2	公立保育園リニューアル事業	221,541	103,446	△ 118,095	150
子育て支援課	3	2	2	保育体制強化事業	0	21,914	21,914	151
子育て支援課	3	2	2	子育て家庭支援事業	0	8,922	8,922	152
子育て支援課	3	2	3	ひとり親家庭入学支度金事業	470	440	△ 30	
子育て支援課	3	2	3	母子生活支援施設措置費	13,770	13,159	△ 611	
子育て支援課	3	2	3	ひとり親家庭自立支援給付金事業	5,612	4,666	△ 946	153
子育て支援課	3	2	3	母子福祉小口貸付事業	300	300	0	
子育て支援課	3	2	3	境港市連合母子会運営補助金	23	23	0	
福祉課	3	3	1	生活保護総務管理費	2,483	2,417	△ 66	
福祉課	3	3	1	生活保護適正実施推進事業	13,641	9,850	△ 3,791	
総務課	3	3	1	生活保護事務人件費	48,755	44,746	△ 4,009	
福祉課	3	3	1	社会保障生計調査事業	0	311	311	
福祉課	3	3	1	生活保護就労支援事業	2,705	3,240	535	154
福祉課	3	3	2	生活保護扶助費	545,733	549,439	3,706	155

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
健康づくり推進課	4	1	1	保健衛生管理費	77	79	2	
健康づくり推進課	4	1	1	母子健康手帳交付事業	66	64	△ 2	
健康づくり推進課	4	1	1	日曜休日応急診療所管理事業	3,509	5,509	2,000	156
健康づくり推進課	4	1	1	5歳児発達相談	389	383	△ 6	
健康づくり推進課	4	1	1	心のヘルスケア事業 (心の相談)	147	147	0	
健康づくり推進課	4	1	1	精神障がい者福祉管理費	132	116	△ 16	
健康づくり推進課	4	1	1	3歳児健康診査	1,689	1,674	△ 15	
健康づくり推進課	4	1	1	1歳6か月児健康診査	928	931	3	
健康づくり推進課	4	1	1	6か月児健康診査	563	569	6	
健康づくり推進課	4	1	1	乳児・幼児健康相談	89	84	△ 5	
健康づくり推進課	4	1	1	妊産婦健康相談	29	31	2	
健康づくり推進課	4	1	1	ようこそあかちゃん教室	54	55	1	
健康づくり推進課	4	1	1	妊婦・乳児一般健康診査	20,333	19,840	△ 493	157
健康づくり推進課	4	1	1	1歳6か月児事後健診	333	336	3	
健康づくり推進課	4	1	1	すくすく教室事業	302	286	△ 16	
健康づくり推進課	4	1	1	こんにちは赤ちゃん訪問事業	1,358	535	△ 823	158
総務課	4	1	1	保健衛生事務人件費	145,717	156,660	10,943	
健康づくり推進課	4	1	1	鳥取県西部広域行政管理組合負担金 (病院群輪番制)	4,491	4,491	0	
健康づくり推進課	4	1	1	鳥取県西部歯科保健センター運営費補助金	644	644	0	
健康づくり推進課	4	1	1	こどもの成長発達を考える講演会開催事業	97	95	△ 2	
健康づくり推進課	4	1	1	歯科衛生事業	2,751	2,742	△ 9	
健康づくり推進課	4	1	1	小児慢性特定疾病日日常生活用具給付事業	44	45	1	
健康づくり推進課	4	1	1	AED(自動体外式除細動器)整備事業	1,355	899	△ 456	
健康づくり推進課	4	1	1	地域自死対策緊急強化事業	607	616	9	159
健康づくり推進課	4	1	1	妊婦・乳児一般健康診査費補助金	740	787	47	
健康づくり推進課	4	1	1	保健師研修事業	119	118	△ 1	
健康づくり推進課	4	1	1	不妊治療費等支援事業	2,714	1,616	△ 1,098	160
健康づくり推進課	4	1	1	未熟児養育医療費給付事業	1,551	1,019	△ 532	
健康づくり推進課	4	1	1	済生会境港総合病院救急医療事業費補助金	30,000	30,000	0	161
健康づくり推進課	4	1	1	子育て世代包括支援センター事業	8,857	7,975	△ 882	162
健康づくり推進課	4	1	1	絵本で育む親子関係事業	1,004	936	△ 68	164
健康づくり推進課	4	1	1	新生児聴覚検査費用助成事業	417	415	△ 2	
健康づくり推進課	4	1	1	産後うつ予防事業	1,798	1,831	33	165
健康づくり推進課	4	1	1	病院群輪番制病院設備整備事業	7,334	2,904	△ 4,430	166
健康づくり推進課	4	1	1	熱中症予防対策事業	250	250	0	167
健康づくり推進課	4	1	1	妊産婦タクシー助成事業	60	60	0	168
健康づくり推進課	4	1	1	がん患者の社会参加支援事業	150	140	△ 10	169
健康づくり推進課	4	1	1	ハイハイ期親子応援事業	2,657	3,174	517	170
健康づくり推進課	4	1	1	不育症助成事業	150	100	△ 50	171
健康づくり推進課	4	1	1	小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業補助金	100	100	0	172
健康づくり推進課	4	1	1	出産・子育て応援事業	11,316	23,364	12,048	173
健康づくり推進課	4	1	2	インフルエンザ予防接種費	25,842	25,635	△ 207	
環境・ごみ対策課	4	1	2	狂犬病予防事業	388	380	△ 8	
健康づくり推進課	4	1	2	予防接種費	87,680	81,780	△ 5,900	174
健康づくり推進課	4	1	2	予防接種費補助金	1,286	1,244	△ 42	
健康づくり推進課	4	1	2	小児インフルエンザ予防接種費助成事業	2,075	1,770	△ 305	176

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
健康づくり推進課	4	1	2	風しんワクチン予防接種費補助金	400	240	△ 160	177
健康づくり推進課	4	1	2	高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業	3,862	1,904	△ 1,958	178
健康づくり推進課	4	1	2	風しん対策事業	4,680	3,250	△ 1,430	179
健康づくり推進課	4	1	2	妊産婦インフルエンザ予防接種費助成事業	460	299	△ 161	181
健康づくり推進課	4	1	2	重度障がい者インフルエンザ予防接種助成事業	78	48	△ 30	182
市民課	4	1	3	玉井斎場管理組合分担金	26,388	32,620	6,232	183
都市整備課	4	1	3	墓地管理事業	1,835	9,141	7,306	185
都市整備課	4	1	3	盆砂配布事業	259	251	△ 8	
環境・ごみ対策課	4	1	3	側溝清掃事業	6,915	7,301	386	
都市整備課	4	1	3	夕日ヶ丘墓地使用料助成事業	200	100	△ 100	187
環境・ごみ対策課	4	1	4	環境保全対策事業	3,163	3,551	388	188
環境・ごみ対策課	4	1	4	海浜清掃事業	5,367	5,612	245	190
下水道課	4	1	4	合併処理浄化槽設置整備事業補助金	702	588	△ 114	
下水道課	4	1	4	鳥取県合併処理浄化槽普及促進協議会会費	16	16	0	
下水道課	4	1	4	浄化槽業務事務費	332	325	△ 7	
環境・ごみ対策課	4	1	4	温室効果ガス排出削減実行計画（区域施策編）策定事業	9,548	0	△ 9,548	
環境・ごみ対策課	4	1	4	猫不妊去勢手術費補助金	1,210	1,498	288	192
下水道課	4	1	4	汚染負荷量賦課金（浄化センター）	1	1	0	
環境・ごみ対策課	4	1	4	美保湾・弓ヶ浜環境保全連携事業	219	0	△ 219	
環境・ごみ対策課	4	1	4	環境教育事業（再生可能エネルギー）	1,507	1,815	308	
環境・ごみ対策課	4	1	4	小規模発電設備等導入推進事業補助金	15,840	28,440	12,600	193
環境・ごみ対策課	4	1	4	海洋ごみ対策事業	1,543	1,399	△ 144	194
環境・ごみ対策課	4	1	4	境港市再生可能エネルギー活用事業	1,692	1,846	154	
環境・ごみ対策課	4	1	4	脱炭素先行地域づくり事業補助金	27,720	0	△ 27,720	
環境・ごみ対策課	4	1	4	境港ブルーカーボン調査研究事業	1,199	0	△ 1,199	
下水道課	4	1	4	し尿処理負担金	40,165	39,031	△ 1,134	196
環境・ごみ対策課	4	1	4	電気自動車導入モデル事業	0	276	276	197
健康づくり推進課	4	1	5	健康増進事業事務費	140	134	△ 6	
健康づくり推進課	4	1	5	健康教育事業	282	302	20	
健康づくり推進課	4	1	5	健康相談事業	79	44	△ 35	
健康づくり推進課	4	1	5	健康診査事業	75,824	71,865	△ 3,959	198
健康づくり推進課	4	1	5	訪問指導事業	88	124	36	
健康づくり推進課	4	1	5	健康増進事業	540	475	△ 65	
健康づくり推進課	4	1	5	後期高齢者健診受託事業	12,022	13,136	1,114	
健康づくり推進課	4	1	5	栄養改善推進事業	242	127	△ 115	
健康づくり推進課	4	1	5	食生活改善推進員会補助金	160	160	0	
健康づくり推進課	4	1	5	若い世代の健康づくり事業	612	536	△ 76	200
健康づくり推進課	4	1	5	女性のためのがん検診推進事業	407	444	37	201
健康づくり推進課	4	1	5	健康づくり啓発・人材育成事業	362	230	△ 132	
健康づくり推進課	4	1	5	がん検診等受診勧奨強化事業	2,451	2,808	357	202
健康づくり推進課	4	1	5	境港市健康づくり推進計画策定・評価委員会	239	227	△ 12	203
健康づくり推進課	4	1	5	成人歯科検診	672	692	20	204
健康づくり推進課	4	1	5	骨密度検査	1,264	1,242	△ 22	205
健康づくり推進課	4	1	5	高齢者保健事業・介護予防の一体的実施事業	2,509	554	△ 1,955	206
健康づくり推進課	4	1	5	次世代につながるしきゅう（至急・子宮）大作戦事業	0	3,878	3,878	207
環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ処理事業	236,110	243,929	7,819	209

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
環境・ごみ対策課	4	2	1	廃棄物減量等推進事業	1,326	1,621	295	211
環境・ごみ対策課	4	2	1	生ごみ堆肥化促進事業	4,257	4,716	459	
環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ固形燃料等資源化事業	12,605	16,820	4,215	
環境・ごみ対策課	4	2	1	清掃センター公用車更新事業	14,081	13,035	△ 1,046	212
総務課	4	2	1	清掃事務人件費	72,768	72,982	214	
環境・ごみ対策課	4	2	1	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(清掃費)	126,253	58,697	△ 67,556	
環境・ごみ対策課	4	2	1	汚染負荷量賦課金(清掃センター)	126	119	△ 7	
環境・ごみ対策課	4	2	1	廃品回収奨励金	1,382	1,338	△ 44	
環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ集積施設整備事業補助金	1,573	1,510	△ 63	
環境・ごみ対策課	4	2	1	可燃ごみ処理委託事業	218,804	230,542	11,738	
環境・ごみ対策課	4	2	1	災害廃棄物処理計画策定事業	0	3,630	3,630	213
環境・ごみ対策課	4	2	1	ストックヤード整備事業	183,172	17,677	△ 165,495	214
財政課	4	2	1	一般廃棄物処理施設整備費積立基金積立金	23,012	13	△ 22,999	
環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ集積場所不法投棄防止対策設備設置事業補助金	600	400	△ 200	216
環境・ごみ対策課	4	2	2	資源ごみ処理施設管理費	29,642	32,094	2,452	
環境・ごみ対策課	4	2	2	資源ごみ処理施設整備事業	2,849	7,370	4,521	217
環境・ごみ対策課	4	2	2	障がい者就労支援事業	7,590	8,173	583	
水産商工課	5	1	1	雇用対策関連費	75	125	50	
子育て支援課	5	1	1	ファミリーサポートセンター事業	4,676	5,328	652	
長寿社会課	5	1	1	シルバー人材センター助成事業	9,880	9,880	0	218
農政課	6	1	1	農業委員会運営費	5,745	5,907	162	219
農政課	6	1	1	国有農地管理事務費	25	24	△ 1	
農政課	6	1	1	農業者年金事業	112	144	32	
農政課	6	1	1	農業委員会各種負担金	70	69	△ 1	
総務課	6	1	2	農政事務人件費	44,503	50,127	5,624	
農政課	6	1	2	鳥取県畜産推進機構賦課金	7	7	0	
農政課	6	1	3	市民農園管理費	236	236	0	220
農政課	6	1	3	ふれあい農園事業	237	234	△ 3	221
農政課	6	1	3	有害鳥獣等捕獲事業	1,082	1,082	0	222
農政課	6	1	3	遊休農地利用促進対策事業	330	176	△ 154	
農政課	6	1	3	農地賃借料助成事業補助金	1,229	1,313	84	
農政課	6	1	3	緑肥作物作付推進事業補助金	230	154	△ 76	
農政課	6	1	3	特産野菜産地維持対策事業補助金	383	266	△ 117	
農政課	6	1	3	就農条件整備事業補助金	6,385	12,865	6,480	223
農政課	6	1	3	農地適正管理費補助金	25	25	0	
農政課	6	1	3	学校給食米栽培委託事業	2,130	2,114	△ 16	224
農政課	6	1	3	就農応援交付金	585	100	△ 485	225
農政課	6	1	3	伯州綿製品産地消推進事業	4,210	3,915	△ 295	226
農政課	6	1	3	経営所得安定対策等推進事業費補助金	221	221	0	
農政課	6	1	3	地域計画策定事業	160	160	0	
農政課	6	1	3	農業経営開始支援事業	7,546	7,396	△ 150	227
農政課	6	1	3	農地中間管理業務受託事業	2,843	3,104	261	
農政課	6	1	3	地域おこし協力隊推進事業	9,010	9,992	982	229
農政課	6	1	3	がんばる農家プラン事業費補助金	165	0	△ 165	
農政課	6	1	3	多面的機能支払交付金	4,136	4,749	613	230
農政課	6	1	3	鳥取県農業士連絡協議会会費負担金	8	10	2	

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
農政課	6	1	3	がんばる地域プラン事業費補助金	3,734	14,902	11,168	231
農政課	6	1	3	農業経営発展支援事業補助金	6,305	0	△ 6,305	
農政課	6	1	3	園芸産地活力増進事業補助金	0	433	433	233
農政課	6	1	4	土地改良施設整備事業	3,371	3,171	△ 200	234
農政課	6	1	4	米川水利用調整事業補助金	8,278	9,518	1,240	235
農政課	6	1	4	農業用排水路管理清掃事業	4,600	4,800	200	236
農政課	6	1	4	ストップ荒廃農地支援事業補助金	400	260	△ 140	
農政課	6	1	4	農地耕作条件改善事業	26,819	48,748	21,929	238
農政課	6	1	4	農地費各種負担金	76	104	28	
農政課	6	1	4	荒廃農地解消対策委託事業（早生樹試験栽培）	0	636	636	239
農政課	6	2	1	西部地区野鳥巣箱コンクール協賛金	4	4	0	
農政課	6	2	1	市民の山管理・ふれあい交流事業	306	1,933	1,627	241
農政課	6	2	1	松くい虫被害木伐倒駆除事業	594	594	0	
農政課	6	2	1	枯松伐採促進事業補助金	94	53	△ 41	
農政課	6	2	1	森林環境基金積立金	3,944	4,781	837	
農政課	6	2	1	日本伐木チャンピオンシップin鳥取実行委員会負担金	150	0	△ 150	
農政課	6	2	1	林業費各種負担金	159	150	△ 9	
水産商工課	6	3	1	水産総務事務費	505	442	△ 63	
水産商工課	6	3	1	渡漁港施設維持管理事業	923	1,303	380	
水産商工課	6	3	1	海岸緑地トイレ管理費	436	453	17	
総務課	6	3	1	水産事務人件費	23,336	23,839	503	
水産商工課	6	3	1	県施行漁港改修事業地元負担金	2,543	0	△ 2,543	
水産商工課	6	3	1	水産業総務費各種会費・負担金	464	563	99	
水産商工課	6	3	2	栽培漁業推進事業負担金	265	318	53	242
水産商工課	6	3	2	魚食普及推進事業	616	370	△ 246	243
水産商工課	6	3	2	漁業金融対策事業	10,000	10,000	0	
水産商工課	6	3	2	境港水産まつり補助金	650	650	0	
水産商工課	6	3	2	境港地域資源活用推進事業補助金	650	650	0	
水産商工課	6	3	2	境港お魚ガイド活動支援事業補助金	5,621	5,623	2	244
水産商工課	6	3	2	水産加工品ブランド化事業補助金	2,127	2,127	0	245
水産商工課	6	3	2	漁業就業者確保対策事業補助金	31,531	31,933	402	246
水産商工課	6	3	2	高度衛生管理型市場移行円滑化事業補助金	4,411	0	△ 4,411	
水産商工課	6	3	2	沖合底びき網漁船代船建造推進事業補助金	3,647	3,647	0	
水産商工課	6	3	2	アワビ放流支援事業補助金	70	81	11	247
水産商工課	6	3	2	豊かな海を守る漁場環境緊急回復事業	1,077	2,077	1,000	248
水産商工課	6	3	2	船員入浴施設利用助成事業	824	500	△ 324	249
水産商工課	6	3	2	水産業振興費各種負担金補助及び交付金	490	490	0	
水産商工課	6	3	2	がんばる養殖支援事業費補助金	0	6,548	6,548	250
水産商工課	7	1	1	消費者行政推進事業	3,636	6,913	3,277	251
総務課	7	1	1	商工事務人件費	90,031	84,908	△ 5,123	
水産商工課	7	1	2	企業自立支援事業	2,278,016	2,197,560	△ 80,456	252
水産商工課	7	1	2	境港利用促進事業	787	313	△ 474	
水産商工課	7	1	2	企業誘致推進事業	1,343	940	△ 403	
水産商工課	7	1	2	境港貿易振興会補助金	5,271	6,092	821	
水産商工課	7	1	2	企業立地促進関連補助金	7,203	10,077	2,874	254
水産商工課	7	1	2	中海圏域就業支援連携事業負担金	1,269	1,269	0	255

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
水産商工課	7	1	2	経営改善資金利子補助金	236	327	91	
水産商工課	7	1	2	創業支援補助金	3,400	3,400	0	256
観光振興課	7	1	2	J R関係負担金	209	209	0	
水産商工課	7	1	2	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補助金	52,334	58,302	5,968	257
財政課	7	1	2	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金積立金	3	2	△ 1	
水産商工課	7	1	2	境港市オープンカンパニー事業	220	124	△ 96	258
水産商工課	7	1	2	事業承継支援補助金	500	1,000	500	259
水産商工課	7	1	2	国内商談会等参加支援補助金	750	750	0	260
水産商工課	7	1	2	令和4年度燃油及び原材料価格高騰・円安対策特別金融支援事業利子補助金	15,387	11,448	△ 3,939	261
水産商工課	7	1	2	令和5年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業利子補助金	0	9,680	9,680	262
水産商工課	7	1	2	商工振興費各種負担金補助及び交付金	3,844	3,846	2	
水産商工課	7	1	2	海外との産業経済連携支援事業	0	1,298	1,298	263
水産商工課	7	1	2	令和6年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業利子補助金	0	4,290	4,290	264
観光振興課	7	1	3	観光振興一般管理費	8,103	6,340	△ 1,763	
観光振興課	7	1	3	とっとりコンベンションビューロー運営費負担金	1,382	1,482	100	265
観光振興課	7	1	3	(一社)境港観光協会補助金	31,753	32,255	502	266
財政課	7	1	3	水木しげる基金積立金	12	10,005	9,993	
観光振興課	7	1	3	米子鬼太郎空港ターミナル物産観光PR事業	1,128	1,128	0	
観光振興課	7	1	3	観光案内所運営事業	1,007	996	△ 11	
観光振興課	7	1	3	河童の泉管理事業	644	627	△ 17	
観光振興課	7	1	3	ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会開催補助金	85	85	0	268
観光振興課	7	1	3	みなと祭実行委員会補助金	3,100	4,200	1,100	269
観光振興課	7	1	3	桜まつり実行委員会補助金	285	285	0	
観光振興課	7	1	3	境港妖怪検定補助金	360	360	0	270
観光振興課	7	1	3	松江・境港・隠岐観光振興事業	349	349	0	
観光振興課	7	1	3	境港市観光振興プラン検討事業	54	54	0	
観光振興課	7	1	3	情報発信連携強化事業	6,566	5,554	△ 1,012	271
観光振興課	7	1	3	着ぐるみによるおもてなし向上事業	11,490	16,419	4,929	272
観光振興課	7	1	3	水木しげるロード維持管理事業	17,451	18,338	887	273
観光振興課	7	1	3	水木しげる生誕祭開催事業	503	528	25	274
観光振興課	7	1	3	クルーズ客船おもてなし事業	1,115	687	△ 428	275
観光振興課	7	1	3	水木しげる記念館再整備事業	815,399	0	△ 815,399	
観光振興課	7	1	3	水木しげる記念館文化観光拠点施設機能強化事業	1,295	1,079	△ 216	276
観光振興課	7	1	3	水木しげるロードカウンター更新事業	1,485	0	△ 1,485	
観光振興課	7	1	3	水木しげるロード30周年記念事業	2,132	0	△ 2,132	
観光振興課	7	1	3	水木しげる記念館事務局運営事業	12,075	0	△ 12,075	
観光振興課	7	1	3	教育旅行コンテンツ造成事業負担金	1,500	0	△ 1,500	
観光振興課	7	1	3	水木しげる記念館浄化槽撤去事業	968	0	△ 968	
観光振興課	7	1	3	水木しげる先生から学ぶ平和と学習事業	0	587	587	277
管理課	8	1	1	土木一般管理費	1,455	4,193	2,738	
建築営繕課	8	1	1	建築行政事務費	683	384	△ 299	
建築営繕課	8	1	1	住宅・建築物耐震化促進事業補助金	12,866	15,553	2,687	278
建築営繕課	8	1	1	全国建築審査会協議会負担金	9	9	0	
建築営繕課	8	1	1	日本建築行政会議負担金	50	50	0	
総務課	8	1	1	土木事務人件費	245,753	258,892	13,139	
建築営繕課	8	1	1	アスベスト撤去支援事業補助金	1,240	10,732	9,492	280

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
都市整備課	8	1	1	空家等対策事業	1,138	998	△ 140	281
建築営繕課	8	1	1	特殊建築物等定期点検事業	3,170	2,975	△ 195	283
建築営繕課	8	1	1	福祉のまちづくり推進事業補助金	1,743	5,106	3,363	284
建築営繕課	8	1	1	安全安心な公共施設維持管理事業	1,897	2,098	201	
建築営繕課	8	1	1	危険ブロック塀撤去費等補助金	3,087	3,100	13	286
都市整備課	8	1	1	とっとり空き家利活用推進協議会負担金	70	70	0	
都市整備課	8	1	1	空家関連事業費補助金	28,200	34,200	6,000	288
防災危機管理課	8	1	2	交通安全対策事業	1,622	1,526	△ 96	
管理課	8	1	2	交通安全施設整備事業	7,567	7,567	0	289
防災危機管理課	8	1	2	鳥取県高速道路交通安全協議会会費	15	15	0	
防災危機管理課	8	1	2	高齢者等運転免許自主返納支援事業	1,331	811	△ 520	290
管理課	8	1	2	交通安全施設管理費	10,902	9,302	△ 1,600	
防災危機管理課	8	1	2	チャイルドシート購入費補助金	539	504	△ 35	291
管理課	8	1	2	夕日ヶ丘防犯灯設置事業	4,797	3,690	△ 1,107	292
管理課	8	1	2	L E D防犯灯更新事業	0	25,060	25,060	293
管理課	8	2	1	道路一般管理費	1,196	1,259	63	
管理課	8	2	1	道路台帳整備事業	2,101	3,390	1,289	
管理課	8	2	1	国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県期成会負担金	28	28	0	
管理課	8	2	1	道路整備促進期成同盟会鳥取県地方協議会分担金	15	16	1	
管理課	8	2	1	斐伊川水系治水期成同盟会分担金	77	76	△ 1	
下水道課	8	2	1	内水排除ポンプ施設管理費	180	0	△ 180	
管理課	8	2	1	中国横断自動車道岡山米子線(蒜山IC~境港間)整備促進期成同盟会分担金	135	169	34	
管理課	8	2	1	中国国道協会会費	60	60	0	
管理課	8	2	1	鳥取県道路利用者会議分担金	13	13	0	
管理課	8	2	1	中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議負担金	0	210	210	294
都市整備課	8	2	2	幸神駐車場維持管理費	209	230	21	
管理課	8	2	2	道路維持費	37,118	40,884	3,766	295
管理課	8	2	2	街路樹維持管理費	12,041	12,041	0	
管理課	8	2	2	中浜駅駐輪場管理事業	306	300	△ 6	
管理課	8	2	2	市道維持修繕事業(自治会要望分)	5,000	5,000	0	
管理課	8	2	2	除雪事業	7,880	24,009	16,129	297
管理課	8	2	2	安全・安心な道づくり事業	165,079	102,170	△ 62,909	298
管理課	8	2	2	美保湾展望駐車場管理事業	693	673	△ 20	
管理課	8	2	2	除雪機械運転手育成支援事業	274	297	23	310
管理課	8	2	3	生活関連道整備事業	104,688	113,191	8,503	311
下水道課	8	2	3	下水道整備附帯事業	700	700	0	
管理課	8	2	3	中海護岸整備関連事業	24,416	33,033	8,617	317
管理課	8	2	3	狭あい道路拡幅整備事業	37,031	6,700	△ 30,331	320
都市整備課	8	3	1	港湾管理費	1,523	1,186	△ 337	322
都市整備課	8	3	1	境港港湾整備事業地元負担金	5,250	7,950	2,700	323
都市整備課	8	3	1	日本港湾協会会費	50	50	0	
都市整備課	8	3	1	港湾都市協議会分担金	3	3	0	
都市整備課	8	3	1	鳥取県港湾・漁港協会会費	185	183	△ 2	
都市整備課	8	3	1	Sea級グルメ全国大会in境港実行委員会負担金	400	0	△ 400	325
都市整備課	8	3	1	ウォーターフロント協会会費	50	50	0	
都市整備課	8	3	1	日本海にぎわい・交流海道ネットワーク分担金	30	30	0	

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
都市整備課	8	3	1	Sea級グルメ全国大会in境港実行委員会負担金	0	27,291	27,291	
都市整備課	8	4	1	都市計画一般管理費	1,233	1,194	△ 39	
下水道課	8	4	1	公共下水道事業会計繰出金	677,093	685,797	8,704	326
建築営繕課	8	4	1	水木しげるロード街なみ環境整備事業（住宅等修景助成）	10,000	10,000	0	327
都市整備課	8	4	2	公園維持管理費	44,627	42,258	△ 2,369	328
都市整備課	8	4	2	都市公園遊具更新事業	1,892	1,758	△ 134	330
都市整備課	8	4	2	ボランティア除草支援事業	200	200	0	
都市整備課	8	4	2	境中央公園改修事業	21,622	152,379	130,757	331
都市整備課	8	4	2	交差点改良工事に伴う渡緑地内支障物件移設等事業	3,114	0	△ 3,114	
都市整備課	8	4	2	竜ヶ山工リア屋根付き広場整備事業	61,379	134,065	72,686	333
建築営繕課	8	5	1	市営住宅管理費	18,926	20,775	1,849	335
建築営繕課	8	5	1	鳥取県居住支援協議会負担金	183	199	16	
建築営繕課	8	5	1	市営住宅建替事業	162,156	275,531	113,375	337
建築営繕課	8	5	1	市営外江団地工コ改修事業	182,484	0	△ 182,484	
建築営繕課	8	5	1	住宅セーフティネット支援事業	1,620	2,100	480	339
防災危機管理課	9	1	1	境港消防署維持管理費	14	15	1	
防災危機管理課	9	1	1	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(消防費)	396,030	417,638	21,608	
防災危機管理課	9	1	1	消防団訓練施設照明電気料金等負担金	6	6	0	
防災危機管理課	9	1	1	西部広域行政管理組合特別負担金（境港消防署はしご車購入事業）	44,158	0	△ 44,158	
防災危機管理課	9	1	2	消防団活動費	23,260	20,232	△ 3,028	341
防災危機管理課	9	1	2	消防団員等公務災害補償等共済基金掛金	2,563	2,563	0	
防災危機管理課	9	1	2	鳥取県消防協会負担金	470	587	117	
防災危機管理課	9	1	2	鳥取県消防学校入校負担金	53	51	△ 2	
防災危機管理課	9	1	2	消防・防災フェア開催事業	533	722	189	342
防災危機管理課	9	1	3	消防施設管理事業	2,282	2,150	△ 132	
防災危機管理課	9	1	3	消防団施設整備事業	0	6,413	6,413	343
教育総務課	10	1	1	教育委員会費	2,336	2,336	0	
教育総務課	10	1	2	教育委員会事務局費	2,741	3,153	412	
教育総務課	10	1	2	鳥取県学校図書館協議会負担金	15	15	0	
総務課	10	1	2	教育委員会事務局人件費	78,491	84,272	5,781	
教育総務課	10	1	2	全国都市教育長協議会負担金	18	18	0	
教育総務課	10	1	2	中国地区都市教育長会負担金	5	5	0	
教育総務課	10	1	2	鳥取県市町村教育委員会研究協議会負担金	0	34	34	
教育総務課	10	1	2	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会負担金	3	6	3	
教育総務課	10	1	2	学校活動用バス運行事業	2,060	4,109	2,049	
教育総務課	10	1	2	学校教職員指導力向上推進事業	140	477	337	
教育総務課	10	1	2	学校業務支援システム運用事業	3,018	2,995	△ 23	
教育総務課	10	1	2	地域学校協働推進事業	1,253	1,267	14	
教育総務課	10	1	2	特別支援学校児童生徒通学支援事業	902	451	△ 451	
教育総務課	10	1	2	共同学校事務室運営事業	89	292	203	
教育総務課	10	2	1	小学校管理費	90,898	101,113	10,215	
教育総務課	10	2	1	小学校備品整備事業	3,315	6,289	2,974	345
教育総務課	10	2	1	小学校施設整備事業	10,975	14,315	3,340	347
教育総務課	10	2	1	小学校少人数学級実施事業	16,000	8,000	△ 8,000	
教育総務課	10	2	1	小学校指導補助員配置事業	20,291	25,797	5,506	348
教育総務課	10	2	1	小学校グラウンド芝生維持管理事業	3,804	3,993	189	349

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
教育総務課	10	2	1	小学校遊具整備事業	1,487	1,475	△ 12	
教育総務課	10	2	1	小学校体育館改修事業	70,499	3,154	△ 67,345	350
教育総務課	10	2	1	小学校ICT教育推進事業	24,805	15,676	△ 9,129	351
教育総務課	10	2	1	小学校教職員用パソコン設置事業	4,509	11,775	7,266	353
教育総務課	10	2	1	小学校空調設備改修事業	6,664	314,213	307,549	354
教育総務課	10	2	1	小学校プール施設整備事業	2,062	0	△ 2,062	
教育総務課	10	2	1	小学校樹木剪定事業	561	0	△ 561	
教育総務課	10	2	1	小学校トイレ改修事業	4,737	240,486	235,749	356
教育総務課	10	2	1	小学校プール授業委託事業	0	1,220	1,220	358
教育総務課	10	2	2	小学校就学援助費	10,020	10,983	963	
教育総務課	10	2	2	小学校教育振興管理費	10,271	10,751	480	
教育総務課	10	2	2	小学校図書館職員配置事業	6,700	7,212	512	
教育総務課	10	2	2	沖縄・伊平屋村教育交流事業	2,500	2,500	0	
教育総務課	10	2	2	小学校教科書採択協議会負担金	58	0	△ 58	
教育総務課	10	2	2	小学校教師用教科書・指導書購入事業	851	33,731	32,880	360
教育総務課	10	2	2	小学校よりよい学級づくり事業	958	955	△ 3	
教育総務課	10	2	2	小学校学力向上事業	851	870	19	
教育総務課	10	2	2	外国語指導助手招致事業	14,060	14,453	393	
教育総務課	10	2	2	小学校組織力向上支援事業	720	1,200	480	
教育総務課	10	2	2	一般財団法人自治体国際化協会負担金(外国語指導助手)	705	779	74	
教育総務課	10	2	3	小学校保健衛生費	6,991	6,952	△ 39	
教育総務課	10	2	3	日本スポーツ振興センター共済掛金(小学校)	1,524	1,491	△ 33	
教育総務課	10	2	3	境港市学校保健会補助金	90	90	0	
教育総務課	10	2	3	小学校保健特別対策事業(新型コロナウイルス感染症対策)	600	0	△ 600	
教育総務課	10	3	1	中学校管理費	50,381	50,869	488	
教育総務課	10	3	1	中学校備品整備事業	2,271	2,093	△ 178	361
教育総務課	10	3	1	中学校施設整備事業	5,165	56,410	51,245	362
教育総務課	10	3	1	中学校少人数学級実施事業	2,000	0	△ 2,000	
教育総務課	10	3	1	中学校指導補助員配置事業	10,588	13,140	2,552	363
教育総務課	10	3	1	中学校グラウンド芝生維持管理事業	2,245	411	△ 1,834	364
教育総務課	10	3	1	中学校楽器整備事業	1,612	1,297	△ 315	
教育総務課	10	3	1	中学校ICT教育推進事業	10,540	4,817	△ 5,723	365
教育総務課	10	3	1	中学校教職員用パソコン設置事業	2,286	5,658	3,372	367
教育総務課	10	3	1	中学校プール授業委託事業	0	656	656	368
教育総務課	10	3	2	中学校教育振興管理費	5,265	5,434	169	
教育総務課	10	3	2	中学校就学援助費	10,173	11,227	1,054	
教育総務課	10	3	2	運動部活動外部指導者活用事業	106	318	212	370
教育総務課	10	3	2	中学校図書館職員配置事業	3,291	3,519	228	
教育総務課	10	3	2	国際理解教育推進事業	1,379	3,711	2,332	371
教育総務課	10	3	2	中学生職場体験学習事業	265	209	△ 56	
教育総務課	10	3	2	中学校各種競技大会参加費補助金	9,051	8,356	△ 695	
教育総務課	10	3	2	鳥取県中学校文化連盟負担金	11	11	0	
教育総務課	10	3	2	鳥取県中学校体育連盟負担金	328	326	△ 2	
教育総務課	10	3	2	中国大会等参加費負担金	250	252	2	
教育総務課	10	3	2	中学校教科書採択協議会負担金	0	67	67	
教育総務課	10	3	2	中学校教師用教科書・指導書購入事業	1	0	△ 1	

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
教育総務課	10	3	2	中学校よりよい学級づくり事業	580	575	△ 5	
教育総務課	10	3	2	中学校学力向上事業	958	439	△ 519	
教育総務課	10	3	2	スクールソーシャルワーカー活用事業	2,418	6,274	3,856	373
教育総務課	10	3	2	特別支援教育総合推進事業	4,957	6,782	1,825	374
教育総務課	10	3	2	中学校外国語指導業務委託事業	16,316	16,316	0	
教育総務課	10	3	2	中学校組織力向上支援事業	360	600	240	
教育総務課	10	3	2	中学校部活動指導員配置事業	3,774	5,041	1,267	376
教育総務課	10	3	2	外国人児童生徒等への日本語指導等支援事業	373	210	△ 163	
教育総務課	10	3	2	地域クラブ活動推進事業	268	220	△ 48	377
教育総務課	10	3	3	中学校保健衛生費	3,494	3,525	31	
教育総務課	10	3	3	日本スポーツ振興センター共済掛金(中学校)	769	766	△ 3	
教育総務課	10	3	3	中学校保健特別対策事業(新型コロナウイルス感染症対策)	300	0	△ 300	
生涯学習課	10	4	1	社会教育管理費	2,553	2,570	17	
生涯学習課	10	4	1	二十歳の集い記念事業	574	592	18	
生涯学習課	10	4	1	文化財保護事業	109	1,209	1,100	379
生涯学習課	10	4	1	市美術展覧会事業	760	846	86	
生涯学習課	10	4	1	境港市文化協会補助金	644	500	△ 144	
教育総務課	10	4	1	青少年芸術鑑賞事業	2,364	2,227	△ 137	
生涯学習課	10	4	1	親子読み聞かせ教室運営補助金	516	516	0	
教育総務課	10	4	1	教育支援センター「やすらぎルーム」運営事業	6,912	6,012	△ 900	
生涯学習課	10	4	1	文化振興事業	2,177	1,708	△ 469	
生涯学習課	10	4	1	鳥取県社会教育協議会負担金	20	18	△ 2	
総務課	10	4	1	社会教育事務人件費	48,419	49,010	591	
生涯学習課	10	4	1	鳥取県社会教育委員連絡協議会負担金	15	15	0	
生涯学習課	10	4	1	青少年育成境港市民会議補助金	334	341	7	
生涯学習課	10	4	1	青少年育成センター管理費	3,036	3,451	415	
生涯学習課	10	4	1	文化財保存・保護事業補助金	72	648	576	381
生涯学習課	10	4	1	次世代鑑賞者育成事業補助金	200	200	0	
生涯学習課	10	4	1	地域学校協働推進事業	5,924	7,046	1,122	383
生涯学習課	10	4	2	公民館管理費	81,697	95,113	13,416	385
生涯学習課	10	4	2	公民館事業振興費	1,349	1,268	△ 81	
生涯学習課	10	4	2	地区公民館総合文化祭補助金	532	532	0	
生涯学習課	10	4	2	公民館施設整備事業	3,106	1,637	△ 1,469	387
生涯学習課	10	4	2	公民館活動研究集会補助金	100	100	0	
生涯学習課	10	4	2	鳥取県公民館連合会負担金	7	14	7	
生涯学習課	10	4	2	中浜公民館集会所改修事業	0	2,008	2,008	388
生涯学習課	10	4	2	公民館空調改修事業	0	19,620	19,620	389
生涯学習課	10	4	2	公民館トイレ改修事業	0	5,708	5,708	390
生涯学習課	10	4	3	図書館管理費	52,275	62,986	10,711	391
生涯学習課	10	4	3	鳥取県図書館協会負担金	9	9	0	
生涯学習課	10	4	3	読書活動推進大会開催事業補助金	200	200	0	
生涯学習課	10	4	3	図書館 I C システム整備事業	3,092	0	△ 3,092	
生涯学習課	10	4	3	地域で交流し学びあう図書館学びの講座事業	137	107	△ 30	
生涯学習課	10	4	3	働くを幸せにするビジネス支援サービス推進事業	701	701	0	
生涯学習課	10	4	3	まちまるごと図書館事業	0	503	503	393
生涯学習課	10	4	3	図書館雑誌購入事業	1,809	1,182	△ 627	

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
生涯学習課	10	4	3	読書バリアフリー推進事業	944	944	0	
生涯学習課	10	4	4	市史編さん事業	2,688	3,003	315	394
生涯学習課	10	4	5	学習等供用施設等管理費	9,243	9,235	△ 8	
生涯学習課	10	4	6	海とくらしの史料館管理費	14,400	16,640	2,240	395
生涯学習課	10	4	6	海とくらしの史料館開館30周年記念事業補助金	0	250	250	396
生涯学習課	10	4	7	文化ホール管理費	30,287	30,289	2	
生涯学習課	10	4	8	市民交流センター管理費	104,785	98,071	△ 6,714	397
生涯学習課	10	4	8	みなとテラス学港	252	196	△ 56	399
生涯学習課	10	5	1	生涯スポーツ振興費	610	601	△ 9	
生涯学習課	10	5	1	地区体育・スポーツ振興事業補助金	810	810	0	
生涯学習課	10	5	1	高校駅伝競走大会支援事業	85	0	△ 85	
生涯学習課	10	5	1	鳥取県スポーツ推進委員協議会負担金	42	42	0	
生涯学習課	10	5	1	県民スポーツ・レクリエーション祭参加補助金	78	179	101	
生涯学習課	10	5	1	境港市スポーツ協会育成補助金	1,016	1,016	0	
生涯学習課	10	5	1	Sun-inビーチバレー大会開催補助金	750	700	△ 50	
生涯学習課	10	5	1	弓ヶ浜シーサイドマラソン開催補助金	0	100	100	400
生涯学習課	10	5	2	体育施設管理費	76,958	75,142	△ 1,816	
生涯学習課	10	5	2	陸上競技場第4種ライト公認検定事業	0	54,079	54,079	401
生涯学習課	10	5	2	竜ヶ山球場改修事業	5,927	0	△ 5,927	
生涯学習課	10	5	2	市民体育館改修事業	986	0	△ 986	
生涯学習課	10	5	2	第2市民体育館改修事業	1,023	0	△ 1,023	
生涯学習課	10	5	2	市民テニス場トイレ新築事業	639	0	△ 639	
生涯学習課	10	5	2	市民テニス場改修事業	0	7,049	7,049	403
生涯学習課	10	5	2	竜ヶ山陸上競技場改修事業	0	6,605	6,605	405
生涯学習課	10	5	2	スポーツ広場キュービクル改修事業	0	17,578	17,578	407
生涯学習課	10	5	2	市民温水プールキュービクル改修事業	0	1,793	1,793	408
教育総務課	10	5	3	学校給食事業(学校給食センター)	207,795	229,380	21,585	409
教育総務課	10	5	3	食育推進事業(学校給食センター)	59	59	0	
教育総務課	10	5	3	学校給食調理等業務委託事業	97,350	97,350	0	
教育総務課	10	5	3	学校給食食器更新事業	0	8,029	8,029	411
農政課	11	1	1	農業施設災害復旧事業	1	1	0	
財政課	12	1	1	長期借入金元金償還金	1,246,111	1,213,011	△ 33,100	
財政課	12	1	2	長期借入金利子償還金	40,967	56,868	15,901	
財政課	12	1	2	一時借入金利子償還金(財政課)	3,000	3,000	0	
出納室	12	1	2	一時借入金利子償還金(出納室)	1,000	1,000	0	
総務課	13	1	1	公有財産購入費	1	1	0	
財政課	14	1	1	予備費	10,000	10,000	0	
計					18,750,000	18,950,000	200,000	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
議会事務局	1	1	1	議会改革推進事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	境港市議会基本条例に基づき、市民に「ひらかれた」議会となるよう、さらなる議会改革を推進する。
-------	--

事業概要	境港市議会基本条例に基づき、市民に「ひらかれた」議会となるよう、議会報告会等を開催する。
------	--

現状、背景、課題	平成24年度（2012年度）に、市政と市議会に対する市民アンケートや各校区ごとに市民と議会の懇談会を実施した。平成25年度には、議会基本条例策定特別委員会を設置し、市民検討会議での意見等も聞きながら、境港市議会基本条例を制定した。平成26年度からは、その条例に基づき、「市民と議会の懇談会」を実施している。また、各種団体等との分野別懇談会も開催している。
----------	---

事業計画・効果	令和6年度 議会運営委員会視察旅費を計上（隔年計上） 市民と議会の懇談会の休日開催場所として、みなとテラス中会議室の会場借上料を計上 ※令和5年度は、保健相談センター講堂を会場として、日曜日にも開催
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	105	553	448		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	105	553	448	

令和6年度歳出入訳	旅費			450
	費用弁償	議会運営委員会視察	50,000円×8人	
	普通旅費	視察随行	50,000円×1人	
	需用費			73
	消耗品費			2
	印刷製本費	市民と議会の懇談会	ポスター、チラシ	71
	役務費			26
	手数料	市民と議会の懇談会	チラシの市報折込手数料	
	使用料及び賃借料			4
	会場借上料	みなとテラス中会議室	日中4h及び備品	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
議会事務局	1	1	1	議会タブレット端末導入活用事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(1)	持続可能な脱炭素社会の実現
				5-(3)	デジタル化の推進
SDGs	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		16	平和と公正をすべての人に

事業の目的	「議会の活性化」「議員の資質向上」「議会運営の効率化」「危機管理体制強化」を図り、議員個人の能力はもとより、議会機能を強化することで、議会活動・議員活動の最高規範として定める境港市議会基本条例の更なる具現化に資することを目的とする。
-------	--

事業概要	議員及び議会事務局でタブレット端末とペーパーレス会議システムを運用する。
------	--------------------------------------

現状、背景、課題	情報化社会の進展、国によるデジタル化の推進等により、全国の市議会でもICT（情報通信技術）の活用が進んでいる。特に議会としてタブレット端末を導入し、議会活動にとどまらず幅広く活用することで議会機能の強化、向上に繋がっている好事例が多数ある。全国815市区のうち544市区が導入済（令和4年（2023年）12月31日現在）。
----------	---

事業計画・効果	ペーパーレス会議システム運用開始日（令和5年8月1日）からの紙資源削減枚数 87,334枚（令和6年1月31日時点）※アップロードファイルのページ数×閲覧人数
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		3,238	2,402		△ 836	198	議会タブレット端末利用負担金
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	243	198		△ 45		
	一般財源	2,995	2,204		△ 791		

令和6年度歳出内訳	役務費		548
	通信運搬費		
	議会タブレット端末通信料	タブレット端末19台×12か月	
		iPad Pro 16台（議員15人と事務局長）、iPad Air 3台（事務局職員用）	
	ホームルーター通信料	ホームルーター1台×12か月	
	使用料及び賃借料		1,854
	電子計算機賃借料		864
	タブレット端末レンタル料（補償料込）	タブレット端末19台×12か月	
	プログラム使用料		990
		ペーパーレス会議システム使用料	
	基本料、ライセンス50人分、サーバー容量追加分×12か月		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
議会事務局	1	1	1	中海・宍道湖圏域市議会議長会 会長市運営事業	新規
境港市まちづくり総合プラン				2-(10)	地域資源を生かすための中海・宍道湖・大山圏域で連携した取組の推進
				5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		16	平和と公正をすべての人に

事業の目的	圏域の市議会の連携を図り、共通課題についての連絡調整、圏域の総合的かつ一体的な発展を図ることを目的とする。
-------	---

事業概要	中海・宍道湖圏域市議会議長会の会長市としての事務及び総会開催並びに要望活動を行う。
------	---

現状、背景、課題	毎年度、圏域での要望をまとめ、鳥取・島根両県知事と両県選出国會議員への要望を実施。また、港湾組合や市の経済団体とも協力し、毎年3回、境港市の港湾整備要望を国土交通省及び両県選出国會議員へ要望を行っている。令和6年度～7年度は会長市であることから、圏域をまとめ、主体的に要望活動を実施していくことが必要となる。
----------	--

事業計画・効果	令和6年8月 総会 会長市決定（2年間） 構成市要望 10月～11月に鳥取・島根両県知事及び両県選出国會議員へ要望活動 境港港湾要望 年3回（7月・11月・2月）。市長会、民間団体と連携し実施
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称
事業費		0	305		305				
財源内訳	国庫支出金	0	0		0				
	県支出金	0	0		0				
	地方債	0	0		0				
	その他	0	0		0				
	一般財源	0	305		305		305		

令和6年度歳出内訳	旅費		302
	費用弁償	要望活動（東京、議長）3回	151
	普通旅費	随行	151
	使用料及び賃借料		3
	会場借上料	みなとテラス中会議室	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
秘書広報課	2	1	1	秘書一般管理費	見直し
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs					

事業の目的	市を代表して外部と交際する上で必要となる経費を確保し、市長等の円滑な市政運営に資する。
-------	---

事業概要	市長、副市長が市政執行のために必要な活動に要する経費を支出する。
------	----------------------------------

現状、背景、課題	市長交際費など率先垂範して経費削減してきたが、現状程度の予算は確保しておく必要がある。
----------	---

事業計画・効果	<p>経常的経費。例年からの主な変更点は以下のとおり。</p> <p>●新春のつどい関係（75千円） 各種団体や市民が、一堂に会して新年の挨拶をする場を提供するとともに、新年にあたり、市長自ら市政に取り組む姿勢・抱負を市民に向けて表明し、市政への協力をお願いする「新春のつどい」を開催する。 新春のつどいは、令和5年度まで会費で運営していたが、令和6年度は、飲食提供を止め、会費徴収を廃止する。会費で賄っていた会場借上料等の運営経費を新たに計上。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		2,173		2,501	328		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	2,173		2,501	328		

令和6年度歳出内訳	旅 費	481
	交 際 費	700
	需 用 費	794
	役 務 費	183
	使用料及び賃借料	323
	公 課 費	20

所 属	款	項	目	事業名	種 別
DX推進課	2	1	1	基幹業務システム運営事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	基幹業務事務のシステム化により、操作性・迅速性等を向上させ、事務処理の効率化を図る。また、近隣市町と自治体クラウドシステム（38業務）を共同導入することで事務処理の共通化を図る。
-------	---

事業概要	自治体クラウドシステム（2市4町共同導入）により、基幹業務事務（市税、住民記録、国保、介護保険、収納管理、選挙等）を行っている。基幹業務システムの運用・保守、パソコン（119台）・プリンタ（23台）等の維持管理を行う。
------	---

現状、背景、課題	令和3年1月から自治体クラウドシステムに移行し、システム導入・運用コストの削減及び災害対策（遠隔地データ保存）を行っている。 地方公共団体情報システムの標準化に関する法律が令和3年に施行され、令和7年度に基幹業務システム（住民記録など標準化対象20業務）をガバメントクラウドを利用した標準準拠システムに移行する。
----------	---

事業計画・効果	<p>令和6年度から現行システムを運用しつつ、標準準拠システムへの移行作業を開始する。</p> <p>◇標準準拠システム導入の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国のセキュリティ基準に適合したガバメントクラウド上に構築することで、セキュリティ強化が図られる。 ・標準化される業務は、全国で統一化された仕様となり、業務の見直し・効率化が図られる。 ・システム改修に係る経費・工期削減・短縮や、住民サービス向上などの施策が迅速に行える。 ・手続きの統一化・簡素化により、住民の利便性が向上する。 <p>◇スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 ガバメントクラウド接続、システム移行作業 ・令和7年度 システム移行作業、標準準拠システム稼働（令和7年12月予定）
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		55,894	122,800	66,906					
財源内訳	国庫支出金	0	61,676	61,676					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	55,894	61,124	5,230					

令和6年度歳出内訳	需用費		1,831
	プリンタ用トナー、共通帳票ほか		
	役務費		2,700
	ガバメントクラウド接続利用料		
	委託料		89,767
	プリンター保守料	841	
	事後処理機保守委託料	369	
	自治体クラウド運用支援・保守料	29,138	
	自治体クラウド共通化システム		
	後期高齢者医療システム		
	コンビニ交付システム ほか		
	中間サーバ端末更新委託料	351	
	システム標準化・共通化対応委託料	57,800	
	ガバメントクラウド接続設定委託料	1,268	
	使用料及び賃借料		21,525
	自治体クラウドシステム賃借料	19,195	
	自治体クラウド共通化システム		
	後期高齢者医療システム		
	基幹業務システム管理機器賃借料	132	
	個人番号系パソコン賃借料（77台）	2,198	
負担金補助及び交付金		6,977	
中間サーバ交付金			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
DX推進課	2	1	1	総合行政ネットワーク維持管理事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続し、国、県などとの行政手続事務のオンライン化に対応する。
-------	--

事業概要	電子自治体の基盤となる全ての都道府県及び市区町村を結ぶネットワークである総合行政ネットワーク（LGWAN）に接続するため、機器の賃借・保守委託を行う。
------	---

現状、背景、課題	e-Japan重点計画2002に基づき、地方自治体を結ぶ行政専用のネットワークとして平成15年度からLGWANが整備された。
----------	--

事業計画・効果	<p>国の定めたスケジュールに沿って、現行の第四次LGWANから第五次LGWANに移行する。移行にあたっては、回線冗長化（回線の二重化）など信頼性の向上を図る。</p> <p>・令和6年度 10月～12月 LGWAN接続ルータ更新、回線冗長化、第五次LGWAN移行</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称		
事業費		924	2,941	2,017					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	924	2,941	2,017					

令和6年度歳出内訳	委託料		2,560
	LGWAN回線冗長化委託料	1,500	
	LGWAN接続ルータ設定料	600	
	LGWAN用FW/UPS保守料	460	
	使用料及び賃借料		381
	次期LGWAN接続ルータ賃借料	280	
	既存LGWAN接続ルータ賃借料	101	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
DX推進課	2	1	1	庁内事務デジタル化事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	職員がDXを「自分ごと」として捉え、主体的に改革を実行でき、働き方を変えていける環境を目指すために、ペーパーレス化等を進め、事務作業などの効率化・コスト削減を図る。
-------	--

事業概要	庁内事務処理をデジタル化し、事務効率の向上を図るため、令和5年度に庁内ネットワークシステム（仮想デスクトップ環境、リモートワーク環境）の運用・保守、ペーパーレス化（文書管理・電子決裁システムの運用・保守、ペーパーレス会議環境整備）の導入を図った。
------	---

現状、背景、課題	令和3年9月に、庁内各部署の職員で構成する「デジタル化推進ワーキングチーム」を設置し、庁内でのデジタル技術活用策などの検討を行っている。 令和5年2月に、「境港市みんなが笑顔になるデジタル市役所計画（境港市DX推進計画）」を策定し、行政サービスのDXを推進している。
----------	--

事業計画・効果	<p>◇文書管理・電子決裁システム（令和5年度に構築） デジタル文書などをデータのまま管理・保存し、電子決裁により、文書の收受・起案・決定・施行の事務フローを全てデジタル化する。令和6年4月から運用開始予定。</p> <p>◇仮想デスクトップ環境・リモートワーク環境（令和5年度に構築） LGWAN接続系とインターネット接続系を1台の端末で利用する仮想デスクトップ環境を整備し、データはすべてサーバ上で管理する。仮想デスクトップ環境を活用し、場所を問わず庁内LAN（LGWAN接続系・インターネット接続系）の利用を可能にするためのリモートワーク環境を構築する。令和5年12月から運用開始、ただし、リモートワーク環境は令和6年4月から運用開始予定。</p> <p>◇RPA（Robotic Process Automation、ロボティック プロセス オートメーション） 定型的なパソコン操作などの事務作業を自動化するためのRPAシステムの運用管理。個人番号利用事務環境での運用に加え、LGWAN環境へ利用を拡大し、更なる業務効率化を図る。</p> <p>◇情報共有チャットツール LGWAN環境、インターネット環境のいずれからも利用可能なチャットツールを運用し、災害時などの情報共有の円滑化を図る。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		51,493	38,793	△ 12,700					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	51,493	0	△ 51,493					
一般財源		0	38,793	38,793					

令和6年度歳出入訳	旅 費		87
	地方自治情報化推進フェア		
	需 用 費		375
	ペーパーレス会議用消耗品 ほか		
	役 務 費		1,193
	ウェブ会議・リモートワーク用通信費 ほか		
	委 託 料		6,105
	文書管理・電子決裁システム保守・運用支援	5,940	
	ペーパーレス会議用パソコン設定	165	
	使用料及び賃借料		27,840
	仮想デスクトップ環境賃借料及び運用保守料	20,789	
	A I 議事録作成システム使用料	1,056	
	ウェブ会議用ライセンス	55	
	R P Aソフトウェアライセンス	4,356	
	情報共有チャットツール使用料	1,584	
備品購入費		3,193	
ペーパーレス会議用パソコン ほか			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
DX推進課	2	1	1	窓口改革推進事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	「書かない窓口」「迷わない窓口」を目指し、住民と職員の双方にとって負担の少ない快適な市役所窓口を実現する。
-------	---

事業概要	「書かない窓口」「迷わない窓口」を実現するため、市民課窓口受付番号発券機の導入、書かない窓口システム（らくらく窓口証明書交付サービス、申請書記入サポートシステム）の導入、カウンター・記載台等のレイアウト変更を行う。
------	---

現状、背景、課題	<p>令和5年8月に市民課、税務課などの窓口担当課長で構成する「窓口BPR推進プロジェクトチーム」を設置し、現状の窓口の課題整理・改善案をまとめた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初にどこに行ってもいいかわからない。 ・手続きを待っている人の順番がわからない。 ・どこに何を書けば良いのかわからない。 ・同じ情報を何回も書かないといけない。 <p>※BPR（Business Process Reengineering、ビジネス プロセス リエンジニアリング） 既存の組織や制度を抜本的に見直し、プロセスの視点で職務、業務フロー、情報システムなどをデザインし直すという考え方</p>
----------	--

◇書かない窓口・迷わない窓口に対応した窓口改善等
 本庁舎1階の市民課・税務課・収税課の窓口受付番号発券機を設置し、手続き待ちの順番がわかるよう案内する。
 ローカウンター化、パーテーション設置でわかりやすく、プライバシーに配慮した窓口改善する。

◇書かない窓口システムの導入
 【らくらく窓口証明書交付サービス】
 マイナンバーカードを利用し、コンビニ交付と同じ画面操作により、速やかな証明書（住民票、印鑑証明、税証明）の交付を図る。
 らくらく窓口証明書交付サービス対象の証明書の年間申請件数（約15,000件）のうち、利用率20%以上を目標とする。



【申請書記入サポートシステム】
 窓口でマイナンバーカードを読み取り、「氏名」「住所」「生年月日」「性別」が既に記入された申請書（各種証明書や戸籍謄本など）を発行する。同じ内容を何度も書く必要がなくなる。
 市民課窓口の年間申請件数（約24,000件）のうち、利用率10%以上を目標とする。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称	
事業費		0	12,313	12,313					
財源内訳	国庫支出金	0	5,297	5,297					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	7,016	7,016					

令和6年度歳出内訳	需用費					264
	カウンター撤去修繕（市民課）					
	役務費					66
	混雑状況配信サービス通信費					
	委託料					10,594
	窓口証明書交付サービス導入委託料				1,036	
	申請記入サポートシステム導入委託料・保守料				3,484	
	番号発券機導入委託料・保守料				5,464	
	混雑状況配信サービス導入委託料				610	
	備品購入費					1,389
窓口改修備品（市民課カウンター、椅子ほか）						

所 属	款	項	目	事業名	種 別
DX推進課	2	1	1	DX専門人材受入事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	DX専門人材を活用し、職員のITリテラシー強化とDX推進の意識を高め、市民の利便性向上と職員の業務効率化を図る。 ※ITリテラシー IT機器・ツールを使いこなす能力、インターネットを用いて情報収集する能力など
-------	--

事業概要	鳥取県が派遣を受け入れるDX専門人材（国の提供するDX人材紹介企業から派遣）を活用し、DX推進の課題に対応する。 ・オンライン支援：週に1～2回程度 ・対面支援：月に1回程度
------	---

現状、背景、課題	DXを推進し、市民の利便性向上と職員の業務効率化を図るためには、職員の意識改革やデジタル人材の育成が大きな課題であり、DXを組織内で効果的に推進できるDX専門人材の確保が重要となっている。一方でDX専門人材の確保は本市単独では困難な状況（高額なデジタル専門人材の人件費負担、全国的な専門人材不足など）にあることから、県と連携して取り組みを進める必要がある。
----------	--

事業計画・効果	DX専門人材を活用し、セキュリティ対策及びITリテラシー強化研修、標準準拠システム導入のサポートなど、デジタル人材の育成およびDXを効果的に推進する。 ・令和6年4～7月 人材派遣に係る協定書締結（県・市町村）、DX人材紹介企業との委託契約締結（県） 派遣人材の選定、派遣スケジュール等の整理 ・令和6年8月～ 派遣開始
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称	
事業費		0	1,334		1,334				
財源内訳	国庫支出金	0	0		0				
	県支出金	0	0		0				
	地方債	0	0		0				
	その他	0	0		0				
	一般財源	0	1,334		1,334				

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	1,334
	DX専門人材市町村派遣負担金	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総 務 課	2	1	5	公用車等維持管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(1)	持続可能な脱炭素社会の実現	
SDGs	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに				

事業の目的	主に本庁職員が使用する公用車（30台）を総務課で集中管理し、効率的な利用と、経費の縮減に努める。
-------	--

事業概要	総務課で集中管理している公用車の燃料費、修繕費、保険料、法定点検料、車両更新等の維持管理費 電気自動車（軽自動車）を1台更新
------	---

現状、背景、課題	普通車（出張用）は、13年または20万km、軽自動車は、14年もしくは15年または10万kmを目安に更新を行う。 [公用車の管理台数] 令和5年10月末現在 ・総務課管理 30台（うち電気自動車3台） ・他所管課管理 74台
----------	---

事業計画・効果	公用車を集中管理することにより、効率的に利用することで、経費縮減につながっている。現有車両の状況に応じ、年次的に公用車を更新する。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	10,072	9,703		△ 369		
財源内訳	国庫支出金	449	0	△ 449		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	2,200	2,200		
	その他	0	0	0		
	一般財源	9,623	7,503		△ 2,120	

令和6年度歳出入内訳	人件費（会計年度任用職員1人分）	1,246
	需用費（燃料費、修繕料（車検代）ほか）	4,099
	役務費（自動車損害共済分担金ほか）	818
	使用料及び賃借料（マイクロバスリース料）	740
	備品購入費	2,707
	電気自動車1台 公 課 費（自動車重量税）	93

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総 務 課	2	1	5	庁舎施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs					

事業の目的	経年劣化等による不具合等を防止するため、老朽化している庁舎建物及び設備の改修を行い、適切な維持管理を行う。
-------	---

事業概要	市役所庁舎の建物及び設備等の改修経費。 令和6年度は、本庁舎屋上防水補修工事、庁舎高圧受電設備更新工事などを実施する。
------	--

現状、背景、課題	本庁舎及び別館は、昭和36年の建築物であり、施設や設備に老朽化が見られる。 施設・設備の定期的な改修や更新が必要である。 屋上防水補修工事については、令和5年度に別館及び第2庁舎を実施している。
----------	---

事業計画・効果	本庁舎屋上防水補修工事 劣化している本庁舎の屋上防水を補修する。 塩ビシート防水張替、ウレタン防水増塗り、トップコート塗布ほか A=760㎡ 庁舎高圧受電設備更新工事 更新時期が来ている高圧受電設備の変圧器等を更新し、現在7台ある変圧器を2台に集約することで、省電力化を図る。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	15,455	27,727	12,272			
財源内訳	国庫支出金	938	0	△ 938		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	9,800	22,100	12,300		
	その他	0	0	0		
	一般財源	4,717	5,627	910		

令和6年度歳出内訳	委託料	1,932
	旧図書館防水及び外壁改修設計委託料	1,785
	PCB分析業務委託料	147
	工事請負費	25,795
	本庁舎屋上防水補修工事	10,549
	庁舎高圧受電設備更新工事	15,246

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	5	集会所改修事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン				4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備
				5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	市が整備した集会所（以下に規定）の大規模改修等を行い、施設の長寿命化を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・境港市集会所管理規則第2条（うち、中浜公民館集会所を除く） ・境港市農民研修会館管理規則第2条 ・境港市児童厚生体育会館管理規則第2条 ・境港市学習等供用施設条例第2条（うち、財ノ木地区学習等供用施設及び幸神地区学習等供用施設）
-------	--

事業概要	下水道接続及びトイレ改修、屋根改修、空調更新等の大規模改修を行う。清水町会館外2集会所について、屋根、エアコンなどの改修工事のほか、4集会所の耐震診断等を実施する。
------	--

現状、背景、課題	現在、市が管理する集会所（30集会所）で老朽化が進行し、修繕が必要となっているため、計画的に修繕を実施する。
----------	--

事業計画・効果	事業計画（令和6年度） ○清水町会館屋根改修工事 ○美保町会館エアコン取替工事 ○外江ふれあい会館下水道接続工事・広場入口付近舗装工事（設計） ○集会所の耐震対策 福定町会館（実施設計）、昭花会館（耐震診断） ※福定町会館、美保町会館、竹内町会館、昭花会館の耐震対策に年次的に取り組む。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称
事業費		577	14,573	13,996					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	7,500	7,500					
	その他	0	0	0					
	一般財源	577	7,073	6,496					

令和6年度歳出入内訳	委託料	4,700
	福定町会館耐震改修工事設計業務委託	2,103
	昭花会館耐震診断業務	2,597
	使用料及び賃借料	7
	有料道路等通行料（中四国防衛局協議）	
	工事請負費	9,866
	清水町会館屋根改修工事	7,997
美保町会館エアコン取替工事	1,869	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	2	1	5	夕日ヶ丘分譲地定期借地用地取得事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	夕日ヶ丘地区内の分譲地について、土地を購入するよりも少ない資金でマイホームの所有が可能となる定期借地権制度を導入することにより、販売促進や移住・定住の促進、街並み形成の促進を図る。
-------	--

事業概要	夕日ヶ丘分譲地を定期借地用地として貸し出すため、市が普通財産として境港市土地開発公社用地を取得する。合わせて、取得した定期借地用地の下水道受益者負担金を支出する。なお、当初予算では前年度に取得し定期借地契約を締結した土地に係る下水道受益者負担金を予算計上し、定期借地用地として土地開発公社から用地取得する経費は、契約状況に応じて補正予算で計上する。
------	--

現状、背景、課題	夕日ヶ丘分譲地には平成21年6月より定期借地権制度を導入し、現状では290件を超える分譲地の契約が成立し、住宅の建設が進み街並みが形成されるとともに、移住・定住の促進にも寄与している。令和4年度以降は、土地区画整理費特別会計の廃止に伴い、同制度による土地の購入は境港市土地開発公社の所有地のみとなっている。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> 夕日ヶ丘定期借地用地に係る下水道受益者負担金 R4.10～R5.10定期借地契約締結分 土地購入費 定期借地契約締結後に補正予算で計上
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	3,702	1,394		△ 2,308		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	3,702	1,394		△ 2,308	

令和6年度歳出内訳	負担金補助および交付金 下水道受益者負担金（10件分）
-----------	--------------------------------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	5	渡地区コミュニティ供用施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備
				5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	渡地区コミュニティ供用施設の整備により、各種コミュニティ活動の促進を図り、地域住民の連帯意識の高揚と豊かな地域社会の形成に資する。
-------	---

事業概要	整備に係る実施設計などの経費。 (A=100㎡)
------	-----------------------------

現状、背景、課題	渡漁港の埋立地に渡地区コミュニティ供用施設の整備を計画している。対象地域は渡町4区及び渡町5区。
----------	--

事業計画・効果	○渡地区コミュニティ供用施設の整備計画	
	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度 工事設計業務 A=100㎡ 令和7年度 新築工事 	

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		67,488	4,341	△ 63,147					
財源内訳	国庫支出金	26,592	0	△ 26,592					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	31,200	3,200	△ 28,000					
	その他	0	0	0					
	一般財源	9,696	1,141	△ 8,555					

令和6年度歳出内訳	委託料	4,327
	渡地区コミュニティ供用施設工事設計業務委託	
	使用料及び賃借料	14
	有料道路等通行料 (中国四国防衛局 概算要望、実施計画)	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	2	1	5	旧誠道小学校管理費（教育総務課）	継続
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	旧誠道小学校跡地の民間事業者による利用方法が決まるまで施設（体育館及び校庭）を維持管理する。
-------	--

事業概要	旧誠道小学校の体育館及び校庭を維持管理する。
------	------------------------

現状・背景・課題	誠道小学校は廃校となったが、体育館については既存利用者への貸出しを継続しており、校庭も地域の活動に限り貸し出しを行っている。今後、民間事業者による利用が決定した場合は、体育館及び校庭の利用についても変更される予定である。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・芝刈り委託業務 貸出を予定しているグラウンドについて適切な芝刈りを行うことによって、スムーズな引き渡しすることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・上期 芝刈り6回、処分車2台 ・下期 芝刈り2回、処分車2台 ・施肥5回
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		335	306	△ 29					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	335	306	△ 29					

令和6年度歳出内訳	需用費	159
	修繕料ほか	
	委託料	147
	芝刈り委託業務	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総 務 課	2	1	5	旧誠道小学校管理費（総務課）	継続
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	旧誠道小学校跡地の利活用方法が決まるまでの間、施設を適切に維持管理する。
-------	--------------------------------------

事業概要	令和2年3月末に廃校となった旧誠道小学校の校舎の維持管理費
------	-------------------------------

現状、背景、課題	誠道小学校は廃校となったが、校舎は一時的な利用が可能。現在、敷地及び建物の利活用に向け準備を進めている。
----------	--

事業計画・効果	民間事業者への施設貸付について協議中。 施設の円滑な利活用のため、施設を適切に維持管理する。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,120	1,585		△ 535	748	太陽光発電売電料
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	748	748		
	一般財源	2,120	837		△ 1,283	

令和6年度歳出内訳	需用費（光熱水費）	744
	役務費	195
	手数料（地下タンク清掃及び定期点検ほか）	139
	保険料（建物総合損害共済分担金）	56
	委託料（自家用電気工作物保安業務ほか）	618
	使用料及び賃借料（下水道使用料）	28

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	2	1	5	旧さかいポートサウナ管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
				2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	営業を停止後のさかいポートサウナ施設を維持・管理する。
-------	-----------------------------

事業概要	営業を停止後のさかいポートサウナ施設の維持・管理費。
------	----------------------------

現状、背景、課題	平成9年7月より、鳥取県が所有するみなとさかい交流館4階の当該施設を「さかいポートサウナ」として使用してきたが、令和4年6月末、施設の老朽化等で大規模な漏水が発生したため、さかいポートサウナの営業を停止した。当該施設の利活用については、令和4年8～10月のサウンディング型市場調査結果を基に、令和5年7～8月にプロポーザル方式による事業者の募集を実施したものの応募はなかった。また、鳥取県に譲渡・利活用を打診したところ、検討したが活用案がなかったとの回答を受けた。今後改めて利活用について検討を進めることとしている。
----------	--

事業計画・効果	旧さかいポートサウナ施設の維持・管理費
---------	---------------------

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		870	1,455	585	122			旧さかいポートサウナ施設占用料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	960			みなとさかい交流館駐車場使用料	
	県支出金	0	0	0	29			みなとさかい交流館駐車場自動販売機電力使用量	
	地方債	0	0	0					
	その他	870	1,111	241					
	一般財源	0	344	344					

令和6年度歳出内訳	需用費	1,007
	電気代	666
	駐車場街灯修繕料(LED化)	341
	役務費	6
	建物共済保険料	
	委託料	442
	施設警備等	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	2	1	6	米子鬼太郎空港利用促進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	米子鬼太郎空港が山陰の空の玄関口として発展するように、空港の利便性を高めるとともに、国内線・国際線の充実や利用促進を図る。
-------	---

事業概要	鳥取県や周辺自治体、民間と一体となり、駐車場無料化など、米子鬼太郎空港の利便性の向上や、国内線・国際線利用者への助成、チャーター便の誘致や定期路線の充実・安定運航に向けた要望活動など利用促進に取り組む。
------	---

現状、背景、課題	米子羽田便は1日あたり6便が運航されており、市民生活・地域経済に必要不可欠な航空路線となっている。今後もさらなる利用者の拡大に向け、路線のPR、各種の商品造成やチャーター便の誘致など、官民をあげての積極的な利用促進が必要。また、ソウル便・香港便・上海便も観光・ビジネス利用に加え、国際交流の推進に重要な役割を果たしており、引き続き、利用促進策を講じ、利用者の拡大に努める必要がある。
----------	---

事業計画・効果	<p>国際定期便利用促進協議会負担金 「米子ソウル便」、「米子香港便」、「米子上海便」の利用促進事業に係る負担金</p> <p>米子鬼太郎空港無料駐車場運営事業負担金 米子鬼太郎空港利用者の利便性向上を目的とした、空港駐車場の無料化と維持管理に係る負担金</p> <p>米子空港利用促進懇話会（特別）負担金 米子鬼太郎空港の利用促進事業を実施する米子空港利用促進懇話会に対する（特別）負担金</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		10,459	10,091	△ 368					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	10,459	10,091	△ 368					

令和6年度歳出内訳	旅 費		134
	負担金補助及び交付金		9,957
	国際定期便利用促進協議会負担金		4,478
	全体事業費	30,000 A	
	鳥取県	10,000 B	
	町村(15町村)	540 C	
	協定事業負担金等	1,110 D	
	4市負担額(A-B-C-D)	18,350 E	
	鳥取市(D×21.7%)	3,982	
	米子市(D×39.7%)	7,285	
	倉吉市(D×14.2%)	2,605	
	境港市(D×24.4%)	4,478	
	米子鬼太郎空港無料駐車場運営事業負担金		329
	全体事業費	10,900 A	
	月極収入	4,320 B	
	県・2市負担額(A-B)	6,580 C	
	鳥取県(C×85%)	5,593	
	米子市(C×10%)	658	
	境港市(C×5%)	329	
	米子空港利用促進懇話会特別負担金		5,000
	国内航空便利用促進事業		
	全体事業費	27,000	
	鳥取県(3/6)	13,500	
	米子市(2/6)	9,000	
	境港市(1/6)	4,500	
	国際チャーター便運航支援事業		
全体事業費	3,000		
鳥取県(3/6)	1,500		
米子市(2/6)	1,000		
境港市(1/6)	500		
米子空利用促進懇話会負担金		150	
会費(定額)会員数26団体			
経済団体	8団体		
地方自治体	12団体		
旅行業者等	6団体		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	みんなでまちづくり推進会議費	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	平成19年12月に設置の境港市みんなでまちづくり推進会議は、境港市みんなでまちづくり条例の実効性を確保するため、公募の市民、市民活動団体の代表、有識者などで構成され、市民活動推進補助金の審査、参加と協働の取り組み状況の評価、まちづくりを推進する協議等を行なっている。
-------	---

事業概要	「みんなでまちづくり推進会議」を年に6回開催し、市民活動推進補助金の審査、参加・協働の実施状況の評価、まちづくりを推進するための協議等を行う。
------	---

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成19年に制定したみんなでまちづくり条例は、市民参加によるまちづくりを推進する条例で、市民、市民活動団体、事業者、市が力を合わせて暮らしやすいまちを実現するための役割や責務などを規定するほか、審議会委員の公募やパブリックコメントの実施など、具体的な市民参加の機会を提供する方法などを明文化している。 みんなでまちづくり推進会議の設置根拠は、同条例第21条に規定。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> みんなでまちづくり推進会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ①まちづくりに関するテーマを決定し、テーマについて協議する会議を開催 年間6回を予定（境港市市民活動推進補助金審査会を含む。） ②境港市市民活動推進補助金審査会 年間4回を予定
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算		予 算		予算前年度比較	予 算	名 称	
事業費		250		250		0			
財源内訳	国庫支出金	0		0		0			
	県支出金	125		125		0			
	地方債	0		0		0			
	その他	0		0		0			
	一般財源	125		125		0			

令和6年度歳出入内訳	報酬		
	委員報酬	3千円×12人×6回	216
	報償費		
	アドバイザー報償費	17千円×1人×2回	34

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	コミュニティ助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備
				5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的
自治会等の団体におけるコミュニティ活動に直接必要な備品整備等の助成により、住民が自主的に行うコミュニティ活動を促進し、地域の連帯感を醸成するとともに、自治会・町内会等の健全な発展を図る。

事業概要
住民が自主的に行うコミュニティ活動を促進し、自治会をはじめとするコミュニティ組織の健全な発展を図るため、(一財)自治総合センターの助成制度を活用して自治会等に対する助成を行う。

現状、背景、課題
○令和6年度は、(一財)自治総合センターに対して、渡地区第18区自治会外2自治会が申請中。
○令和元年度から令和5年度までの実績は、年3件から4件が採択された。
・令和3～5年度実績
令和3年度 えびす自治会 2,500千円 折り畳みテーブル、イス用台車 他
小篠津町自治会 2,500千円 台車、テーブル、パソコン 他
外江地区みなみ自治会 1,200千円 エアコン、パソコン 他
令和4年度 美保町自治会 1,800千円 折り畳みテーブル、パイプ椅子 他
竹内町自治会 2,500千円 ビデオカメラ、パソコン 他
幸神町自治会 2,500千円 やぐら、テント 他
令和5年度 渡町11区自治会 2,500千円 折り畳みテーブル、座卓 他
三軒屋町自治会 2,400千円 折り畳みテーブル、テント 他
新屋町自治会 2,500千円 会議用テーブル、テント 他

事業計画・効果
○一般コミュニティ助成事業
地域の祭りや自治会の行事に使用する備品整備への助成。
・渡地区第18区自治会 2,400千円 折り畳みテーブル、座卓、折り畳みイス 他
・馬場崎町自治会 2,300千円 テーブル式鉄板焼き機、電動かき氷機 他
・東森岡自治会 2,500千円 折り畳みテーブル、丸イス、テント 他

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	7,500	7,200		△ 300	7,200	自治総合センター助成金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	7,500	7,200		△ 300	
	一般財源	0	0		0	

令和6年度歳出内訳
負担金補助及び交付金 7,200
一般コミュニティ事業 3件
・渡地区第18区自治会 2,400千円
・馬場崎町自治会 2,300千円
・東森岡自治会 2,500千円

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	市民活動推進事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	まちづくり条例第14条（お金の支援）の規定に基づき、社会貢献性のある市民活動の立ち上げなどを支援し、市民活動を促進することで、地域の特色を活かした活力のあるまちづくりの実現を図る。
-------	--

事業概要	市民が行う自主的で自発的な市民活動の活性化を図るため、社会貢献性のある市民活動の経費や花いっぱい運動に必要な経費などの一部を補助する。
------	---

現状、背景、課題	<p>補助メニュー及び限度額</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇新規設立事業 10万円（補助対象経費の10分の10） ◇緑化事業 6万円（補助対象経費の5分の4以内） ◇一般事業（1回目） 30万円（補助対象経費の3分2以内） ◇一般事業（2回目以降） 20万円（補助対象経費の2分1以内） <p>・補助金交付可否の審査は、みんなでまちづくり推進会議（公募委員、市民活動団体の代表、有識者等で組織）で実施している。</p>
----------	--

事業計画・効果	<p>・補助金の募集期間（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> 1回目 令和6年3月1日～3月15日 2回目 令和6年4月1日～4月15日 3回目 令和6年7月1日～7月16日 4回目 令和6年10月1日～10月15日
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	1,600		1,600	0		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	800	800	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	800	800	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金				
	○新規設立事業	10万円	×	1団体	100
	○一般事業	30万円	×	1団体	300
	2回目以降	20万円	×	3団体	600
	○緑化事業	6万円	×	10団体	600

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	市民活動センター運営事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市民活動及び市民と行政の協働のまちづくりを推進する場として市民活動センターを設置し、市民活動の活性化を図る。
-------	--

事業概要	市民活動及び市民と行政の協働のまちづくりの拠点として整備した市民活動センターの管理運営経費。
------	--

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動センターは、境港市みんなでまちづくり推進条例第15条で、市民活動団体などの活動や交流の拠点として位置づけ、必要な整備を行うものとしている。 ・平成18年3月に旧市民会館1階に開設、令和元年5月しおさい会館に移転、令和4年10月に旧市民図書館1階に移転。市民活動のためのスペースを拡大し、パソコン、印刷機等が利用できるなど市民活動の拠点として整備している。 ・センターの運営は、境港市民活動センター登録団体連絡協議会に委託。 ・市民活動センター登録団体（R6.2.1現在）は31団体 ※さかいみなとウインドアンサンブル、おはなしポケットの会、さつき川柳会など
----------	--

事業計画・効果	市民活動センターの運営を市民活動センター登録団体連絡協議会へ委託
---------	----------------------------------

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		3,635	3,715	80	138		印刷機使用料		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	132	138	6					
一般財源		3,503	3,577	74					

令和6年度歳出内訳	需用費	950
	消耗品費	174
	光熱水費	764
	修繕料	12
	役務費	104
	通信運搬費	99
	保険料	5
	委託料	2,642
	運営委託料（人件費：職員2人分）	2,425
	施設警備委託料	62
	施設清掃委託料	132
	消防施設保守委託料	23
	使用料及び賃借料	
	下水道使用料	19

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	鳥取県西部広域行政管理組合負担金(管理費)	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	鳥取県西部広域行政管理組合は、鳥取県西部地域の9市町村が、ごみ処理や消防事務などを共同処理をすることにより住民サービスの向上と経費削減を目的として昭和47年に設置。
-------	--

事業概要	鳥取県西部の9市町村のごみ処理をはじめ、消防事務などを共同で行なう「鳥取県西部広域行政管理組合」の管理費負担金。
------	--

現状、背景、課題	鳥取県西部広域行政管理組合の事業負担金の対象は、次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・総務費(2.1.6)…管理費(人権費など) ・民生費(3.1.3)及び介護特会…障がい認定や介護認定の審査会費 ・保健衛生費(4.1.1)…病院群輪番制 ・清掃費(4.2.1)…ごみ処理施設や最終処分場の整備等 ・消防費(9.1.1)…消防
----------	---

事業計画・効果	(令和6年度主な新規事業) <ul style="list-style-type: none"> ・旧灰溶融施設(エコスラグセンター)解体撤去事業 29,175千円 ・最終処分場用地取得事業 1,915千円 ・多面的活用事例調査事業 445千円 ・火災予防業務電子化事業 1,103千円 ・米子消防署伯耆出張所庁舎大規模改修事業 11,281千円
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		26,122	26,993		871		
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	26,122	26,993		871		

負担金補助及び交付金

26,993

(負担割合)

均等割20%、人口割80%

令和6年度歳出内訳

広域予算区分		令和6年度	令和5年度	増減率(%)
総務費(2.1.6)	管 理 費	26,993	26,122	3.3
民生費 (3.1.3) (介護特会)	障害認定審査会費	1,181	1,181	0.0
	介護認定審査会費	7,264	5,455	33.2
	小 計	8,445	6,636	27.3
保健衛生費(4.1.1)	病院群輪番制	4,491	4,491	0.0
清掃費(4.2.1)	最終処分費	44,183	117,196	△ 62.3
	ごみ処理施設建設費	10,530	8,878	18.6
	旧灰溶融施設管理費	3,984	179	2125.7
	小 計	58,697	126,253	△ 53.5
消防費(9.1.1)	管 理 分	377,694	345,409	9.3
	起 債 分	39,944	50,621	△ 21.1
	小 計	417,638	396,030	5.5
合 計		516,264	559,532	△ 7.7

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	ふるさと納税PR事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持
				2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）
SDGs	8	働きがいも経済成長も		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	ふるさと納税による寄附金は貴重な自主財源であり、寄附者に対して本市ならではの返礼品を贈ることで、広く寄附（ふるさと納税）を募るとともに、本市のPRを行い関係人口の拡大を図る。
-------	---

事業概要	本市へのふるさと納税について、寄附しやすい環境づくり、寄附者に対する地場産品の返礼品の充実、積極的にPR等を実施する。
------	---

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年4月ふるさと納税制度が導入され、それに伴い本市も「魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金」を設けるとともにPR活動を実施している。積み立てられた基金は、子育て支援、教育の充実、環境保全、観光振興、産業振興などの貴重な財源として、幅広く市民生活に活用されている。 令和5年度からふるさと納税受付業務の一部を外部委託し、返礼品の新規開拓や磨き上げに民間のノウハウを取り入れ、寄附額の増加や地場産品の魅力の発信力強化に取り組んでいる。
----------	---

事業計画・効果	<p>◆令和6年度ふるさと納税～新たな取り組み～</p> <ol style="list-style-type: none"> ポータルサイト制作及び受発注業務の外部委託の拡大 民間企業のノウハウを活用することで、ふるさと納税寄附額のさらなる拡大を目指す。 新規返礼品及び新規返礼品提供事業者の開拓 LR株式会社と事業者を訪問し、魅力ある返礼品を開拓し、寄附金額の増加を目指す。 ふるさと納税管理システムの移行（エッグシステム⇒ふるさと納税do） ふるさと納税doに移行し、一元管理することで、業務効率化を図る。 年度途中での返礼品内容の変更を都度可能に ふるさと納税制度変更や事業環境変化に柔軟に対応できるようにする。 寄附金額の下限1万円の緩和 寄附金額1万円未満の返礼品を検討、開発することで、新たな寄附者の獲得を促す。 返礼品カタログの改善 寄附金額順に並んでいた返礼品を蟹、魚介等のカテゴリーごとに整理し、返礼品を探しやすくする。 書類発送業務の外部委託を通年化 冬季のみ行っていた書類発送業務を通年化し、業務の効率化を行う。 広告費の活用 雑誌等の紙媒体よりも費用対効果が高いRPP広告（楽天市場内で検索されるキーワードに連動して上位に表示される広告）など、ポータルサイト上の広告に活用する。 クーポン活用及び情報発信の強化 楽天トラベルクーポンの導入や新聞社等のメディアへプレスリリースするPR Timesを活用した情報発信を行う。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		253,315	227,238		△ 26,077		
財源 内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	253,315	227,238		△ 26,077		

令和6 年度歳出 内訳	会計年度任用職員（2人分）						5,721
	需用費						113,468
	ふるさと納税返礼品代金					112,500	
	消耗品費（宛名ラベル、トナー等）					226	
	印刷製本費（パンフレット、郵便振替用紙等）					742	
	役務費						81,571
	通信運搬費					1,254	
	広告料					2,500	
	手数料（配送手数料、サイト利用手数料等）					77,817	
	委託料						26,392
	管理システム保守委託料					502	
	管理システム移行委託料					990	
	新システム運用支援委託料					396	
	ふるさと納税サイト委託料					17,053	
	受領証明書発送業務委託料					4,758	
	ワンストップ特例申請受付等委託料					1,153	
	オンラインワンストップ受付委託料					990	
	企業版ふるさと納税委託料					550	
	使用料及び賃借料						86
	プログラム使用料						

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	中海・宍道湖・大山圏域市長会負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(10)	地域資源を生かすための中海・宍道湖・大山圏域で連携した取組の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	中海・宍道湖・大山圏域は、圏域人口60万人を擁する、日本海側の主要都市圏である。圏域の振興と活性化を図り、魅力ある地域社会を形成するため、行政上の共通課題等についての連絡調整や共同事業（産業振興、観光振興、環境保全、連携と協働の4分野）を行う。
-------	--

事業概要	中海・宍道湖・大山圏域市長会は、松江市、出雲市、安来市、米子市及び境港市の5市（大山圏域町村はオブザーバー参加）で組織し、行政上の共通課題等についての連絡調整や共同事業に連携して取り組む。
------	--

現状、背景、課題	平成19年7月…中海圏域4市1町が県境を越えた連携強化のため「中海市長会」を設立 平成24年4月…出雲市及び大山圏域の町村を加え「中海・宍道湖・大山圏域市長会」を設立 平成28年…地方版総合戦略に沿い圏域の振興と活性化を促進するため松江市役所玉湯支所に事務局を設置 平成31年…一般社団法人 中海・宍道湖・大山圏域観光局が発足、共同事業（産業振興、観光振興、環境保全、連携と協働の4分野）に取り組んでいる。 ※令和6年2月より、松江市長が会長（副会長：出雲市長、境港市長 監事：安来市長、米子市長）
----------	---

事業計画・効果	事業内容 圏域内企業のビジネスマッチング、台湾・インドとの経済交流事業、自然環境の保全・活用事業、（一社）中海・宍道湖・大山圏域観光局への負担金など
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		9,755	9,899		144		
財源内訳	国庫支出金	0	511		511		
	県支出金	300	0		△ 300		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	9,455	9,388		△ 67		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金			
	事業費分			9,074
	婚活分			200
	人件費分			625
	(負担割合)			
	米子市：松江市：出雲市：安来市：境港市 = 4：4：4：1：1			
	自治体名	共同実施事業費分	人件費分	合計
	米子市	36,500	1,250	37,750
	松江市	36,500	1,250	37,750
	出雲市	36,500	1,250	37,750
安来市	9,274	625	9,899	
境港市	9,274	625	9,899	
合計	128,048	5,000	133,048	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	2	1	6	地籍調査事業	継 続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、あわせて地籍の明確化を図る。
-------	---

事業概要	一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置や面積の測量を行い、その結果を基に正確な地籍図と地籍簿の作成を行う。
------	---

現状、背景、課題	鳥取県内での地籍調査の実施状況・・・完了：2町村、実施中：17市町、境港市：平成27年度に着手。進捗率（令和4年度末）…国52%、鳥取県37.5%、境港市14.0%
----------	--

事業計画・効果	地籍調査は、土地の有効活用の促進、災害復旧の迅速化、境界紛争の未然防止等に効果が発揮される。 区画整理地など地籍が明確な区域を除き、市全域の調査期間は40年としている。																												
	<p style="text-align: center;">【令和6年度の調査区域】</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>調査区域</th> <th>面積</th> <th>筆数</th> <th>実施工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>渡町（その2）</td> <td>0.10km²</td> <td>527筆</td> <td>地積測定、原図作成、地籍簿・地籍図の作成、成果の閲覧</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>上道町（その3）</td> <td>0.10km²</td> <td>372筆</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>渡町（その3）</td> <td>0.10km²</td> <td>310筆</td> <td>測量（地籍図根、一筆地）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>花町・上道町</td> <td>0.09km²</td> <td>434筆</td> <td>一筆地調査（境界立会）</td> </tr> </tbody> </table>					No.	調査区域	面積	筆数	実施工程	1	渡町（その2）	0.10km ²	527筆	地積測定、原図作成、地籍簿・地籍図の作成、成果の閲覧	2	上道町（その3）	0.10km ²	372筆		3	渡町（その3）	0.10km ²	310筆	測量（地籍図根、一筆地）	4	花町・上道町	0.09km ²	434筆
No.	調査区域	面積	筆数	実施工程																									
1	渡町（その2）	0.10km ²	527筆	地積測定、原図作成、地籍簿・地籍図の作成、成果の閲覧																									
2	上道町（その3）	0.10km ²	372筆																										
3	渡町（その3）	0.10km ²	310筆	測量（地籍図根、一筆地）																									
4	花町・上道町	0.09km ²	434筆	一筆地調査（境界立会）																									

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		50,376	35,643		△ 14,733	21	各種証明書交付料金
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	36,035	25,308		△ 10,727		
	地方債	0	0		0		
	その他	17	21		4		
	一般財源	14,324	10,314		△ 4,010		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員2人分）	5,619
	報償費（地籍調査協力委員）	60
	旅 費	234
	需 用 費	1,101
	役 務 費	423
	委 託 料	26,086
	地籍調査事業測量業務委託料	24,188
	復元測量・過年度測量修正	1,898
	使用料及び賃借料	2,120
	調査用車両リース料	175
	地籍調査支援システムリース料	1,932
	有料道路等通行料	12
	駐車場利用料	1

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	鳥取県西部地域振興協議会負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(10)	地域資源を生かすための中海・宍道湖・大山圏域で連携した取組の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	鳥取県西部地域の9市町村の活性化と圏域市町村の均衡ある発展を促進し、圏域住民の福祉の向上を図る。
-------	--

事業概要	鳥取県西部地域の9市町村が連携して地域振興に取り組むため組織した鳥取県西部地域振興協議会の運営経費に係る負担金
------	---

現状、背景、課題	平成4年度に発足。人口減少の抑制のための移住定住事業、国・県への要望活動等を構成市町村で協力しながら実施し、県西部地域の振興に取り組んでいる。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> 1 各種会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会 1回程度 ・幹事会 1回程度 ・連絡会議 2～3回程度 2 要望活動 <ul style="list-style-type: none"> ・国・県要望 7月中旬 3 意見交換会 <ul style="list-style-type: none"> ・西部総合事務所との意見交換 2月頃 4 婚活に関する連携（新規） <ul style="list-style-type: none"> ・婚活担当者会議の開催 ・えんトリーと連携した婚活事業の実施
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		46	126	80					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	46	126	80					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 (負担割合) 均等割20%、人口割80%	126
※令和6年度が増となっている理由は、令和5年度予算の負担額が、新型コロナウイルス感染症の影響による繰越金を勘案して減額調整されていたこと等による。		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	2	1	6	高校生通学費助成事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	通学費を理由に、子どもたちが希望する高等学校への通学をあきらめることがないよう、保護者に支援する。
-------	---

事業概要	境港市在住の県内高等学校等へ通学する生徒に通学費を助成する。
------	--------------------------------

現状、背景、課題	公共交通機関の定期券を購入し、自宅から県内高等学校等に通う生徒の保護者に月額7,000円を超える部分を助成している。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生通学費助成事業補助金 月額7千円を超える部分について助成を行う。 ・R5年度実績見込7人 297,286円
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	458	298		△ 160	149	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	229	149	△ 80		
	地方債	0	0	0		
	その他	229	149	△ 80		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 高校生通学費助成補助金	298
-----------	---------------------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	2	1	6	空家利活用移住定住奨励金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(4)	空家の利活用などによる地域の賑わいづくり	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市内への移住希望者が空家を利用しやすくすることで、県外からの移住定住を促進するとともに、空家の利活用の促進を図る。
-------	---

事業概要	空家利活用流通事業補助金により改修された建築物を利活用する県外からの移住者に対して、奨励金（定額20万円）を支給する。
------	---

現状、背景、課題	市内に約800件ある空家を解消する施策のひとつとして、令和3年度に空家利活用流通促進事業補助制度を創設するとともに、県外からの移住定住促進策として奨励金制度を創設。令和3年度1件、令和4年度3件、令和5年度1件の支給実績。 空家を利活用する人は、移住者に限らないことや、移住者が必ずしも空家に居住する訳ではないので、支給件数は多くない。
----------	---

事業計画・効果	令和6年度はこれまでの実績等を勘案し、3件分の奨励金を予算計上する。（200千円×3世帯）移住定住者及び空家の利活用を促進する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,000	600		△ 400	300	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	500	300	△ 200		
	地方債	0	0	0		
	その他	500	300	△ 200		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 3件分
-----------	-------------------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	境港出会い応援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを		17	パートナーシップで目標を達成しよう

事業の目的	人口減少が進む中で、子どもを産み・育てやすい環境の整備に加えて、結婚・出産・子育ての前段階である「出会い・婚活」に対する支援を行うことにより、本市の将来人口増加の一助とする。
-------	---

事業概要	結婚・出産・子育ての前段階である「出会い・婚活」に対し、鳥取県が設置するとっとり出会いサポートセンター「えんトリー」を活用した支援を行う。
------	---

現状、背景、課題	本市人口ビジョン(令和2年2月)では、令和22年に総人口が27,078人まで減少すると見込んでおり、特に年少人口(14歳以下)と生産年齢人口(15~64歳)が大きく減少する。 (令和5年度実績※1月末時点) ・登録料応援金 11件 ・お見合い応援金 4件 ・縁結び仲人成果報酬支給補助金 0件
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・出会い応援金 「えんトリー」の登録料1万円(2年間有効)を全額補助する。※1人1回限り ・お見合い応援金 お見合い時のサポーター料1千円を補助する。 ・仲人応援金 縁結びナビゲーターが成婚させた際に成果報酬として、成婚1件につき3万円を支給する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		0	430	430					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	30	30					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	400	400					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金			
	負担金	登録料応援金	@10,000円×35人	350
	補助金	お見合い応援金	@1,000円×20人	20
		縁結び仲人成果報酬支給補助金	@30,000円×2件	60

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	移住定住支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(4)	空家の利活用などによる地域の賑わいづくり	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的
本市への移住及び定住を促進し、地域の活性化や人口増加を目指す。

事業概要
本市への移住者及び移住希望者に対する相談支援などを実施。併せて、地方創生移住支援金など、鳥取県と協力して対象者に支援金を支給する。

現状、背景、課題
・社会減（転出者数が転入者数より多い状況）に歯止めをかけるためには、若者や子育て世代の定住先として本市が選ばれたり、首都圏からの移住者を増やすため、本市の魅力をPRする都市圏での移住相談会への参加などが必要である。
・移住を検討される方への情報提供やお試し滞在支援をはじめ、移住に係る各種支援金の給付、移住者交流による仲間づくりなど幅広く施策を展開することで、移住及び定住を促進する。

事業計画・効果
(事業内容)
・地方創生移住支援金
東京23区に5年以上在住または、東京・神奈川・千葉・埼玉県内在住で東京23区の企業に勤務した者が、鳥取県に移住し県が定める中小企業等に就職もしくは、起業した場合及び地方へ移住し引き続き業務をテレワークで実施する場合等に支援金を交付（見込：1世帯）
・本社機能移転による移住支援金
鳥取県の支援を受けた企業の本県への本社機能の移転等に伴い県内での勤務を命じられた者が、市内に移住する場合に移住に要する経費の一部を助成する（見込：1人）
・新しいふるさとでのライフステージ支援補助金
39歳以下の若年層を対象として、結婚や出産を契機に県外から本市への転入を促進するための補助金（見込：5人）

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		4,300	3,300	△ 1,000					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	2,900	2,150	△ 750					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	1,400	1,150	△ 250					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金			
	・地方創生移住支援金	@2,000,000円×1世帯		2,000
	・本社機能移転による移住支援金	@300,000円×1人		300
	・新しいふるさとでのライフステージ支援補助金	@200,000円×5人		1,000

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	6	高等学校学生寮運営事業費補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	県外や県東部等からの生徒を積極的に受け入れ、境高校、境港総合技術高校及び本市の地域活性化と将来の地域産業を担う人材の育成を図る。
-------	--

事業概要	境高校及び境港総合技術高校に通学する生徒を対象に民間団体が設置する学生寮について、その運営経費を、県と共に支援する。 ※鳥取県立境高等学校・境港総合技術高等学校民間団体運営学生寮運営事業補助金交付要綱に基づく学生寮の運営事業費補助
------	--

現状、背景、課題	多くの人材を輩出している境高校及び境港総合技術高校においては、学生が居住できる寮が整備されていない。そのため、県外や県東部等からの生徒を受け入れ、境高校、境港総合技術高校及び本市の地域活性化と将来の地域産業を担う人材の育成を図るため、学生寮の運営に係る経費を支援する。
----------	--

事業計画・効果	運営経費内訳 ・エアコン等の設備整備費 1/2 ・下宿先に配置する管理人の人件費 1/2
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		0	451	451	451				魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	451	451					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出入内訳	負担金補助及び交付金			
	高等学校学生寮運営事業費補助金			451
	施設整備費（インターネット回線等）	381,436円×1/2		191
	人件費	520,000円×1/2		260

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	2	1	9	自主防災組織育成補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(7)	地域防災力の強化・充実
				4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実
SDGs	2	飢餓をゼロに		3	すべての人に健康と福祉を
	6	安全な水とトイレを世界中に		11	住み続けられるまちづくりを

事業の目的	地域単位での自主防災組織の育成を促進し、災害発生時の地域住民の協力（共助）意識の向上を図る。
-------	--

事業概要	自主防災組織が行う資機材整備や訓練活動等に対し、補助金を交付する。また、地域防災のリーダー役として、自主防災組織で中心的な役割を担える防災士育成のため、資格取得経費を負担する。
------	--

現状、背景、課題	大規模災害時は、公助機能が十分機能しないことが想定されるため、共助や自助機能の充実が不可欠となっている。特に発災直後の避難誘導や初期消火等は、共助機能が大きな役割を果たすため、組織の自主的な訓練活動を支援し、共助機能の充実を図る必要がある。
----------	--

防災士養成講座受講負担金（10人分）
 ◆平成26年度（開始）～令和4年度 累計76人
 訓練活動費等補助金（16団体想定）

区 分	補助基準額
1 防災訓練等に関する事業を実施した場合、年間参加人数に応じて右の金額 ・防災訓練 ・防災に関する研修会、講演会	参加者50人以下の場合 : 20,000円
	参加者50人以上100人以下の場合 : 30,000円
	参加者101人以上の場合 : 40,000円
2 その他、防災に関する事業のみ実施した場合 ・防災関連資機材の購入、管理 ・防災に関する啓発資料の作成、配布	20,000円
※ 1と2を重複した申請はできない。	

事業計画・効果

資機材整備費補助金（新規結成団体等）

結成年数	金額（上限額）
結成時	次の各号に掲げる額の合計額、ただし20万円を上限とする。 ・均等割4万円 ・世帯割400円に自主防災組織の結成時における当該組織の母体となる自治会の加入世帯数を乗じて得た額
5年以上	5万円
10年以上	10万円
15年以上	15万円
20年以上	20万円
※ 結成から15年経過した自主防災組織が補助金の交付を申請する場合、結成から5年経過時に既に5万円の交付を受けていた場合は、15万円－5万円＝10万円が交付上限となる。	

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	1,068	1,075	7		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	208	293	85	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	860	782	△78	

令和6年度歳出内訳	負担金	185
	地域防災活動指導者（防災士）養成講座受講負担金	
	補助金	890
	訓練活動費等補助金（16団体見込み） 平均補助額25,000円×16団体	
	資機材整備費補助金（新規結成団体等） 新規団体結成時（2団体分：140千円） 結成後5年以上（2団体分：150千円+200千円）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	2	1	9	コミュニティ助成事業（自主防災組織育成助成事業）	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(7)	地域防災力の強化・充実
				4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実
SDGs	2	飢餓をゼロに		3	すべての人に健康と福祉を
	6	安全な水とトイレを世界中に		11	住み続けられるまちづくりを

事業の目的	防災資機材整備の助成制度を設けることで、自主防災組織の防災活動の取り組みを活性化し、地域防災力の向上を図る。
-------	--

事業概要	（一財）自治総合センターが行うコミュニティ助成事業のうち、自主防災組織育成助成事業を活用し、自主防災組織が行う地域の防災活動に必要な備品等の整備に対する助成。
------	---

現状、背景、課題	<p>災害の被害を最小限に抑える為には、自助・共助・公助それぞれが災害対応能力を高めて、連携することが大切であり、阪神淡路大震災時のこれらの割合は、自助・共助・公助＝7：2：1とされている。</p> <p>自主防災組織の活動を支援することで、地域の防災力の向上、地域での共助の理解促進が図られる。自主防災組織団体数 51 団体（令和5年4月1日現在）</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>自主防災組織コミュニティ助成金 2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆申請団体数2 団体 ◆主な申請品目及び金額 <ul style="list-style-type: none"> A 団体：除雪機、チェーンソー、発電機等 B 団体：リヤカー、車いす、トランシーバー等 ◆近年の採択件数 <ul style="list-style-type: none"> 令和元年：1 件 令和2年：採択無し 令和3、4年：申請なし 令和5年：1 件 <p>自主防災組織の活動を支援することで、地域の防災力向上を図る。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	3,300		4,000	700	4,000	自治総合センター助成金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	3,300		4,000	700	
	一般財源	0		0	0	

令和6年度歳出内訳	<p>負担金補助及び交付金 4,000</p> <p>申請2 団体分（1 団体当たり：2,000千円（上限））</p>
-----------	---

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	2	1	9	被災者支援システム導入事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

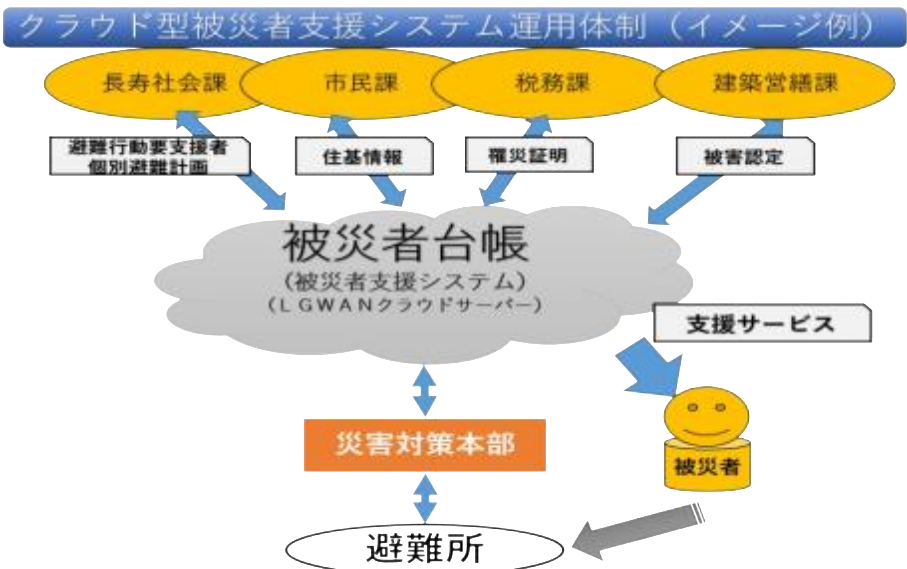
事業の目的
 令和6年1月1日に発生した能登半島地震や津波はもとより、近年、豪雨などによる大規模自然災害が頻繁に発生しており、被災自治体は待ったなしで被災者支援の取り組みが必要となる。そこで、平常時には避難行動要支援者名簿、個別避難計画の作成、災害発生時には、住民基本台帳データを活用した被災者台帳の速やかな作成、マイナンバーカードを利用し遠隔地からの被災者支援手続きのオンライン申請やコンビニでの罹災証明の交付が可能となる「被災者支援システム」を県内市町村で共同導入、被災者支援業務の迅速化・効率化及び被災者の利便性向上や負担軽減を図る。

事業概要
 災害発生時等での被災者支援に関するシステム。県内全ての市町村が導入運用するシステム（内閣府クラウドシステム）を構築する経費。

現状、背景、課題
 令和4年度から、鳥取県及び県内市町村で協議を行った結果、国が推奨する内閣府のクラウド型システムを導入するに至った。県内で統一したシステムを導入することで、調達コストの縮減につながった。

事業計画・効果

システム導入費用
 ◆委託料



クラウド型被災者支援システム運用体制（イメージ例）

長寿社会課
 避難行動要支援者
 個別避難計画

市民課
 住基情報

税務課
 罹災証明

建築営繕課
 被害認定

被災者台帳
 （被災者支援システム）
 （L GWANクラウドサーバー）

支援サービス

被災者

災害対策本部

避難所

平常時には避難行動要支援者名簿、個別避難計画の作成、災害発生時には、住民基本台帳データを活用した被災者台帳の速やかな作成、マイナンバーカードを利用した遠隔地からの被災者支援手続きのオンライン申請やコンビニでの罹災証明の交付が可能となる「被災者支援システム」を県内市町村で共同導入することで、被災者支援業務の迅速化・効率化及び被災者の利便性向上や負担軽減が図られる。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		0	763	763		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	763	763		

令和6年度 歳出内訳	委託料					763
	システム導入業務 連携プログラム作成業務					

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	2	1	10	環日本海拠点都市会議費	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(8)	多文化共生社会の実現
				2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興
				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
				2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進
				2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）
SDGs	1	貧困をなくそう		8	働きがいも経済成長も
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	国際交流や経済・観光分野について積極的な議論を行うことで、環日本海交流の推進を図る。
-------	--

事業概要	日本・中国・韓国・ロシアの環日本海地域にある都市が一堂に会し、相互の連携を強めるとともに圏域の一体的な発展について意見を交わす。
------	--

現状、背景、課題	平成6年より参加各都市の持ち回りで会議を開催し、国際交流だけでなく、経済や観光分野についても積極的な議論が行われるなど、環日本海交流における重要な会議となっている。構成都市は、日本3（境港・米子・鳥取）、中国3、韓国3、ロシア2の計11都市。近年は新型コロナウイルス感染症の感染拡大による渡航制限等の理由によりオンラインも交え開催している。
----------	--

事業計画・効果	<p>経済交流、観光交流を中心とした環日本海地域の一体的な発展方策について、参加都市の首長が議論を行うとともに都市間交流の促進を図る。</p> <p>第28回環日本海拠点都市会議 開催市 日本・鳥取市（オンライン） 事業費 5,610,000円</p> <p>※本市で主催した第21回会議（H27年開催）より、日本開催時の事業費を開催市1/3、共催2市1/3、鳥取県が1/3を負担することで開催時の負担軽減を図ってきたが、第28回会議では鳥取県の補助がなくなったことから、鳥取県が負担していた1/3を3市で負担する。</p> <p>開催市 1/3 → 4/9 2,494千円（鳥取市） 鳥取県 1/3 → なし 共催2市 1/3 → 5/9 1,558千円×2市（米子市、境港市）</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	689		1,558	869		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	689		1,558	869	

令和6年度歳出入内訳	負担金補助及び交付金 共催市負担金	1,558
------------	----------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	2	1	10	国際交流員招致事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(8)	多文化共生社会の実現
				2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興
				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
				2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進
				2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）
SDGs	1	貧困をなくそう		8	働きがいも経済成長も
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	中国吉林省琿春市とベトナムから国際交流員を招致し、友好都市である琿春市との交流を推進するとともに、近年増加しているベトナム人等外国人市民の支援や情報発信等を行うことで、地域の国際交流と多文化共生を推進する。
-------	---

事業概要	友好都市である中国吉林省琿春市やベトナムから国際交流員を招致し、中国語・韓国語・ベトナム語の通訳や翻訳に対応するとともに、各種事業や取り組みについて企画・立案・情報発信等行う。
------	--

現状、背景、課題	平成7年に琿春市から、令和3年からベトナムから国際交流員の受け入れを開始。語学講座の講師や、通訳、翻訳等を行っているほか、民間交流団体や学校等が実施する国際化・異文化理解のための交流行事等へ参画している。また、ベトナム人を中心に外国人市民が増加しており、外国人市民からの相談対応や情報発信等多言語での対応を必要とする場面も増え、外国人が安心して生活できる環境の整備が必要である。
----------	---

事業計画・効果	ベトナムと中国・琿春市から招致した2人が国際交流員として、地域の国際交流と多文化共生の推進を図る。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	11,280	10,705	△ 575	660	国際交流員家賃負担金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	660	660	0		
	一般財源	10,620	10,045	△ 575		

令和6年度歳出内訳	人件費（国際交流員2人）	8,855
	旅費	350
	需用費	2
	役務費	27
	国際交流員宿舍更新	
	使用料及び賃借料（国際交流員宿舍）	1,200
	国際交流員宿舍借上料	
	負担金補助及び交付金	271
	人員割会費	184
	JET傷害保険負担金	51
集合研修負担金	17	
CIR中間研修負担金	19	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	2	1	10	外国人材地域交流事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(8)	多文化共生社会の実現
				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
				2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進
				2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）
SDGs	1	貧困をなくそう		8	働きがいも経済成長も
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	外国人材と地域住民等との交流を促進し、外国人材の日本文化への理解、日本語能力の向上を図るとともに、地域住民の外国人材に対する理解を深め、安心して地域生活を送れるよう、受入企業・行政が連携して交流事業を実施する。
-------	---

事業概要	外国人材と地域住民等との交流を促進するため、交流会等の実施及び支援を行う。
------	---------------------------------------

現状、背景、課題	2023年10月末現在、市内には590人の外国人が居住しており、そのうち378人が技能実習生等で、多くが数年間居住している。外国人材の増加や滞在期間の長期化も想定される中、外国人が安心して地域生活を送れる環境整備が求められている。外国人材が地域住民と接する機会が多いとは言えず、相互理解を深めることができる機会が必要である。
----------	--

事業計画・効果	外国人材と地域住民等との交流を促進し、外国人材の日本文化への理解や地域住民の外国人材への理解を深めるため、年2回交流会を実施する。 【交流会の内容】着物着付け・料理・書道などの体験
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	280		280	0	280	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	280	280	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	需用費	60
	委託料	220
	着付委託料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	2	1	10	多文化共生推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(8)	多文化共生社会の実現
				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
				2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進
				2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）
SDGs	1	貧困をなくそう		8	働きがいも経済成長も
	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	市内に居住または市内で働く外国人が日本や地域を理解を深めるとともに、日本人住民の外国人に対する理解を深めることで、外国人が地域へ溶け込むことを推進し、お互いが安心して地域生活を送るための環境整備を図る。
-------	---

事業概要	外国人と日本人の相互理解を推進し、安心して地域生活を送るための環境を整備する。
------	---

現状、背景、課題	2023年10月末現在、市内には590人の外国人が居住しており、そのうち378人が技能実習生等で、多くが数年間居住している。外国人材の増加や滞在期間の長期化も想定される中、コミュニケーションの手段である日本語能力を向上させる日本語教室の開催や多言語対応等、外国人が安心して地域生活を送れる環境整備が必要である。
----------	---

事業計画・効果	外国人が安心して地域生活を送るための環境を整備するため、日本語クラスや国際交流員による料理教室に加え、令和6年度は新たにスピーチコンテストを開催して、日本人と外国人との相互理解を深める。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	569		574	5	20	多文化料理教室参加費
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	548	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	562		568	6	
	一般財源	7		6	△1	

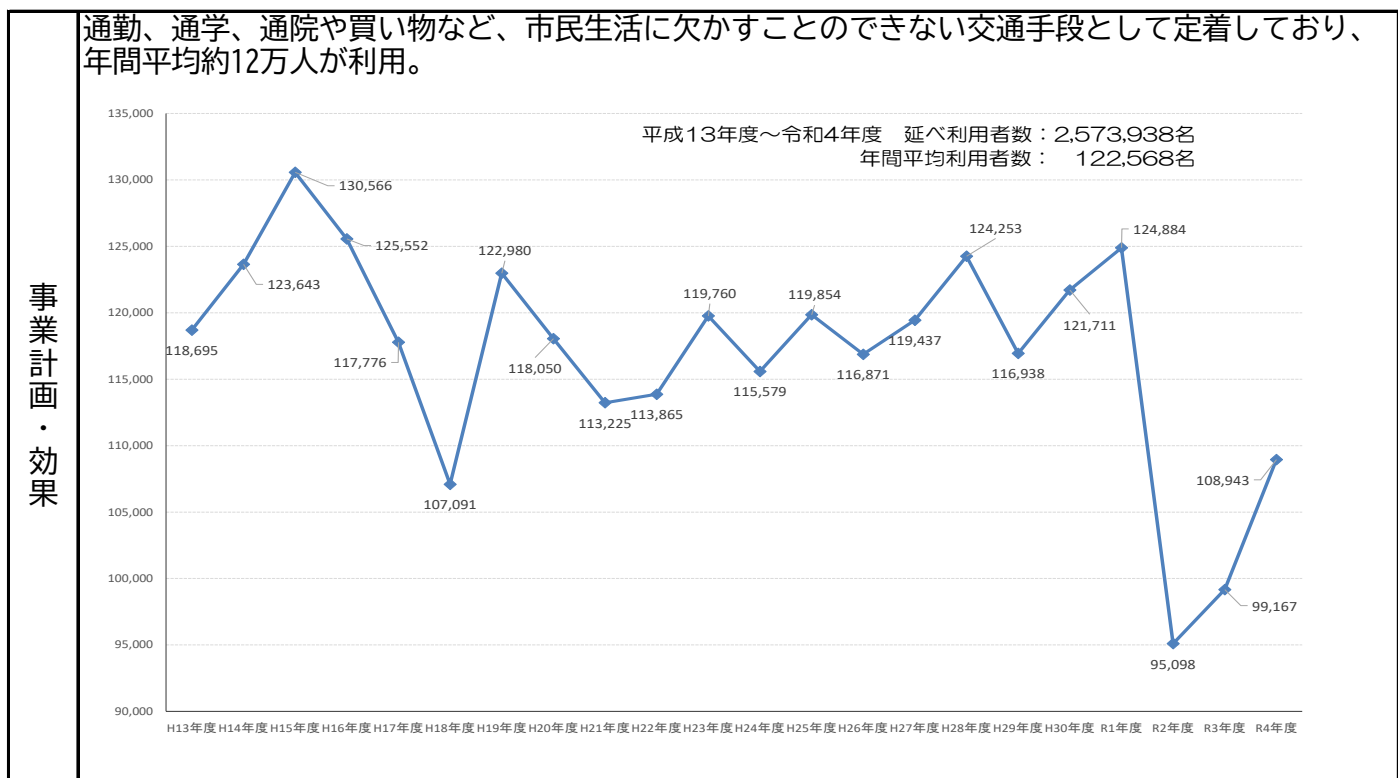
令和6年度歳出内訳	報 償 金	377
	アドバイザー（2人）	62
	コーディネーター（4人）	177
	日本語教室講師	98
	講座講師等	40
	需 用 費	179
	消耗品費（教材、材料等）	80
	印刷製本費（生活マップ）	99
	役 務 費	6
	多言語音声翻訳機通信費	
使用料及び賃借料	12	
会場等借上料		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	2	1	11	市民バス運行事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的 主に高齢者など、自家用の交通手段がない市民のために、公共交通機関の確保を図る。

事業概要 市民の生活交通路線として、市内全域を循環する境港市民バス（はまる一ぷバス）の運行事業。

現状、背景、課題 境港市民バスは、民間路線バスの廃止や市内全域の交通不便を解消するために平成13年度から運行開始した。一日あたり4系統各9便の運行。主に高齢者の通院及び買い物の際の交通手段として利用されている。また、観光客の2次交通としても利用されている。



歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		68,074		67,352	△ 722	8,269	市民バス使用料
財源内訳	国庫支出金	0		0	0	324	市民バス広告収入
	県支出金	12,730		14,148	1,418		
	地方債	0		0	0		
	その他	8,407		8,593	186		
	一般財源	46,937		44,611	△ 2,326		

令和6年度歳出内訳	報償費		48
	報償金	境港市地域公共交通会議委員報酬 3,000円×16人	
	旅費		162
	需用費		13,102
	消耗品費		30
	燃料費		12,931
	印刷製本費		91
	修繕料		50
	役務費		93
	委託料		53,681
	はまるーぷバス運行業務		
	委託先：(株)共立ソリューションズ		
	使用料及び賃借料		32
	土地借上料 (JR境港駅バス停)		
公課費		234	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	2	1	11	市民バス整備事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	市民の公共交通機関として安全で安定した市民バス運行事業を実施するため。
-------	-------------------------------------

事業概要	境港市民バスの安全で安定した運行を行うために車両更新を行う。
------	--------------------------------

現状、背景、課題	生活コースが運行する道路の幅が狭く、すれ違い等に支障があり、利用者もメインコースより少ないことから、車両を小型化し運行の安全性を高める。メインコースは引き続き従来からの車両を使用して運行し耐用年数の経過、走行距離等を勘案し、順次車両の更新を行う。
----------	---

事業計画・効果	ワゴンタイプの車両（14人乗：乗客人数12人）を2台導入し、幅員の狭い生活コースの利用者が比較的少ない3～9便に使用する。 生活コースの1～2便は、通勤、通学、通院の利用者が多いため、従来の車両（28人乗：乗客人数27人うち座席15人）を使用する。 小さい車両を導入することで、対向車とのすれ違いや積雪時の安全性を向上させる。 また、ワゴンタイプの車両で運行を行うことで、今後導入を検討しているA I デマンド交通の効果や課題について整理する。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	24,829		1,664	△ 23,165		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	6,485	0	△ 6,485		
	地方債	0	0	0		
	その他	18,344	0	△ 18,344		
	一般財源	0	1,664	1,664		

令和6年度歳出内訳	使用料及び賃借料 自動車借上料（2台分） 7か月（9月～3月）分	1,664
-----------	-------------------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	12	男女共同参画施策推進事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(4)	子育てと仕事の両立の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を		4	質の高い教育をみんなに
	5	ジェンダー平等を実現しよう		8	働きがいも経済成長も

事業の目的	令和5年11月に策定の第4次境港市男女共同参画推進計画(令和6年度～令和10年度)を推進し、男女共同参画社会の実現を目指す。
-------	--

事業概要	境港市男女共同参画センター（なぎさ会館内）の運営、各種啓発事業、境港市男女共同参画推進審議会等により、境港市男女共同参画推進計画を推進する。
------	--

現状、背景、課題	男女共同参画社会の実現には、社会や家庭での長年にわたる固定的性別による役割分担意識を解消していく必要がある。境港市男女共同参画センターを運営し、男女共同参画社会を推進する市民団体の活動を支援するほか、境港市男女共同参画推進審議会において境港市男女共同参画推進計画の進捗管理や見直し等を行う。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○男女共同参画推進審議会 <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 令和6年8月、令和7年2月頃 ・内容 男女共同参画推進計画の実施内容の審議ほか ○男性の家事・育児促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・パパ向け料理チャレンジ教室 <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 令和6年9月頃を予定 ・開催場所 市保健相談センター ・周知方法 市報、ホームページ、公共施設にポスター掲示、妊娠届出時個別案内など ・内容 パパ向け料理教室、アフターフォローの簡単具材セット及びレシピの配送（3回分） ・パパ向け育児サポートガイドブック配布 <ul style="list-style-type: none"> ・配布方法 妊娠届出時に全家庭に配布 ・内容 家事・育児の具体的なアドバイス紹介、男性の育休等の情報提供
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	843		558	△ 285	1	私用電話料
財源内訳	国庫支出金	253	0	△ 253		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	1	1	0		
	一般財源	589		557	△ 32	

令和6年度歳出内訳	報酬		48
	委員報酬	3千円×8人×2回	
	報償費		54
	講師謝金（2回分）、託児		
	需用費		295
	消耗品費		185
	料理教室 食材費、育児サポートガイドブックなど		
	印刷製本費		110
	男女共同参画推進計画 児童版パンフレット		
	役務費		100
	通信運搬費		
	電話・インターネット料 （境港市男女共同参画センター分）		
使用料及び賃借料		11	
負担金補助及び交付金		50	
交付先：境港市女性団体連絡協議会			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	13	境港市防犯協議会補助金	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	防犯意識の高揚と防犯活動を協力して推進し、市民が安心して暮らすことのできる安全な地域社会の実現を図る。
-------	---

事業概要	防犯意識の高揚と防犯活動の推進、また少年健全育成活動を行っている境港市防犯協議会の活動を支援するための補助金を交付する。さらに防犯カメラの適切な運用を行う。
------	--

現状、背景、課題	行政や警察、地域住民団体や民間企業組合などで構成された防犯協議会では、市民の防犯意識の高揚を図る活動や青少年健全育成活動を実施し、安全安心なまちづくりを推進している。また、犯罪の未然防止や抑止のための防犯カメラを設置し、適切に維持管理を行っている。
----------	--

事業計画・効果	<p>○境港市防犯協議会運営補助金（600千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 通常経費（会議費、事務費、広報費、防犯カメラ電気代・保険料など） <p>○防犯カメラ 機器入替分補助金（3,822千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 平成26年度設置の防犯カメラ3台分の機器入替及び専用パソコンの購入 場所 JR上道駅、余子駅、中浜駅周辺 実施時期 令和6年11月頃予定 <p>○広報塔基礎撤去費用分補助金（1,573千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容 佐斐ノ神町 R431沿いにあった広報塔の基礎撤去費用 実施時期 令和6年10月頃予定
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		600		5,995	5,395		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	600		5,995	5,395		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 交付先：境港市防犯協議会	5,995
-----------	----------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	2	1	13	境水道渡船代替バス運行事業負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(10)	地域資源を生かすための中海・宍道湖・大山圏域で連携した取組の推進	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	平成19年に廃止された境水道渡船の代替交通手段としての生活路線バスである松江市コミュニティバス(美保関線)を運行し、美保関-境港間の交通手段を確保する。
-------	--

事業概要	美保関-境港間を運行する松江市コミュニティバス(美保関線)の運行経費から運賃収入を引いた差額について、両市の利用者割合に応じた負担を行う。
------	---

現状、背景、課題	平成19年度に廃止された境水道渡船の代替交通手段として同年に運行開始。美保関(宇井渡船場)から境港(境港駅・済生会境港総合病院)間を1日12往復運行。
----------	---

事業計画・効果	平成19年に廃止された境水道渡船の代替交通手段として運行されている松江市コミュニティバス(美保関線)の運行経費の一部を負担
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,796	2,661	865			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,796	2,661	865		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金				2,661
	境水道渡船代替バス運行事業負担金	(単位：円)			
	交付先	松江市			
	対象事業費(①-②)				14,542,879
	①支出	16,755,381			
	②収入	2,212,502			
	負担割合				
	境港市	18.30 %	2,661,000 (※千円未満切捨て)		
	松江市	81.70 %	11,881,879		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	2	1	13	地方バス路線維持対策事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(10)	地域資源を生かすための中海・宍道湖・大山圏域で連携した取組の推進	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	主に高齢者など、自家用の交通手段がない市民のために、市民の生活交通として必要なバス路線の維持を図る。
-------	--

事業概要	市民の生活交通として必要なバス路線の維持を図るため、民間バス会社に運行費用の補助を行う。
------	--

現状、背景、課題	現在、米子市との間に「外浜線」、「空港線」の2路線が、日ノ丸自動車によって運行されており、いずれも赤字バス路線として補助対象となっている。
----------	---

事業計画・効果	米子市との間で運行されている路線バスの「外浜線」と「空港線」を維持するために、運行費用の一部を補助
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	9,723		10,036	313		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	9,723		10,036	313	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	10,036
	地方バス路線維持費補助金 (単位：円)	
	交付先 日ノ丸自動車(株)	
	外浜線	
	補てん分	4,887,812
	嵩上げ分	2,637,628
	空港線	
補てん分	1,502,610	
嵩上げ分	1,007,595	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総合政策課	2	1	13	犯罪被害者等見舞金支給事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(9)	互いの人権を尊重する社会の実現	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	犯罪行為により死亡した者の遺族又は犯罪行為により傷害を受けた者に対して見舞金を支給することにより、生活の安定と精神的被害の軽減を図っていく。
-------	--

事業概要	<p>犯罪行為により死亡した者の遺族又は犯罪行為により傷害を受けた者に対して見舞金を支給することにより、生活の安定と精神的被害の軽減を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遺族見舞金 30万円 ・傷害見舞金 10万円
------	---

現状、背景、課題	国では、治療費や葬儀費用といった経済的負担を軽減するため、犯罪被害者等給付金制度を設けているが、給付金の支給までには多くの時間を要している。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・見舞金制度について 令和4年10月から開始 ・周知方法 市報、ホームページ、警察等の関係機関に個別周知 ・その他 犯罪被害者等支援総合担当窓口を総合政策課人権政策室に設置。その他、犯罪被害者等支援の関係窓口一覧をホームページにて周知。 <p>該当案件が生じた場合は、アウトリーチ型の支援を実施。見舞金のみでなく、必要な支援を切れ目なく提供し、被害者の生活の安定と精神的被害の軽減を図っていく。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		300	300	0					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	150	150	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	150	150	0					

令和6年度歳出入内訳	<p>扶 助 費 300</p> <p>犯罪被害者等見舞金（遺族見舞金 1件分）</p>
------------	--

所 属	款	項	目	事業名	種 別
税 務 課	2	2	2	地方税電子申告等支援サービス運用事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	電子申告及び電子納税への対応による納税者等の利便性の向上と課税情報の円滑な把握
-------	---

事業概要	市税の電子申告等に対応するためのシステムの利用にかかる経費
------	-------------------------------

現状、背景、課題	地方税共同機構を經由して配信・集信される支払報告書や地方税の電子申告及び電子納税、国税連携による確定申告書等、また、年金特別徴収に係る配信・集信されるデータを審査及び送受信し、基幹システムと連携するために、認定委託業者が開発・管理したシステムを使用して必要事務を行うもの。
----------	--

事業計画・効果	<p>○事業計画</p> <p>①小型二輪・軽二輪に係る軽自動車税申告手続き 令和6年10月～ 連動試験 令和7年1月～4月 運用開始 市基幹業務システムは令和6年度上期に改修（保守契約の範疇）</p> <p>②日本年金機構からの公的年金等支払い報告書（追加・訂正分） 令和7年1月 運用開始（日程は厚労省、日本年金機構など関係機関と調整中）</p> <p>○効果</p> <p>①小型二輪・軽二輪の検査等申請及び税申告等をオンラインで行うことが可能となり、納税者の利便性の向上が図られる。</p> <p>②公的年金等支払い報告書（追加・訂正分）の提出が紙媒体からeLTAX経由になることで、市県民税の賦課・更正等の税務事務の効率化が見込まれる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,706	3,498	792			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	2,706	3,498	792		

令和6年度歳出内訳	委託料	1,122
	「二輪車等の申告申請手続」等の電子化対応に係るシステム改修委託料	1,122
	使用料	2,376
	地方税電子申告審査サービス利用料	1,320
	地方税共通納税サービス利用料	528
	地方税共通納税サービス利用料（税目拡大）	528

所属	款	項	目	事業名	種別
税務課	2	2	2	字図管理システム改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	航空写真と地番図、家屋番号をシステムで重ねて見ることができるようにすることにより、土地・家屋の所在地の把握、現状の確認にかかる時間を短縮し、業務の効率化を図る。
-------	--

事業概要	字図管理システムに地番図データと家屋データを移転させ、航空写真を直近のものに更新することで、航空写真と地番図と家屋番号を重ねて表示させて、土地や家屋の所在地や現況をシステム上で確認できるようにする。
------	---

現状、背景、課題	航空写真と地番図を重ねて見るためにLmapを使用しているが、使用端末の老朽化とLmapのサポート終了により、既に導入している字図管理システムに機能を移転させる。また字図管理システムはこれまで土地のみ登録していたが、家屋の台帳データを登録して家屋番号を表示させることで、航空写真や現況と評価済物件を照合できるようにする。
----------	---

事業計画・効果	<p>【Lmapとは】 ネットワーク外のシステムで、航空写真と地番図データを管理しており、土地の場所や状況、家屋の有無の確認など、窓口での住民対応及び課税事務で使用する。</p> <p>【字図管理システムとは】 クラウド上のシステムで、航空写真と字図データを管理しており、土地の評価計算など課税事務で使用する。</p> <p>【現在の課題】 Lmapで使用している端末が老朽化していること、システムで使用している航空写真が平成27年度撮影と古いこと、令和7年度にはLmapのサポートが終了すること、分合筆などの土地の異動を2つのシステムに反映しなければならないことなど、様々な課題がある。</p> <p>【事業効果】 Lmapで管理する地番図データ、家屋情報及び令和4年度撮影の航空写真を字図管理システムに取り込むことで、市内全域の字図と家屋情報を航空写真に重ねて管理することができる。 字図管理システム上で、地番図データ、航空写真、家屋情報を一元管理することで、土地の異動に関わらず常に物件の位置を把握することができるようになる。 これらにより、より現況に近い状況把握、適正な課税や問い合わせ対応の迅速化、データの二重管理の解消につながるだけでなく、万が一災害等で広域に被害が発生した際には、その地域にある家屋を正確に把握できるなどの効果がある。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		0	2,459	2,459		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	2,459	2,459		
令和6年度 歳出内訳	委託料					2,459
	Lmapからの地番図データ出力					237
	字図管理システムへの地番図データ取込み及び家屋データ変換と家屋番号発生					1,980
	航空写真の更新(H27撮影→R04撮影)					242

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	3	1	住民基本台帳ネットワーク運用事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	全国の市区町村を住民基本台帳ネットワークで結ぶことにより、住民サービスの向上と行政事務の簡素化、効率化を図る。
-------	---

事業概要	全国の市区町村の住民基本台帳をネットワーク化し、行政機関に対する本人確認情報の提供や市町村の区域を超えた住民基本台帳に関する事務を行う。
------	--

現状、背景、課題	デジタル・ネットワーク社会の急速な進展の中で、行政の高度情報化の推進が必要不可欠であり、マイナンバー制度などへの対応のため機器更改を実施している。
----------	---

事業計画・効果	<p>住民基本台帳ネットワークシステムの使用機器の更改に併せ、自庁で市職員がシステムの機器管理や運用を行う『オンプレミス方式』から自治体クラウド共通化システムの『共同利用方式』に変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の契約期間：R2.1.1～R6.12.31 【『共同利用方式』に変更するメリット】 オンプレミス運用に必要なサーバー・一部端末が不要となり、経費が減少する。 <p>※自治体クラウド共通化システムの利用料が発生するが、合計金額は減少する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員が行っているシステムの監視や日次・月次のデータバックアップ処理、サーバーのメンテナンス等の作業がなくなり、職員の事務負担軽減を図ることができる。 データセンターでバックアップデータを管理するため、災害時のデータ損失を避けることができる。 <p>【事業の見直し】 マイナンバーカードの交付で使用する端末及び周辺機器の経費については、「マイナンバーカード運用事業」で計上する。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,539	4,278	1,739		3,017	住民票手数料
財源内訳	国庫支出金	2,319	0	△ 2,319		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	220	3,017	2,797		
	一般財源	0	1,261	1,261		

令和6年度歳出入内訳	委託料	2,809
	住基ネット（オンプレミス）関連機器保守及び運用支援委託料	396
	住基ネット（共同利用）システム導入委託料	2,409
	接続機器保守委託料	4
	使用料及び賃借料	1,469
	住基ネット（オンプレミス）サーバ・端末機器賃借料	354
住基ネット（共同利用）接続機器賃借料	1,115	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	3	1	マイナンバーカード運用事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	社会保障・税番号制度に対応するためシステムを整備し、住民基本台帳システムの適切及び効率的な運用による事務の円滑化・正確性の確保を図る。
-------	---

事業概要	社会保障・税番号制度の運用に対応するため、個人番号の通知、個人番号カードの交付、及びカード券面事項の更新等の事務処理体制の充実を図る。
------	---

現状、背景、課題	平成29年11月から情報提供ネットワークシステムを利用した情報連携が開始され、個人番号を用いた各種行政手続が本格化した。令和3年10月からは、マイナンバーカードの保険証利用が始まるなど、活用の場はさらに拡大していくことが見込まれる。また、マイナンバーカードの保有率が約8割となり、マイナンバーカードの更新・電子証明書の更新等、マイナンバーカードに係る事務も増加している。
----------	---

事業計画・効果	<p>マイナンバーカード申請サポート業務の委託</p> <p>①内 容 施設入所者等のカード申請補助、代理受取り【新規】 委 託 先 行政書士会等 委託開始 令和6年6月予定 サポート見込み件数 250件</p> <p>②内 容 カード申請用写真撮影、申請書受け取り・市への送付【継続】 委 託 先 渡・外江・中浜郵便局 サポート見込み件数 月10件×12月×3か所</p> <p>令和5年12月から顔認証付マイナンバーカードの発行も開始しており、カード申請・受領の困難な施設入所者等が申請・取得しやすい体制を構築することで申請率の向上が見込まれる。 これまで「社会保障・税番号システム運用事業（住基ネット）」と「マイナンバーカード普及促進事業」で計上していたマイナンバーカードの申請・交付、電子証明書更新等に係る経費を今年度から本事業に集約した。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	7,991	7,670		△ 321		
財源内訳	国庫支出金	7,254	7,670	416		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	737	0		△ 737	

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員1人分）	2,736
	需用費	342
	消耗品費	238
	印刷製本費	104
	封筒・暗唱番号記入用紙（窓口交付用）	94
	封筒（郵便局申請サポート用）	10
	役務費	1,223
	通信運搬費	1,223
	郵送料（カード交付通知等）	1,185
	郵送料（郵便局申請サポート分）	38
	委託料	2,184
	統合端末及び関連機器保守料	86
	カード裏書プリンタ機器保守料	132
	申請サポート業務委託料（支援団体委託分）	1,116
	申請サポート・代理受取り 2,200円/件、交通費（見込250件×2）	
	申請サポート業務委託料（郵便局委託分）	850
	固定費（郵便局使用料） 1か所あたり11,000円/月	
	従量費（サポート費用） 1,260円/件（見込1か所10件/月）	
	使用料及び賃借料	1,185
	統合端末及び関連機器賃借料	845
カード裏書プリンタ賃借料	340	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
監査委員事務局兼 選挙管理委員会事務局	2	4	1	投票者タクシー移動支援事業	新規
境港市まちづくり総合プラン				1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築
				1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	有権者の投票機会を確保するため、投票所への移動が困難な高齢者等に対し、タクシーによる移動を支援し、投票環境の向上を図る。
-------	--

事業概要	市長選挙、市議会議員選挙等各選挙の期日前投票及び当日投票において、自宅から投票所まで自力による移動が困難な方を対象として、タクシーによる移動を支援する。 自宅から投票所までのタクシー代（往復料金＋待機加算分）の全額を負担する。 令和6年度の市長選挙では、令和6年度に新たに設けられる県の補助金（補助率1/2）を活用。 国・県の選挙では、国・県の委託金を全額財源とする。
------	---

現状、背景、課題	近年、投票率の低下が顕著となっており、10代・20代の若年層だけでなく80代以上の高齢者層も投票率が低い傾向にある。 令和5年度に鳥取県主催で「投票率低下防止等に向けた政治参画のあり方研究会」が開催され、研究会の報告を踏まえて、県は投票率向上・投票環境向上等の取組等を行う市町村に対して、令和6年度から新たに補助制度を創設する。
----------	---

事業計画・効果	<p>支援対象者</p> <p>境港市選挙人名簿の登録者で、下記（1）～（4）の全ての要件に該当する方</p> <p>（1）投票期間に市内に居住している方</p> <p>（2）自宅から投票所まで自力による移動が困難な方で、①～④のいずれかに該当する方</p> <p>①80歳以上の方（投票日当日までに80歳を迎える方）</p> <p>②身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持する方</p> <p>③要介護2以上の方</p> <p>④妊産婦、怪我をしている方</p> <p>（3）投票期間に投票所までの移動手段がない方</p> <p>（4）自らタクシーに乗車可能な方（自宅及び投票所でタクシーまでの移動を介助する方が同伴できる方がおられて、同伴者の介助があれば乗車ができる方も含む）</p> <p>※不在者投票を行うことができる施設に入院または入所されている方は対象外</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0		145	145		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	72	72		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	73	73		

令和6年度歳出内訳	令和6年度 境港市長選挙分	
	役務費	11
	申請書・決定通知書・タクシー券の郵送料	
	使用料及び賃借料	134
	タクシー使用料 40件分	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
監査委員事務局兼 選挙管理委員会事務局	2	4	2	境港市長選挙費	新規
境港市まちづくり総合プラン			5-(1)	協働・市民参画によるまちづくりの推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	任期満了に伴い、境港市長選挙を実施する。
-------	----------------------

事業概要	境港市長選挙執行に係る人件費等の経費
------	--------------------

現状、背景、課題	市長任期：令和6年7月24日任期満了（任期4年） 公職選挙法第33条第1項に基づき、任期満了前30日以内に選挙を行う。
----------	--

事業計画・効果	日程（予定） 5月下旬：立候補予定者説明会 6月下旬：告示 7月上旬：選挙日 会場 期日前投票所：保健相談センター（講堂） 選挙日投票所：市内12か所 開票所：みなとテラス（市民ホール）
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		0	15,675	15,675					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	15,675	15,675					

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員10人）	1,800
	報酬（投票管理者、投票立会人、選挙長、選挙（開票）立会人）	694
	職員手当等（投・開票事務従事手当）	3,395
	報償費（投票所施設備品借上謝礼等）	217
	需用費	2,051
	消耗品費（投・開票事務用品、投票所用床マット等）	753
	印刷製本費（投票所入場券、投票用紙、選挙公報等）	1,041
	燃料費・光熱水費・修繕料	257
	役務費（投票所入場券・選挙公報郵送料等）	2,156
	委託料（ポスター掲示場設置業務（86か所）等）	1,765
	使用料及び賃借料（みなとテラス使用料等）	455
	負担金補助及び交付金（選挙公営費負担金）	3,142

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総 務 課	2	5	1	全国家計構造調査	新規
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	1	貧困をなくそう		3	すべての人に健康と福祉を

事業の目的	国民生活の実態について、家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を5年ごとに総合的に調査し、全国及び地域別の世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などを明らかにする。
-------	---

事業概要	全国家計構造調査（統計法第2条第4項第3号に規定する基幹統計調査）の調査員報酬、調査世帯記入者報償金ほか必要な事務経費。
------	--

現状、背景、課題	調査結果は、全国及び地域別、世帯属性別に世帯の消費・所得・資産に係る水準、構造、分布などの実態を把握することにより、税制・年金・福祉政策の検討などの基礎資料として利用されている。また、地方公共団体、民間の会社、研究所あるいは労働組合などでも幅広く利用されている。（前回調査：令和元年10月、11月）
----------	---

事業計画・効果	家計の収支及び貯蓄・負債、耐久消費財、住宅・宅地などの家計資産を調査する。 調査期間：令和6年10月及び11月の2か月間
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	2,635	2,635		
財源内訳	国庫支出金	0	0		
	県支出金	0	2,635	2,635	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	

令和6年度歳出内訳	報 酬（統計調査員報酬ほか）	2,196
	職員手当等	15
	報 償 費	258
	需 用 費	98
	役 務 費	68

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総 務 課	2	5	1	農林業センサス	新規
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	2	飢餓をゼロに		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	農林業センサスは我が国農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料とする。
-------	--

事業概要	農林業センサスは我が国農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握し、農林行政の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し、提供することを目的に、5年ごとに調査を行う。
------	---

現状、背景、課題	調査は5年に1度実施され、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域の現状など農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにすることにより、農林業施策の企画、立案及び推進などのために利用されている。 (前回調査：令和2年2月)
----------	--

事業計画・効果	農林業の生産構造、就業構造を調査する。 基準日：令和7年2月1日
---------	-------------------------------------

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		0	782	782					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	782	782					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	報酬（統計調査員報酬ほか）	754
	職員手当等	7
	需用費	12
	役務費	9

所 属	款	項	目	事業名	種 別
総 務 課	2	5	1	国勢調査調査区設定	新規
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	令和7年（2025年）国勢調査の円滑な実施に向けた準備。
-------	------------------------------

事業概要	調査の実施に先立ち、国勢調査調査区を設定し、調査区の境界を示す地図を作成する。調査区は、原則として1調査区におおむね50世帯の単位で設定。
------	---

現状、背景、課題	国勢調査は、5年に1度の調査となっており、次回は令和7年10月に実施予定。
----------	---------------------------------------

事業計画・効果	令和7年国勢調査の実施にあたり、国勢調査員の担当区域を明確にし、調査区の設定等の準備を行う。 設定日：令和6年10月1日
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	218	218		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	218	218	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	0	0	

令和6年度歳出内訳	報酬（会計年度任用職員）	100
	職員手当等	34
	需用費	64
	役務費	20

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	3	1	1	国民健康保険費特別会計繰出金	見直し
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	一般会計から国民健康保険費特別会計に繰り出しを行うことで、国民健康保険事業の財政安定化を図る。
-------	---

事業概要	保険税の軽減分をはじめとした国民健康保険費特別会計への繰出金。
------	---------------------------------

現状、背景、課題	保険基盤安定繰出金のうち、保険税軽減分については県が3/4を負担し、保険者支援分、未就学児均等割保険料分及び産前産後保険料分については国が1/2、県が1/4をそれぞれ負担している。出産育児一時金等繰出金については、出産育児一時金の2/3に相当する額を繰り出している。
----------	---

事業計画・効果	<p>保険基盤安定分などの制度に基づくものや、国民健康保険事業の財政安定化を図るためのものについて、国が定めた繰出基準等に基づいて算定した額を国民健康保険費特別会計へ繰り出す。</p> <p>繰り出しにより、国民健康保険事業の財政安定化を図ることができる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	309,906	289,234		△ 20,672		
財源内訳	国庫支出金	34,935	32,774		△ 2,161	
	県支出金	127,206	114,913		△ 12,293	
	地方債	0	0		0	
	その他	0	0		0	
	一般財源	147,765	141,547		△ 6,218	

令和6年度歳出内訳	繰 出 金	
	保険基盤安定繰出金（保険税軽減分）	131,370
	保険基盤安定繰出金（保険者支援分）	64,219
	未就学児均等割保険料繰出金	966
	産前産後保険料繰出金	364
	出産育児一時金等繰出金	5,000
	事務費繰出金	17,633
	財政安定化支援事業繰出金	64,447
	その他繰出金	5,235
	地方単独事業にかかる国庫負担金の減額調整措置分	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 社 課	3	1	1	光熱費高騰に係る生活困窮世帯支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	生活困窮世帯に対して光熱費の助成を行うことにより、生活困窮世帯の生活を支援することを目的として交付する。
-------	--

事業概要	光熱費高騰対策として、生活保護、児童扶養手当などを受給している生活困窮世帯に対して一世帯当たり5,000円を給付する。
------	---

現状、背景、課題	令和5年度実績 4～6月 17,000円 (617世帯) 7～9月 17,000円 (631世帯) 10～3月 15,000円 (630世帯)
----------	--

事業計画・効果	対象世帯 650世帯 (見込) ・生活保護受給世帯 (在宅) 220世帯 ・児童扶養手当受給世帯 280世帯 ・特別児童扶養手当受給 (障害児福祉手当受給者含む) 世帯 100世帯 ・特別障害者受給世帯 50世帯
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	11,220	3,250		△ 7,970		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	5,610	1,625		△ 3,985	
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	5,610	1,625		△ 3,985	

令和6年度歳出内訳	扶 助 費	3,250
-----------	-------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	1	生活困窮者等自立支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	<p>現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある生活困窮者の自立促進を図るために、相談支援や家計改善支援などによる包括的な支援を行う。また、「学習支援事業」を行うことにより、子どもの将来が経済的な環境に左右されることなく、夢と希望をもって成長していけるように支援する。(対象学年は小学1年生～高校3年生)。また、生活困窮者の中の様々な事情から直ちに一般就労が困難な者に対し、一歩手前の中間的就労の場での就労を支援することで就労へ結び付ける。さらに住居を喪失した又は喪失のおそれがある、就労意欲及び就労能力のある生活困窮者に対し、住居の確保および就労機会の確保を支援する。</p>
-------	--

事業概要	<p>生活困窮者(世帯)に対して次の支援を行い自立助長の一助とするもの。</p> <p>【自立相談支援】 世帯の自立に関する様々な相談に応じ、一人ひとりの状況に合わせて支援計画を作成し、伴走型支援を行う。境港市社会福祉協議会に委託して自立相談支援及び家計改善支援を実施。</p> <p>【学習支援事業】 生活困窮世帯等の児童に、学校でわからなかった箇所や学習習慣を身に付けるための学習指導を行なうもの。社会福祉法人こうほうえんへ委託して実施。</p> <p>【中間的就労支援】 中間的就労(一般就労と福祉就労の間の就労)の支援を行い、自立助長の一助とする。</p> <p>【住居確保給付金】 離職などにより住居の喪失又は喪失のおそれのある者の中で一定の要件を満たす者に対して、住居確保給付金(原則3か月、上限額あり)を支給し、住居を確保したうえで生計の立て直しを図るものとする。</p>
------	---

現状、背景、課題	<p>実績(R5年度は10月末時点)</p> <p>【自立相談支援】 R3年度 相談120人 契約80人、R4年度 相談27人 契約17人、R5年度 相談14人 契約6人</p> <p>【学習支援事業】 R3年度 開催 92回 延122人、R4年度 開催 88回 延208人、R5年度 開催 54回 延119人</p> <p>【住居確保給付金】 R3年度 新規6人 延長2人、R4年度 新規5人 延長5人、R5年度 新規3人 延長1人</p> <p>【中間的就労支援】 R3～5年度 体験 実績なし 相談 年1～2人 事業の周知、事業所の拡大を実施中</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>【自立相談支援】 生活困窮者からの就労や自立に関する問題等の相談や情報提供、助言をはじめ一人ひとりの状況に応じた支援計画を作成し、自立促進のための伴走型支援を行う。</p> <p>【学習支援事業】 生活保護を含む生活困窮世帯の児童(小学1年生～高校3年生)を対象に週2回学習教室(余子公民館)を開催し、学習習慣を身につけられるよう支援を行う。</p> <p>【住居確保給付金】 離職し住居を喪失又は喪失のおそれのある生活困窮者等に対して、一定期間、家賃相当額の給付を行う。</p> <p>【中間的就労支援】 直ちに一般就労が困難な生活困窮者に対し中間的就労の場での支援を行い一般就労へ結びつける。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		5,242	5,315	73		
財源 内訳	国庫支出金	3,511	2,910	△ 601		
	県支出金	0	771	771		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,731	1,634	△ 97		

令和 6 年 度 歳 出 内 訳	【自立相談支援】					
	委 託 料 (委託先：境港市社会福祉協議会)					
	境港市生活困窮者自立相談支援事業委託料					3,269
	【住居確保給付金】					
	需 用 費					9
	役 務 費					10
	扶 助 費					875
	【中間的就労支援】					
	役 務 費 (手数料)					25
	扶 助 費 (交通費助成)					7
【学習支援事業】						
役 務 費					40	
委 託 料 (委託先：(福) こうほうえん)					1,080	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	1	子どもの居場所づくり事業補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	本市における子どもの居場所づくりの取組みを支援することで、事業の運営継続・拡充を図ることを目的とする。
-------	---

事業概要	新たに子供の居場所づくり（子ども食堂）の取組みを行う事業者の立ち上げについて、県の子どもの居場所づくり事業実施要領に基づいて、事業立ち上げに係る備品類（食器類、調理器具、冷蔵庫等の電化製品ほか）の購入費を支援する。
------	---

現状、背景、課題	令和5年11月現在、市内4か所で子ども食堂が実施されている。これまでは、公民館などの既存施設を利用して子ども食堂が実施されていた。しかし、開催頻度が高い場合は、既存施設では対応が困難となるため、立ち上げについて課題があった。
----------	--

事業計画・効果	<p>新たに、子どもの居場所づくり（子ども食堂等）に取組む事業者の立ち上げにかかる経費に対して補助を行う。</p> <p><事業実施者> 市内任意団体</p> <p><実施予定場所> 境港市三軒屋町</p> <p><活動内容> 学習支援、食事提供（週3～4回）、地域交流イベント</p> <p><定員> 20人程度</p> <p><開催日> 週5日（月～金）</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		0	2,000	2,000					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	1,333	1,333					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	667	667					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 2,000 交 付 先：事業実施者 負 担 割 合：県2/3、市1/3
-----------	--

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	障がい者自立支援給付費(介護給付・訓練等給付)	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	障害福祉サービスの提供による障がい者の自立支援と福祉の向上を図ることを目的とする。
-------	---

事業概要	障害者総合支援法による居宅介護、短期入所、施設への入所、通所等の生活上の必要な介護を行う障害福祉サービスにかかる給付費、並びに生活訓練、就労継続支援などの身体上あるいは社会的な訓練等を行う障害福祉サービスにかかる給付費等
------	--

現状、背景、課題	障害福祉サービス制度の浸透、事業所の充実により利用者は増加傾向にある。
----------	-------------------------------------

事業計画・効果	障害者総合支援法に基づき生活上の必要な介護や身体上あるいは社会的な訓練・支援を行うための費用等を支給する。また、障害福祉サービスの自己負担が高額になった際の給付費及び医療機関で身体介護を受けている場合の医療費を支給する。なお、これらのサービスの提供により、障がいのある方の状態やニーズに応じた適切な支援を行うことができる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		909,740	982,153	72,413			
財源内訳	国庫支出金	454,870	491,077	36,207			
	県支出金	227,435	245,538	18,103			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	227,435	245,538	18,103			

扶 助 費

令和6年度歳出内訳

サービス類型	見込人数	金額
居宅介護	54	34,001
重度訪問介護	4	29,998
行動援護	15	35,258
同行援護	3	583
療養介護	12	37,732
生活介護	130	304,725
短期入所	31	30,879
施設入所支援	55	89,975
共同生活援助	43	104,135
宿泊型自立訓練	1	1,622
自立生活援助	1	248
生活訓練	3	3,654
就労移行支援	5	6,909
就労継続支援A型	31	45,616
就労継続支援B型	171	224,406
就労定着支援	2	487
計画相談支援	395	20,253
地域移行支援	2	360
合計	958	970,841

サービス類型	見込人数	金額
療養介護医療費	12	11,239
高額障害福祉サービス費	2	73
合計	14	11,312

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	障がい児通所支援費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	通所サービスを提供することにより、障がい児の日常生活における基本的な動作、集団生活適応能力を向上させることを目的とする。
-------	--

事業概要	児童福祉法に基づく、児童発達支援、放課後等デイサービス等の障害児通所給付費等
------	--

現状、背景、課題	制度の浸透、事業所の充実により利用者は増加傾向にある。
----------	-----------------------------

事業計画・効果	児童福祉法に基づき、日常生活における基本動作等を習得するための費用等を支給する。また、サービスの自己負担が高額になった際の給付費及び医療機関で身体介護を受けている場合の医療費を支給する。なお、これらのサービスの提供により、日常生活における基本的な動作やソーシャルスキルを定着させる効果が期待できる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	232,340	271,849	39,509			
財源内訳	国庫支出金	116,169	135,924	19,755		
	県支出金	58,084	67,962	9,878		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	58,087	67,963	9,876		

令和6年度歳出内訳	扶 助 費		
	児童福祉法に基づき、日常生活における基本的動作等を習得するための費用を支給する。		
	サービス類型	見込人数	金 額
	児童発達支援	63	30,399
	医療型児童発達支援	1	16
	放課後等デイサービス	158	227,473
	保育所等訪問支援	22	3,265
	合 計	244	261,153
	児童福祉法に基づき、サービス利用時の計画作成費用を支給する。		
	サービス類型	見込人数	金 額
	サービス利用計画作成	202	10,637
	合 計	202	10,637
	障がい児通所支援の自己負担が高額になった場合及び医療機関で身体介護を受けている場合の医療費を支給する。		
	サービス類型	見込人数	金 額
医療型児童発達支援医療費	1	31	
高額障害児通所給付費	1	28	
合 計	2	59	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	地域生活支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	地域の実情に応じて利便性の高いサービスを提供することで、障がいのある方に、より細かいサービスの提供と地域福祉の向上を図ることを目的とする。
-------	---

事業概要	日中一時支援事業や移動支援事業、日常生活用具給付事業などの障害者総合支援法による地域生活支援事業を実施する。
------	--

現状、背景、課題	日中一時支援事業などは、制度が概ね浸透し利用状況に大きな変化はない。また、成年後見利用支援については、市長申立を行う事案が増えつつある。
----------	--

事業計画・効果	地域の多様なニーズに合わせた柔軟な事業形態でサービスを提供することで地域福祉の向上を図り、障がいのある方が自立した日常生活を送ることができる効果が見込まれる。また、成年後見制度利用支援事業により、障がいのある方が成年後見制度を適切に利用できる環境を整えることで、安心した生活を送ることができる。 その他、あいサポート運動の推進や障がい福祉をテーマにした地域支援セミナーを開催することで、障がいのある方に対する理解促進及び啓発の効果が見込まれる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		29,916		27,941	△ 1,975		
財源内訳	国庫支出金	14,274		13,448	△ 826		
	県支出金	7,137		6,724	△ 413		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	8,505		7,769	△ 736		

令和6年度歳出内訳	地域生活支援給付費				
	扶助費			25,590	
		サービス類型	見込人数	金額	
		日常生活用具	173	9,834	
		移動支援	29	3,277	
		日中一時支援	44	10,757	
		訪問入浴支援	2	1,722	
		合計	248	25,590	
		地域活動支援センター事業			1,379
		扶助費			
	障がい者の創作的活動・作業的活動・交流的活動 対象事業者 地域活動支援センターLCCウイング外3事業所				
	成年後見制度利用支援事業				
	役務費			64	
	扶助費			672	
	成年後見制度法人後見支援事業				
	委託料			43	
	成年後見制度の法人後見の活動支援 (鳥取県西部圏域9市町村共同実施) 委託先： (一社) 権利擁護ネットワークほうき				
	自発的活動支援事業				
	委託料			120	
	あいサポート運動推進 委託先： 境港市身体障がい者福祉協会 境港市障がい児(者)育成会				
	理解促進研修・啓発事業				
	負担金補助及び交付金 (鳥取県西部圏域9市町村共同実施)			73	
	地域支援セミナー開催 支払先： 米子市 ホームページ管理負担金 支払先： 米子市				

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	障がい福祉サービス利用コーディネート機能強化事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	障がい福祉サービスの利用をコーディネートする人材である相談支援専門員を、社会福祉法人等が運営する相談支援事業所に新規又は追加で配置することで、同事業所が担当する障がい児者の数を増やし、市内の障がい児者が円滑に障がい福祉サービス等を利用できる環境を整えることを目的とする。
-------	---

事業概要	障がい福祉サービスの利用をコーディネートする人材である相談支援専門員を、社会福祉法人等が運営する相談支援事業所に新規又は追加で配置することで、同事業所が担当する障がい児者の数を増やし、市内の障がい児者が円滑に障がい福祉サービス等を利用できる環境を整えるため、相談支援専門員の配置にかかる人件費の一部を支援する。
------	---

現状、背景、課題	新規の相談支援事業所の立ち上げや相談員の増員には、利用者の確保が進み、安定的な報酬が見込めるまでの間、運営費の確保が困難なため事業を拡大しにくい実態がある。
----------	--

事業計画・効果	相談支援事業所等の新規開設や既設の相談支援事業所等に相談支援専門員を追加配置する場合で、補助要件を満たす場合に、社会福祉法人等へ補助金を交付するものである。 これは、利用者の確保が進み、安定的な報酬が見込まれるまでの間、運営費の確保ができるようにするためのものであることから、申請後、速やかに交付できるように、対象事業所1件分を見込む。 なお、相談支援専門員が増えることにより、速やかに計画が作成でき、市内の障がい児者が円滑に障がい福祉サービス等を利用できる効果が見込まれる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,000	1,000	0					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	500	500	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	500	500	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 交付先：対象事業所 負担割合：県1/2、市1/2
-----------	---

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	障がい者自立支援給付費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	自立支援医療費の給付を行うことによって、医療費の自己負担の軽減を図るとともに、医療の給付によって障がいの除去、軽減に資する。
-------	--

事業概要	身体障害者手帳を所持し、一定の障がいがある方が障がいの軽減、除去や機能回復のために受ける治療（更生医療）、または身体の障がいや現存する疾患がある児童のうち、治療により確実な効果が見込まれるものに対しての治療（育成医療）にかかる医療費の一部を給付する。
------	---

現状、背景、課題	更生医療のほとんどは、透析患者であり、微増である。育成医療は、年度により人数や疾患にばらつきがある。
----------	--

事業計画・効果	身体障害者手帳を所持している一定の障がいを持つ方が障がいの軽減、除去や機能回復のために受ける治療（更生医療）、または身体の障がいや現存する疾患がある児童のうち、治療により確実な効果が見込まれるものに対しての治療（育成医療）にかかる医療費の一部を給付することによって、医療費の自己負担の軽減を図るとともに、医療の給付によって障がいの除去、軽減という効果が見込まれる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	46,535	47,629		1,094		
財源内訳	国庫支出金	23,242	23,790		548	
	県支出金	11,621	11,895		274	
	地方債	0	0		0	
	その他	0	0		0	
	一般財源	11,672	11,944		272	

令和6年度歳出内訳	需用費	15
	負担金補助及び交付金	33
	育成医療医学的判定実施委託事業負担金	
	扶助費	
	更生医療	46,847
育成医療	734	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	障がい児者意思疎通支援事業	継 続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	<p>【意思疎通支援】 聴覚・視覚障がい者等のコミュニケーション及び社会参加の推進を目的とする。</p> <p>【聴覚障がい児者コミュニケーション支援】 聴覚障がいのある方への情報提供、コミュニケーションについて支援の充実を図ることを目的とする。</p> <p>【ブルーライトアップ】 世界ろう連盟のシンボルカラーである青色のライトアップを実施することにより、手話言語の意識向上を図ることを目的とする。</p>
-------	---

事業概要	<p>【意思疎通支援】 地域生活支援事業に位置づけのある聴覚障がい者意思疎通支援事業、手話奉仕員養成研修事業及び点訳・朗読奉仕員養成研修事業等を実施する。</p> <p>【聴覚障がい児者コミュニケーション支援】 筆談の必要性や方法について学ぶ「筆談セミナー」を開催する。</p> <p>【ブルーライトアップ】 毎年9月23日の「手話言語の国際デー」にあわせて公共施設等で青色のライトアップ実施する。</p>
------	---

現状、背景、課題	<p>【意思疎通支援】 鳥取県西部圏域9市町村共同で事業委託</p> <p>【聴覚障がい児者コミュニケーション支援】 令和2年度から市民及び市職員に対して筆談セミナーを実施しており、毎年度、40人近くの方が参加している。</p> <p>【ブルーライトアップ】 2017年に国連総会にて決議された「手話言語の国際デー」の趣旨への賛同を示すため、R4年度より実施。</p>
----------	--

事業計画・効果	<p>【意思疎通】 手話通訳者、要約筆記者の派遣及び手話奉仕員等の養成を鳥取県西部圏域9市町村が共同で委託しており、これらを実施することにより聴覚・視覚障がい者等のコミュニケーション及び社会参加の推進の効果が見込める。</p> <p>【聴覚障害児者コミュニケーション】 筆談の必要性や方法について学ぶ筆談セミナーを受けることで、きこえない・きこえにくい人等への情報提供やコミュニケーションが円滑に行えるようになる。</p> <p>【ブルーライトアップ】 世界ろう連盟のシンボルカラーである青色ライトアップを「手話言語の国際デー」である9月23日に実施することで手話言語の意識向上の効果が見込める。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		3,128	3,410		282		
財源内訳	国庫支出金	1,518	1,653		135		
	県支出金	759	826		67		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	851	931		80		

令和6年度歳出入訳	意思疎通支援事業	
	委託料	3,123
	委託先：(公社)鳥取県聴覚障害者協会 (福)鳥取県ライトハウス点字図書館	
	負担金補助及び交付金	182
	失語症向け意思疎通支援者の派遣負担金 支払先：鳥取県	
	聴覚障害児者コミュニケーション支援事業	
	需用費	6
	役務費	7
	委託料 委託先：(公社)鳥取県聴覚障害者協会	78
	ブルーライトアップ事業 役務費	14

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	ほっとはあと事業	継 続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	10	人や国の不平等をなくそう			

事業の目的	【イベント】 芸術・文化活動への参加を通じて、障がいのある方の自立と社会参加促進及び、障がいへの理解を深めることを目的とする。
	【講演会】 共生社会の実現に向けた取り組みの一環として、パラリンピック出場経験のあるアスリート等を講師に招き、講演会を開催し、社会的障壁の低減の必要性を啓発することを目的とする。

事業概要	【イベント】 障がいのある方の芸術・文化活動を支援するため、芸術品の展示等を行う。また、障がいのある方とない方が交流する場をつくる。
	【講演会】 スポーツを通して障がいへの理解を深め、社会の中にあるバリアを減らすことの必要性を啓発するための講演会を開催。

現状、背景、課題	【イベント】 H26年度に全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会を契機に開催。令和4年度より、境港市民図書館、福祉団体、障がい福祉サービス事業所等と共催で実施。
	【講演会】 東京パラリンピック競技大会の開催をきっかけに「心のバリアフリー」を目指した取り組みが各地で広がったことを受け、当市でもR4年8月にはじめて開催。

事業計画・効果	【イベント】 障がいのある方の芸術品の展示を行ったり、障がいのある方とない方が交流する場を作ることにより、障がいのある方の自立と社会参加促進及び障がいへの理解を深める効果が見込める。 令和6年11月開催予定 会場：みなとテラス 内容：芸術作品展示、パラスポーツ体験、視覚障がい者体験などを予定
	【講演会】 共生社会の実現に向けた取り組みの一環として、パラリンピック出場経験のあるアスリート等を講師に招き講演会を開催することにより、障がいへの理解を深める効果が見込める。 日程：令和6年度中 会場：境港市文化ホール 講師：未定

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	848	846		△ 2		
財源内訳	国庫支出金	424	423		△ 1	
	県支出金	211	212		1	
	地方債	0	0		0	
	その他	0	0		0	
	一般財源	213	211		△ 2	

令和6年度歳出内訳	イベント	
	報償費（講師謝金等）	100
	需用費（消耗品費等）	286
	役務費（手数料等）	99
	使用料及び賃借料（会場借上料）	143
	講演会	
	報償費（講師謝金等）	60
	需用費（消耗品費等）	85
	役務費（手数料等）	37
	使用料及び賃借料（施設借上料）	36

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	障がい者就労支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	重度の障がいのある方等に対し、通勤や職場等における支援を行うことにより、当該就労機会の拡大を図る。また、就労継続支援事業所の作業内容等を掲載したパンフレットを作成し、配布することにより、就労継続支援事業所に通所する利用者の工賃向上や一般就労への移行を促進することを目的とする。
-------	--

事業概要	企業が重度の障がいのある方等を雇用するにあたり障害者雇用納付金制度を活用しても雇用の継続に支障が出る場合や、自営業者として重度の障がいのある方等が働く場合に通勤や職場等の支援を行う。また、市内の就労支援事業所概要及び作業内容を掲載したパンフレットを作成し、市内企業へ送付する。
------	--

現状、背景、課題	企業が、障害者雇用納付金制度を活用しても重度の障がいのある方の雇用継続に支障が出ていることから、事業を実施している。また、パンフレットについては、市内の800企業に送付することにより、就労継続支援事業所が企業からの受注を受けている。
----------	--

事業計画・効果	<p>【雇用施策との連携による重度障害等就労支援特別事業】</p> <p>企業が重度の障がいのある方を雇用するにあたり、障害者雇用納付金制度に基づく助成金を活用しても雇用継続に支障が残る場合や重度の障がいのある方等が自営業として働く場合において、重度の障がいのある方等の通勤や職場等における支援を行うことで、就労機会の拡大を図ることができる。</p> <p>対象者：①市内に在住している人。 ②重度訪問介護、同行援護、行動援護の障害福祉サービスの支給決定を受けている人。 ③週の所定労働時間が10時間以上の人。又は、本事業を利用することで10時間以上になることが見込まれる人。</p> <p>対象の支援：喀痰吸引、姿勢の調整等の職場における支援、4か月目以降の通勤支援</p> <p>【障がいのある方への就労支援事業】</p> <p>市内の約800企業に、市内の就労継続支援事業所の概要・受注作業等を掲載したパンフレットを送付する。なお、企業から受注を受けることにより、利用者の工賃向上や企業へ施設外就労をすることにより、一般就労への意欲向上の効果が見込まれる。</p> <p>送付数：約800部 実施時期：令和6年夏から秋ごろ 掲載内容：受注可能な作業内容・時期・場所・数量、自社製品、事業所概要等</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		2,788	1,713		△ 1,075		
財源内訳	国庫支出金	1,339	806		△ 533		
	県支出金	670	403		△ 267		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	779	504		△ 275		

令和6年度歳出内訳	障がいのある方への就労支援事業	
	需用費	5
	役務費	96
	雇用施策との連携による重度障害者等就労支援特別事業 扶助費	1,612

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	1	3	重度障がい児者総合支援事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	重症心身障がい児者や強度行動障がいのある方、医療的ケアが必要な方を支援する事業者等に対して助成をすることで、事業者の負担軽減を図り、本人や家族が安心して地域で生活できる支援体制を整えることを目的とする。
-------	---

事業概要	重症心身障がい児者や強度行動障がいのある方、医療的ケアが必要な方を支援する事業者等に対して、運営費等の一部を助成する。
------	---

現状、背景、課題	支援体制が整わないことから、重症心身障がい児者や強度行動障がいのある方、医療的ケアが必要な方の受け入れが円滑に行われていないほか、報酬上の評価がない支援もあるため助成を行う。
----------	---

事業計画・効果	<p>【重度障がい児者支援事業】 重度障がい児者の受け入れを行う事業者に対して運営費の補助を行うことで支援体制の充実を図ることができる。</p> <p>【強度行動障がい者入居等支援事業】 重度の強度行動障がいのある方へ新たに居住支援を行う事業者に対して運営費の補助を行うことで、手厚い支援体制のもと対象者の行動障がいを軽減して、グループホーム等への移行の流れを作り、重度の強度行動障がいのある方への入居支援を行うことができる社会福祉法人等の裾野を増やすことにつながる。</p> <p>【強度行動障がい者等の支援のための拠点整備事業】 人員配置や特性上の理由から通所系サービスでの対応が難しい強度行動障がいのある方に、行動援護を利用しながら安心して過ごすことができる場を提供するため、障害者支援施設等の一部を借り上げる。これにより、自傷行為などの行動障がいの低減を図ることができ、できるだけスムーズに通所系サービスへつなぐことができる。</p> <p>【強度行動障がい者等支援総合事業】 強度行動障がいのある方が、障がい福祉サービス事業所の体験利用を行う場合や、支援方法について専門家を交えて協議し、それを実践する場合、また医療的ケアを要する重度障がいのある方、強度行動障がいのある方等が訪問系サービスの提供を受ける場合に事業者の負担の軽減を図ることで、地域で安心して生活できる支援体制を整えることができる。そのほか、常時医療的ケアを必要とする重度障がいのある方の地域生活を支えるため、グループホームの運営に必要となる経費を支援することで、地域生活における拠点づくりを促進することができる。</p> <p>【医療的ケア児等送迎支援事業】 重症心身障がい児者や医療的ケア児の医療機関等への送迎についてかかる費用を補助することで、支援者が支援できないときに送迎の選択肢が広がる効果が見込まれる。また看護師の派遣や大型の福祉タクシーを利用する際にかかる利用者の経済的負担を軽減することができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	7,704	16,255	8,551			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	3,672	8,126	4,454		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	4,032	8,129	4,097		

令和6年度歳出内訳	重度障がい児者支援事業	
	負担金補助及び交付金	5,211
	交付先：対象事業所	
	強度行動障がい者入居等支援事業	
	負担金補助及び交付金	4,072
	交付先：対象事業所	
	強度行動障がい者等の支援のための拠点整備事業	
	使用料及び賃借料	106
	交付先：対象事業所	
	強度行動障がい者等支援総合事業	
報償費	798	
負担金補助及び交付金	5,490	
交付先：対象事業所		
医療的ケア児等送迎支援事業		
負担金補助及び交付金	578	
交付先：タクシー会社、訪問看護事業所		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	4	敬老事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	敬老対象者に記念品を贈る社会福祉協議会に対して、その購入費の一部を助成すること、百歳高齢者に記念品を贈呈すること、ダイヤモンド婚・金婚を迎えた夫婦に記念品を贈呈することで、市政発展に寄与した高齢者を敬う。
-------	--

事業概要	市政発展に寄与された高齢者を敬うため、①敬老会を開催する境港市社会福祉協議会に対して、対象者への記念品購入費の一部を助成、②百歳高齢者対象者へ寿詞を入れる額縁を贈呈、③ダイヤモンド婚・金婚対象者への記念品贈呈を行う。 令和6年度より敬老事業に「ダイヤモンド婚・金婚記念事業」、「百歳高齢者慶賀事業」を統合した。
------	--

現状、背景、課題	高齢者人口の増加に伴い、対象者の増加が見込まれる。 令和5年度 ダイヤモンド婚23組、金婚30組 百歳高齢者：22人 敬老会対象者：5,921人 令和4年度 ダイヤモンド婚33組、金婚31組 百歳高齢者：15人 敬老会対象者：5,754人 令和3年度 ダイヤモンド婚18組、金婚35組 百歳高齢者：8人 敬老会対象者：5,495人
----------	--

事業計画・効果	数え77歳以上の高齢者を対象に地区社会福祉協議会が記念品を贈る事業に係る費用の一部を助成する。 百歳を迎える高齢者に対し、国から贈呈される寿詞を入れる額縁を贈る。 婚姻50周年、60周年に当たる高齢者夫婦に記念品等を贈る。 <効果> 多年にわたり市政発展に尽くしてきた高齢者を敬い長寿を祝うことで、高齢者に地域でいつまでも明るく暮らしていただく。また、市民が敬老に対して関心と理解を深める。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,465	1,501	36			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,465	1,501	36		

令和6年度歳出内訳	報 償 費			264
	需 用 費			284
	役 務 費 (筆 耕 料)			37
	負担金補助及び交付金			916
	助成額	1人あたり150円	対象人数	6,406人
存命率(R5実績)	95.28%			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	4	高齢者住宅改良事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	住み慣れた自宅で生活を継続することができるように、段差の解消や手すりの取り付けなどに要する費用の一部を助成する。
-------	--

事業概要	介護保険の認定を受けた市民税非課税世帯の高齢者が住宅の改良を行ったときに、533,000円を上限に、工事費用の3分の2の額を助成する。
------	---

現状、背景、課題	令和4年度実績 5件 令和3年度実績 0件 令和2年度実績 1件
----------	--

事業計画・効果	市民税非課税世帯の介護保険要支援・要介護認定者に対し住宅改良費用の一部を助成し、住み慣れた自宅で継続して生活できるよう支援する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,066	1,066	0			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	533	533	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	533	533	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	1,066
	交付先：住宅改良を実施する被保険者	
	負担割合：2/3（上限額 533,000円）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	3	1	4	鳥取県後期高齢者医療広域連合負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	高齢者の医療の確保に関する法律のほか、鳥取県後期高齢者医療広域連合規約の定めるところにより、制度の運営に必要な経費を各市町村が負担することで、後期高齢者医療保険制度の安定的・持続的な運営を図る。
-------	---

事業概要	鳥取県後期高齢者医療広域連合が実施する後期高齢者医療制度の運営・給付に要する費用に係る負担金。
------	---

現状、背景、課題	共通経費負担金（一般会計分）は広域連合の人件費や事務費等が対象で、共通経費負担金（特別会計分）は広域連合のシステム管理費や保健事業費等が対象。負担割合は均等割10%、人口割40%、高齢者人口割50%となっている。療養給付費負担金は医療給付費が対象で、給付費の12分の1を負担している。
----------	--

事業計画・効果	<p>後期高齢者医療制度の運営費や療養給付費について、鳥取県後期高齢者医療広域連合が算定した額を負担する。</p> <p>鳥取県及び各市町村が負担金を拠出することにより、後期高齢者医療制度の安定的・持続的な運営を図ることができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		453,026	470,995	17,969					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	453,026	470,995	17,969					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金			
	共通経費負担金			32,635
	広域連合一般会計分		4,198	
	広域連合特別会計分		28,437	
	療養給付費負担金			438,360

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	3	1	4	後期高齢者医療費特別会計繰出金	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	一般会計から後期高齢者医療保険費特別会計に繰り出しを行うことで、後期高齢者医療保険制度の財政基盤の安定化を図る。
-------	--

事業概要	低所得者等に適用される保険料の軽減分と市の事務費にかかる後期高齢者医療費特別会計への繰出金。
------	--

現状、背景、課題	低所得者等に適用される保険料の軽減分（保険基盤安定分）については、県が3/4を負担している。
----------	--

事業計画・効果	<p>保険基盤安定分については、鳥取県後期高齢者医療広域連合が算定した額を繰り出し、事務費分については、市の事務費（保険証の送付や納入通知書の作成・送付等にかかる費用）を繰り出す。</p> <p>保険料の軽減分を公費で補填することにより、後期高齢者医療制度の財政基盤の安定化を図ることができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	126,293	143,849	17,556		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	92,112	104,925	12,813	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	34,181	38,924	4,743	

令和6年度歳出内訳	繰出金	
	保険基盤安定分	139,901
	事務費分	3,448
	予備費分	500

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	4	生活支援サービス事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	高齢者が地域で安心して生活を継続していくため、地域団体によるごみ出し等の支援を通じた見守りを行うことにより高齢者と地域のつながりを深め、支援体制を構築する。
-------	--

事業概要	自治会やことぶきクラブなどの地域団体が高齢者などのごみ出し等の生活支援を行い、高齢者が地域で生活を継続していくための支援を行う。 令和5年度から制度の見直しを行い、申請等の手続きを簡略化、報償金を増額した。
------	--

現状、背景、課題	ごみ出しや軽作業などを自治会や老人クラブなど営利を目的としない団体が行うことで、高齢者が地域で安心して生活できるよう支援する。平成29年度から生活支援コーディネーターを配置し、地域における支援体制の必要性とともにごみ出し支援等の取組みについても啓発している。
----------	---

事業計画・効果	高齢者が地域で安心して生活できるよう、高齢者世帯のごみ出しなどの生活支援を行う地域団体に報償金を支給し、活動を支援する。 令和4年度までの実績はごみ出しのみであったが、制度見直し後は新たに買物代行を行う団体も出てきた。引き続き制度の周知・啓発に努めていく。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		155		108	△ 47		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	155		108	△ 47		

令和6年度歳出内訳	報 奨 金	100円/ポイント	108
	①ごみ出し（上限5ポイント/月）	100円×3世帯×5ポイント×12月	18
	②軽作業（上限10ポイント/月）	100円×3世帯×10ポイント×12月	36
	③買物代行（上限15ポイント/月）	100円×世帯×15ポイント×12月	54

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	4	ねんりんピックはばたけ鳥取2024境港市実行委員会負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	同大会を開催することにより、高齢者の健康寿命の延伸や生きがいづくり、地域や世代を超えた交流、本市の魅力の発信等を推進する。
-------	---

事業概要	令和6年度全国健康福祉祭（ねんりんピック）鳥取大会の開催にあたり、大会の準備・運営を担う市実行委員会へ負担金を支出する。
------	--

現状、背景、課題	同大会は高齢者の健康維持、社会参加等の意識高揚を図る場として、毎年各県持ち回りで開催されている。令和6年度は鳥取県で開催される。本市ではソフトバレーボールとeスポーツを実施するほか、健康づくりブース（健康チェック、フレイルチェック等）やおもてなしブース（カニ汁ふるまい、土産品販売等）を出展する。
----------	--

事業計画・効果	<p>令和6年度の全国健康福祉祭（ねんりんピック）鳥取大会の開催にあたり、令和5年度に設立された市実行委員会に負担金を支出する。</p> <p><市実行委員会スケジュール></p> <p>R6.5 第2回市実行委員会総会、第2回運営委員会</p> <p>〃 ソフトバレーボール予選会</p> <p>R6.5～6 eスポーツ各地区予選会</p> <p>R6.10 本大会開催（交流大会、健康づくりブース、おもてなしブース）</p> <p>R7.2 第3回市実行委員会総会（解散総会）</p> <p><効果></p> <p>同大会が開催されることにより、高齢者の健康寿命の延伸や生きがいづくり、地域や世代を超えた交流の推進、本市の魅力発信等が期待される。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,392	19,553	18,161			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,392	19,553	18,161		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	19,553
	交付先：	ねんりんピックはばたけ鳥取2024 境港市実行委員会
	負担割合：	市実行委員会に係る費用全体に対し交流大会開催費は県2/3、市1/3 その他の経費は県1/2、市1/2 ※競技団体へ補助する費用は県10/10

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	4	買物環境確保推進事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	市内で移動販売を行う事業者に対して、移動販売車の更新費用の一部を助成することなどにより、買物が困難な高齢者の買物環境を改善する。
-------	--

事業概要	買物が困難な高齢者の買物環境を改善するため、市内で移動販売を行う事業者の事業継続に必要な移動販売車の更新費用の一部を助成する。 また、一人で買物に行ける高齢者を増やすようはまる一ぱバス乗り方講習会等を実施する。
------	--

現状、背景、課題	地元スーパーの店舗閉店で、移動手段が乏しい高齢者等の買物が困難な状況になってきている。一人で買物に行ける高齢者を増やすためには買物環境の改善とともに「はまる一ぱバス」等公共交通機関の活用が課題である。
----------	--

事業計画・効果	市内で移動販売を行う事業者の移動販売車購入に係る費用を助成することにより、移動販売の安定化を図ることをもって、高齢者等の買物環境の改善を行う。 また、一人で買物に行ける高齢者が増えるよう「はまる一ぱバス乗り方講習会」や「私の時刻表」の作成支援を強化していく。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算			予 算			予 算	名 称
事業費		0			1,540			1,540	
財源内訳	国庫支出金	0			0			0	
	県支出金	0			769			769	
	地方債	0			0			0	
	その他	0			0			0	
	一般財源	0			771			771	

令和6年度歳出内訳	補助金 移動販売車両購入費補助（県1/3、市1/3、事業者1/3）	1,540
-----------	--------------------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	4	老人保護事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	身体、精神、環境上に問題があり、経済的にも困窮している者で、在宅生活が困難な高齢者を施設に措置して必要な養護を提供し、健康で安心した生活が送れるように支援する。また身寄りのない高齢者の埋火葬にも対応する。
-------	--

事業概要	令和6年度より「老人保護措置費」、「養護老人ホーム入所判定委員会費」に、新たに身寄りのない高齢者の埋火葬に係る経費を加え「老人保護事業」とした。 ①経済的に困窮している在宅生活が困難な高齢者を養護施設に措置する。 ②養護老人ホーム入所判定委員会を必要に応じて開催する。 ③身寄りのない高齢者の埋火葬を行う。
------	--

現状、背景、課題	在宅生活が困難な高齢者が増加している。また、独居で身寄りのない高齢者が死去した際、市で埋火葬を行うケースが増えている。 <高齢者実態調査に基づく独居高齢者推移> 令和5年度 1,647人 令和4年度 1,682人 令和3年度 1,590人 <埋火葬件数> 令和5年度 4件 令和4年度 1件 令和3年度 1件
----------	--

事業計画・効果	在宅生活が困難な高齢者を措置する際の施設管理委託料を計上することにより、健康で安心した生活が送れるよう整備する。 また身寄りのない高齢者の埋火葬件数が増えたことにより、新たに予算化する。（令和5年度までは福祉課の予算で執行）
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	22,284	16,673		△ 5,611	400	埋火葬料等費用弁償金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	4,008	老人保護措置費負担金
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	4,310	4,408	98		
	一般財源	17,974	12,265	△ 5,709		

令和6年度歳出内訳	報 償 費		18
	養護老人ホーム入所判定委員会	3,000円×3人×2回	
	施設管理委託料		16,255
	皆生エスポワール	2人+予定1人	5,278
	母来寮	4人+予定1人	8,536
	特養入所者	2人	2,441
扶 助 費		400	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	4	在宅生活支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	1 貧困をなくそう				

事業の目的	高齢者が安心して在宅生活を送ることができるよう、シルバー人材センター利用料、オムツ代、鍼灸・マッサージ施術費、補聴器購入費を支援する。
-------	---

事業概要	令和6年度より「高齢者鍼・灸・マッサージ施術費助成事業」、「軽度生活援助事業」、「家庭介護用品購入費助成事業」、「高齢者補聴器購入費助成事業」を統合し、「在宅生活支援事業」とした。
------	--

現状、背景、課題	市内高齢化率は33%を超え、独居高齢者や近くに親族等の支援者がいない世帯が増えている。高齢者の生活支援体制を強化する必要性がある。
----------	---

事業計画・効果	<p><軽度生活援助事業業務委託> 委託先：境港市シルバー人材センター 内容：年間16時間を限度に利用料の1/2を助成（シルバー人材センターに直接支払い） 対象者：65歳以上の独居または70歳以上のみの世帯</p> <p><鍼灸マッサージ施術費> 内容：900円／回の助成券を申請月から3月までの月数分交付 対象者：70歳以上の市民税非課税世帯の方</p> <p><家庭介護者援護費> 助成額：月額1,200円 但し、要介護4・5は月額6,250円 対象者：65歳以上の常時おむつが必要な方を介護し、共に市民税非課税世帯である方</p> <p><高齢者補聴器購入費助成金> 上限額：30,000円 対象者：以下の3要件を満たす方 ①65歳以上の方 ②聴覚障害による身体障害者手帳の交付を受けていない方 ③中等度の難聴で医師が補聴器の必要を認める方</p> <p><効果> 助成事業の利用により、高齢者の健康増進や社会参加の促進、家族の負担軽減につなげる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	2,850	4,875	2,025		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	2,850	4,875	2,025	

令和6年度歳出内訳	需用費		28
	委託料	軽度生活援助事業委託料	1,882
	補助金	高齢者補聴器購入費助成金	2,610
	扶助費		355
		鍼灸マッサージ施術費	70
	家庭介護者援護費	285	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	3	1	5	特別医療費助成事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン				1-(2)	保育環境・保育サービスの充実
				1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を		10	人や国の不平等をなくそう

事業の目的	医療費にかかる助成を行うことで、助成対象者の健康の保持及び経済的負担の軽減による生活の安定を図る。
-------	---

事業概要	一定以上の心身障がい者、小児（18歳到達後の年度末までの子ども）、ひとり親家庭及び特定疾病患者に対し、医療費の自己負担の一部または全部を特別医療費として助成する。
------	---

現状、背景、課題	小児及び特定疾病については、所得制限なし。小児については、令和6年4月から一部負担金（通院等：530円/日、入院：1,200円/日）を廃止し、医療費を無償化する。
----------	---

事業計画・効果	<p>県制度分（身体障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1級所持者、ひとり親家庭、小児、特定疾病）については、現物給付により助成し、単市分（身体障害者手帳3級、療育手帳B、精神障害者保健福祉手帳2・3級所持者）については、償還払いにより助成する。</p> <p>助成により医療費負担が軽減されることで、真に必要な医療を受けることができ、健康の保持・増進や生活の安定につなげることができる。</p> <p>また、小児無償化に伴い、27,869千円（県と市で1/2ずつ負担）の負担増を見込んでいる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		185,952		234,981	49,029	14,605	特別医療高額療養費繰替戻入金
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	79,784		104,322	24,538		
	地方債	0		0	0		
	その他	15,523		14,605	△ 918		
	一般財源	90,645		116,054	25,409		

需用費（受給資格証台紙・送付用封筒ほか）	132
役務費（審査支払手数料ほか）	5,113
委託料（システム改修委託料）	330
扶助費	229,406

令和6年度歳出内訳

区分	対象者数（人）	助成額	備考
身体障がい	544	66,015	身体障害者手帳1・2級
知的障がい	62	3,768	療育手帳A
精神障がい	21	6,573	精神障害者保健福祉手帳1級
ひとり親家庭	207	10,309	
小児	4,723	131,185	18歳到達後の年度末までの子ども
特定疾病	3	85	小児喘息、慢性腎疾患ほか
県制度分計	5,560	217,935	
身体障がい	104	3,281	身体障害者手帳3級
知的障がい	75	3,805	療育手帳B
精神障がい	100	4,385	精神障害者保健福祉手帳2・3級
単市分計	279	11,471	
合計	5,839	229,406	

※対象者数は、令和6年1月末現在

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	児童扶養手当支給事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の心身の健やかな成長を図る。
-------	-------------------------------------

事業概要	ひとり親家庭の生活の安定と自立を助け、児童の心身の健やかな成長を図るため、児童扶養手当を支給する。
------	---

現状、背景、課題	ひとり親家庭の中には生活に困窮する家庭も多いため、生活の安定及び自立を図るため支援が必要である。
----------	--

事業計画・効果	<p>対象者：父母の離婚等により父又は母と生計を同じくしていない児童を養育している者 支給回数：年6回 【R6年度改正内容】 ・R5年全国消費者物価指数の実績値に基づき、4月以降の手当を3.2%増額 ・R6.11月分以降の手当について、所得制限額の引き上げ・第3子以降の加算額の増額（予定）</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	143,536	141,225		△ 2,311	307	返納金
財源内訳	国庫支出金	47,794	47,027	△ 767		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	307	307		
	一般財源	95,742	93,891	△ 1,851		

令和6年度歳出入内訳	需用費	25
	役務費	86
	委託料	30
	障がい認定委託料	
	扶助費	141,084
	負担割合 国1/3・市2/3	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	子育て短期支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	養育が難しい保護者に代わり一時的に児童養護施設等で養育することにより、児童の健全育成を図る。
-------	--

事業概要	保護者が疾病や仕事等により一時的に養育できない場合に、児童を児童養護施設または里親宅において一定期間養育、保護を行う。
------	---

現状、背景、課題	核家族化、人間関係の希薄化等により、一時的な養育を頼める相手がない保護者が増えている。
----------	---

事業計画・効果	<p>利用対象者：</p> <p>【短期入所生活援助事業】 保護者の疾病や育児疲れ、仕事等の事由により児童の養育が一時的に困難となった場合や保護者の育児不安や過干渉等により、児童自身が一時的に保護者と離れることを希望する場合</p> <p>【夜間養護等事業】 上記の理由により、平日夜間・休日に児童の養育が難しい場合</p> <p>利用施設：聖園天使園・聖園ベビーホーム(いずれも米子市内)・光徳子供学園(大山町)・里親宅(市内)</p> <p>利用期間：利用が必要と市が認めた期間</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		147		146	△ 1	54	保護者負担金
財源内訳	国庫支出金	31		30	△ 1		
	県支出金	31		30	△ 1		
	地方債	0		0	0		
	その他	50		54	4		
	一般財源	35		32	△ 3		

令和6年度歳出内訳	役 務 費	7
	委 託 料	139

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	3	2	1	児童クラブ運営費補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(4)	子育てと仕事の両立の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	クラブで児童を預かり、保護者の就労を支援し、児童の健全育成を図る。
-------	-----------------------------------

事業概要	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して、遊びや生活等の場を提供する民間放課後児童クラブ運営費の市費負担分を予算化している。
------	--

現状、背景、課題	夕日ヶ丘学童クラブ：社会福祉法人が運営。平成20年度からクラブを開設し、渡・中浜小学校区の児童を対象としている。 from kids：個人事業者が運営。令和6年4月開設予定。渡・外江・中浜小学校区の児童を対象としている。
----------	---

事業計画・効果	4月 開所 10月 交付申請（市→県、国） 12月～1月 交付決定（県、国→市） 1月 交付申請及び交付決定（事業所→市、市→事業所） 3月 実績報告
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,400	8,344	5,944			
財源内訳	国庫支出金	800	2,781	1,981		
	県支出金	800	2,781	1,981		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	800	2,782	1,982		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	8,344
	夕日ヶ丘学童クラブ	2,400
	from kids（令和6年4月開設予定）	5,944

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	児童手当支給事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	次世代の社会を担う子どもの育ちを社会全体で支援する。
-------	----------------------------

事業概要	中学校修了前の子どもを養育している者に対して、月額10,000～15,000円の児童手当、月額5,000円の特例給付を支給する。(令和6年度制度改正あり)
------	---

現状、背景、課題	<p>児童延べ人数(1年間)</p> <p>令和2年度 38,854人</p> <p>令和3年度 38,307人</p> <p>令和4年度 37,445人</p> <p>非被用者分・3歳以上児分・3歳未満の特例給付分 国2/3、県1/6、市1/6</p> <p>3歳未満の被用者分 事業主7/15、国16/45、県4/45、市4/45</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>手当支給額(子ども1人につき)</p> <p>3歳未満児 一律15,000円/月</p> <p>3歳以上児 10,000円/月(第3子以降は15,000円/月)</p> <p>中学生 一律10,000円/月</p> <p>所得制限世帯 5,000円/月</p> <p>所得上限超過世帯は支給なし</p> <p>6月・10月・2月に支給</p> <p>※令和6年10月分より拡充予定</p> <p>所得制限・上限撤廃、支給対象を高校終了前の子どもまで拡大</p> <p>第3子以降の支給額を一律30,000円/月に増額、第3子のカウントの見直し</p> <p>年3回支給(4か月毎)から年6回支給(2か月毎)に変更</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位:千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	417,497	390,688		△ 26,809		
財源内訳	国庫支出金	289,220	270,803		△ 18,417	
	県支出金	63,890	59,710		△ 4,180	
	地方債	0	0		0	
	その他	0	0		0	
	一般財源	64,387	60,175		△ 4,212	

令和6年度歳出内訳	需用費	54
	消耗品費(事務用品等)	
	印刷製本費(窓あき封筒)	
	役務費	404
	通信運搬費(FAX代、郵送料)	
扶助費	390,230	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	就学前の食育推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	園児とその保護者、保育施設の関係者等の食育に対する理解を深め、園児の健やかな心身の発達を保障し、食育活動を通して郷土愛の醸成を図る。
-------	--

事業概要	本市の特色である水産資源を活用した各種食育集会や地元農業者による野菜配送、食物アレルギーについての理解を深めるための交流会などを実施する。
------	---

現状、背景、課題	銀ザケ集会、マグロ集会、カニ集会などの各種食育集会を実施。 また、毎月19日(食育の日)に合わせ、地元野菜の配送を行い、食育推進を図っている。 アレルギーがある子どもの保護者同士の交流と情報交換を行い、子育ての不安軽減を図っている。
----------	--

事業計画・効果	地元関係団体の協力のもと、希望する保育園・幼稚園において各種食育集会を実施し、未就学児の時から郷土の産物について学んだり、味わう体験を通して郷土愛を育む。 ・銀ザケ集会 4月実施。銀ザケを育てる様子を学び、給食でいただく。 ・マグロ集会、マグロ給食 6月実施。マグロの生態や魚について学び、給食でいただく。 ・カニ集会 9～10月実施。ベニズワイガニ漁について学び、年長児のみ試食。 ※令和2年度より境港天然本マグロPR推進協議会様より提供いただき行っていたマグロ給食の食材費を予算化
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	152	591	439	296	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	76	295	219		
	地方債	0	0	0		
	その他	76	296	220		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	報償費	58
	やさい集会指導料、食物アレルギー交流会託児料	
	需用費	502
	食育集会食材費、カニ集会ガス代	
使用料及び賃借料		31
	かに集会貸出コンロ代	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	子ども・子育て会議運営事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	子ども・子育て支援事業計画に関することを中心に、本市の子育て支援に関する施策についての意見を聴取するため、子ども・子育て会議を開催する。
-------	--

事業概要	子ども・子育て支援法の施行により義務付けられた「子ども・子育て支援事業計画」を点検・評価し、本市の子育て支援に関する施策についての意見を聴取するため、子ども・子育て会議を開催する。令和6年度は令和5年度中に行ったアンケート調査を反映し、第三期計画策定を行う。
------	---

現状、背景、課題	令和元年度に第二期計画（計画期間は令和2年度から令和6年度まで）を策定し、毎年、点検・評価を行っている。令和5年度には第三期計画策定に係るアンケート調査を実施した。
----------	--

事業計画・効果	<p>子ども・子育て支援法に基づき策定する「第二期境港市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行う。（第二期計画期間 令和2年度から令和6年度までの5年間）また、次期計画の策定あたり、検討・協議を行うための会議を2回開催する。</p> <p>○第三期計画策定までのスケジュール</p> <p>令和6年1月～2月 アンケート調査実施</p> <p>5月 第一回子ども・子育て会議（素案提示、意見聴取）</p> <p>7月 第二回子ども・子育て会議（計画素案決定）</p> <p>8月～9月 パブリックコメント実施</p> <p>10月 第三回子ども・子育て会議（最終案報告）</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	78		117	39		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	78		117	39	

令和6年度歳出内訳	<p>報 償 費 117</p> <p>委員13人分 (3,000円×13人×3回)</p>
-----------	--

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	子育て拠点施設環境整備事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	子育て拠点施設の環境整備をすることにより、親子が気軽に出掛けられるようなきっかけ作りとなる事業を行い、外遊びや自然とふれあう機会や、子育てに関する情報が共有できる機会を増やし、親子が安心して楽しく利用することができる施設にする。
-------	--

事業概要	市内2箇所の子育て拠点施設について、様々な事業や体験を通して親子が共に安心して楽しく遊ぶことができ、楽しい子育てや子どもの健やかな成長につながるような、必要な改修と物品整備を行う。令和6年度は、地域子育て支援センターひまわりにおいて屋上防水改修工事を実施する。
------	--

現状、背景、課題	少子化や核家族化が進んでいる。また転勤などで近くに祖父母などの支援者が居ないなど、子育てにおける孤立感や不安感を抱えている家庭が多い。子育てに関する情報を共有したり、良好な親子関係の構築を促していくうえで、施設の重要性が高まっている。
----------	---

事業計画・効果	<p>地域子育て支援センターひまわりの防水シートは、改修後10年以上を経過し一部に劣化がみられるため、施設の維持を目的として改修を行う。</p> <p>工事箇所：地域子育て支援センター屋上（867.1㎡）</p> <p>工事内容：防水シート・ウレタン塗装の劣化箇所の補修、防水シートへのトップコート塗装</p> <p>工 期：R6.8～10月（予定）</p> <p>財 源：次世代育成支援対策施設整備交付金（補助率：1／2）</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	7,535	7,535	3,768	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	3,767	3,767	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	3,768	3,768	
	一般財源	0	0	0	

令和6年度歳出内訳	工事請負費	7,535
-----------	-------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	子どもの育ちを支える事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(2)	保育環境・保育サービスの充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	本市の未来を担う子どもたちの健やかな育ちを保障し、主体的に考え、自分らしく生きることのできる力を育む。
-------	---

事業概要	本市の未来を担う子どもたちがプロの演劇や歌に触れることで、感性を育み、健やかな育ちを保障する。保育に関わる大人が特性のある子どもへの対応の手法や、子どもの主体性を育む保育について学ぶ研修活動など、未来を担う子どもたちの育ちを支える事業を展開する。
------	---

現状、背景、課題	子どもたちの健やかな育ちを保障するための、保育施設での取組のほか、保護者へ働きかけを行う事業を実施している。
----------	--

事業計画・効果	<p>○本市の未来を担う子どもたちの健やかな育ちを保障し、豊かな人間性、主体的に考え、行動できる子どもの育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアとの付き合い方講座 3施設 ・境港子どもの育ち研修会(市内幼児教育保育施設職員等対象) 1回 ・境港市アートスタート事業 9公演 ・命の学習事業 4施設 ・保育士対象発達支援勉強会 4回
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		1,537	1,589	52			
財源内訳	国庫支出金	113	143	30			
	県支出金	656	677	21			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	768	769	1			

令和6年度歳出入内訳	報 償 費	150
	メディアとの付き合い方講座	
	境港市子どもの育ち研究会	
	委 託 料	1,439
	アートスタート事業	
	命の学習事業	
	保育士対象発達支援勉強会	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	子育て世代訪問支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	妊娠期からの切れ目のない支援が叫ばれる中、養育支援が必要な家庭、様々な事情により地域から孤立しがちな子育て家庭、健診の谷間にある児童や未就園児のいる家庭に対し、より積極的な訪問型の支援(育児家事援助)を実施し、妊娠や子育てへの不安を解消していく。
-------	---

事業概要	妊娠や子育てへの不安解消や全国的に増え続ける児童虐待の発生予防のため、養育支援が必要な家庭等に対し、直接的な支援(育児家事援助)を行う。
------	--

現状、背景、課題	核家族化が進むなか、周囲に祖父母などの支援者が居ない家庭、子育てに不安を抱える家庭が増えている。また、児童虐待の通告件数も全国的に増え続けている。このような状態を改善するためにも妊娠期からの切れ目のない支援が重要となっている。
----------	---

事業計画・効果	<p>養育の支援を求める家庭や支援が必要と考えられる家庭に対し、市が支援の必要性や回数等を判断した上で、市に登録している支援員が対象家庭を訪問する。</p> <p>訪問支援員：保育士経験者等、育児の知識を有する者 訪問回数：週1回～毎日(家庭の状況によって異なる) 支援内容：育児に対する助言・家事援助等 支援期間：支援が必要と考えられる期間</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称	
事業費	1,457	1,764	307	1,144	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	256	310	54		
	県支出金	256	310	54		
	地方債	0	0	0		
	その他	945	1,144	199		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	人件費	1,354
	会計年度任用職員1人 ※兼務職員	
	報償費	324
	訪問支援員・研修講師報償費	
	役務費	86

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	未就園児等全戸訪問事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	孤立、困り感を抱えながら子育てしている家庭を早期に発見することにより、虐待防止へ繋げていく。
-------	--

事業概要	未就園の子どもがいる家庭を訪問し、子育て情報等を提供しながら、子育て相談に応じる。継続的に支援が必要な家庭に対しては、既存事業の「子育て世代訪問支援事業」、「地域子育て支援センター」に繋げ、安心して子育てができるよう支援していく。
------	---

現状、背景、課題	自ら積極的に支援を求めることが困難な状況にある家庭への支援については、これまであった「通所型」の支援では対応できず、積極的な家庭訪問などの「アウトリーチ型（※支援の対象となる人のところに支援者が出向く方法）」の支援が必要となっている。
----------	---

事業計画・効果	<p>対象家庭：未就園児童のうち、以下に該当しない児童がいる家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスを利用している児童 ・当該年度中に乳幼児健診、赤ちゃん訪問の対象となる児童 ・保健師、家庭児童相談室等が関わっている児童 <p>訪問支援員：保育士経験者等、育児の知識を有する者 訪問回数：1～2回程度 支援内容：育児に対する助言等</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,337	1,560	223	1,049	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	709	511	△ 198		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	628	1,049	421		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	人件費	1,354
	会計年度任用職員1人 ※兼務職員	
	報償費	120
	訪問支援員・研修講師報償費	
	役務費	86

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	1	保育環境改善等事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(2)	保育環境・保育サービスの充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	私立保育園等の保育環境の改善を図ることで、子どもの安全と健やかな育ちを保障する。
-------	--

事業概要	私立保育園等が行う、保育環境を向上させるための設備の購入及び改修に必要な経費を支援し、子どもの保育環境の改善を図り、安心安全な保育体制整備を行う。
------	---

現状、背景、課題	私立保育園等における、経年劣化した設備等を整備・改修し、子どもにとって安全な保育環境を実現する。また、昨今の子どもの痛ましい事故を未然に防ぐための対策について、更なる強化が求められている。
----------	--

事業計画・効果	<p>私立保育園等における保育環境の改善を図るための、施設整備等にかかる費用を補助する。</p> <p>○保育環境向上等事業 保育環境の向上等を図るため、老朽化した備品や、フローリング貼・カーペット敷等の設備の整備や更新及び改修等 (梅檀保育園・美哉幼稚園・夕日ヶ丘ひまわり保育園・サンライズキッズ保育園)</p> <p>○こどもの安心・安全対策事業 睡眠中の事故防止対策に必要な機器、ICTを活用した子どもの見守りに必要な設備の導入 (夕日ヶ丘ひまわり保育園・サンライズキッズ保育園)</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	12,053	4,866		△ 7,187		
財源内訳	国庫支出金	4,826	1,872		△ 2,954	
	県支出金	2,401	1,372		△ 1,029	
	地方債	0	0		0	
	その他	0	0		0	
	一般財源	4,826	1,622		△ 3,204	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金		4,866
	(保育環境向上等事業)		4,116
	私立保育園等	1,029,000円×4か所	
	(こどもの安心・安全対策事業)		750
	私立保育園等	375,000円×2か所	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	3	2	1	放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(4)	子育てと仕事の両立の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	新型コロナウイルス感染症への対応と少子高齢化への対応が重なる最前線で働く、放課後児童クラブ職員の処遇改善のため。
-------	--

事業概要	民間の放課後児童クラブで働く職員の処遇改善のため、収入を3%程度（月額9,000円）引き上げるための費用を助成する。
------	--

現状、背景、課題	対象となる職員：夕日ヶ丘学童クラブ…非常勤2人、from kids(令和6年4月開設予定)…常勤2人、非常勤1人
----------	--

事業計画・効果	10月 交付申請（市→県、国） 12月～1月 交付決定（県、国→市） 1月 交付申請及び交付決定（事業所→市、市→事業所） 3月 実績報告
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	462	462			
財源内訳	国庫支出金	0	462	462		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	462
	夕日ヶ丘学童クラブ	132
	from kids(令和6年4月開設予定)	330

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	3	2	1	こころとからだの健康事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	自分や他人の存在に価値あることを知り、自分を大切に思う自己肯定感を育て、命の大切さを学ぶ。また自分自身の体を守る方法を知ること、自他の命を守っていこうと考えるきっかけとする。
-------	---

事業概要	市内小学5年生もしくは6年生を対象に、命の大切さや自分の体を守る方法について学ぶ機会として、助産師による「命の学習」と、がん認定看護師による「自分や他人のからだ・命を守る学習」を実施する。
------	--

現状、背景、課題	本市では、平成19年度より児童と赤ちゃん・保護者とのふれあいを行う「境港・ハッピー赤ちゃん登校日」を実施していたが、新型コロナウイルス感染症による影響のため令和2年度以降実施できていない。 赤ちゃん登校日に変わる事業として本事業を実施。
----------	---

事業計画・効果	<p><内容></p> <p>①「命の学習」 命の大切さを伝え、自分や他人の命は、大切な命であると知ってもらう。 講師：鳥取県助産師会助産師</p> <p>②「自分や他人のからだ・命を守る学習」 子どもの時から、がんに関する知識や予防接種、健診等自分の体を守る方法を伝え、自分や他人の命を守ることにつなげる。 講師：がん認定看護師</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		282		282	0		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	140		140	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	142		142	0		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	57
	講師等報償金（がん認定看護師）	
	需 用 費	4
	委 託 料	221
	委託先 鳥取県助産師会	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	2	公立保育所運営費	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(2)	保育環境・保育サービスの充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	保護者が就労や疾病等の理由により、家庭での保育が困難な場合に、保護者に代わり適切な環境のもと心身ともに健やかに成長するよう保育を行い、児童福祉の向上を図る。
-------	--

事業概要	公立保育園3園を運営するための経費。入所児童の保育材料費や給食材料費、会計年度任用職員の人件費や施設管理費など。
------	--

現状、背景、課題	公立保育園3園。1歳児から就学前までの児童を対象として、保育を実施。令和6年度より、あがりみち保育園にて年度中途から乳児（0歳児）の受入を開始。また、あがりみち保育園、なかはま保育園において自園で主食（ごはん）を提供開始。
----------	---

事業計画・効果	公立保育園（3園）を運営するための経費。令和6年度は待機児童対策として、乳児（0歳児）の受け入れを年度中途から行うため、新たな人員を確保し、保育体制を整える。 令和6年度より、あがりみち保育園、なかはま保育園においては自園での主食（ごはん）提供を開始。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称	
事業費	200,496	237,955	37,459	14,709	保護者負担金	
財源内訳	国庫支出金	24,506	25,923	1,417	8,100	保育所給食費
	県支出金	8,037	9,744	1,707	3,258	職員共食費
	地方債	0	0	0	579	広域入所委託料
	その他	23,362	27,092	3,730	400	休日保育事業保護者負担金ほか
	一般財源	144,591	175,196	30,605	46	市有地占用料ほか

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員77人分）	183,453
	報酬	540
	嘱託医6人分	
	報償費	19
	旅費	3
	需用費	41,052
	消耗品費、光熱水費、給食材料費ほか	
	役務費	1,813
	委託料	8,868
	広域入所委託料、電気保安業務委託料ほか	
	使用料及び賃借料	1,357
下水道使用料ほか		
備品購入費	850	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	2	私立保育所等運営費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(2)	保育環境・保育サービスの充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	私立保育園等の園運営に必要な経費を乳幼児の年齢や人数に応じた国庫基準額で算定し、運営のための給付費として支出することで、園児の健やかな育ちを保障する。
-------	---

事業概要	私立保育園等の運営に必要な経費を給付し、適切な保育環境を構築する。
------	-----------------------------------

現状、背景、課題	市内には、私立保育園が7園（1園休園）、認定こども園が1園、小規模保育園が2園ある。
----------	--

事業計画・効果	<p>○園児の年齢や人数に応じて算定した私立保育園等の運営に必要な経費を給付することにより、保育に適切な環境を構築する。</p> <p>○毎月 園からの請求により委託費（給付費）を支払う。</p> <p>6～7月 年間を通しての加算の認定</p> <p>12～1月 処遇改善等加算（Ⅰ～Ⅲ）の認定、3月分のみ加算の認定</p> <p>3月 加算の遡及認定、児童数等の精査、人事院勧告に基づく単価改定等による差額を清算</p> <p>※令和6年4月より、育成保育園、外江保育園が保育所型認定こども園となる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		1,010,181	1,038,098	27,917	27,142	保護者負担金	
財源内訳	国庫支出金	427,679	528,235	100,556			
	県支出金	242,067	252,480	10,413			
	地方債	0	0	0			
	その他	50,001	27,142	△ 22,859			
	一般財源	290,434	230,241	△ 60,193			

令和6年度歳出内訳	委託料	1,038,098
	梅檀保育園	112,289
	つばさ保育園	87,975
	あまりこ保育園	134,125
	夕日ヶ丘保育園	106,305
	美哉幼稚園（1号認定）	24,109
	美哉幼稚園（2，3号認定）	80,906
	育成こども園（1号認定）	24,426
	育成こども園（2，3号認定）	110,562
	外江こども園（1号認定）	24,350
	外江こども園（2，3号認定）	109,875
	夕日ヶ丘ひまわり保育園	56,891
	サンライズキッズ保育園	41,559
	聖心幼稚園	74,359
	広域入所（保育所）	5,442
	広域入所（認定こども園1号）	3,209
	広域入所（認定こども園2、	6,708
	広域入所（小規模保育事業）	10,600
	広域入所（幼稚園）	24,408

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	2	保育所等整備事業補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(2)	保育環境・保育サービスの充実	
SDGs	4 質の高い教育をみんなに				

事業の目的	社会福祉法人等が保育園等を新設、修理、改造又は整備、並びに防犯対策の強化に係る整備に要する経費を補助し、園児に安心安全で適切な保育環境を提供する。
-------	---

事業概要	私立保育園等が実施する、保育施設の新設、修理、改造又は整備に要する経費、並びに防犯対策の強化に係る整備に要する経費を補助。
------	---

現状、背景、課題	施設の経年劣化。防犯対策の強化。(国1/2、市1/4、事業者1/4) <近年の実施状況> R3 あまりこ保育園 屋上防水改修 8,120,565円 R4 梅檀保育園 園舎外壁修繕 7,095,000円 R5 夕日ヶ丘保育園 園舎(北棟)トイレ増築改修 9,075,000円 外江保育園 大規模改修工事 19,635,000円(全額繰越)
----------	---

事業計画・効果	○外江保育園大規模改修工事(令和5年度からの継続) ・工事の目的 施設の老朽化に伴う改修及び定員減少・縦割り保育のための保育室の区画整理 全館一斉空調システムの老朽化に伴う個別空調化 ・工事のスケジュール 令和6年3月着工 令和6年12月竣工予定 ○就学前教育・保育施設整備交付金 ・交付先:有限会社 育成 ・負担割合:3/4
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位:千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	78,540	78,540		
財源内訳	国庫支出金	0	52,360	52,360	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	19,600	19,600	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	6,580	6,580	

令和6年度歳出内訳	補助金	78,540
-----------	-----	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	2	公立保育園リニューアル事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(2)	保育環境・保育サービスの充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	公立保育園3園の一貫保育施設への整備に合わせ、老朽化した冷暖房、トイレ、厨房等の改修を行い、保育環境を整える。
-------	---

事業概要	令和2年度に策定した「境港市保育のあり方について」の今後の方針に基づき、一貫保育の推進等に取り組むため、公立保育園3園の施設改修等を行う。
------	---

現状、背景、課題	令和5年度：あがりみち保育園、なかはま保育園改修工事 令和6年度：わたり保育園外構工事 令和7年度：わたり保育園新築工事 令和8年度：わたり保育園旧園舎解体工事
----------	---

事業計画・効果	令和2年度に策定した「境港市保育のあり方について」の今後の方針に基づき、公立保育園3園において一貫保育の推進等に取り組むため、施設の改修等を行う。令和6年度はわたり保育園新築工事の外構工事を行う。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称	
事業費	221,541	103,446	△ 118,095	13,346	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	93,412	0	△ 93,412		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	97,300	90,100	△ 7,200		
	その他	30,829	13,346	△ 17,483		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	委託料	5,733
	わたり保育園外構工事監理業務委託料ほか	
	使用料及び賃借料	33
	有料道路等通行料	
	工事請負費	94,380
	わたり保育園新築工事（第1期工事）	
	建築工事	83,633
	電気工事	2,673
	機械工事	11,913
	備品購入費	3,300
庁用器具費		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	2	保育体制強化事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(2)	保育環境・保育サービスの充実	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	保育支援者や保育補助者の配置の支援を行うことにより、保育士の業務負担の軽減を図るとともに保育人材の確保を図る。
-------	---

事業概要	保育士の業務負担を軽減するため、保育士資格を持たない保育支援者及び保育補助者を配置する私立保育園等に対し、配置にかかる経費の支援を行う。保育補助者においては、保育士資格取得までの流れを構築するほか、潜在保育士の再就職を支援する。
------	--

現状、背景、課題	昨今の保育士不足による待機児童を解消するため、地域の多様な人材を保育に係る周辺業務に活用し、保育士の負担を軽減することにより、保育の体制を強化し、保育士の就業継続及び離職防止を図り、保育士が働きやすい職場環境を整備する。
----------	--

事業計画・効果	<p>保育施設等の保育人材不足を解消し、また保育現場の負担軽減、離職を防止するため、保育の周辺業務及び保育士資格取得を目指す人材を雇うために必要な経費を補助する。</p> <p>○保育体制強化事業 保育に係る周辺業務を行う、保育支援者を配置するための支援を行うことにより、保育士の業務負担の軽減を図る。(私立保育園等 8か所)</p> <p>○保育補助者雇上強化事業 保育士資格取得を見据えた、保育補助者を配置するための支援を行うことにより、保育士不足を解消する。(私立保育園等 6か所)</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	21,914	21,914		
財源内訳	国庫支出金	0	14,035	14,035	
	県支出金	0	3,939	3,939	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	3,940	3,940	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	21,914
	(保育体制強化事業)	
	私立保育園等8か所	9,600
	(保育補助者雇上強化事業)	
私立保育園等6か所	12,314	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	2	子育て家庭支援事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	市内の幼稚園・保育園等において、完全給食を提供するとともに、更なる子育て家庭への経済的負担軽減施策として、主食費については市が負担し、「子育てするなら境港」を推進する。
-------	--

事業概要	市内全ての幼稚園・保育園等において、給食に主食（ごはん）を提供できる体制を整えるとともに、主食費を市が負担し、子育て家庭を支援する。
------	--

現状、背景、課題	主食費については、軽減や減免は無く、低所得世帯、第3子以降の子どもについても一律で負担するものであり、事業を実施することにより、就学前の子どもを持つ全ての子育て家庭の負担軽減を図ることができる。（3～5歳児が対象）
----------	---

事業計画・効果	<p>市内すべての保育施設等において、3歳以上児の主食（ごはん）にかかる費用を無償にすることで、子育て家庭への更なる負担軽減を図る。</p> <p>○主食（ごはん）配送委託 園児数（127人） 梅檀保育園、わたり保育園</p> <p>○主食費補助金（主食費無償化に係る経費を補助） 1,200円×園児数（440人）</p> <p>私立保育園等 6か所 私立幼稚園 1か所 認可外保育施設 1か所</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	8,922	8,922		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	8,922	8,922	

令和6年度歳出入内訳	委託料	2,586
	わたり保育園3歳以上児分	
	梅檀保育園 3歳以上児分	
	負担金補助及び交付金	6,336
	私立保育園等 8か所	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
子育て支援課	3	2	3	ひとり親家庭自立支援給付金事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(4)	子育てと仕事の両立の推進	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	修業期間中における給付金の支給又は受講にかかる費用、公正証書作成費用を助成することにより、ひとり親家庭の経済的負担の軽減、経済的自立の促進を支援する。
-------	---

事業概要	ひとり親家庭の母又は父が経済的自立を目的として専門機関での修業・講座の取得等の活動をする場合において、給付金を支給する。また、離婚に際し養育費に関する公正証書を作成する場合において、作成費用を支援する。
------	---

現状、背景、課題	ひとり親家庭の母又は父が資格取得や能力開発を目指す場合、生活費・学費等、経済的に困難さを伴う場合が多く、支援が必要である。また、離婚後、養育費の支払いが約束通りに履行されないケースが少なくない。
----------	---

事業計画・効果	<p>【養育費に係る公正証書等作成促進補助金】 対象者：ひとり親家庭の母又は父で、対象児童を養育し、公正証書作成費用を負担する者 補助対象経費：公正証書作成に必要な経費（手数料・郵送料・印紙代・戸籍謄本取得費等） 補助上限額：2万円</p> <p>【高等職業訓練促進給付金等】 対象者：看護師・介護福祉士等の資格を取得するため養成機関で修業する者 支給額：訓練促進給付金 100,000円/月（市民税課税世帯の場合：70,500円/月） （修学の最終年1年間は4万円を加算） 訓練終了支援給付金 50,000円（市民税課税世帯の場合：25,000円） 支給期間：修業期間の全期間（上限：4年）</p> <p>【自立支援教育訓練給付金】 対象者：看護師・介護福祉士等の資格を取得するため、国が定める教育訓練給付制度の指定講座等を受講する者 支給額：受講料の6割（上限40万円）、雇用保険による教育訓練給付の支給を受ける場合は差額を支給する。専門資格の取得を目指す場合は、上限160万円を支給。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称
事業費	5,612	4,666		△ 946		
財源内訳	国庫支出金	4,194	3,459		△ 735	
	県支出金	0	0		0	
	地方債	0	0		0	
	その他	0	0		0	
	一般財源	1,418	1,207		△ 211	

令和6年度歳出入内訳	負担金補助及び交付金	360
	自立支援教育訓練給付金 1人	200
	公正証書作成費用補助金 8人	160
	扶 助 費	4,306
	高等職業訓練促進給付金 3人	4,206
	高等職業訓練終了支援給付金 2人	100

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	3	1	生活保護就労支援事業	継 続
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	生活保護受給者を就労に結びつけることを目指した支援をすることで世帯の自立を促進させることを目的とする。
-------	---

事業概要	生活保護受給者の就労支援を専ら行う就労支援員を配置し、受給者の自立のための就労指導を重点的に行う。
------	---

現状、背景、課題	就労支援員のきめ細かな支援の効果もあって、毎年度5人以上が就労に結び付いており、生活保護から脱却した者もいる。
----------	---

事業計画・効果	<p>生活保護受給者を就労に結びつけるため、就労支援員を配置し、自立促進のための就労指導等を行う。</p> <p>就労支援員： 会計年度任用職員1人（福祉課内に配置）</p> <p>【実績】</p> <p>R3年度 支援者21人 就労決定6人 保護廃止3人</p> <p>R4年度 支援者16人 就労決定6人 保護廃止2人</p> <p>R5年度 支援者20人 就労決定9人 保護廃止5人</p> <p>※R5年度は1月末時点</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		2,705	3,240	535			
財源内訳	国庫支出金	2,029	1,946	△ 83			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	676	1,294	618			

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員1人分）	3,173
	需用費	55
	役務費	12

所 属	款	項	目	事業名	種 別
福 祉 課	3	3	2	生活保護扶助費	継 続
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	生活困窮者に対し、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともにその自立を助長する。
-------	--

事業概要	生活に困窮する者の困窮の程度に応じ、必要な保護を行う。
------	-----------------------------

現状、背景、課題	無年金もしくは低額年金の高齢者の増加、精神疾患や慢性疾患等による疾病の長期化が見られる。被保護世帯数は横ばいの状況である。
----------	---

事業計画・効果	生活に困窮する者の最低限度の生活を保障するとともに、その者の自立の助長を図るための生活保護法に基づく扶助を行う。																	
	<p>【R5.12月統計分世帯類型】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>高齢</th> <th>障がい</th> <th>傷病</th> <th>母子</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>167世帯</td> <td>31世帯</td> <td>44世帯</td> <td>13世帯</td> <td>36世帯</td> <td>291世帯</td> </tr> <tr> <td>57.4%</td> <td>10.6%</td> <td>15.1%</td> <td>4.5%</td> <td>12.4%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>	高齢	障がい	傷病	母子	その他	計	167世帯	31世帯	44世帯	13世帯	36世帯	291世帯	57.4%	10.6%	15.1%	4.5%	12.4%
高齢	障がい	傷病	母子	その他	計													
167世帯	31世帯	44世帯	13世帯	36世帯	291世帯													
57.4%	10.6%	15.1%	4.5%	12.4%	100%													

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		545,733	549,439	3,706					
財源内訳	国庫支出金	409,298	412,077	2,779					
	県支出金	1,676	1,883	207					
	地方債	0	0	0					
	その他	2	2	0					
	一般財源	134,757	135,477	720					

令和6年度歳出入内訳	扶 助 費	
	生活扶助	144,214
	住宅扶助	67,590
	教育扶助	1,367
	医療扶助	280,179
	介護扶助	20,227
	その他扶助	2,499
	施設事務費	33,363

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	日曜休日応急診療所管理事業	継続
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	休日に発生する医療への応急体制を整え、市民の健康保持に寄与する。
-------	----------------------------------

事業概要	一般の医療機関が営業していない日曜日、祝日及び年末年始（12/31、1/2、1/3）における一次救急医療に対応するため診療所を開設し、内科及び小児科の診療を行う。運営は指定管理者（境港医師協会）に委託。
------	---

現状、背景、課題	昭和49年の開設以来、休日における地域の一次救急医療を担う。市民のほか、近隣市町民や観光客の利用もある。新型コロナ禍前（～令和元年度）は年間800人前後の受診があったが、令和2年度以降は、新型コロナの影響により受診者が大幅に減少。令和6年度から指定管理料を増額。
----------	---

事業計画・効果	令和6年度から、指定管理料を増額（300万円→500万円）する。 新型コロナウイルス感染症の影響による受診者数の減少がしばらく継続し、これに伴う収入（診療報酬）の減少に対応するため、指定管理料を増額するもの。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		3,509	5,509	2,000					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	3,509	5,509	2,000					

令和6年度歳出内訳	役 務 費	1
	感染対策用プレハブ建物総合損害共済	
	委 託 料	5,214
	指定管理委託料	5,000
	指定管理者：境港医師協会	
	指定期間：R6.4.1～R9.3.31	
医療事務システム保守委託料	214	
使用料及び賃借料	294	
用具借上料（医療事務システム用パソコン）		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	妊婦・乳児一般健康診査	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援
				1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	妊娠経過及び乳児の成長発達上、必要な時期に、健診受診が出来る環境をつくることで、妊婦・乳児の健康管理の向上を図る。
-------	---

事業概要	妊婦に14回分・乳児に2回分の一般健康診査を実施する。
------	-----------------------------

現状、背景、課題	健康診査を受けることにより、妊産婦・乳幼児の健康管理ができています。
----------	------------------------------------

事業計画・効果	≪実施内容≫ ・妊婦一般健康診査（14回）（多胎妊婦は5回追加） ・乳児一般健康診査（3～4か月・9～10か月の各1回） ≪その他≫ ・6か月児健康診査時やハイハイ期親子応援事業で受診確認を行い、未受診者には受診勧奨を実施
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		20,333	19,840		△ 493		
財源内訳	国庫支出金	22	422		400		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	20,311	19,418		△ 893		

令和6年度歳出内訳	需用費	72
	役務費	231
	委託料	19,537
	妊婦一般健康診査委託料	17,150
	乳児一般健康診査委託料	2,387

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	こんにちは赤ちゃん訪問事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	家庭訪問により、子育ての不安や悩み、母子の心身の状況や養育環境等の把握に努め、必要な助言や情報の提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対して適切なサービスの提供につなげる。併せて、乳児家庭の孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図る。
-------	---

事業概要	生後4か月までの全ての母子を対象に助産師または保健師が家庭訪問し、母子の状況、家庭環境などの観察とともに、子育て相談、情報提供などを行う。
------	---

現状、背景、課題	全ての母子を対象に、家庭に訪問することで、より生活に沿った子育て支援が行える。
----------	---

事業計画・効果	≪対象者≫ ・生後4か月までの全ての母子 ≪事業内容≫ ・助産師または保健師が訪問し、児の発育・発達状況や養育環境および子育てに関する不安等の確認を行うとともに、相談に応じる ・子育てに関する事業や制度等に関する情報提供 ≪期待される効果≫ ・子育て不安の解消、虐待等の早期発見
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,358	535	△ 823					
財源内訳	国庫支出金	452	178	△ 274					
	県支出金	452	178	△ 274					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	454	179	△ 275					

令和6年度歳出内訳	人件費(会計年度任用職員1人分)	161
	需用費	50
	委託料	324
	訪問指導委託料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	地域自死対策緊急強化事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	境港市で自らのちを絶つ人を0にする。つまりいても自分で立ち直れたり、つまりいても安心して住めるまちになるために、子どもや保護者が自分の気持ちに気づく力や伝える力、地域の支える力の向上を図る。
-------	---

事業概要	自分の気持ちに気づいたり、自分の気持ちを言葉で人に伝えられる力をはぐくみ、聞いてくれる人がいる地域づくりに取り組むために、小学6年生対象のアンケート調査や、地域への普及啓発、ゲートキーパー養成講座等に取り組む。
------	---

現状、背景、課題	自死者数が多いH15～H24の10年間の平均自死者数（人口動態統計）は10名であった。H25年～R4の平均自死者数（人口動態統計）は5名と減少傾向である。R1年度よりコロナ禍において全国的に自死者数の増加があり、特に女性の自死者数の増加が目立っているとの報告がある。境港市においても若年層、女性への自死対策を強化する必要がある。教育委員会と連携し、小学生へのアンケート等を実施する。
----------	---

事業計画・効果	①実態調査 ・市内小学校6年生対象のアンケート調査 ②地域への普及啓発 ・こころの応援団を広げる会 ・ネットワークづくり ・こころの相談窓口啓発 ・子どもの居場所づくりの推進 ③ゲートキーパー養成事業 ・養成講座開催 ・養成者へのフォローアップ講座開催
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	607	616	9			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	403	409	6		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	204	207	3		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	203
	講師等報奨金	
	需 用 費	228
	役 務 費	14
	委 託 料	171
	アンケート集計及び分析委託料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	不妊治療費等支援事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	特定不妊治療や一般不妊治療（人工授精を含む）、不妊検査に対して助成金を交付することにより、子どもを望む夫婦の経済的負担を軽減し、妊娠・出産しやすい環境を整える。
-------	--

事業概要	不妊検査や保険適用外の特定不妊治療（体外受精・顕微授精）、保険適用となっている一般不妊治療（人工授精を含む）に要する経費の一部を助成する。
------	---

現状、背景、課題	国・県は、特定不妊治療をH16年度から助成。市は、H28年度から不妊相談を開始。H29年度から、保険適用の一般不妊治療と不妊検査に要する経費の一部助成を開始。R2年度途中より、不妊検査や一般不妊治療のうち、保険適用となる助成の独自助成を行う中、所得制限の撤廃や出生ごとの回数リセット、事実婚を認めるなど対象者を広げ、使いやすい制度とした。R4年度に人工授精が保険適用となり、県助成は終了したが、市の独自助成は継続。R6年度からは、特定不妊治療について、県の助成拡大に合わせ助成回数を拡充する。
----------	--

事業計画・効果	<<助成内容>> ・特定不妊治療費助成金（保険適用外治療分 上限50千円/回） 50,000×20回 ・一般不妊治療費助成金（保険適用治療分 通年2年度まで） 人工授精を含む場合 （上限50千円/年度） 50,000円×5人 人工授精を含まない場合 （上限30千円/年度） 30,000円×10人 ・不妊検査助成金（1回限り助成、保険適用は上限13千円、保険適用外は上限6.5千円） 5,000円×10人
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,714		1,616	△ 1,098		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	12	8	△ 4		
	地方債	0	0	0		
	その他	2,702	1,608	△ 1,094		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	16
	助産師報償費	
	負担金補助及び交付金	1,600

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	済生会境港総合病院救急医療事業費補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	公的病院である済生会境港総合病院の救急医療事業に助成することにより、救急医療体制の維持を図る。
-------	---

事業概要	済生会境港総合病院の救急医療事業に助成する。(特別交付税対象)
------	---------------------------------

現状、背景、課題	救急医療事業は、一定レベルで維持しなければならないが、病院にとっては不採算により維持が困難となっているため、救急告示病院等に助成した市町村に特別交付税措置がされる。
----------	--

事業計画・効果	<p>(補足)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医師不足を背景に非常勤医師の稼働が増え、これに伴い救急医療にかかる経費が大幅に増額となったことから、令和5年度以降、それまで2,500万円だった補助金を3,000万円に増額している。 ・ 当補助金に対する特別交付税は、補助額の7～8割程度。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		30,000	30,000		0		
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	30,000	30,000		0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 済生会境港総合病院救急医療事業費補助金	30,000
-----------	-----------------------------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	子育て世代包括支援センター事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	子育て世代包括支援センターを中心に、妊娠期からの子育て支援に取り組むことで、妊産婦の孤立感の解消を図り、妊娠、出産、子育てに関する情報の発信、また、それらの諸問題への対応等と併せ、虐待事案の発生防止を図る。
-------	---

事業概要	平成28年4月、妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対応した総合的な相談支援と各種の支援サービスへつなぐワンストップ拠点として、子育て世代包括支援センターを設置した。母子保健コーディネーターを中心に、専門職によるきめ細かな相談、支援体制を敷き、全ての妊産婦を継続的に把握するとともに、面談、電話、メール等による切れ目ない支援を行い、併せて、産後ケア事業等による産前産後の支援体制の充実を図る。
------	--

現状、背景、課題	平成28年度から、国・県において、妊娠期から子育て期にわたるまでの様々なニーズに対して、総合的な支援を提供するワンストップ拠点（子育て世代包括支援センター）の整備が図られた。本市においても平成28年度から子育て世代包括支援センターを設置し、妊娠期から切れ目ない支援に努めた。
----------	---

事業計画・効果	<p>《事業内容》</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) コーディネーター配置 <ul style="list-style-type: none"> ・妊婦全数面接による状況等の把握、妊産婦支援台帳の作成、子育てプランの提示、説明及び相談等の対応 (2) 産前・産後サポート事業 <ul style="list-style-type: none"> ・助産師による面接、訪問等による相談支援 (3) 産後ケア事業 <ul style="list-style-type: none"> ・助産師による母体管理、沐浴指導等の直接的ケア ・デイサービス、ショートステイ、ヘルパー派遣 (4) 安心メール事業 <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールによる情報発信と気軽に相談できる環境の整備 (5) 育児パッケージ <ul style="list-style-type: none"> ・1か月児健康診査受診券 予定対象新生児200人 <p>なお、令和6年度から、養育環境や母子の状況等に関する質問票の記載をしてもらい、必要な方に対する情報提供や相談に応じ、切れ目ない支援の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おむつ等購入費用の助成 1歳未満の乳児を対象
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	8,857	7,975	△ 882		
国庫支出金	3,328	3,202	△ 126		
県支出金	1,730	1,780	50		
地 方 債	0	0	0		
そ の 他	0	0	0		
一 般 財 源	3,799	2,993	△ 806		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員2人分）	3,428
	需用費	236
	消耗品	55
	印刷製本費	181
	役務費	34
	委託料	2,146
	1か月健診委託料	680
	ヘルパー派遣委託料（1歳未満）	51
	デイサービス委託料（1歳未満）	945
	ショートステイ委託料（4か月未満）	470
	使用料及び賃借料	198
	母子健康手帳アプリサービス利用料（母子モ）	
	負担金補助及び交付金	120
	1か月健診費補助金	
	扶助費	1,813
おむつ等購入費用の助成		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	絵本で育む親子関係事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	子どもの成長に合わせて多くの絵本に出会える機会をつくとともに、絵本の読み聞かせを通じて親子のこころを育み、親から子へ、子から親へ思いをつなぐ親子関係づくりの一助とする。
-------	--

事業概要	子どもの成長に合わせて多くの絵本に出会える機会をつくるため、母子手帳交付時（妊娠期からの読み聞かせ）や6か月児健診時（ブックスタート）、1歳6か月児健診時（ブックスタートプラス）に絵本を手渡し、読み聞かせを通じた親子関係づくりを支援する。
------	---

現状、背景、課題	絵本を介しての親子関係づくり、人間関係づくりを妊娠期から学童期にわたり継続的に展開していく。
----------	--

事業計画・効果	<p>◇妊娠期からの読み聞かせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時に絵本を手渡し、胎児期からの読み聞かせの大切さを伝えるための取り組み。 ・実施対象者 200人 <p>◇ブックスタート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6か月児健診時にボランティア等が読み聞かせしながら絵本を手渡し、絵本を介した親子のふれあいを促進する。 ・実施対象者 210人 <p>◇ブックスタートプラス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1歳6か月児健診時に再度絵本を手渡し、絵本とのふれあいの重要性について啓発する。 ・実施対象者 200人
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,004	936		△ 68		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	502	468	△ 34		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	502	468	△ 34		

令和6年度歳出入内訳	需 用 費 絵本等購入費	936
------------	-----------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	産後うつ予防事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	産後うつの予防や新生児への虐待予防等を図るため、出産後間もない時期に、産後うつ検査を取り入れた産婦健診を実施し、産後の初期段階における母子に対する支援を強化する。
-------	---

事業概要	出産後間もない時期(産後2週、4週)に、産後うつ検査を取り入れた産婦健康診査を実施し、産後の初期段階における母子に対する支援を強化する。
------	--

現状、背景、課題	1 割弱の妊婦に精神科通院中もしくは受診歴がある。産後早い段階から精神的に不安定になりやすい母親への支援を行う必要がある。
----------	---

事業計画・効果	≪実施時期≫ ・産後2週、4週頃 ≪事業内容≫ ・産後うつ検査を取り入れた産後健康診査を実施 ・健診にかかる費用(5,000円)2回分の公費負担 ・健診の結果から、助産師もしくは保健師が電話や訪問等で状況に応じた支援を実施 ≪予定対象妊婦≫ ・210人
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,798	1,831		33		
財源内訳	国庫支出金	850	893	43		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	948	938	△10		

令和6年度歳出入内訳	需用費	18
	役務費	28
	委託料	1,635
	産後健康診査委託料	
	負担金補助及び交付金	150
産後健康診査補助金(予定対象産婦 延べ30人)		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	病院群輪番制病院設備整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン					
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	地域の二次救急医療を支える病院群輪番制病院（済生会境港総合病院）に対し、医療機器整備の経費を補助し、医療提供体制を確保する。
-------	--

事業概要	病院群輪番制病院が実施する医療機器整備の経費を補助する。 ※市内で病院群輪番制病院に該当するのは、済生会境港総合病院のみ。
------	--

現状、背景、課題	済生会境港総合病院は、病院群輪番制病院として救急患者に対応している。救急現場の初期診断に不可欠な機器の更新等を年次的に行い、迅速かつ的確な医療体制を構築する。
----------	---

事業計画・効果	<p>(令和6年度 購入予定設備)</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工呼吸器×3台・・・購入費8,712千円 <p>(補足)</p> <ul style="list-style-type: none"> 当補助金に対する負担割合は、国：県：市=1：1：1 <p>よって、上記の購入予定設備に対する市負担額は、8,712千円×1/3=2,904千円</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		7,334	2,904		△ 4,430		
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	7,334	2,904		△ 4,430		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 病院群輪番制病院設備整備補助金	2,904
-----------	-------------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	熱中症予防対策事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	近年は高温日が増加し、市内においては熱帯夜が多い環境にある中、特に高齢者においては、熱中症の特徴である屋内における発症率が高い状況が続いていることから、自宅にエアコンのない世帯へのエアコン設置のための助成を行い、自宅での熱中症を予防する。
-------	---

事業概要	熱中症は住居内で発生することが多く、熱中症による救急搬送予防、死亡0を目指し、自宅にエアコンのない世帯へのエアコン設置のための助成を行う。
------	---

現状、背景、課題	鳥取県内は、気候状況や高い高齢化率などの背景から、令和4年度には、熱中症による救急搬送が全国ワースト1位となった。県内の熱中症で救急搬送されるケースは、65歳以上で約60%を占めており、高齢者の約40%が住居内で発生しており、依然として高い状態が続いているため、住居内の環境管理が重要であり、課題となっている。
----------	---

事業計画・効果	<p>【変更点】今年度から新型コロナウイルス感染症対策に限定（単年補助）とせず、熱中症対策全般として、継続してエアコンの購入・設置にかかる費用を補助する。</p> <p><補助対象> 居宅にエアコンが無く、市内に住所がある1）または2）に該当する世帯。</p> <p>1）65歳以上の単身または80歳以上のみの世帯、障害者手帳（要件あり）の交付を受けている者がいる世帯、就学前の子どもがいる世帯、18歳未満の者を養育しているひとり親世帯で市民税非課税の世帯。</p> <p>2）平成30年3月31日以前に生活保護が開始された世帯</p> <p><補助内容> 冷房機器1台の購入と設置にかかる費用の1/2を助成。（上限50千円）</p> <p><効果> 気温上昇が続き、本市は熱帯夜が多い傾向にあることなどから、在宅での熱中症予防にエアコンは欠かせず、熱中症予防対策に有用な事業である。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		250	250	0					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	250	250	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 エアコン設置費用助成金	250
-----------	---------------------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	妊産婦タクシー助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援
				1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	タクシー代を補助することで、妊産婦の身体への負担や経済的な負担を軽減し、健やかな出産、産後に寄与する。
-------	---

事業概要	妊娠中の方から産後1か月健診までの産婦を対象に、健診受診や出産時等に利用したタクシー代の6回分(自己負担金2割、上限1回あたり6,000円、償還払い)を助成する。
------	---

現状、背景、課題	約2割は、県外出身者の妊婦であり、自身の自家用車を持たない人や運転に自信がないなど、健診時や緊急時等の交通手段に不安を感じている人もいる。 妊娠中や産後の方は、身体的な負担がある中、通院が必要だが、家族による送迎が難しい方もおられ、タクシーを考えているが、米子の医療機関の場合、片道5千円はかかるため、金銭的に負担が大きいという声が聞かれる。
----------	--

事業計画・効果	<p>【対象者】 次のいずれかに該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市に住民票がある妊婦及び産後1か月健診までの産婦 ・産後ケアを利用する場合は産後1年までの産婦 <p>【助成内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タクシー料金の8割分を助成(上限6千円、回数6回まで)
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		60	60	0					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	60	60	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 妊産婦タクシー助成金	60
-----------	--------------------------	----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	がん患者の社会参加支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(9)	互いの人権を尊重する社会の実現	
SDGs	10	人や国の不平等をなくそう			

事業の目的	がんの治療により、脱毛または乳房を切除された方に対し、補正具（ウィッグ（かつら）・乳房補正具）の購入費用の一部を助成することで、精神的・経済的負担を軽減することにより、社会参加の促進及び療養生活の質の向上を図る。
-------	--

事業概要	がん治療の化学療法・放射線療法による脱毛や手術療法により乳房を切除された方を対象にウィッグ（かつら）や補正下着の購入費用の一部を助成する。
------	---

現状背景、課題	二人に一人が罹患するといわれるがんの治療において、脱毛したり、乳房を切除することで外見に変化が起こり、外出をしたくなくなるなど、就労を含めた社会的な問題となっている。特に乳がんが増加する中、がん患者の精神的・経済的な負担となっている。 令和5年度より、ウィッグ（かつら）の助成上限額を1万円→2万円に増額した。
---------	--

事業計画・効果	<p><対象者> 交付申請時において境港市に住所を有し、鳥取県のがん患者の社会参加応援事業補助金の交付を受けた者</p> <p><補助対象経費> がん治療のために、脱毛や乳房を切除された方を対象にウィッグ（かつら）及び乳房補正具の購入費用。</p> <p><補助率> ウィッグ（かつら）及び乳房補正具の購入費用から鳥取県が交付した県補助金額を引いた額の2分の1の額、または①ウィッグ（かつら）は2万円②乳房補正具は1万円のいずれか低い額を補助する。</p> <p><効果> がん患者が治療後、ウィッグ（かつら）や乳房補正具の購入費用を一部助成することで、精神的・経済的負担が軽減でき、社会参加の促進や療養生活の質の向上につながる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		150		140	△ 10		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	150		140	△ 10		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金		140
	補助金	ウィッグ（かつら）	120
		補正下着	20

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	ハイハイ期親子応援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	助産師がおおよそ生後8か月の親子を全数家庭訪問をすることで、親子の生活環境や子育て状況、こころの状況等を把握し、状況に応じて、必要な情報提供、支援に繋げ、うつ予防及び育児支援を行う。
-------	---

事業概要	助産師の家庭訪問により、生活状況等を把握し、個々の状況に応じた育児支援を行う。同時に産後うつの指標であるエジンバラ産後うつ質問票を実施することで、こころの状況を客観的な指標により評価し、うつ予防及び育児支援につなげる。断乳や離乳食の3回食への移行、また入園、就業、準備など多くのことに直面する時期を対象とした訪問応援事業。
------	---

現状、背景、課題	妊娠期から子育て期(就学前)にわたる切れ目のない支援を実施している。(生後1年までに、産後2週、4週に産後うつ検査を取り入れた産後健診、赤ちゃん訪問、3・4か月健診、6か月健診、9・10か月健診)多くは、生後1年頃に、就労のため、保育園入園する。
----------	---

事業計画・効果	<<対象者>> ・概ね8か月～1歳の親子 <<実施方法>> ・助産師または保健師が連絡し、訪問もしくは電話で、生活環境や子育て状況、心の状況等の把握を行う。 ・状況に応じて、事業や制度等の情報提供や、必要な支援につなげる。 <<見込まれる効果>> ・子育て不安の解消、虐待の早期発見等
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,657	3,174	517	530	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	1,752	2,114	362		
	県支出金	438	528	90		
	地方債	0	0	0		
	その他	467	530	63		
	一般財源	0	2	2		

令和6年度歳出内訳	人件費(会計年度任用職員1人分)	3,152
	需用費	5
	役務費	17

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	不育症助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	不育症と診断され、又はその可能性がある夫婦が安心して子どもを産むことができるよう、経済的負担の軽減を図る。
-------	---

事業概要	不育症の検査・治療を受けているご夫婦に対し、高額となる保険適用外の医療費負担を軽減するため、費用の一部を助成し、安心して産み育てることを支援する。
------	---

現状、背景、課題	妊娠しても流産や死産を繰り返してしまう不育症は、その検査又は治療について保険の適用とならないものが多く、不育症のため子どもを持つことが困難な夫婦が子どもを望むときに、その経済的な負担が大きくなる。
----------	--

事業計画・効果	<<助成内容>> ・不育症等費用助成金（1/2補助 上限100千円／年度） 2人×50,000円
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		150		100	△ 50		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	75		50	△ 25		
	地方債	0		0	0		
	その他	75		50	△ 25		
	一般財源	0		0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 不育症等費用助成金	100
-----------	-------------------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	思春期である15歳くらいから30歳代までの小児・AYA世代のがん患者等が、がん治療の前に卵子や精子、受精卵を凍結保存することや、がん治療終了後に胚移植し、妊娠につなげるなどの治療に対し、治療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。
-------	--

事業概要	将来子どもを生き育てることを望む小児・AYA世代のがん患者が、希望を持って治療に取り組めるよう、将来子どもを出産することができる可能性を温存するために必要な治療の一部費用について、鳥取県が実施している妊孕性温存療法、温存後生殖補助医療の助成に上乗せして助成するもの。
------	---

現状、背景、課題	AYA世代（思春期、若年層 15歳から39歳）はライフステージが大きく変化する時期であり、この時期にがんを発症するとがん治療により、妊娠するために必要な能力（妊孕性）を失う可能性がある。妊孕性を温存するため、治療前に受精卵や卵子、精子を凍結する妊孕性温存療法、温存後に凍結した受精卵等を用いた生殖補助医療がある。治療をするためには、30万～50万程度の費用がかかることもあり、経済的負担は大きい。
----------	--

事業計画・効果	<p><対象者> 交付申請時において境港市に住所を有し、鳥取県小児・AYA世代のがん患者等妊孕性温存療法研究促進事業補助金の交付を受けた者</p> <p><補助対象経費> ①妊孕性温存療法 ②温存後生殖補助医療</p> <p><補助率> 治療に要した費用から鳥取県が交付した県補助金を控除した額又は5万円のいずれか低い額</p> <p><効果> 将来子どもを産み育てることを望む小児・AYA世代のがん患者が、妊孕性を温存することができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費	100	100	0	100			魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	100	100	0				
	一般財源	0	0	0				

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金		100
	補助金	妊孕性温存療法	50
		温存後生殖補助医療	50

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	1	出産・子育て応援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的
妊娠及び出生届出時に計10万円の経済的支援を行うほか、出産・育児に必要な支援を確実に受けられるよう、身近で相談に応じ、時には関係機関とも連携しながら、積極的・継続的に関わっていくことで、全ての妊婦・子育て家庭がより安心して出産・育児に臨める環境をつくることを目的とする。

事業概要
妊娠届出時から妊婦や子育て家庭に対し、出産・育児等の見通しを寄り添って立てるための面談や継続的な情報発信等により必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出産届出を行った妊婦等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サービスの利用負担軽減を図る経済的支援（計10万円相当）を一体として実施する。

現状、背景、課題
核家族化が進み、地域とのつながりが希薄化する中で、孤立感や不安感を抱く妊婦・子育て家庭も少なくない。すべての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境整備が課題となっている。こうした中で、妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに沿った必要な支援につなぐ伴走型の相談支援を充実し、経済的支援を一体として実施する。

事業計画・効果
 <<事業内容>>
 ■伴走型相談支援
 ・相談支援の拡充と適切な相談業務に対応できるよう、専門職の会計年度任用職員1人を配置
 ・相談支援について、LINEを活用し、オンライン面談やチャット機能による相談受付など、より相談しやすい環境を整備
 ■経済的支援
 ・妊娠届出時に出産応援ギフト5万円、出生届出時に子育て応援ギフト5万円をそれぞれ現金支給

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		11,316	23,364	12,048					
財源内訳	国庫支出金	7,258	15,013	7,755					
	県支出金	2,029	4,173	2,144					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	2,029	4,178	2,149					

令和6年度歳出内訳	人件費(会計年度任用職員1人分)	3,148
	需用費	28
	消耗品費	20
	印刷製本費	8
	役務費	122
	通信運搬費(リモート面談用パソコン 通信料)	
	使用料及び賃借料	66
	LINEプログラム使用料	
	扶助費(出産・子育て応援ギフト)	20,000
	妊娠届分予定人数 200人 出生届分予定人数 200人	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	2	予防接種費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	予防接種は体の中に免疫抗体を作り、感染症予防、発病予防に高い有効性が認められている。特に定期の予防接種は、感染すると重症化、蔓延化しやすい疾患の予防に効果があることから、予防接種により乳幼児の健全な成長発達を図る。
-------	---

事業概要	子どもの感染症を予防し、子どもの健康の保持増進を図る。
------	-----------------------------

現状、背景、課題	予防接種法の改正に基づき、随時、対象疾病の見直しが行われている。（厚生労働省の諮問機関である厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会）で審議）おたくふかぜの定期接種化について、同審議会で継続審議中。令和2年10月からロタウイルスの定期接種化。令和4年度から子宮頸がんワクチンの積極的勧奨の再開。また、令和4年度から令和6年度の3年間、HPVワクチン接種の機会を逃した者に定期接種（キャッチアップ接種）を実施。
----------	--

事業計画・効果	予防接種委託料（個別接種）		
	予防接種の種類	委託料単価	接種予定人数
	ヒブ	10,300円	712人
	小児用肺炎球菌	13,380円	709人
	四種混合	12,610円	772人
	不活化ポリオ（急性灰白髄炎）	11,450円	1人
	BCG	12,610円	200人
	MR（麻しん・風しん）1期	12,110円	180人
	MR（麻しん・風しん）2期	11,290円	250人
	日本脳炎（6歳未満）	9,030円	656人
	日本脳炎（6歳以上）	8,210円	285人
	二種混合	6,060円	227人
	アレルギー検査	9,760円	1人
	子宮頸がん	29,380円	800人
	（定期接種）		（200人）
	（キャッチアップ接種）		（600人）
	水痘	10,410円	380人
B型肝炎	7,850円	536人	
ロタリックス	16,130円	220人	
ロタテック	11,100円	172人	

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		87,680	81,780	△ 5,900		
財源内訳	国庫支出金	0	539	539		
	県支出金	0	9	9		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	87,680	81,232	△ 6,448		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	39
	需 用 費	176
	消耗品費	90
	印刷製本費	86
	役 務 費	253
	通信運搬費（郵送料）	180
	予防接種事故賠償保険料	73
	委 託 料	80,865
	予防接種委託料	
	負担金補助及び交付金	447
予防接種健康被害給付費		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	2	小児インフルエンザ予防接種費助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	就学前の子どもに対して、インフルエンザ予防接種費用を助成し、罹患及び重症化を予防する。
-------	---

事業概要	生後6か月～就学前の子どもを対象にインフルエンザ予防接種費用を助成する。
------	--------------------------------------

現状、背景、課題	5歳未満の子どもは重症化する確率が高いが、予防接種を受けることで6～7割の発症を予防できることが化学的にも証明されている。
----------	---

事業計画・効果	対象者 生後6か月～就学前の子ども 接種予定人数 814人(対象者(1,347人)に対して、接種率60.4%と見込んだ) 助成額 1回あたり2千円を上限とする。 接種期間(予定) R6.11.1～R7.1.31
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		2,075	1,770	△ 305					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	2,075	1,770	△ 305					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出入内訳	需用費	44
	消耗品費	13
	印刷製本費(接種券、封筒)	31
	役務費(郵送料)	98
	委託料	1,628
	予防接種委託料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	2	風しんワクチン予防接種費補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	風しんが流行し、妊婦が風しんウイルスに感染すると、出生する子どもに先天性風しん症候群の発症が懸念される。これを防ぐため、検査の結果抗体価が低かった者に対し、風しんワクチンの接種を促す。
-------	--

事業概要	風しんの流行による悪影響が、出生した子どもに及ぶことを未然に防ぐため、抗体検査の結果抗体価が低かった者に対して、風しんワクチン接種費用を助成する。
------	---

現状、背景、課題	風しんが都市部を中心として全国的に流行し、県内でも感染事例が報告されている。国の調査によると20～40代の女性の4%が風しんへの抗体を持たないほか、11%が感染予防には不十分である低い抗体価であり、ワクチンの接種を必要としていることが分かった。また、患者の7割以上は男性であることから、男性への接種勧奨も重要な課題である。
----------	---

事業計画・効果	接種予定者人数	30人
	対象者	次のいずれかに該当する者 ①妊娠を希望する女性で抗体価の低い者 ②妊婦の配偶者 ③妊婦の同居者 ④上記の①の女性の同居者で抗体価の低い者
	助成額	1人あたり8千円を上限とする。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	400	240	△ 160		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	200	120	△ 80	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	200	120	△ 80	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	240
	風しんワクチン予防接種費補助金	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	2	高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	ワクチン接種により、肺炎を発症する高齢者を減らすことを目的とする。
-------	-----------------------------------

事業概要	高齢者が発症すれば重症化の恐れのある肺炎を予防するため、65歳の者と60歳以上64歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある者を対象に、成人用肺炎球菌ワクチンの接種を実施する。
------	--

現状、背景、課題	予防接種関係法令の改正により、平成26年10月から実施。65歳から100歳まで、対象年齢を5歳刻みとした特例期間は、平成31年3月31日まで。平成31年度から65歳に加え、経過措置として今までに成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことのない者で70歳から100歳までの5歳刻みの者を対象としていたが、令和5年度末で経過措置は終了となった。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度から始まった特例措置（対象年齢の拡大（65歳、70歳、75歳と5歳刻みで接種対象））が令和5年度をもって終了となり、令和6年度以降は、対象年齢が65歳のみとなる。 接種対象人数は、次のとおりを見込む。 <p style="text-align: center;">437人（令和6年度に65歳となる者）×64.3%（接種見込率）≒281人</p> <p>※R6.1.31現在、対象者に関する国の方針が明らかとなっていないため、これまで通り、年度末年齢が65歳の者が対象者になると想定している。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		3,862		1,904	△ 1,958		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	3,862		1,904	△ 1,958		

令和6年度歳出入内訳	需用費	123
	消耗品費	9
	印刷製本費（接種券、予診票）	114
	役務費（郵送料）	44
	委託料 高齢者肺炎球菌ワクチン接種委託料	1,737

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	2	風しん対策事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援
				1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	風しんの抗体保有率が特に低いとされるS37.4.2生～S54.4.1生の男性を対象に定期予防接種を実施し、風しんの根絶を目指す。
-------	--

事業概要	風しんの抗体保有率が特に低いとされるS37.4.2生～S54.4.1生の男性に対して、予防接種法に基づく定期接種の対象として令和元年度から令和6年度まで無料で定期接種を実施する。
------	---

現状、背景、課題	定期予防接種の対象者の抗体保有率は80%と言われており、国は2022年12月までに抗体保有率を85%以上、2024年度末までに90%とする目標を掲げている。
----------	--

事業計画・効果	<p>《事業計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度をもって、風しんワクチンを無料で接種できる期間が終了となるため、2回の受検案内の送付など、勧奨の強化を図る。 予定人数 抗体価検査 270人、ワクチン接種 68人
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		4,680	3,250	△ 1,430					
財源内訳	国庫支出金	1,556	1,250	△ 306					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	3,124	2,000	△ 1,124					

令和6年度歳出内訳	需用費	57
	消耗品費	24
	印刷製本費（案内用はがき）	33
	役務費	443
	郵送料	341
	国保連事務手数料	102
	委託料	2,750
	風しん抗体価検査委託料	2,002
風しんワクチン接種委託料	748	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	2	妊産婦インフルエンザ予防接種費助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	インフルエンザにかかると重症化しやすいといわれる妊婦及び乳児に密接に関わる産婦に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成し、罹患及び重症化を予防する。
-------	---

事業概要	妊婦及び産婦に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成する。
------	--------------------------------

現状、背景、課題	高齢者、小児、妊娠中、肥満、基礎疾患がある者は、インフルエンザにかかると重症化しやすいといわれている。
----------	---

事業計画・効果	接種予定人数 120人（妊婦 40人、産婦 80人） 対象者 295人（接種期間に妊産婦である者） 助成額 上限2千円 接種期間（予定） R6.11.1～R7.1.31
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		460		299	△ 161		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	460		299	△ 161		
	一般財源	0		0	0		

令和6年度歳出内訳	需用費	20
	消耗品費	9
	印刷製本費（封筒）	11
	役務費（郵送料）	39
	委託料	240
	予防接種委託料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	2	重度障がい者インフルエンザ予防接種助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	インフルエンザにかかると重症化しやすいといわれる重度障がい者に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成し、罹患及び重症化を予防する。
-------	--

事業概要	就学後から60歳未満の者で、心臓機能障害1級・腎臓機能障害1級・ヒト免疫不全による免疫不全障害のいずれかに該当する者に対して、インフルエンザ予防接種費用を助成する。
------	--

現状、背景、課題	高齢者、小児、妊娠中、肥満、基礎疾患がある者は、インフルエンザにかかると重症化しやすいといわれている。
----------	---

事業計画・効果	接種予定人数 20人 対象者 就学後から60歳未満の者で、心臓機能障害1級・腎臓機能障害1級・ヒト免疫不全による免疫不全障害のいずれかに該当する者 接種期間（予定） R6.11.1～R7.1.31
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		78	48	△ 30					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	78	48	△ 30					

令和6年度歳出内訳	需用費	3
	消耗品費	2
	印刷製本費（封筒）	1
	役務費（郵送料）	5
	委託料	40
	予防接種委託料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	4	1	3	玉井斎場管理組合分担金	継 続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	玉井斎場の設置、管理運営に関する事務を松江市と共同処理するため、玉井斎場管理組合に対し経費を分担している。供用開始（平成7年度）から27年経過したため、利用者が安心・安全に施設を利用できるよう、火葬炉設備の修繕工事を順次実施している。
-------	---

事業概要	玉井斎場管理組合の経費を松江市とともに分担する。
------	--------------------------

現状、背景、課題	玉井斎場管理組合同規約に基づき、境港市と松江市は、経費の2割を「均等割」、8割を前年利用実績に応じた「実績割」で負担している。供用開始（平成7年度）から29年が経過したため、老朽化した火葬炉設備の修繕工事を順次実施する。（令和6年度からは、火葬炉本体修繕を実施）
----------	---

事業計画・効果	<p>令和6年度は火葬炉1基の耐火物全面積替及び付帯設備（台車駆動装置等）の更新工事を実施する。（残る2基の炉は、令和7・8年度に1基ずつ工事予定） 工事請負費 15,400千円</p> <p>令和3年度の大規模改修以降は、火葬炉耐火物や制御関係設備、吸・排気設備など計画的に工事を行い、建物と同様に設備の長寿命化を図ることで安定した火葬業務を行うことができる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		26,388	32,620	6,232			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	26,388	32,620	6,232			

負担金補助及び交付金

32,620,000

玉井斎場管理組合市別分担金内訳

(千円)

	令和6年度				令和5年度	増減
	割合	均等割	実績割	計		
境港市	68.12%	5,057	27,563	32,620	26,388	6,232
松江市	31.88%	5,057	12,898	17,955	15,566	2,389
計	100.00%	10,114	40,461	50,575	41,954	8,621

《参考》

玉井斎場管理組合歳出予算

(千円)

	令和6年度	令和5年度	増減
議会費	411	411	0
総務費	10,376	10,390	△ 14
衛生費	49,675	50,657	△ 982
公債費	12,419	10,281	2,138
予備費	300	300	0
合計	73,181	72,039	1,142

玉井斎場利用状況

	境港市	松江市	圏域外	計
令和5年中	532	249	5	786
令和4年中	483	250	6	739
増減	49	△ 1	△ 1	47

令和6年度歳出内訳

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	4	1	3	墓地管理事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	墓地としてふさわしい景観と利用環境を保つことを目的に適正な維持管理を行う。
-------	---------------------------------------

事業概要	市営墓地（中央墓園・馬場崎墓地・夕日ヶ丘メモリアルパーク）の適正な維持管理を行う。
------	---

現状、背景、課題	中央墓園と馬場崎墓地は、近年新規申込よりも廃止申込が増えており、年々空き区画が増えてきている。夕日ヶ丘メモリアルパークにおいては、夕日ヶ丘の分譲地も少なくなり、新規申し込みがかなり減っている。
----------	--

事業計画・効果	年間を通じて、市営墓地（中央墓園・馬場崎墓地・夕日ヶ丘メモリアルパーク）の維持管理を行う。 【工事請負費】 境中央墓園南側の駐車場について、アスファルト舗装することで天候に左右されにくい駐車場とする。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,835	9,141	7,306	7,597	墓地永代使用料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,835	7,597	5,762		
	一般財源	0	1,544	1,544		

令和6年度歳出内訳	需用費	325
	光熱水費、修繕費ほか	
	委託料	1,391
	除草清掃業務	
工事請負費	7,425	
境中央墓園駐車場整備工事（新規）		

4.1.3 墓地管理事業 (8265)

■ 境中央墓園南側駐車場



所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	4	1	3	夕日ヶ丘墓地使用料助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	夕日ヶ丘地区の住宅団地販売促進の一助となることを目的とする。
-------	--------------------------------

事業概要	夕日ヶ丘地区に居住する戸建住宅の所有者等に対し、同地区内に整備された夕日ヶ丘メモリアルパーク墓地使用料の一部を助成する。
------	--

現状、背景、課題	施設の供用を開始した平成26年度以降、毎年10名以上の申し込みがあったが、近年は、夕日ヶ丘の分譲地も残り少なくなり、新規申し込みが一桁台まで落ち込んでいる。
----------	--

事業計画・効果	夕日ヶ丘地区に居住する戸建住宅の所有者等に対し、夕日ヶ丘メモリアルパーク墓地使用料の一部を助成する。 【助成額】 市・公社分譲地の購入者 1件・75千円 定期借地の契約者 1件・25千円
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	200		100	△ 100		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	200		100	△ 100	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	
	市・公社分譲地購入者（1件分）	75
	その他の者（1件分）	25
	※助成額	
	市・公社分譲地の購入者：75千円 定期借地の契約者：25千円	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	1	4	環境保全対策事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに		6	安全な水とトイレを世界中に
	7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに		12	つくる責任つかう責任
	13	気候変動に具体的な対策を			

事業の目的	将来にわたり、市民にとって健康で快適な生活環境の確保に資する。
-------	---------------------------------

事業概要	境港市環境審議会の開催、環境保全に係る各種検査・測定、不法投棄対応、その他、環境保全に係る啓発等。
------	---

現状、背景、課題	令和3年度に境港市環境基本計画を策定し、脱炭素社会の実現等の基本目標に沿って、計画的に環境保全対策事業を推進している。令和5年度に自治連合会より、又カカに対する調査対策の要望があり、被害の報告が多い中浜地区、渡地区について生息調査を行う。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・又カカ生息調査（新規） 又カカが発生しやすい時期である5月から7月にかけて、市内6か所（中浜地区、渡地区）の調査を週1回行い、結果を随時、市のHPで公表する。別途、市報4月号で注意喚起を行う。生息調査の結果を踏まえ、米子市で抑制効果が確認されている石灰散布の補助制度化を検討する。 ・境港市環境審議会の開催（年1回） ・河川調査（6か所、年2回）、八工調査（5か所、年4回） ・自動車騒音測定及び面的評価（年1回） ・不法投棄のカメラ保険料や処理手数料 ・政策効果：将来にわたり、市民にとって、健康で快適な生活環境が確保される。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	3,163	3,551	388	3,551	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	3,163	3,551	388		
	一般財源	0	0	0		


令和6年度歳出内訳	報酬	45
	環境審議会委員 3,000円×15人×1回	
	旅費	39
	普通旅費	
	需用費	483
	消耗品費（書籍、油吸着マット、環境啓発看板等）	
	役務費	1,125
	水質検査手数料	223
	ハ工調査費（5か所、年4回）	660
	不法投棄処理手数料	229
	不法投棄等監視カメラ保険料	13
	委託料	1,838
	自動車騒音測定及び面的評価業務委託料	1,338
	又カカ生息調査委託料	500
	使用料及び賃借料	21
	会場使用料（環境審議会）	6
有料道路等通行料	15	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	1	4	海浜清掃事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(2)	他に誇れる海や海辺との共生	
SDGs	14 海の豊かさを守ろう				

事業の目的	本市が誇る白砂青松の弓ヶ浜海岸を保全し、将来に継承する。
-------	------------------------------

事業概要	新屋町から佐斐神町にかけての砂浜の清掃業務。
------	------------------------

現状、背景、課題	近年、海洋プラスチックごみが地球規模で問題視されており、マイクロプラスチックが海洋生態系に及ぼす影響が懸念されている。令和5年度より、海浜清掃のボランティア登録制度を設け、ボランティア清掃のさらなる拡充に取り組んでいる。
----------	--

事業計画・効果	◇令和6年度の主な内容 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年3月に更新するビーチクリーナー車両による清掃を開始 緑地部分の清掃やマイクロプラスチックごみ回収（障がい者就労施設） 実施時期：5～6月（5回）、9～10月（5回） 海浜清掃ボランティア制度の参加呼びかけ（市報、市HP、清掃活動への参加事業所等） 川際ごみ回収（新屋中ノ川、新屋上ノ川、小篠津川、有田川）年1回 政策効果：本市が誇る白砂青松の弓ヶ浜海岸を保全し、将来に継承する。 																									
	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;"> <p>ビーチクリーナーによる清掃実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日数</th> <th>可燃物 (kg)</th> <th>不燃物 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>55</td> <td>9,050</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>77</td> <td>7,480</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>60</td> <td>5,130</td> <td>460</td> </tr> </tbody> </table> <p>※令和5年度は令和6年2月13日時点</p> <p>緑地部分の清掃実績（令和5年度）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>時間</th> <th>延べ人数</th> <th>可燃物 (kg)</th> <th>不燃物 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23</td> <td>69</td> <td>128</td> <td>59</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>写真 ビーチクリーナーによる清掃</p>		実施日数	可燃物 (kg)	不燃物 (kg)	令和3年度	55	9,050	410	令和4年度	77	7,480	580	令和5年度	60	5,130	460	回	時間	延べ人数	可燃物 (kg)	不燃物 (kg)	23	69	128	59
	実施日数	可燃物 (kg)	不燃物 (kg)																							
令和3年度	55	9,050	410																							
令和4年度	77	7,480	580																							
令和5年度	60	5,130	460																							
回	時間	延べ人数	可燃物 (kg)	不燃物 (kg)																						
23	69	128	59	40																						

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		5,367	5,612	245	1,000	境港管理組合海浜清掃委託料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	5,347	4,612	△ 735			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	1,000	1,000			
	一般財源	20	0	△ 20			

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員2人分）	484
	旅費	48
	需用費	427
	燃料代、修繕料等	397
	火ばさみ、皮手袋等	30
	役務費	514
	廃棄物処理手数料ほか	
	委託料	1,827
	海浜清掃委託料（シルバー人材センター）	1,310
	緑地部分のごみ回収（障がい者就労施設）	220
	川際ごみ回収（清掃業者）	297
	使用料及び賃借料	2,312
	ビーチクリーナー及びトラクターリース料	2,302
	施設借上料	10

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	1	4	猫不妊去勢手術費補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを				

事業の目的	飼い主のいない猫のみだりな繁殖を防止することにより、不幸な猫を減らすとともに、市民の生活環境の保全を図る。
-------	---

事業概要	飼い主のいない猫に不妊去勢手術を受けさせた者に対し、手術費用の補助を行う。
------	---------------------------------------

現状、背景、課題	飼い主のいない猫による生活環境の悪化（糞尿、鳴き声等）についての苦情が多数寄せられている。無責任な餌やりにより繁殖した不幸な猫が後を絶たない状況。近年、補助金の引き上げやボランティア団体の活動により補助件数が増加している。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度 <ul style="list-style-type: none"> オス 上限 8千円/頭 メス 上限 15千円/頭 ・実績 <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度 オス 5頭/メス 13頭 計 18頭 令和3年度 オス 7頭/メス 32頭 計 39頭 令和4年度 オス 26頭/メス 59頭 計 85頭 令和5年度 オス 25頭/メス 84頭 計109頭（令和6年2月時点） ・令和6年度補助予定頭数 112頭（オス26頭、メス86頭） ・政策効果：飼い主のいない猫のみだりな繁殖を防止することにより、不幸な猫を減らすとともに、市民の生活環境の保全が図られる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		1,210	1,498	288	964	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	430	534	104			
	地方債	0	0	0			
	その他	780	964	184			
	一般財源	0	0	0			

令和6年度歳出内訳	補助金（オス26頭、メス86頭、計112頭）	1,498
	オス 8,000円×26頭	208
	メス 15,000円×86頭	1,290

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	1	4	小規模発電設備等導入推進事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(1)	持続可能な脱炭素社会の実現	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを			13 気候変動に具体的な対策を	

事業の目的	家庭用発電設備等（太陽光発電設備等）の普及促進により、脱炭素社会の実現及び災害に対するレジリエンス向上に資する。
-------	--

事業概要	家庭用発電設備等（太陽光発電設備等）の導入経費に対する補助を行う。
------	-----------------------------------

現状、背景、課題	本市では、令和3年2月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年のカーボンニュートラルを目指している。近年、電気料金の高騰と市民の環境意識の向上から、太陽光発電設備及び蓄電池の補助件数が増加傾向。
----------	--

事業計画・効果	・補助対象設備等								
	R6.2時点 <予算>								
	補助対象設備	補助率	補助上限	開始年度	R3	R4	R5	R6	実績累計
	太陽光（家庭用）	1/3	46千円×5kW	H21	16	28	42	50	780
	太陽光（事業所用）	1/3	40千円×10kW	R4	-	0	0	2	0
	蓄電池	1/3	400千円	R3	16	21	32	40	69
	燃料電池	1/3	120千円	H24	-	-	-	1	9
	太陽熱温水器	1/10	20千円	H24	-	-	-	1	30
	・政策効果：小規模発電設備等の普及促進により、脱炭素社会の推進及び災害に対するレジリエンス向上が図られる。								

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		15,840	28,440	12,600	11,971	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	3,609	太陽光発電売電量	
	県支出金	7,060	12,860	5,800			
	地方債	0	0	0			
	その他	8,780	15,580	6,800			
一般財源		0	0	0			


令和6年度歳出内訳	補助金	28,440
	太陽光発電システム（家庭用）46千円/kW×5kW×50件 （県：18千円/kW 市：28千円/kW）	11,500
	太陽光発電システム（事業者用）40千円/kW×10kW×2件 （県：18千円/kW 市：22千円/kW）	800
	蓄電池 400千円×40件（県：200千円 市：200千円）	16,000
	燃料電池 120千円×1件（市：120千円）	120
	太陽熱温水設備 20千円×1件（市：20千円）	20

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	1	4	海洋ごみ対策事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(2)	他に誇れる海や海辺との共生	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを			14 海の豊かさを守ろう	

事業の目的	水路から海洋に流出するごみの削減にあわせ、実態を市報やホームページ等で市民に広報することで、海洋環境の保全やポイ捨ての防止などに対する意識の啓発を図る。
-------	--

事業概要	市内の水路にネットフェンスを設置し、漂流ごみを回収するとともに、その実態を広報する。
------	--

現状、背景、課題	海洋ごみの7～8割は、街から川を伝って流出していると言われており、ポイ捨てや集積所等から風で飛ばされることなどが主な原因とされている。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> 回収実施予定河川 <ul style="list-style-type: none"> ①深田川 ②下ノ川 ③美保湾側河川 設置期間及び回収頻度 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年5月から10月を予定、週1～2回 啓発方法 ホームページ、市報、出前授業等 海洋ごみ対策イベントの実施 <ul style="list-style-type: none"> 実施時期：令和7年2月 会 場：みなとテラス エントランス 内 容：パネル展示やドローン映像の上映など 政策効果：水路から海洋に流出するごみの削減、広報や啓発による海洋環境の保全やポイ捨ての防止などに対する意識の向上が図られる。 															
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真 川ごみ回収の様子</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>川ごみの回収実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>回収日数</th> <th>プラごみ (kg)</th> <th>その他 (kg)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>29</td> <td>15.1</td> <td>293.4</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>60</td> <td>40.3</td> <td>1,343.1</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>40</td> <td>54.7</td> <td>1185.2</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div>		回収日数	プラごみ (kg)	その他 (kg)	令和3年度	29	15.1	293.4	令和4年度	60	40.3	1,343.1	令和5年度	40	54.7
	回収日数	プラごみ (kg)	その他 (kg)													
令和3年度	29	15.1	293.4													
令和4年度	60	40.3	1,343.1													
令和5年度	40	54.7	1185.2													

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称			
事業費		1,543	1,399	△ 144	1,149	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	250	250	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,293	1,149	△ 144					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	需用費	40
	ポスター制作費	
	委託料	1,344
	川ごみ回収及び分別調査委託料	
	使用料及び賃借料	15
	会場使用料（みなとテラス）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
下水道課	4	1	4	し尿処理負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	家庭や事業所などから排出されるし尿等の生活排水の浄化処理、公共用水域の水質保全を推進する。
-------	---

事業概要	し尿及び浄化槽汚泥（一般廃棄物）を下水道センターで受入処理しており、その処理に要する公共下水道事業会計の経費について、処理負担金として一般会計が負担する。
------	---

現状、背景、課題	平成29年度の浄化センター閉鎖に伴い、し尿及び浄化槽汚泥を下水道センターで直接受け入れて処理するため、下水道センター内に受入施設を整備し、浄化センター閉鎖後は、下水道センターにおいて、し尿と下水道汚水を混合処理している。令和4年度までは受入処理経費相当額を下水道事業費特別会計への繰出金に含めて計上していたが、公共下水道事業が地方公営企業法の適用を受けた企業会計に移行することに伴って、経費負担の明確化を図るため、令和5年度より繰出金から切り分けて、負担金として計上している。
----------	--

事業計画・効果	令和5年度より繰出金から負担金に切り分けて計上しており、下水道センターで受入処理する経費に対して、一般会計の経費負担を明確化している。	
	平成29年度	浄化センター閉鎖 下水道センターで、し尿（浄化槽汚泥含む）の受け入れ処理を開始
	令和5年度	公共下水道事業が地方公営企業法の適用を受けた企業会計に移行 し尿を処理する経費について、繰出金から負担金に切り分けて計上

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	40,165		39,031	△ 1,134		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	40	0	△ 40		
	一般財源	40,125		39,031	△ 1,094	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 支払先：境港市公共下水道事業会計	39,031
-----------	--------------------------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	1	4	電気自動車導入モデル事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			4-(1)	持続可能な脱炭素社会の実現	
SDGs	13 具体的な対策を				

事業の目的	脱炭素社会の実現に向けて公用車の電動化を推進する。
-------	---------------------------

事業概要	本庁舎に2人乗りの超小型モビリティと呼ばれる電気自動車1台を試験導入する。
------	---------------------------------------

現状、背景、課題	国では、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」において、2035年までに乗用車の新車販売で電動車100%を実現する目標であり、国の公用車においては、2030年度までに全て電動車とする方針を打ち出している。令和5年度時点、本市は特殊車両やバス、トラック等を除き、65台の公用車を所有しており、そのうち電動車は11台（16.9%）となっている。車体価格が高額であることや航続距離が短いこと等の課題がある。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・事業内容：超小型モビリティの電気自動車を5年間のリース方式で1台導入する。 ・政策効果 <ul style="list-style-type: none"> (1) 電気自動車 CO₂の排出削減、燃料費の削減、災害時の非常用電源として使用可能 (2) 超小型サイズ 省スペースでの駐車が可能、小回りがきき狭い道での走行が容易等 (3) 市内走行やイベント時の啓発、今後の導入拡大に向けた検証 ・導入費用：車両・冬用タイヤ込み 1,947千円（税込） ラッピング 330千円（税込） 国補助金※リース価格から控除 △350千円 合計 1,927千円（60か月、1月あたり約32,116円）
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		0	276	276					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	276	276					

令和6年度歳出内訳	役 務 費	19
	車両保険	
	自動車借上料	257
	車両リース（本体、冬タイヤ、ラッピング含む）8か月分	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	健康診査事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	検診受診による早期発見と早期治療へ結びつけ、市民の健康の保持・増進及び健康寿命の延伸化を図る。
-------	---

事業概要	各種がん検診（胃・大腸・肺・子宮・乳）および、肝炎ウイルス検査を市内医療機関、集団検診（検診車等）で実施する。
------	---

現状、背景、課題	本市のがん検診の受診率は、年々上昇しているが、国・県が目標とする50%には到達しておらず、毎年検診を受診する必要性等についての積極的な広報と受診勧奨、受診しやすい環境の整備等により、受診率の向上を図る必要がある。令和4年度より、Webによる集団検診の予約の導入や受診環境の整備を行い、受診率の向上に努めている。
----------	---

事業計画・効果	<p>《実施期間》 R6.8.1～R7.2.28</p> <p>《実施内容》</p> <p>①集団検診（13回実施予定） 検診車で行うがん検診（胃・肺・大腸・乳・子宮、肝炎ウイルス検査） 委託先：鳥取県保健事業団</p> <p>②個別検診 医療機関で行うがん検診（胃・肺・大腸・乳^{※1}・子宮^{※2}・肝炎ウイルス検査） 委託先：市内17医療機関 ※1・※2…米子市の医療機関にも委託している。</p> <p>《効果》 がん検診を受けることにより、がんの早期発見、早期治療にむすびつけ、健康寿命の延伸につながる。</p> <p>《各検診の受診率》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃 が ん</td> <td>24.6%</td> <td>26.5%</td> <td>26.7%</td> </tr> <tr> <td>肺 が ん</td> <td>24.5%</td> <td>27.3%</td> <td>29.0%</td> </tr> <tr> <td>大 腸 が ん</td> <td>26.8%</td> <td>25.1%</td> <td>29.2%</td> </tr> <tr> <td>乳 が ん</td> <td>14.9%</td> <td>18.7%</td> <td>15.9%</td> </tr> <tr> <td>子 宮 が ん</td> <td>23.8%</td> <td>24.8%</td> <td>26.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※乳がんは2年に1回対象</p>		令和2年度	令和3年度	令和4年度	胃 が ん	24.6%	26.5%	26.7%	肺 が ん	24.5%	27.3%	29.0%	大 腸 が ん	26.8%	25.1%	29.2%	乳 が ん	14.9%	18.7%	15.9%	子 宮 が ん	23.8%	24.8%	26.5%
		令和2年度	令和3年度	令和4年度																					
胃 が ん	24.6%	26.5%	26.7%																						
肺 が ん	24.5%	27.3%	29.0%																						
大 腸 が ん	26.8%	25.1%	29.2%																						
乳 が ん	14.9%	18.7%	15.9%																						
子 宮 が ん	23.8%	24.8%	26.5%																						

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		75,824	71,865		△ 3,959	87	大腸がん個人負担金
財源 内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	1,464	1,295		△ 169		
	地方債	0	0		0		
	その他	108	87		△ 21		
一般財源		74,252	70,483		△ 3,769		

令和6 年度歳出 内訳	報 償 費						465
	医師等報償費						
	需 用 費						1,227
	消耗品費（コピー用紙等）						15
	印刷製本費（受診券等）						1,212
	役 務 費						1,656
	通信運搬費（結果通知等）						
	委 託 料（受診予定人数、人間ドック除く）						67,637
	胃がん検診委託料（2,522人）						26,059
	子宮がん検診委託料（2,048人）						13,965
	乳がん検診委託料（1,192人）						6,185
	肺がん検診委託料（2,846人）						7,700
	大腸がん検診委託料（2,846人）						10,668
	肝炎ウィルス検査委託料（330人）						1,332
	胃がん読影委託料						924
検診結果入力業務						804	
使用料及賃借料						880	
集団検診WEB予約システム使用料							

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	若い世代の健康づくり事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	生活習慣病予防・介護予防のために、若い頃からより良い生活習慣を身につけ、生涯を通じた健康づくり活動へつなげる。
-------	---

事業概要	40歳未満の市民を対象とした健診を実施するとともに、生活習慣をふり返るための講話や健康づくりの実践方法等の提供を行う。
------	---

現状、背景、課題	平成20年度までは女性を対象とした健診のみを実施していたが、男性も対象に加えるとともに、生活習慣の改善方法及び健康づくりの実践方法等の予防啓発活動も実施している。
----------	---

事業計画・効果	<p>《事業計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9月ヤング検診実施予定。定員50人 ・ 子宮がん検診と同時実施予定。 <p>※ヤング健診：・ 19歳～39歳までの市民、40歳以上で子育て中の人（健診を受ける機会がない人を対象とするため、妊娠中の人、他で健康診査を受ける機会のある人は除く。）</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		612	536		△ 76		
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	612	536		△ 76		

令和6年度歳出内訳	ヤング健診定員	50人	
	がん検診および運動体験定員	50人	
	報 償 費		51
	講師等報償費		
	役 務 費		7
	通信運搬費（郵送料）		
	委 託 料		478
健診・貧血検査委託料		321	
子宮がん検診委託料		157	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	女性のためのがん検診推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	女性の特有のがんの一つである乳がんについて、検診による早期発見を行い、早期治療に結びつける。
-------	--

事業概要	40歳になる女性に対し、乳がん検診の無料クーポン券を配布し、検診の受診率向上を図る。
------	--

現状、背景、課題	乳がん検診の受診率は、H30：15.0%、R1：20.6%、R2：14.9%、R3：18.7%、R4：15.9%となっており、国・県が目標とする50%と開きがあるため、検診の広報・受診環境の整備などを通し、受診率の向上を図る必要がある。 ※乳がん検診は、2年に1回対象となる。
----------	---

事業計画・効果	<p><実施期間> R6.8.1～R7.2.28</p> <p><実施内容> S58.4.2～S59.4.1生まれの女性に対し、乳がん検診無料クーポン券を配布。</p> <p><効果> 乳がんについて、無料クーポン券を発行することで、検診の受診率の向上を図り、がんの早期発見、早期治療にむすびつけ、健康寿命の延伸につながる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		407	444	37					
財源内訳	国庫支出金	89	68	△ 21					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	318	376	58					

令和6年度歳出内訳	需用費	49
	印刷製本費（クーポン等）	
	役務費	33
	通信運搬費（結果通知等）	
	委託料（受診予定人数）	362
	乳がん検診委託料（49人）	324
	乳がん読影委託料	38

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	がん検診等受診勧奨強化事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	受診勧奨等専任職員を配置し、がん検診等の未受診者に対する個別受診勧奨を強化することで、がん検診等の受診率向上を目指す。
-------	---

事業概要	受診勧奨等専任職員を配置し、がん検診等の未受診者に対して、電話・郵送などを行い、個別受診勧奨を強化する。
------	--

現状、背景、課題	令和4年度の特健康診査受診率が県33.2%、市30.8%となっており、県の受診率を超え、目標値である60%を目指す取り組みを継続することが必要である。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・肺がん検診の未受診者及び乳クーポン配布者のうち未受診者に対して、受診勧奨はがきを送付する。 ・大腸がん等の未受診者へ電話勧奨や公民館まつり・保健事業などで随時チラシ配布を実施する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,451	2,808	357			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	2,451	2,808	357		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員1人）	2,605
	需用費	21
	消耗品費（はがき）	
	役務費	182
	郵送料（未受診者への個別通知）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	境港市健康づくり推進計画策定・評価委員会	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	平成30年度に策定した境港市健康づくり推進計画の進捗状況を継続的に評価・改善をしていくために、市民の代表等からなる評価委員会並びに第2期計画に向けた策定委員会を設置する。
-------	---

事業概要	平成30年度に策定した境港市健康づくり推進計画の進捗状況を確認するため、評価委員会を設置し、継続的に評価・改善を行っていく。また、第2期計画に向けた策定委員会・市民ワークショップを開催する。
------	---

現状、背景、課題	平成30年度に健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画を一体的に包括した境港市健康づくり推進計画を策定。本計画の進捗管理を行うため、毎年評価委員会を開催。第2期計画は、令和7年2月に策定予定。
----------	--

事業計画・効果	<p>【策定計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民ワークショップの開催（3回） ・策定委員会の開催（2回） <p>【策定期間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月頃
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	239	227		△ 12		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	239	227		△ 12	

令和6年度歳出内訳	報 償 費	200
	策定委員報償費（20人×2回）	
	需 用 費（消耗品費）	10
	役 務 費（郵送料）	17

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	成人歯科検診	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	成人期以降の歯を喪失する最も大きな原因となる歯周病を予防するために、節目となる40歳、50歳、60歳及び70歳の人を対象に歯周病検診を実施し、自分の歯で美味しく食べることで、生涯にわたる健康の保持・増進を図る。
-------	---

事業概要	成人期のふしめ年齢(40歳・50歳・60歳・70歳)において、歯周病検診を実施し、疾患の早期発見・治療に結びつけるだけでなく、かかりつけ歯科医を持ち、定期受診を促すことで、自分の歯を守るきっかけづくりを行う。
------	--

現状、背景、課題	20歯以上の自分の歯を有する市民は、国・県のデータと比較し、成人期すべての年代において低い状況にあり、健康づくり推進計画の中で、成人期の歯科検診に取り組む計画とした。
----------	---

事業計画・効果	≪受診対象者等≫ 対象者 40歳、50歳、60歳、70歳の者 予定者数 210人 ≪その他≫ ・受診率向上のため、はがきを送付し、勧奨を行う
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		672		692	20		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	444		461	17		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	228		231	3		

令和6年度歳出内訳	需用費	97
	消耗品費（受診勧奨はがき等）	2
	印刷製本費（受診券等）	95
	役務費	133
	通信運搬費（受診勧奨はがき郵送料等）	
	委託料	462
	検診委託料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	骨密度検査	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	骨密度検査を行うことで、将来の骨折・介護状態になることを防ぐきっかけとする。また、健診（検診）と同時に行うことにより、健診（検診）の受診率向上に繋げる。
-------	--

事業概要	早期発見することで、骨折予防が期待できる60歳女性は、より正確な数値が判定できるデキサ法、65、70歳はデキサ法とMD法の選択による骨密度検査を行う。また、骨への関心を高めるきっかけとして、生活指導も含め、集団検診で、節目年齢(40・45・50・55歳女性)に、超音波骨密度検査を行う。
------	---

現状、背景、課題	境港市の介護原因の2位が「骨折・転倒」であり、境港市健康づくり推進計画ワークショップ・策定委員会においても、住民のニーズが高かったことから、同計画において、早期から骨を守るための取り組みを盛り込んでいる。
----------	--

事業計画・効果	≪受診予定者≫ ・個別検診（デキサ：腰のレントゲン） ▶ 60歳、65歳、70歳の女性172人 ・個別検診（橈骨デキサ：手首のレントゲン、MD法：手指のレントゲン） ▶ 65歳、70歳の女性 20人 ※65歳、70歳はデキサ法か、MD法が選択できる ・集団検診（かかとの超音波検査） ▶ 40歳、45歳、50歳、55歳の女性 125人
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,264	1,242	△ 22					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	745	828	83					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	519	414	△ 105					

令和6年度歳出内訳	需用費	149
	消耗品費（コピー用紙等）	11
	印刷製本費（受診券）	138
	役務費	125
	通信運搬費（結果通知等）	
	委託料	964
	検診及び結果通知委託料	
使用料及び賃借料	4	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	高齢者保健事業・介護予防の一体的実施事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	①生活習慣病重症化予防②身体的フレイル対策③健康状態不明者対策を柱により多くの高齢者の方に長寿健診を受けていただくための受診勧奨や健診結果による個別の家庭訪問等により指導助言を行い、また、市民の健康チェックや気軽に健康相談や栄養相談ができる場（境港ここから！ニコニコ健康くらぶ）を市内各所で開催することで、若いころから生活習慣病予防やフレイル予防に関心をもつきっかけづくりを行う。
-------	--

事業概要	複数の慢性疾患をもちフレイル状態に陥りやすい高齢者に対し、健康寿命の延伸を図るため、鳥取県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）からの委託を受け、高齢者の生活習慣病重症化予防、身体的フレイル・介護予防を一体的に実施している。
------	--

現状、背景、課題	①75歳に達し、国民健康保険や社会保険から後期高齢者医療へと移行する際に、健診結果や保健サービスが一旦途切れ、継続的な支援ができていない。②後期高齢者の保健事業は広域連合が主体、介護予防の取組は市町村が主体となって実施しているため、高齢者の健康状況や生活機能の課題に一体的に対応できていない。①②を解決するため、本市でも令和5年度から高齢者の保健事業と介護予防を一体的に実施している。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ■ニコニコ健康くらぶ <ul style="list-style-type: none"> ・市民が気軽に立ち寄り、健康チェックや健康相談ができる場 ・3回5会場実施予定 ■元気いきいき教室 <ul style="list-style-type: none"> ・健診後の保健指導・健康相談の場（医師・管理栄養士・保健師） ・10月以降3回実施予定 ■ハイリスク対象者への個別訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・健診を受診された人のうち、ハイリスク（血圧・血糖・フレイル）者への個別訪問
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		2,509	554		△ 1,955		
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	550	550		0		
	一般財源	1,959	4		△ 1,955		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	80
	ニコニコ健康くらぶ（管理栄養士）	
	元気いきいき教室（管理栄養士、有識者）	
	需 用 費	347
	消耗品費	180
	印刷製本費	167
	役 務 費（通信運搬費）	32
	使用料及び賃借料（施設借上料）	5
備品購入費（機械器具費）	90	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	4	1	5	次世代につながるしきゅう（至急・子宮）大作戦事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	①ワクチン・検診・相談編で講演・相談会により、男性を含めた若い世代から自身の健康を守るための知識啓発を図り、②からだを知る編として「からだチェック券」の配付、③HPV検査編として、子宮がん検診（細胞診）にHPV検査を追加し無料クーポンの配付を行うことで子宮を守り、次世代へ命と健康をつなぐ。
-------	---

事業概要	将来の健康と健やかな妊娠・出産のために、HPVワクチンの接種率及び子宮がん検診の受診率向上に向けた取り組みを強化する。新たに20歳と25歳の女性を対象とした子宮がん検診にHPV検査を加えた無料クーポン券と健康状態を調べる「からだチェック券」を配付するとともに講演会・相談会を開催し、自身の体を守る方法やその必要性などについて若いうちから男性も含めて広く啓発する。
------	---

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・日本では毎年約1.1万人の女性が子宮頸がんになり、約2,900人が死亡。 ・患者は20歳代から増え始め、30歳代までに治療のため子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）方が約1,000人いる。 ・子宮頸がんの予防には、HPVワクチン接種が有効であり、また初期段階で発見し、早期治療につなげるために、HPV検査や子宮がん検診が有効である。 ・HPVワクチンについては、令和4年度から積極的勧奨が再開されたが、接種率が低く、特にキャッチアップ接種は令和6年度が最終年度であり、接種勧奨の強化が必要。
----------	--

事業計画・効果	<p>《事業計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会・相談会を開催（令和6年6月予定） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 子宮頸がん予防の啓発等を目的にみなとテラスのホールにて、著名人や専門医を招いた講演会を開催する。 ▶ 講演会の終了後には、医師による個別相談会の開催も予定。 ・20歳・25歳の女性を対象とした子宮がん検診にHPV検査を加えた無料クーポンの配付併せて、将来子どもを望む場合など、若い頃から自身の健康状態を知るための「からだチェック券」（上限30,000円）を配付し、自己負担なく検査できる体制を整え、経済的負担の軽減を図る。 <p>《事業効果》</p> <p>講演会などを通じて、子宮頸がんのリスクやワクチン接種、検査の重要性を市民に広く理解してもらい、ワクチン接種や検査の受検率の向上を図るとともに、若年層の健康に対する意識向上を促し、自身の将来の健康と子どもを望む人への健やかな妊娠・出産を守る。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	3,878	3,878	3,878		
財源内訳	国庫支出金	0	56	56		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	3,822	3,822		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	155
	講演会講師（2人）	150
	託児スタッフ（2人）	5
	需 用 費	598
	消耗品費	5
	印刷製本費	593
	講演会用ポスター・チラシ	300
	からだチェック券	84
	クーポン券・検診手帳など	209
	役 務 費	129
	通信運搬費（クーポン券・結果通知など郵送料）	
	委 託 料	2,795
	「からだチェック」委託料	2,250
	HPV検査等委託料	545
	使用料及び賃借料	51
会場借上料（「講演会・相談会」用 みなとテラス使用料）		
負担金補助及び交付金	150	
「からだチェック」補助金		

所 属	款 項 目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4 2 1	ごみ処理事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン		4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	

事業の目的
 廃棄物の適正な処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。また、「4R+リニューアブル」による廃棄物の減量化及び資源化を促進し、循環型社会の推進を図る。

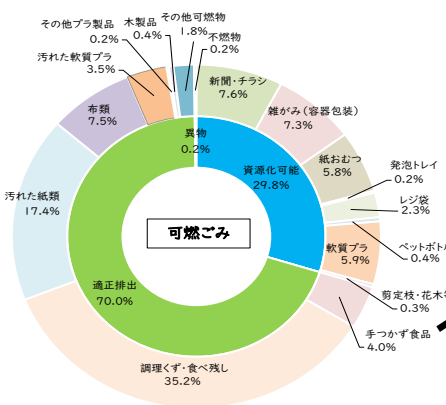
事業概要
 家庭及び事業所から排出される可燃ごみ、資源ごみ等の収集運搬、清掃センターへの直接搬入、指定ごみ袋の製作等。


現状、背景、課題
 令和4年度に「境港市一般廃棄物処理基本計画」を改定し、令和9年度を目標年度に定め、ごみの排出削減と分別の徹底に取り組んでいる。可燃ごみは年々減少しているが、不燃ごみは横ばい傾向。資源ごみは民間や廃品回収の取り組みが進んでいることから減少傾向。

事業計画・効果

◇事業系一般廃棄物組成調査（新規）

- ・調査対象：市で回収した事業系可燃ごみ（市内事業所から発生する可燃ごみ）
- ・実施時期：令和6年7月（調査結果を10月頃公表予定）
- ・調査方法：市の定期収集時に検体を無作為抽出し、組成を分析する（委託）
- ・政策効果：市内で排出されるごみの約2割強を占める事業系可燃ごみについて、これまで市で取得できる廃棄物の搬入計量データだけでは把握できなかった組成に関する基礎データが取得できる。これにより分別可能なごみや分別不良の状況を把握し、事業者向けの適正な排出等に関する広報資材の作成をはじめ、今後の効果的な廃棄物の減量・再資源化施策の立案に活用することができる。





手つかず食品

調査結果イメージ（境港市一般廃棄物処理基本計画改定時に実施した家庭系可燃ごみ組成調査（R4.9）より）

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称	
事業費	236,110	243,929	7,819	58,386	手数料（指定ごみ袋等収集手数料ほか）	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	3	清掃財産占用料（清掃センター）
	県支出金	0	0	0	108	ごみ収集用ポリ袋販売代金
	地方債	0	0	0	845	古紙売払収入
	その他	62,742	59,511	△ 3,231	169	その他の充当明細合計
	一般財源	173,368	184,418	11,050		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員11人分）	32,827
	旅費	53
	普通旅費	
	需用費	27,253
	消耗品費	18,346
	燃料費	2,135
	印刷製本費	929
	光熱水費	1,111
	修繕料	4,732
	役務費	6,543
	通信運搬費	331
	手数料（ごみ袋販売手数料等）	5,695
	保険料	517
	委託料	170,499
	ごみ収集運搬委託料	152,874
	残渣等運搬委託料	5,124
	不燃残渣処分委託料	11,281
	事業系一般廃棄物組成調査業務委託料	1,001
	その他委託料（消防設備保守点検等）	219
	使用料及び賃借料	6,418
	会場借上料（廃棄物減量等推進審議会）	41
	用具借上料	6,360
	その他使用料（有料道路等通行料）	17
負担金補助及び交付金	50	
一般廃棄物焼却残渣処理に伴う環境保全負担金（伊賀市）	30	
鳥取県交通安全協会 年会費	10	
境港安全運転運行管理者協議会 年会費	10	
公課費	286	
自動車重量税（11台）		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	2	1	廃棄物減量等推進事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを			12 つくる責任つかう責任	

事業の目的	地域住民のごみに対する意識の向上により、ごみの排出削減と分別の徹底を図る。また、家庭から排出されるごみにおいて多くの割合を占める生ごみの減量化を図る。
-------	---

事業概要	地区別に「廃棄物減量等推進員」を委嘱し、分別の周知、排出方法に関する指導等を実施。家庭において生ごみの堆肥化を行う者に対し、家庭用生ごみ処理容器の購入費用の一部を補助する。
------	--

現状、背景、課題	「廃棄物減量等推進員」の活動を通じて、地域住民に分別等が定着してきているが、未だ集積所にルール違反のごみが投棄される状況もあることから、更なる取り組みの推進が必要。令和4年度に改定した「境港市一般廃棄物処理基本計画」に基づき、更なる生ごみの減量化を図るため、家庭用生ごみ処理容器への補助とダンボールコンポストの無料配布を令和5年度から開始した。
----------	--

事業計画・効果	<p>◇ダンボールコンポスト無料配布</p> <ul style="list-style-type: none"> 配布対象：境港市民で後日アンケートに協力可能な方（30人）※令和5年度は70人に配布したが、近隣自治体でも2年目の申請数は減少している傾向を勘案し2年合計100人までとした。 実施時期：令和6年7月（9～10月頃アンケート実施予定） 積算根拠：令和5年度と同セット（ダンボール箱、ポカシ菌床等）3,520円（税込）×30人分 <p>※無料配布は令和6年度で終了し、以降はイベントでの作り方教室展開や下記補助金を勧奨。</p> <p>◇家庭用生ごみ堆肥化容器購入費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> 補助対象：コンポストなど生ごみを堆肥化できる容器（1基）※電気式、自作用の材料費除く。 補助率（補助限度額）：購入金額の2/3（上限5,000円、100円未満切り捨て） 実施時期：通年（R6.4.1～R7.3.31） 申請見込：50件（R5.7.24～R5.11.20までの申請数23件に月次の申請数傾向を勘案し年間見込を算出。同期間の1件あたり平均補助額3,764円を乗じ予算計上。） <p>・上記2事業の政策効果：市民の生ごみ分別・削減・再資源化意識の醸成、可燃ごみ処理委託料の圧縮、ごみ収集運搬・焼却時に発生する二酸化炭素の排出削減。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,326	1,621	295	1,621		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,326	1,621	295					
一般財源		0	0	0					

令和6年度歳出入内訳	報 償 費		1,040
	廃棄物減量等推進員（年額）	20,000円×52人	
	需 用 費		392
	消耗品費（ダンボールコンポストセット購入費、推進員用レインコート購入費等）		
負担金補助及び交付金		189	
家庭用生ごみ堆肥化容器購入費補助金	3,764円×50件		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	2	1	清掃センター公用車更新事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを				

事業の目的	適切な車両の更新により、ごみ収集運搬等の清掃センター業務を安全・確実に遂行する。
-------	--

事業概要	塵芥車等、清掃センターの公用車を計画的に更新する。
------	---------------------------

現状、背景、課題	令和6年度は、塵芥車（2トン）、軽貨物車を更新予定。
----------	----------------------------

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・更新車両（詳細） <ul style="list-style-type: none"> ①2トン塵芥車（平成17年から約18年超使用） 使用用途：可燃残渣の運搬など（現在、リサイクルセンターで使用） ②軽貨物車（パネル軽バン）（平成12年から約23年超使用） 使用用途：不法投棄、枝木、汚泥、ボランティアごみ等の収集運搬 犬等動物類捕獲時の運搬 など ・スケジュール：令和6年4～5月 入札 令和7年3月 納車（特装部品、半導体供給の影響） ・政策効果：安定した一般廃棄物収集運搬体制の確保による生活環境の保全及び公衆衛生の向上。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	14,081	13,035		△ 1,046		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	10,400	9,600		△ 800	
	その他	0	0	0		
	一般財源	3,681	3,435		△ 246	

令和6年度歳出内訳	役 務 費	101
	保 険 料（自動車保険料）（2台）	
	備品購入費	12,861
	機械器具費（2 t 塵芥車）	10,663
	機械器具費（軽貨物車）	2,198
	公 課 費	73
	自動車重量税（2台）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	2	1	災害廃棄物処理計画策定事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを				

事業の目的	災害時の廃棄物処理に関して、起こり得る事態を予め想定し、迅速で的確な処理が可能となるよう、廃棄物処理への基本的な対応、処理体制等を定める。
-------	---

事業概要	国の「廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針」において、災害廃棄物処理計画の策定が明記されたことを受け、本市の状況や地域特性等に即した計画を策定する。
------	--

現状、背景、課題	国の「災害廃棄物対策指針」においては、「地方公共団体は、地域防災計画と整合を取りながら、処理計画の作成を行うとともに、防災訓練等を通じて計画を確認し、継続的な見直しを行う」とされており、市町村においても災害廃棄物処理計画を策定することが求められている。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> 策定方針：担当課で素案をまとめつつ、災害の被害想定や被害軽減のための平時における取り組みの検討、災害廃棄物の仮置場の管理運営など高度な専門知識、経験を要する部分について防災分野に精通したコンサルタントの知見を加え、廃棄物減量等推進審議会での検討、パブリックコメントの募集を経て策定する。 策定スケジュール：令和6年5～7月 業務委託入札・計画素案策定 8～10月 廃棄物減量等推進審議会での検討・計画修正 11～12月 パブリックコメント募集 令和7年1～2月 パブリックコメントを反映させた計画修正 3月 完成 政策効果：専門的知見を踏まえた計画に基づき、訓練等を行うことで、災害時に迅速かつ適切な災害廃棄物の処理を行い、市民生活の一刻も早い回復につなげる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	3,630	3,630	3,630	3,630	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	3,630	3,630		
	一般財源	0	0	0		

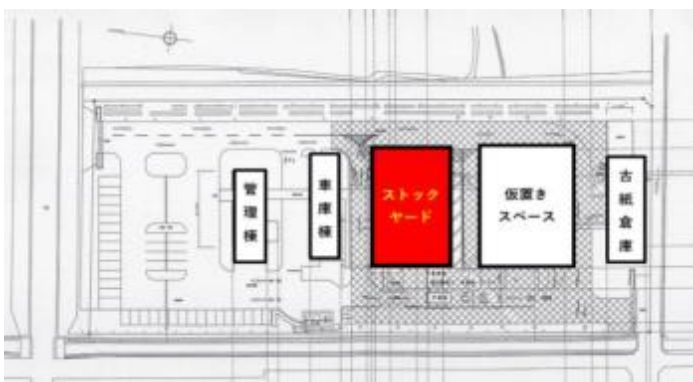
令和6年度歳出内訳	委託料 災害廃棄物処理計画策定業務	3,630
-----------	----------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	2	1	ストックヤード整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを				

事業の目的	清掃センターにおいて、資源物等の受け入れを継続し、市民の利便とごみの減量化・資源化を推進する。
-------	---

事業概要	平成28年3月に稼働を終了した清掃センター工場棟（焼却施設）の解体跡地を活用し、資源物のストックヤードを設置する。
------	---

現状、背景、課題	令和6年3月に清掃センター工場棟の解体を完了予定。現在は、仮設の体制で市民や事業者が直接搬入する可燃ごみ及び資源ごみを受け入れているが、今後ストックヤードを設置することにより、引き続き清掃センターにおいて、安定的に受け入れ業務を継続していくことが可能となる。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> 全体工程：令和4～5年度 清掃センター（工場棟ほか）解体工事 令和6年度 解体跡地でのストックヤード建設に向けた地質調査・実施設計 令和7年度 スtockヤード建設工事 令和6年度スケジュール：令和6年5月 入札（地質調査・実施設計） 令和7年3月 業務完了 政策効果：役割を終えた清掃センター工場棟（焼却炉）の解体を行い、その跡地を活用し、分別された資源物のストックヤードを設置することで、更なるごみの減量化と循環型社会の形成に寄与する（可燃ごみの直接搬入も当該施設で継続することで市民の利便性も担保する）。
 <p>ストックヤード配置図（イメージ）</p>	

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		183,172		17,677	△ 165,495	1,185	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	59,829		5,892	△ 53,937		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	111,000		10,600	△ 100,400		
	その他	0		1,185	1,185		
一般財源		12,343		0	△ 12,343		

令和6年度歳出内訳	委託料	17,677
	ストックヤード実施設計	9,173
	ストックヤード地質調査	8,504

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ集積場所不法投棄防止対策設備設置事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを				

事業の目的	ごみ集積場所における不法投棄やごみの散乱を防止し、生活環境の保全を図る。
-------	--------------------------------------

事業概要	自治会が管理するごみ集積場所における不法投棄対策設備（監視カメラ等）の設置費用の一部を補助する。
------	--

現状、背景、課題	以前より、自治会からごみ集積場所における不法投棄防止対策のための監視カメラの設置に対して、補助の要望が出されていたため、令和5年度に補助制度を創設した。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・申請可能団体：市内自治会 ・補助対象：市内自治会が管理するごみ集積場所に設置する監視カメラ及び標識の購入・設置経費 ・補助率（補助上限額）：監視カメラ及び標識の購入・設置経費の2/3（上限200千円/件） ・申請見込：2件 ・政策効果：ごみ集積場所における対策設備（監視カメラなど）の設置によって不法投棄を抑止・防止し、良好な生活環境の保全につなげるとともにルール違反ごみの投棄を防ぎ、散乱に困る自治会の負担を軽減する。 <p>※令和5年度は美保町自治会が本補助金を利用し対策設備を設置。以降、悪質な不法投棄の発生抑止に成功している（設置場所：美保町会館）。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	600	400	400	△ 200	400	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	600	400	400	△ 200	
	一般財源	0	0	0	0	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	400
	ごみ集積場所不法投棄防止対策設備設置事業補助金 200,000円×2件	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
環境・ごみ対策課	4	2	2	資源ごみ処理施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11 住み続けられるまちづくりを				

事業の目的	リサイクルセンターの設備及び機器の良好な状態を維持し、安定的な資源化処理を行う。
-------	--

事業概要	リサイクルセンターの設備及び機器を計画的に修理・更新する。
------	-------------------------------

現状、背景、課題	ごみ処理の広域化に伴い、令和14年度からは、鳥取県西部広域行政管理組合が計画する中間処理施設に移行する予定。
----------	--

事業計画・効果	<p>◇令和6年度の事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備整備委託 <ul style="list-style-type: none"> 送風機整備（経年劣化等により問題のある部品交換を含む整備） ガス検知器整備（爆発等の危険性があるガス類検知器の整備） ・建屋整備工事請負費 <ul style="list-style-type: none"> 防水改修等工事（近年、特に酷くなっている施設玄関を主とした防水工事） ・政策効果：リサイクルセンターの安全で安定的な稼働により、家庭から排出される廃棄物の適正な処理が可能となる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		2,849		7,370	4,521		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		3,100	3,100		
	その他	0		0	0		
	一般財源	2,849		4,270	1,421		

令和6年度歳出内訳	委託料	3,201
	送風機整備	2,970
	ガス検知器整備	231
	工事請負費	4,169
	防水改修等工事	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	5	1	1	シルバー人材センター助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	境港市シルバー人材センター及び鳥取県シルバー人材センター連合会の運営を支援することにより、高齢者の就労の場を確保する。
-------	---

事業概要	令和6年度より「境港市シルバー人材センター運営費補助金」、「鳥取県シルバー人材センター連合会賛助会費」を統合して「シルバー人材センター助成事業」とした。 高齢者が自己の経験や習得した技術等を活かすことができる就労の場を確保するため、境港市シルバー人材センターの運営費を助成し、鳥取県シルバー人材センター連合会への賛助会費を支払う。
------	--

現状、背景、課題	近年、働く高齢者が増えており、会員数が伸びない状況にあるが、介護予防・日常生活支援総合におけるサービスの担い手としても期待される。
----------	---

事業計画・効果	境港市シルバー人材センター及び鳥取県シルバー人材センター連合会の運営を支援することにより、高齢者が地域において自己の経験や習得した技術を活かし、いつまでもいきいきと働けるよう就労の場を確保する。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	9,880	9,880	0			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	9,880	9,880	0		

令和6年度歳出内訳	負担金	30
	鳥取県シルバー人材センター連合会賛助会費	
	補助金	9,850
	境港市シルバー人材センター運営費補助金	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	1	農業委員会運営費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(5)	地域の特性などに応じた土地利用	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進を図る。また、鳥取県農業会議、鳥取県農業農村担い手育成機構及び他市町村農業委員会等と連携協力して、農地制度や農業政策等の改善を求めている。
-------	--

事業概要	農業委員会は、主な目的である「農地等の利用最適化の推進」を中心に、農地法に基づく農地の売買・貸借の許可、農地転用案件への意見具申など、農地に関する事務を執行する行政委員会として各市町村に設置されている。
------	---

現状、背景、課題	今後の地域農業振興のためには、優良農地の確保と担い手の育成が必要不可欠である。
----------	---

事業計画・効果	現農業委員9人、農地利用最適化推進委員4人の任期は、令和6年8月9日までである。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	5,745	5,907		162		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	2,050	2,235	185		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	3,695	3,672	△ 23		

令和6年度歳出内訳	報酬	5,353
	基本給(委員定員13人)	4,188
	月額 会長47千円、職務代理27千円、委員25千円	
	能率報酬	1,165
	旅 費	5
	交 際 費	10
	需 用 費	96
	役 務 費	167
	使用料及び賃借料	159
	負担金補助及び交付金	117
全国農業委員会会長大会(2回、1人分)	111	
女性委員会議	6	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	市民農園管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	12	つくる責任つかう責任			

事業の目的	市民農園での農業体験を通して、農業への理解を深め、市民の交流の場とする。
-------	--------------------------------------

事業概要	農地の賃借料、備品の修理費等、市民農園の運営に必要な費用。
------	-------------------------------

現状、背景、課題	現在、中浜、中野、竹内の3箇所に市民農園があり、多くの方々に利用されている。
----------	--

事業計画・効果	募集方法：市報及び市ホームページ 区画数および利用区画数(12月末現在)				
		区画数	利用数	空き区画	利用率
	中野	51	38	13	74.5%
	竹内	44	25	19	56.8%
	中浜	72	41	31	56.9%
	合計	167	104	63	62.3%

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		236	236	0	236	市民農園利用料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	236	236	0			
一般財源		0	0	0			

令和6年度歳出内訳	需用費	140
	使用料及び賃借料	96

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	ふれあい農園事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	農業体験する機会を提供し、農業や食に対する関心を高め、理解を深めていただく場とする。
-------	--

事業概要	野菜を栽培した経験のない市民の方に、地域の農業者より指導・助言を受けながら、野菜の植付から収穫まで体験していただく。農業体験を通じて、農業や食への関心や理解を深めていただく。
------	---

現状、背景、課題	食の安全が注目される中、自ら野菜を栽培、食する機会を提供することにより、市民の食育に寄与する。令和2年度以降は、親子に限らず、友人同士での参加など対象を広げて実施している。
----------	--

事業計画・効果	令和6年度（予定） 実施時期：9月～12月 実施場所：中浜市民農園 実施回数：5回 募集方法：市報、チラシ（保育園・幼稚園に配布、公民館・図書館などに配架）
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	237	234		△ 3	92	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	50	ふれあい農園利用料
	県支出金	93	92	△ 1		
	地方債	0	0	0		
	その他	144	142	△ 2		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	需用費	74
	委託料	160
	農作業指導委託料(女性農業者人財バンク)	50
	耕耘・肥料散布・畝立て等の作業委託料	110

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	有害鳥獣等捕獲事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	カラス等の有害鳥獣による農作物被害を防ぐ。
-------	-----------------------

事業概要	有害鳥獣による農作物被害を防ぐため、箱わなによる捕獲駆除及び猟銃駆除を行う者に対して補助金を交付する。また、捕獲の際に必要な備品・消耗品の購入費及び捕獲した有害鳥獣等の処分費。
------	--

現状、背景、課題	カラス等の有害鳥獣が、市内で農作物に被害を与えている。特に農作物への被害が大きい中海干拓地においては、中海干拓地営農組合が、箱わな4基による駆除と猟銃駆除を実施している。
----------	---

事業計画・効果	<p>実施時期：R 6. 4月～R 7. 3月 実施回数：随時（箱わな）、19回（猟銃） 実施内容：箱わなによる捕獲及び駆除、猟銃による捕獲・駆除及び追い払い活動</p> <p>○捕獲実績（カラス等） R 1：745羽、R 2：665羽、R 3：976羽、R 4：1,086羽</p> <p>○捕獲計画（カラス等） R 6：1,200羽、R 7：1,200羽、R 8：1,200羽</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,082	1,082	0			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	221	221	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	861	861	0		

令和6年度歳出内訳	需用費	5
	役務費	414
	負担金補助及び交付金	663
	交 付 先 中海干拓地営農組合 負 担 割 合 県1/3、市2/3	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	就農条件整備事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	基盤が脆弱な新規就農者に補助することにより経営の安定を図る。
-------	--------------------------------

事業概要	新規就農者の就農初期の経営基盤整備の負担軽減を図るために、新規就農者が購入した機械・施設に対し助成する。
------	--

現状、背景、課題	新規就農状況 R2=3人、R3=2人、R4=1人、R5=1人
----------	--------------------------------

事業計画・効果	令和3年度以前の就農者は、就農後5年間で、事業費の上限は12,000千円。 令和4年度以降の就農者は、就農後5年間で、事業費の上限は国庫補助事業（農業経営発展支援事業）と合わせて16,000千円。			
	交付先	導入機械・施設	対象経費	補助金額
	A	ねぎ収穫機、コンプレッサー	5,669	2,834
	B	ねぎ収穫機、根葉切機	5,455	2,728
	C	定植機、育苗ハウス、収穫機	9,386	4,693
	D	定植機、育苗ハウス	4,579	2,290
	E	フレールモア	641	320

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		6,385	12,865	6,480	4,289		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	4,256	8,576	4,320					
	地方債	0	0	0					
	その他	2,129	4,289	2,160					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金				12,865
	交 付 先	個人5人			
	負 担 割 合	県1/3、市1/6、農業者1/2			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	学校給食米栽培委託事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(3)	ふるさと境港への愛着を育む教育や活動の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに		11	住み続けられるまちづくりを

事業の目的	水田の不耕作解消及び耕作水田の周辺環境を維持するとともに、収穫した米を学校給食米飯用に提供し、地産地消と食育を推進する。
-------	--

事業概要	一般財団法人境港市農業公社が遊休水田を借り受け、水稻栽培を市内農家等に委託し、水田の不耕作解消と収穫された米を学校給食米飯用として使用する。
------	--

現状、背景、課題	中央墓園南側の深田川沿いに広がる水田地帯の遊休化防止と稲作営農環境の維持が必要である。
----------	---

事業計画・効果	<p>遊休水田を利用した学校給食米の委託栽培を行い、収穫した米は学校給食米として、地産地消に寄与する。</p> <p>栽培面積 15,399㎡ 収量見込 5,400kg (1,000㎡あたり350kg)</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,130	2,114		△ 16	1,098	稲作作業委託給食米販売収入
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	508	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
	県支出金	580	508	△ 72		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,550	1,606	56		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	委託料 委託先 (一財) 境港市農業公社	2,114
-----------	-------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	就農応援交付金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	就農初期の生産基盤の不安定な新規就農者の早期の経営安定、定着を図る。
-------	------------------------------------

事業概要	新規就農者に対して、就農後3年間、用途を限定しない交付金を交付する。
------	------------------------------------

現状、背景、課題	経済状況の悪化により、会社を退職して農業へ転職する者が増えるなど農業の担い手確保の需要が増えている。しかしながら、機械・施設に対する初期投資、収入が安定して入ってくるまでの運転資金や生活資金の確保に苦慮している状況である。
----------	---

事業計画・効果	<p>独立自営就農後3年目までの認定新規就農者に対し、最大3年間交付金を交付する。</p> <p>以前は、就農後2～3年目には所得額が向上すると考え、就農年数に応じて交付額を減額していたが、資材費高騰や燃油高騰による就農者の所得低下を踏まえ、令和5年度より、交付額は就農後3年間一律で月額100千円となった。</p> <p>※前年の総所得が350万円以上となった場合は交付停止。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		585		100	△ 485		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	390		66	△ 324		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	195		34	△ 161		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	100
	交 付 先	個人1人
	A (R3.5支給開始)	100千円×1か月
	交 付 額	1年目～3年目100千円/月
	負 担 割 合	県2/3、市1/3

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	伯州綿製品地産地消推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(7)	伝統的地域資源「伯州綿」のブランド化	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	伯州綿を使用した製品を地域の新生児、100歳高齢者に贈呈（新生児：おくるみ、100歳：ひざかけ）することで、伯州綿製品の地産地消を推進する。また、伯州綿の茎を原料とする和紙を、市表彰式、ダイヤモンド婚・金婚記念式典の賞状用紙として使用し、より広い年齢層に対して伯州綿の周知を図る。
-------	--

事業概要	伯州綿を使用した製品を地域の新生児、100歳高齢者に贈呈（H23年～）。伯州綿の茎を使用した和紙を製作し、市表彰式、ダイヤモンド婚・金婚記念式典の賞状用紙として使用する（H30年～）。
------	--

現状、背景、課題	H21年より境港市農業公社において「伯州綿」を本格栽培。H23年からは新生児、100歳高齢者に伯州綿製品を市からプレゼントするため、市農業公社で作成した製品（おくるみ、ひざかけ）を購入している。伯州綿の栽培サポーター制度を充実させ、地域住民に栽培を支援してもらいながら、継続的に栽培できる体制の構築を図る。
----------	---

事業計画・効果	新生児と100歳高齢者のお祝いに「おくるみ」「ひざかけ」を市農業公社から購入して贈呈する。伯州綿製品に直に触れ・体感してもらうことで、伯州綿のPRと活用、普及を図っていく。また、伯州綿の茎を原料とした和紙で、市表彰式、ダイヤモンド婚・金婚記念式典の賞状用紙を製作することで、伯州綿の効率的な活用を図っている。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	4,210	3,915		△ 295	1,958	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	2,105	1,957		△ 148	
	地方債	0	0		0	
	その他	2,105	1,958		△ 147	
	一般財源	0	0		0	

令和6年度歳出内訳	需用費				
	赤ちゃんおくるみ	@18,000円	×	170人	3,060
	100歳ひざかけ	@30,000円	×	23人	690
	伯州和紙	@ 1,100円	×	150枚	165

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	農業経営開始支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的 経営開始直後の所得確保による、青年就農者の就農意欲の喚起と定着の促進を目指す。

事業概要 次世代を担う農業者となることを志向する原則50歳未満の独立・自営の新規就農者（青年就農者）について、就農直後の経営確立のために、使途を定めない資金を交付する。

現状、背景、課題 農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するために、次世代を担う農業者の育成・確保に向けた取組を総合的に講じていく必要がある。平成29年度から青年就農給付金が農業次世代人材投資資金に変更となり、同年度以降の採択者から交付終了後の営農継続が義務化されたため、営農を継続しない期間分の交付金について返還規定が設けられた。

事業計画・効果

令和3年度まで：農業次世代人材投資資金
 令和4年度以降：農業経営開始資金
 ※令和4年度より、交付金の名称が変更

【農業次世代人材投資資金】
 令和2年度以前の新規就農者
 最大150万円/年、最長5年間交付。
 ただし2年目以降、前年所得に応じて減額や不交付の場合あり。
 令和3年度の新規就農者
 就農1～3年目は年間150万円、就農4～5年目は年間120万円交付。
 ただし、前年の世帯所得が600万円を超えると不交付となる。

【農業経営開始資金】
 令和4年度以降の新規就農者
 就農1～3年目に年間150万円交付。

交付先	年齢	就農年月	併用不可				
			農業経営開始支援事業	就農応援交付金	経営発展支援事業	就農条件整備事業	農地賃借料助成事業
A	40	R 2.6	○	—	—	○	○
B	40	R 2.6	○	—	—	—	○
C	40	R 2.6	— ※世帯所得	○	—	○	○
D	53	R 3.5	— ※年齢要件	○	—	○	○
E	40	R 4.2	○	—	—	○	○
F	39	R 5.4	○	—	○	○	○
G	49	R 4.9	○	—	○	○	○

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		7,546	7,396	△ 150		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	7,546	7,396	△ 150		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度 歳出内訳	報 償 費				26
	新規就農者をサポートする農業者への謝金				
	需 用 費				20
	負担金補助及び交付金				7,350
	交 付 先	個人2人【農業経営開始資金】			
	個人3人【農業次世代人材投資資金】				
	負 担 割 合	国10/10			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	地域おこし協力隊推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(7)	伝統的地域資源「伯州綿」のブランド化	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう		11	住み続けられるまちづくりを
	15	陸の豊かさを守ろう			

事業の目的	三大都市圏等の人材を積極的に誘致し、その定住化・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図る。
-------	--

事業概要	三大都市圏等の人材を積極的に誘致し、本市の伝統的地域資源である伯州綿の栽培や文化を継承していくための活動を通じて、外部の人材の当地域への定着を図る。
------	--

現状、背景、課題	これまでに8人が隊員に就任。H27年度3人、H28年度4人、H29年度3人、H30年度1人、R1年度1人、R2年度2人、R3年度2人、R4年度3人（R4.10月以降は1人）R5年度2人（10月1日採用1人）
----------	---

事業計画・効果	<p>常時2人体制が確保できるように採用を行う。 現隊員1人は令和6年度で任期が終了するため、7年度に向けて、おためし地域おこし協力隊も含め募集する。 活動内容：伯州綿栽培のほか伝統的地域資源の継承に向け、小学校等で伯州綿の歴史や本市の取組の紹介、種まき、綿くり体験学習等を実施する。 また、全国コットンサミットや全国物産フェア等のイベントに参加し、伯州綿及び本市のPR活動を実施する。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		9,010	9,992		982		
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	9,010	9,992		982		

令和6年度歳出内訳	人件費	(会計年度任用職員2人分)	6,441
	旅費	コットンサミット等出展、企業訪問、展示会等	482
	需用費	消耗品費、燃料費、印刷製本費等	344
	役務費	通信運搬費、公用車保険料等	127
	委託料	伯州綿製品試作品加工委託等	50
	使用料及び賃借料	宿舍借上料、事務所借上料、自動車借上料	2,512
	備品購入費		36

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	多面的機能支払交付金	継続
境港市まちづくり総合プラン				2-(6)	白ねぎを核とした農業振興
				4-(5)	地域の特性などに応じた土地利用
SDGs	12	つくる責任つかう責任			

事業の目的	農業・農村の有する地域資源の保全管理や、質的向上、施設の長寿命化等の多面的機能の維持・発揮を図るための地域活動に係る支援を行う。
-------	--

事業概要	農業・農村の有する多面的機能を維持・発揮するための地域の共同活動を支援する。
------	--

現状、背景、課題	H29年度より、中海干拓地において、側溝清掃や農道整備などを地域の共同活動として実施している弓浜干拓地管理協議会に支援を行っている。
----------	--

事業計画・効果	<p>実施主体：弓浜干拓地管理協議会</p> <p>実施内容：雑草の除草・雑木の伐採や防風林の剪定、水路の浚渫、除草剤散布、水路、農道の修繕(長寿命化対策)を行うことで弓浜干拓地の景観管理や耕作放棄地対策を図る。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		4,136	4,749	613					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	3,102	3,561	459					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	1,034	1,188	154					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金				4,749
	交 付 先	弓浜干拓地管理協議会			
	負 担 割 合	国1/2、県1/4、市1/4			
	実 施 予 定 面 積	A=9,028a			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	がんばる地域プラン事業費補助金	見直し
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	15	陸の豊かさを守ろう			

事業の目的	【弓浜干拓地プラン】次世代の担い手に繋ぐ日本一の干拓地営農の確立を目指し、農業者と関係機関や団体がこれまでに培ってきた経験と知識を改めて集結させ、課題解決に取り組む。【弓浜地区プラン（白ねぎ）】弓浜地区の白ねぎの生産に係る諸問題を解決し、西日本一の産地を目指す。さらに今後、弓浜地区以外にも波及することを狙いとする。
-------	--

事業概要	単県事業の「がんばる地域プラン事業」を活用し、「弓浜干拓地の営農基盤強化（グレードアップ）プラン」及び「弓浜地区白ねぎ産地の生産振興プラン」を実施する。【弓浜干拓地プラン】弓浜干拓地の数多くの課題を解決するため、支援事業を行う。【弓浜地区プラン（白ねぎ）】弓浜地区で、白ねぎ生産地の生産振興を図り、西日本一の産地を目指す。
------	---

現状、背景、課題	【弓浜干拓地プラン】農業者と関係機関・団体が一体となって営農基盤の強化・改善に取り組み、本市の農業振興において、特に重要なエリアとなった。しかしながら、現在、排水不良、石礫の混在、カラス被害など数多くの課題を抱える状況にある。【弓浜地区プラン（白ねぎ）】弓浜地区の白ねぎ生産に係る課題として、担い手、新規就農者の確保、遊休農地対策、排水対策、災害対策、品質向上、販売促進等の多くの課題を抱えている。
----------	---

事業計画・効果	<p>【弓浜干拓地プラン】</p> <p>名称：弓浜干拓地の営農基盤強化（グレードアップ）プラン</p> <p>期間：R4年度～R8年度（5年間）</p> <p>重点対策：Ⅰ 担い手農業者、新規就農者の農地確保と育成</p> <p style="padding-left: 20px;">Ⅱ 遊休農地の拡大防止・解消</p> <p style="padding-left: 20px;">Ⅲ 担い手農業者同士の連携による輪作営農体系構築</p> <p style="padding-left: 20px;">Ⅳ 農地の排水改善・耕作条件改善</p> <p style="padding-left: 20px;">Ⅴ カラス被害対策・防風対策</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">内 容</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">補助金</td> <td>ソフト</td> <td>①輪作の実証展示圃場の設置（1.5ha） 事業費150千円×2/3（県1/2、市1/6）</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>ハード</td> <td>②農業機械のリース（継続） 緑肥すき込み用の機械 トラクター、ロータリー、モア 傾斜均平化用の機械 レーザーレベラー 事業費7,439千円×1/2（県1/3、市1/6）</td> <td>3,719</td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>3,819</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容		補助金額	補助金	ソフト	①輪作の実証展示圃場の設置（1.5ha） 事業費150千円×2/3（県1/2、市1/6）	100	ハード	②農業機械のリース（継続） 緑肥すき込み用の機械 トラクター、ロータリー、モア 傾斜均平化用の機械 レーザーレベラー 事業費7,439千円×1/2（県1/3、市1/6）	3,719	合計			3,819																															
	項目	内 容		補助金額																																												
補助金	ソフト	①輪作の実証展示圃場の設置（1.5ha） 事業費150千円×2/3（県1/2、市1/6）	100																																													
	ハード	②農業機械のリース（継続） 緑肥すき込み用の機械 トラクター、ロータリー、モア 傾斜均平化用の機械 レーザーレベラー 事業費7,439千円×1/2（県1/3、市1/6）	3,719																																													
合計			3,819																																													
	<p>【弓浜地区プラン（白ねぎ）】※境港市、米子市共同策定</p> <p>名称：弓浜地区白ねぎ産地の生産振興プラン</p> <p>『白ねぎ産地西日本一位を目指す祭のスタート』</p> <p>期間：R6年度～R10年度（5年間）</p> <p>重点対策：Ⅰ 担い手農業者、新規就農者の確保</p> <p style="padding-left: 20px;">Ⅱ 農地利用の効率化・維持管理</p> <p style="padding-left: 20px;">Ⅲ 核となる品目の生産振興</p> <p style="padding-left: 20px;">Ⅳ 販売促進及びブランド化</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">内 容</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">補助金</td> <td rowspan="5">ソフト</td> <td>①白ねぎ学校の講師謝金 2.2千円×2h×12回×2/3</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>②新規就農サポーター活動費 50千円×2/3</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>③弓浜白ねぎ奨励金 30千円×12月×3人×2/3</td> <td>720</td> </tr> <tr> <td>④輪作のための緑肥に係る支援 1,300千円×2/3</td> <td>867</td> </tr> <tr> <td>⑤栽培実証試験 10千円/10a×700a×2/3</td> <td>467</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">補助金</td> <td rowspan="10">ハード</td> <td>⑥</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・収穫機 4,170,000円×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・管理機（クボタ） 336,300円×3台×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・管理機（関東農機） 460,000円×2台×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ランコン動噴 970,000円×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・専用皮剥ぎ機 498,000円×3台×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ねぎ用コンプレッサー 748,000円×3台×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・根葉切機 730,000円×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・バックホー 3,000,000円×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・エンジンポンプ 78,000円×15台×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・保冷庫 715,682円×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・全自動ねぎ移植機 1,499,000円×1/2</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="3">合計</td> <td>11,083</td> </tr> </tbody> </table>	項目	内 容		補助金額	補助金	ソフト	①白ねぎ学校の講師謝金 2.2千円×2h×12回×2/3	35	②新規就農サポーター活動費 50千円×2/3	33	③弓浜白ねぎ奨励金 30千円×12月×3人×2/3	720	④輪作のための緑肥に係る支援 1,300千円×2/3	867	⑤栽培実証試験 10千円/10a×700a×2/3	467	補助金	ハード	⑥		・収穫機 4,170,000円×1/2		・管理機（クボタ） 336,300円×3台×1/2		・管理機（関東農機） 460,000円×2台×1/2		・ランコン動噴 970,000円×1/2		・専用皮剥ぎ機 498,000円×3台×1/2		・ねぎ用コンプレッサー 748,000円×3台×1/2		・根葉切機 730,000円×1/2		・バックホー 3,000,000円×1/2		・エンジンポンプ 78,000円×15台×1/2		・保冷庫 715,682円×1/2		・全自動ねぎ移植機 1,499,000円×1/2		合計			11,083
項目	内 容		補助金額																																													
補助金	ソフト	①白ねぎ学校の講師謝金 2.2千円×2h×12回×2/3	35																																													
		②新規就農サポーター活動費 50千円×2/3	33																																													
		③弓浜白ねぎ奨励金 30千円×12月×3人×2/3	720																																													
		④輪作のための緑肥に係る支援 1,300千円×2/3	867																																													
		⑤栽培実証試験 10千円/10a×700a×2/3	467																																													
補助金	ハード	⑥																																														
		・収穫機 4,170,000円×1/2																																														
		・管理機（クボタ） 336,300円×3台×1/2																																														
		・管理機（関東農機） 460,000円×2台×1/2																																														
		・ランコン動噴 970,000円×1/2																																														
		・専用皮剥ぎ機 498,000円×3台×1/2																																														
		・ねぎ用コンプレッサー 748,000円×3台×1/2																																														
		・根葉切機 730,000円×1/2																																														
		・バックホー 3,000,000円×1/2																																														
		・エンジンポンプ 78,000円×15台×1/2																																														
・保冷庫 715,682円×1/2																																																
・全自動ねぎ移植機 1,499,000円×1/2																																																
合計			11,083																																													

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		3,734	14,902	11,168	4,783		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	2,497	10,119	7,622					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,237	4,783	3,546					
一般財源		0	0	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金		14,902
	交付先	中海干拓地営農組合【弓浜干拓地プラン】	3,819
		J A鳥取西部、J A鳥取西部白ねぎ生産部会【弓浜地区プラン（白ねぎ）】	11,083
	負担割合	：県1/3、市1/6、事業主1/2（ハード） ：県1/2、市1/6、事業主1/3（ソフト）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	3	園芸産地活力増進事業補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的
強い園芸産地（白ねぎ産地等）の形成を目指すため、農作業の負担軽減、作業効率改善の試行的な取組や、高齢化や労力不足を補完する資材を導入し、作業を効率化させ、生産性を向上させる。

事業概要
野菜園芸品目（白ねぎ等）のさらなる生産振興を図るため産地づくり強化や特産物の育成等園芸産地の形成を目指す。

現状、背景、課題
弓浜地区の白ねぎ生産は、生産者の高齢化による生産力の減少や重労働等の課題が生じている。

事業計画・効果
実施内容：農作業の負担軽減、作業効率改善の取組や、高齢化や労働力不足を補完する取組に対し、補助を行い、白ねぎ等の野菜の生産振興を図る。
導入機材：土どめ機・・・白ねぎの倒伏を抑制することで、白ねぎの品質向上を図る。
台 車・・・収穫時の作業の軽減を図る。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称		
事業費		0	433	433					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	288	288					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	145	145					

令和6年度歳出入内訳
負担金補助及び交付金 433
負担割合 県1/3 市1/6 実施主体1/2
交付先 J A鳥取西部白ねぎ生産部会

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	4	土地改良施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				2-(6)	白ねぎを核とした農業振興
				4-(5)	地域の特性などに応じた土地利用
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	農業経営基盤のうち、国の補助対象とならない、農道、水路小規模改修、維持管理及び緊急を要する整備などに対応するため。
-------	---

事業概要	農業経営基盤のうち、国の補助対象とならない、農道、水路の小規模改修、維持管理及び緊急を要する整備を行う。
------	--

現状、背景、課題	既存の農道、水路は老朽化が進んでいたり、管理が行き届いていない箇所が多く、年次的に改善が必要である。水路からの吸出しにより、隣接道路が陥没する事態も発生している。
----------	---

事業計画・効果	R 3 : 深田川工事	1,683,000円	水路内堆積土砂撤去
	既設水路改修整備工事	1,169,300円	市内4工事、12か所
	計	2,852,300円	
	R 4 : 深田川工事	2,128,500円	道路際除草・伐木
	既設水路改修整備工事	976,140円	市内9工事、11か所
	計	3,104,640円	
R 5 : 深田川工事	2,036,100円	道路際除草・堆積土砂撤去	
既設水路改修整備工事	962,170円	市内9工事、9か所	
計	2,998,270円		
R 6年度においても、深田川工事と既設水路の改修整備工事を予定。			

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		3,371	3,171		△ 200		
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	1,500	1,500		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	0	0		0		
	一般財源	1,871	1,671		△ 200		

令和6年度歳出内訳	需用費	154
	深田川樋門点検修理ほか	
	役務費	17
	工事請負費	3,000
	既設水路改修整備工事	1,000
深田川浚渫工事	2,000	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	4	米川水利用調整事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	農業水利施設は、農業用水の供給、農地排水等の機能だけでなく、国土の保全、水源のかん養等の多面的機能を有しているが、集中豪雨の激甚化・頻発化によって、施設管理者は複雑かつ高度な操作・管理を求められている。このため、水利施設管理強化事業は、農業水利施設の役割に応じて施設管理者を支援し、多面的機能の適正な発揮を図ることを目的とする。
-------	--

事業概要	国営事業で造成した農業用水路である米川は、農業のための機能ばかりでなく、地下水涵養や散策路、景観等多面的な機能も有しており、この多面的機能に対して国、県、市で維持管理費の一部を助成する。
------	---

現状、背景、課題	国営事業で造成した施設の維持管理を行っている土地改良区への助成。近年構造物の老朽化が目立ち、維持管理費が増加している。
----------	---

事業計画・効果	<p>実施主体：米川土地改良区</p> <p>事業内容：米川本線の維持管理や整備補修を行い、農業水利施設の持つ多面的機能の適正な発揮を図る。</p> <p>弓浜干拓地(用排水機や加圧機場など)の維持管理や整備補修を行い、水不足緩和や水源の補強を図る。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		8,278	9,518	1,240					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	6,208	7,185	977					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	2,070	2,333	263					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金				9,518
	交 付 先	米川土地改良区			
	負 担 割 合	国1/2、県1/4、市1/4			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	4	農業用排水路管理清掃事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	2	飢餓をゼロに			

事業の目的	農家数の減少、高齢化等により、農事実行組合等での清掃等が困難となった農業用排水路を清掃し、今まで通水排水不良により耕作が困難だった農地の再生を目指す。
-------	---

事業概要	農業用排水路の水利調整及び清掃等を実施する境港市農業用排水路管理調整協議会に対する助成。また、農事実行組合等での清掃が困難な箇所での清掃や、清掃で発生する泥等の処分に係る経費。
------	--

現状、背景、課題	農業用排水路の清掃は原則農家で行ってもらっているが、農家数の減少、高齢化等により、農事実行組合等での清掃等が困難となった農業用排水路が市内各所にあり、通水排水不良により耕作放棄地となった農地がある。市内農用地区域を3区域に分け、水路清掃をローテーションで行っている。
----------	---

事業計画・効果	名称：農業用排水路管理事業 内容：農事実行組合や各農家の清掃に伴う泥・草等の運搬を迅速に行い、農道の景観や通行障害対策を図る。 R3：計 1,277,100円 21か所 R4：計 1,683,000円 25か所 R5：計 1,487,200円 18か所
	名称：農業用排水路清掃事業 内容：農事実行組合等で清掃が困難な用排水路を清掃し、作物被害や水路の氾濫を防ぐ。 R3：計 2,307,740円 11か所 R4：計 2,568,170円 15か所 R5：計 2,498,980円 12か所
	名称：農業用排水路管理調整協議会補助金 内容：農事実行組合による農業用排水路の清掃を補助。 ※除草剤の一括購入による費用削減や清掃日を統一することで、都度支払っていた保険料の削減を図っている。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	4,600	4,800	200	200	農業振興事業指定寄附金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	4,200	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	4,000	4,400	400		
	一般財源	600	400	△ 200		

令和6年度歳出内訳	委託料	4,200
	負担金補助及び交付金	600
	農業用排水路管理調整協議会	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	4	農地耕作条件改善事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(6)	白ねぎを核とした農業振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	15	陸の豊かさを守ろう			

事業の目的	市内の耕作放棄地の解消と、優良農地の確保及び担い手農家への農地集積・集約を推進する。
-------	--

事業概要	農振農用地区域において、耕作放棄地など農地利用が低い農地に対し、再生事業をはじめとする基盤整備を行い、耕作条件の改善を図る。令和5年度から令和8年度は、弓浜干拓地の基盤整備を行う。
------	--

現状、背景、課題	市内には199haの耕作放棄地が存在しており、農業振興の大きな障害になっているほか、景観・防犯上の問題も挙げられている。また規模拡大を目指す若手農業者等への優良農地の確保は喫緊の課題となっている。
----------	--

事業計画・効果	<p>実施主体：境港市</p> <p>事業内容：石礫除去及び緑肥栽培による排水改良を実施して農地の耕作条件を改善する。</p> <p>石礫除去・・・除礫、耕起、整地、均平</p> <p>緑肥栽培・・・播種、覆土、追肥、裁断、耕運</p> <p>対象場所：中海干拓地</p> <p>R6年度実施予定面積 石礫除去=30.2ha 緑肥栽培=18.4ha</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		26,819	48,748	21,929	4,874		農地耕作条件改善事業地元負担金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	9,751		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
	県支出金	18,732	34,123	15,391					
	地方債	1,900	0	△ 1,900					
	その他	6,187	14,625	8,438					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	委託料		48,748
	委託先	中海干拓地営農組合	
	負担割合	国1/2、県1/5、市1/5、農業者1/10	
	事業期間	R5年度～R8年度	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	1	4	荒廃農地解消対策委託事業（早生樹試験栽培）	新規
境港市まちづくり総合プラン			4-(5)	地域の特性などに応じた土地利用	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市内の荒廃農地を解消し、新たな産業も見込めるバイオマス燃料の原材料となる早生樹の試験栽培を行う。
-------	--

事業概要	境港市農業公社に委託し、市内の荒廃農地を解消するために、早生樹の試験栽培を行う。
------	--

現状、背景、課題	農地耕作条件改善事業（余子地区）において、農家に貸し出しができなかった遊休農地で、バイオマス燃料の原材料となる早生樹の試験栽培を行い、事業化へ向けて、生育データ等を検証する。
----------	---

事業計画・効果	1年目～2年目	早生樹の生育
	3年目	年次的に伐採を行い、生育データを検証する。
	4年目～	伐採したものは、原材料として売却。 伐採後も再び芽を出し生長するため、伐採後の生育データを改めて検証する。
	(栽培苗木等)	
	ハルシベ柳	:80本
	ユーカリ	:20本
	早生桐	:20本
	ハンノキ	:20本
	ソルゴー	:1袋(1kg)
	<p style="text-align: center;">早生樹試験栽培 位置図</p>	

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		0	636	636			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	0	636	636			

令和6年度歳出内訳	委託料	626
	(一財) 境港市農業公社	
	負担金補助及び交付金	10
	(一社) 脱炭素推進協議会	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
農 政 課	6	2	1	市民の山管理・ふれあい交流事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(2)	他に誇れる海や海辺との共生	
SDGs	15	陸の豊かさを守ろう			

事業の目的	イベントを通じて市民の山を身近に感じてもらうとともに、本市が所有する水源かん養林について理解を深めてもらい、引き続き市民の山を所有し、山・森林を守るため計画的に適切な森林施業を行うことについて理解を得る。
-------	--

事業概要	日南町の市民の山にS57～S62年度に植栽したスギ、ヒノキの除伐、間伐、枝打ち等を行い、植栽林の保育を推進する。また、広く市民から参加者を募集し、ウォーキングイベント等を開催し、多くの恵みをもたらす山と人の生活との深い関わりを再考する機会とする。
------	---

現状、背景、課題	S58～63年度に掛けて市内小学校の植樹体験事業を実施していたが、現在市民の山に対する認知度は低い。H29年8月に日南町森林組合と森林経営委託契約を締結し、森林経営計画に基づき、計画的に森林施業を実施することができるようになった。市民の山の植林を行ったエリアを3つに分割し、H29～R1年度の3年間で適正な保育管理のための間伐を実施した。
----------	---

事業計画・効果	<p>令和6年度より「行こう！市民の山ふれあい交流事業」を夏・秋の二回開催する。 小・中学生向けの夏開催と一般向けの秋開催を行うことでより多くの市民に市民の山や森林の大切さについて理解を得る。</p> <p>開催時期：8月頃（小・中学生対象） 10月頃（一般対象） 事業内容：市民の山の散策を通して、市民の山への理解を深めてもらう。 ※管理委託をしている日南町森林組合の職員から管理方法や、水源涵養林についての説明を受ける。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	306	1,933	1,627	1,933	森林環境基金繰入金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	1,933	1,933	
	一般財源	306	0	△ 306	

令和6年度歳出内訳	報 償 費	18
	同行看護師の謝金	
	需 用 費	68
	記念品、市マイクロバス燃料費	
委 託 料	1,847	
	作業道草刈業務委託料（年2回）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	栽培漁業推進事業負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(5)	鮮魚・加工品・産地境港のブランド化と情報発信の推進	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	美保湾地域における栽培漁業の推進に関する事項等を協議して栽培漁業の定着化を促進し、美保湾地域における漁業生産の安定向上を図る。
-------	---

事業概要	美保湾地域における栽培漁業の推進のため、鳥取・島根両県の漁業者、行政で構成する美保湾地域栽培漁業推進協議会において「ヒラメの放流」を実施。
------	---

現状、背景、課題	本格実施となった平成26年度は3万尾の放流を行い、全国的にも高い、10%を超える回収率を残した。この結果を受け、平成27年度からは放流尾数を6万尾に増やして実施し、現在に至る。
----------	--

事業計画・効果	<p>美保湾地域の沿岸漁業者等が取り組むヒラメ放流事業を支援する。 平成26年度から本格放流を開始し、3万尾を放流、平成27年度からは6万尾を放流している。</p> <p>事業主体 美保湾地域栽培漁業推進協議会 事業費内訳 ヒラメ種苗代、輸送費、放流経費（漁船賃借料）など 全体事業費 6,265千円（うち種苗代6,079千円） 負担割合 ①県補助(種苗代の3/4)：4,558千円 ②国補助(対象経費の1/2)：332千円 ③協議会負担額(全体事業費-(①+②))：1,375千円</p> <p>※③の負担額を漁獲金額に応じ、境港地区7/10、米子地区1/10、淀江地区2/10で負担 各地区の負担額は、各地区の漁協2/3、市町村1/3で負担。 (境港市負担額) 境港地区負担額954千円×1/3=318千円</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	265		318	53	318	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	265		318	53	
	一般財源	0		0	0	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 美保湾地域栽培漁業推進協議会負担金	318
-----------	---------------------------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	魚食普及推進事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン				2-(5)	鮮魚・加工品・産地境港のブランド化と情報発信の推進
				3-(3)	ふるさと境港への愛着を育む教育や活動の推進
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	魚食イベントによる魚食の普及と水産物消費拡大を図る。さかなの捌き方教室等を開催し、魚への理解を深め、調理する事を楽しむ市民を増やす。
-------	--

事業概要	各種イベントで、かに汁、いわしつみれ汁等のふるまいを実施。また市内幼稚園・保育園・認定こども園にてフィッシュキッチン事業、漁港見学などを実施しているほか、令和3年度より「境のさかな捌き方教室」を開催している。
------	--

現状、背景、課題	食生活、食文化の変化による魚食離れが進んでいるため、集客力のあるイベントを利用して魚食の普及を推進する。また、市内の未就学児を対象にフィッシュキッチンや漁港見学などを実施し、子どもへの魚食普及にも取り組んでいる。令和4年9月に高度衛生管理型市場内に新たに整備されたおさかなパークにも調理室が設置され、その施設の活用も行っている。
----------	--

事業計画・効果	<p>各種イベントでのふるまい実施や市内幼稚園・保育園・認定こども園を対象にしたフィッシュキッチン事業や市場見学、さかなの捌き方教室の開催など、未就学児から大人まで幅広い世代へ魚食普及事業を実施する。（今年度よりフィッシュキッチン事業と事業を統合）</p> <p>（主な事業内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イベント出展（ふるまい実施等）：水産まつり、カニ感謝祭など ・ フィッシュキッチン事業：市内幼稚園・保育園・認定こども園でさかなの調理を実施 ・ おさかな探検：市内幼稚園・保育園・認定こども園を対象に市場見学を実施 ・ さかなの捌き方教室：3回実施（同一参加者で3回を1講座として実施）
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		616	370	△ 246	173		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	24		境のさかな捌き方教室参加料		
	県支出金	288	173	△ 115					
	地方債	0	0	0					
	その他	328	197	△ 131					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	報 償 費		43
	報償金	境のさかな捌き方教室講師謝礼（4人×3回）	39
		フィッシュキッチン講師謝礼（1人×1回）	4
	需 用 費		327
	消耗品費	材料費（イベント出展、捌き方教室）	155
		フィッシュキッチン材料費	91
	燃料費	おさかな探検（市マイクロバス燃料費）	9
	賄材料費	境のさかな捌き方教室食材費	72

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	境港お魚ガイド活動支援事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(5)	鮮魚・加工品・産地境港のブランド化と情報発信の推進	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	境漁港見学ツアー、各種魚食普及活動、市場情報発信、水産業PRの担い手育成等の実施により、産地境港の知名度向上ならびに水産物の消費拡大を図る。
-------	--

事業概要	日本海側拠点港である境漁港とそこで水揚げされる豊富で新鮮な魚介類を地域・観光資源の一つととらえ、お魚ガイドによる境漁港見学ツアー及び各種魚食普及活動、水産業PRの担い手育成等を行う団体への支援。
------	---

現状、背景、課題	境漁港見学ツアー、担い手育成事業は平成21年度から、市場情報発信事業は平成22年度からふるさと雇用再生特別交付金を活用し事業開始。それぞれの事業を一本化し、平成24年度から「境港お魚ガイド活動支援事業」を実施している。
----------	---

事業計画・効果	お魚ガイドによる境漁港見学ツアー（早朝セリ見学）及び魚食普及活動、水産業PR等への支援を行う。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	5,621	5,623	2		2,812	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	2,810	2,811	1		
	地方債	0	0	0		
	その他	2,811	2,812	1		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金		5,623
	事業主体	(一社)境港水産振興協会	
	全体事業費	6,247千円	
	事業費内訳	人件費 2人、事務費、旅費	
	負担割合	県4.5/10、市4.5/10、事業主体1/10	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	水産加工品ブランド化事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(5)	鮮魚・加工品・産地境港のブランド化と情報発信の推進	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	「産地境港」を広く全国に情報発信している境港市産地協議会の活動を支援し、産地境港のブランド化を一層推進する。
-------	--

事業概要	平成24年度に設立された「境港市産地協議会」への補助金。「産地境港」を全国情報発信するため、首都圏・関西方面を中心としたイベントに参加し、境港の水産物、水産加工品のPR、ポスター・冊子の作成などを行う。
------	---

現状、背景、課題	平成24年度に「境港市産地協議会」を設立し、「産地境港」を全国へ情報発信してきた。平成27年度からは、鳥取県が産地境港のPR及び先進地視察調査の実施に対し、対象経費を補助し、県、市の負担で「産地境港」の情報発信を継続している。
----------	---

事業計画・効果	事業主体	境港市産地協議会		
	事業費内訳	旅費、需用費、役務費、使用料など		
	全体事業費	2,827千円		
	主な事業	産地境港のPR（関西、関東） 阪神競馬場境港物産展等に参加 水産加工ハンドブックなどの作成・配布 高速バス背面広告掲載 先進地視察 食育推進事業（漁師と園児の交流事業）		
	負担割合	①県補助(対象経費の1/3)	500千円	
		②県補助(対象経費の1/2：食育推進事業)	120千円	
		③販売収入等	80千円	
		市補助金(全体事業費-(①+②+③))	2,127千円	

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,127	2,127	0	0	2,127	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	2,127	2,127	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 境港市産地協議会補助金	2,127
-----------	---------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	漁業就業者確保対策事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	新規就業希望者に漁業技術や経営方法等を習得するための研修を行う漁協等に対して、研修に必要な経費を助成することにより、漁船員等の円滑な確保及び漁業への新規参入の促進を図る。
-------	---

事業概要	平成27年度までの漁業研修事業である「漁業就業チャレンジ体験トライアル」「漁業雇用促進対策事業」「漁業担い手育成研修事業」を一本化。この事業の中に、雇成型研修（1年以内）と独立型研修（3年以内）の2部門を設け、自由度の高いより実践的な研修計画に対応する。
------	---

現状、背景、課題	漁業の担い手は年々減少しており、大きな課題となっている。県全体の問題として、平成27年度までの鳥取県の研修事業として「漁業就業チャレンジ体験トライアル」「漁業雇用促進対策事業」「漁業担い手育成研修事業」がそれぞれ事業としてあったが、当事業に一本化された。市も事業費の一部を負担している。
----------	---

事業計画・効果	新規漁業就業者を確保するため、就業希望者の研修等に必要な経費を支援する。漁船員等として雇用される「雇成型」と漁業者として独立を目指す「独立型」がある。		
		雇成型	独立型
	対象人数	26人(うち新規15人)	予定なし
	事業主体	まき網、養殖、かにかご、沿岸	沿岸
	負担割合	研修手当 (県2/3、事業主体1/3) 通勤手当等(県10/10)	研修手当等(県10/10)
		保険料等 (市1/2、事業主体1/2)	保険料等 (県1/2、市1/3、事業主体1/6)

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	31,531	31,933	402	5,011	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	26,611	26,922	311		
	地方債	0	0	0		
	その他	4,920	5,011	91		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	31,933
	漁業就業者確保対策事業補助金	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	アワビ放流支援事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(5)	鮮魚・加工品・産地境港のブランド化と情報発信の推進	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	アワビ放流事業を実施する漁協に対し経費の一部(放流用種苗の購入費)を県とともに補助することで、将来の漁業者に豊かな漁場を残し、持続可能な漁業を推進する。
-------	--

事業概要	アワビ放流事業を実施する漁協に対し経費の一部(放流用種苗の購入費)を県とともに補助する。
------	--

現状、背景、課題	当初、県の栽培漁業ビジネスプラン推進事業でアワビの放流を実施していたが、目標の漁獲量1.3倍を達成し、事業が終了。漁業者からは漁獲量を維持するために同規模の放流事業は必要であり、引き続き経費の支援を求められていたため、令和2年度から県が新たな補助事業を創設し、事業を実施している。
----------	--

事業計画・効果	アワビ放流事業を実施する漁協に対し経費の一部(放流用種苗の購入費)を県とともに支援する。 実施主体 鳥取県漁業協同組合境港支所 事業内容 アワビの種苗3000個を購入し、美保湾に放流 事業費 193千円 補助率 県1/4、市1/6
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	70	81	11	33	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	41	48	7		
	地方債	0	0	0		
	その他	29	33	4		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 アワビ放流支援事業補助金	81
-----------	----------------------------	----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	豊かな海を守る漁場環境緊急回復事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			2-(5)	鮮魚・加工品・産地境港のブランド化と情報発信の推進	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	豊かな海を守るため、大量に発生したウニを駆除し、藻場環境の改善を図るとともに増加する海洋ゴミを回収し、漁場環境の改善を図る。
-------	--

事業概要	SDGsの達成目標の1つである「豊かな海を守る」ため、漁場環境に悪影響のある海洋ゴミの回収・処分やウニなどの駆除を行う漁業者に対し県と市が支援する。実施主体となる鳥取県漁業協同組合境港支所に対し、事業費を補助する。
------	---

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ウニが県内の沿岸に大量発生し藻場環境が悪化、漁業に影響が出ている。これまでもウニの駆除は毎年行われているが、継続した駆除が必要である。 海洋ゴミも近年増加し、漁業に支障をきたしており、回収などの対応が必要である。
----------	---

事業計画・効果	<p>豊かな海を守るため、漁場環境に悪影響のあるウニの駆除と海底清掃を行う鳥取県漁協に対し支援する。R4、5年度は委託事業として実施していたが、今年度は鳥取県漁協への補助事業として実施する。</p> <p>事業主体 鳥取県漁業協同組合境港支所 事業費内訳 用船料、資材費 全体事業費 2,305千円 海底清掃事業（4回分） 1,848千円 ウニ駆除事業（5回分） 457千円</p> <p>負担割合 海底清掃事業 県1/2、市1/2（県負担分は市から事業者へ間接補助） ウニ駆除事業 市1/2</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,077	2,077	1,000	1,153	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	924	924		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,077	1,153	76		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	<p>負担金補助及び交付金 2,077</p> <p>豊かな海を守る漁場環境緊急回復事業補助金</p>
-----------	---

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	船員入浴施設利用助成事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
				2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進
				2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）
SDGs	8	働きがいも経済成長も		14	海の豊かさを守ろう

事業の目的	船員の利便性の確保により港の魅力向上を図り、漁船等の寄港を促す。
-------	----------------------------------

事業概要	境港を利用する船員の利便性確保のため、市内入浴施設の利用を助成する。
------	------------------------------------

現状、背景、課題	船員の利便性の確保により港の魅力向上を図り、漁船等の寄港を促す目的等で平成9年に営業を開始したさかいポートサウナを、令和4年6月末で廃止したことに伴い、代わりとなる入浴施設の利用助成を実施する。
----------	---

事業計画・効果	<p>さかいポートサウナの廃止にあたり、境漁港の魅力維持と船員の利便性確保のため、市内入浴施設の入浴料を助成する。</p> <p>【対 象 者】 沖合漁業船員（船員手帳所持者） 【補助上限額】 1人あたり5,000円（500円×10枚綴） 【助成人数等】 250人×使用率見込40%</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	824		500	△ 324	500	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	824	500	△ 324		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 船員入浴施設利用助成	500
-----------	--------------------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	6	3	2	がんばる養殖支援事業費補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう
	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	市内の養殖事業者の新たな施設・機械設備の導入を支援することで、消費者ニーズに対応する水産物の安定供給及び競争力のある産地づくりの推進を図る。
-------	--

事業概要	市内の養殖事業者2社が事業の効率化等を図るために新たに導入する機械設備について、県とともに経費の2分の1を補助することで、消費者ニーズに対応する水産物の安定供給及び競争力のある産地づくりの推進を図る。
------	--

現状、背景、課題	鳥取県では、平成23年にギンザケ養殖の美保湾進出を契機に、陸上養殖業者の県内誘致に力を入れるなど、第8次鳥取県栽培漁業基本計画で養殖振興を本県栽培漁業の新たな柱の一つに位置づけ、養殖用種苗生産技術及び養殖技術の開発、現場での普及指導等に取り組んでいる。本市では平成23年に弓ヶ浜水産がギンザケ養殖で美保湾へ進出したほか、三光(株)が工場の排熱を利用した陸上養殖を行うなど、栽培漁業の振興が図られている。
----------	---

事業計画・効果	市内養殖事業者2社の機械設備の導入に対する支援を行う。 補助額は事業費の1/2（県1/3、市1/6）、県負担分は市から事業者へ間接補助。
	<p>①実施主体 弓ヶ浜水産(株) 事業内容 水中ステレオカメラを用いた魚体重測定装置の導入 事業費 4,000千円 補助額 2,000千円（県：1,333千円 市：667千円）</p> <p>②実施主体 三光(株) 事業内容 飼育水槽の海水冷却装置の導入 事業費 9,095千円 補助額 4,548千円（県：3,032千円 市：1,516千円）</p>

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		0		6,548	6,548		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		4,365	4,365		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	0		2,183	2,183		

令和6年度歳出入内訳	負担金補助及び交付金	6,548
	がんばる養殖支援事業費補助金	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	1	消費者行政推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	12	つくる責任つかう責任			

事業の目的	消費者問題の相談対応や啓発を行うことにより、消費生活者の不安解消を図る。
-------	--------------------------------------

事業概要	市民からの消費生活相談の相談対応及び啓発活動を目的として市役所内に設置している消費生活相談室の管理運営費。
------	---

現状、背景、課題	平成13年度に消費生活相談室を設置し相談員を1人配置。市民の身近な相談窓口として、多重債務・ヤミ金融・悪徳商法・インターネットトラブルをはじめ複雑化する消費者問題の相談に応じ、被害防止の啓発活動にも取り組んでいる。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の消費生活相談員が令和6年度末をもって退職予定。 ・令和6年度は2人体制とし、現相談員とともに相談業務に従事することで、現相談員から業務を引き継ぐ。 ・啓発活動実施計画 <ul style="list-style-type: none"> 高齢者・社会人向けの講演会 2回 学生・教職員向けの消費者教育 3回
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		3,636	6,913	3,277			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	160	180	20			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	3,476	6,733	3,257			

令和6年度歳出内訳	人件費	6,101
	（会計年度任用職員（消費生活相談員）1人）	3,282
	（会計年度任用職員（消費生活相談員（引継ぎ）1人）	2,819
	旅費	344
	研修旅費	
	需用費	204
	消耗品費	46
	印刷製本費	158
	委託料	264
	法律相談委託料	
委託先	太田法律事務所	
業務概要	消費生活に係る法律相談	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	企業自立支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	各種制度資金の運用を円滑にすることにより、資金面から中小企業を支援し、経営の安定化を図る。
-------	---

事業概要	中小企業が新たに借入をする融資及び既に借入れている融資の残高に応じて金融機関に対して、融資原資の一部を預託する。
------	--

現状、背景、課題	新型コロナ禍前と比べ、新型コロナウイルス感染症対応資金（国コロナ）や鳥取県地域経済変動対策資金（県コロナ）ができたことにより、預託金額は大きく膨らんでいる。
----------	--

事業計画・効果	制度融資名	預託額	協調割合	融資条件		
				限度額	利率	期間
	労働金庫預託金	30,000	—	—	—	—
	経営安定支援借換資金	20,499	1/8.4～1/5.7	200,000	年1.43～1.66%	10年以内
	小規模事業者融資	31,094	1/5.6～1/3.8	30,000	年1.43～1.66%	7年、10年以内
	経営活力強化資金	3,197	—	—	—	—
	災害等緊急対策資金	2,593	1/4.4～1/3.4	280,000	年1.43%	10年、15年以内
	経営再生円滑化借換特別資金	138,121	1/4.4～1/3.8	280,000	年1.43～1.60%	10年、15年以内
	新規需要開拓設備資金	134,667	1/5.6～1/3.8	保証枠	年1.43～1.87%	10年、20年以内
	経営体質強化資金	28,137	1/4.4～1/3.8	80,000	年1.43%	10年以内
	創業支援資金	44,556	1/5.6～1/3.8	100,000	年1.43～1.66%	10年以内
	新事業展開資金	1,995	1/4.4～1/3.8	100,000	年1.43%	10年以内
	事業承継支援資金	7,088	1/4.4～1/3.8	280,000	年1.43%	10年以内
	地域経済変動対策資金	2,004	1/4.4～1/3.8	別に定める額	年1.43%	10年以内
	地域経済変動対策資金（価格高騰・円安分）	362,620	1/4.4～1/3.8	280,000	年1.43%	10年以内
	地域経済変動対策資金（コロナ分）	1,390,989	1/4.4～1/3.8	300,000	5年間0又は0.7% 以降年1.43%	10年以内
	計	2,197,560	-	-	-	-

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称	
事業費		2,278,016	2,197,560	△ 80,456	2,197,560	元 金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	2,278,014	2,197,560	△ 80,454			
一般財源		2	0	△ 2			

令和6年度歳出内訳	各種制度融資預託金	2,197,560
	うち新型コロナ対策向け資金に対する預託金	1,390,989
	うち価格高騰・円安対策向け資金に対する預託金	362,620

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	企業立地促進関連補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(8)	企業誘致や創業支援の推進	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的 市内への企業誘致・企業立地に取り組み、雇用の拡大及び地域経済の活性化を図る。

事業概要 市内で企業立地する事業者に対し、市内在住者の雇用を要件として各種補助金を交付する。

現状、背景、課題 境港市企業立地の促進と雇用の拡大に関する条例・企業立地促進補助金交付要綱・工場立地促進補助金交付要綱・夕日ヶ丘地区小売業立地促進補助金交付要綱に基づき、補助金の交付または固定資産税の課税免除を行っている。

事業計画・効果

- ◇交付する補助金
 - ・企業立地促進補助金
竹内工業団地で新增設した企業に対し、立地後初年度の固定資産税相当額を3か年に分割して補助（1年目：40%、2・3年目：各30%）
 - ・雇用促進奨励金
企業立地の促進及び雇用の拡大の条例に基づく認定を受け、令和5年度に操業開始した企業に対し、新增設時の投資額と新規常時雇用者数（純増数）に応じて交付
- ◇当該補助金にかかる市内在住者の新規雇用人数
（株）澤井珈琲：4人、旭食品（株）：1人、（株）オーク：7人
（株）グリーンクロス：2人予定、NX海陸運送（株）：4人予定

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	7,203	10,077	2,874	10,077	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	7,203	10,077	2,874		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	10,077
	企業立地促進補助金	
	交付先：（株）澤井珈琲	237
	交付期間：令和4年度～令和6年度（3年目）	
	交付先：旭食品（株）	876
	交付期間：令和5年度～令和7年度（2年目）	
	交付先：（株）グリーンクロス	1,012
	交付期間：令和6年度～令和8年度（1年目）	
	交付先：NX境港海陸（株）	952
	交付期間：令和6年度～令和8年度（1年目）	
雇用促進奨励金		
交付先：（株）オーク（7人）	7,000	

所 属	款 項 目	事業名	種 別
水産商工課	7 1 2	中海圏域就業支援連携事業負担金	見直し
境港市まちづくり総合プラン		2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）
SDGs	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	

事業の目的	新卒大学生や移住希望者等に中海圏域の地元企業の魅力を紹介し、I J Uターン就職を後押しすることを目的とする。
-------	---

事業概要	中海圏域での就業支援のために協議会構成市(松江市、米子市、安来市、境港市)が連携し、圏域連携の学生向け就業関連イベントの開催、及び圏域内企業への就業を促進するための圏域版オープンカンパニーの実施等の事業を行う。
------	---

現状、背景、課題	松江市が平成22年2月に「まつえ就職ナビ」を設立。平成26年度から境港市・米子市・安来市が参加し、新卒大学生の中海圏域における就職を促進している。平成30年度にWEBサイトを企業紹介・情報発信に特化しリニューアル。令和6年度より、主な事業については、WEBサイトの運営から、圏域連携の学生向け就業関連イベントの開催、及び圏域版オープンカンパニーの開催へ見直し。
----------	--

事業計画・効果	<p>新型コロナ禍でWEBサイトの掲載企業数が低調であったこと等から、令和5年度に構成市で協議し、令和6年度より事業の見直しを行うこととなった。</p> <p>◇見直し内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBサイト（エスクト）の新規企業掲載の中止 地元企業が動画などを掲載して企業の魅力をPRするWEBサイトの新規掲載中止。 ・圏域版オープンカンパニーの開催 高校生、大学生、一般求職者を対象とする圏域内企業のオープンカンパニーを開催し、圏域内企業への就業を促進する。 ・圏域連携の学生向け就業関連イベントの開催 圏域内就職につながるイベントを開催する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,269	1,269	0	0	1,269	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,269	1,269	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	1,269
	中海圏域就業支援連携事業推進協議会負担金	
	全体事業費	7,614,000円
	負担割合	松江市1/3、米子市1/3、安来市1/6、境港市1/6

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	創業支援補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(8)	企業誘致や創業支援の推進	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	市内の新規出店を促進し、市内定住と地域経済の活性化に資することを目的とする。
-------	--

事業概要	創業時の設備投資、備品購入費用等を補助することで創業のスタートアップを支援する。(補助率1/2・上限30万円、ただしIターン者は上限50万円)
------	---

現状、背景、課題	国の方針として、開業率を欧米並みの10%程度まで引き上げることが目標とされている。境港市総合戦略に盛り込まれた創業支援による雇用創出に資するもの。
----------	---

事業計画・効果	<p>◇対象経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業拠点費 (備品購入費、事務所改修費など) ・宣伝広告費 (チラシデザイン、HP制作費など) ・設立登記費 (会社の設立登記に要する経費) <p>◇交付実績</p> <p>令和3年度：7件・1,691,075円 令和4年度：10件・2,792,039円 令和5年度：12件・3,451,301円 (令和6年1月末時点)</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		3,400	3,400	0	3,400	0	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0			
	県支出金	0	0	0	0	0			
	地方債	0	0	0	0	0			
	その他	3,400	3,400	0	0	0			
	一般財源	0	0	0	0	0			

令和6年度歳出内訳	<p>負担金補助及び交付金 3,400</p> <p>対 象 者：市内で新たに創業する市内在住者</p> <p>補 助 率：1/2 (上限30万円 (Iターンの場合は50万円))</p> <p>見込件数：10件 (うちIターン2件)</p>
-----------	--

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	新型コロナウイルス感染症の影響による著しい需要の減少により深刻な影響を受けた事業者の利子負担を支援して、深刻な影響を受けた事業者の経営の維持、安定を図ることを目的とする。
-------	---

事業概要	新型コロナウイルス感染症の影響による著しい需要の減少により深刻な影響を受けた事業者の利子負担を軽減するため、借入から5年間の利子相当額を助成する。
------	---

現状、背景、課題	新型コロナウイルス感染症は、本市においても飲食業、観光業、水産加工業に大きな影響をもたらしている。
----------	---

事業計画・効果	<p>交付件数</p> <p>令和2年度：81社・125件</p> <p>令和3年度：110社・149件</p> <p>令和4年度：151社・214件</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		52,334	58,302	5,968	7,915			新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	26,167	29,151	2,984					
	地方債	0	0	0					
	その他	16,826	7,915	△ 8,911					
	一般財源	9,341	21,236	11,895					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	58,302
	補助額：利子相当額（年0.7%）	
	交付期間：借入から最大5年間	
	負担割合：県1/2、市1/2	
	※6千万円以下(R2.5.1~6.14分は3千万円以下、R2.6.15~R3.1.31分は4千万円以下)の融資（国費対象型資金）については、国が3年間全額を負担。 国費対象型資金の4・5年分や、国費対象型資金の超過分（県補完型資金）について、県と市で各1/2を負担。	
・国費対象型資金分	22,105	
・県補完型資金分	36,197	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	境港市オープンカンパニー事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	<p>若年時から市内企業及びその業務内容を知ること、認知度が高まるだけでなく、ミスマッチの軽減を図り、定着率向上に寄与することを目的とする。</p> <p>①事業所より直接、職務内容を学習できる場の提供（職業認知）②業務内容を学習することにより個々の適職を判断する経験値の場の提供（マッチング認知）③受入事業所の職場にて実務に近い職務内容を経験する場の提供（企業認知）</p>
-------	--

事業概要	<p>地域の求人企業が中核的人材として期待する若年層の地元就職を促進し、職場を含めた地域への定着を図るため、市内県立高校、県立ハローワークと連携し、高校生が市内企業の現場を見学することにより、今後始まる就職活動への意識向上、市内企業の認知度を高める。</p>
------	---

現状、背景、課題	<p>近年、自宅通勤圏内に就職する生徒が7割程度で推移しており地元志向が強まっている。一方で、3年以内離職率は3割程度あり、雇用のミスマッチといった問題も起きている。</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>・実績</p> <p>令和4年度 計9人 参加者 境高校の2年生9人 訪問先 日ノ丸自動車(株) 航空部、大海(株)、三光(株)</p> <p>令和5年度 計12人 ①参加者 境港総合技術高校の1年生3人、2年生2人 訪問先 マルコフーズ(株)、(株)日新 ②参加者 境高校の2年生7人 訪問先 日ノ丸自動車(株) 航空部、(株)オーク、(同)境港エネルギーパワー</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	220	124		△ 96	124	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	220	124		△ 96	
	一般財源	0	0		0	

令和6年度歳出内訳	対象者：市内高校に通学し、就職を希望する生徒1・2年生 見込人数：50人	
	需用費	30
	役務費	14
	使用料及び賃借料（バス借上料）	80

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	事業承継支援補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的
後継者不在といった問題を抱える市内中小企業者等の第三者への円滑な事業承継への取り組みに要する経費の一部を支援することで、地域経済の発展及び雇用の維持・拡大を図る。

事業概要
市内中小企業事業者等が、後継者不在により第三者への承継先を探すため、専門機関（金融機関、M&A仲介事業者等）からの支援を受けるために要する経費の一部を支援する。

現状、背景、課題
2020年に帝国データバンクが行った「後継者不在率動向調査」において、鳥取県は後継者不在率全国第2位となっており、事業承継は喫緊の課題となっている。本市では境港商工会議所と連携し、令和3年度から事業承継セミナーや専門相談員による個別相談会を開催している。

事業計画・効果
・交付実績
令和3年度：0件（令和3年9月補正にて事業化）
令和4年度：0件
令和5年度：1件・25万円（令和6年1月末時点）
・金融機関を通して、令和5年度に初の申請があった。申請見込みについても別途1件。
・金融機関及び商工会議所で毎月事業承継の相談業務にあたっている事業承継・引継ぎ支援センターの相談員と協議したところ、当該センター等、事業承継にかかる相談窓口が浸透し相談が増加する傾向であり、当補助金の引き合いも増えるだろうとの意見をいただいている。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		500	1,000	500	1,000		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	500	1,000	500					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳
負担金補助及び交付金 1,000
対象経費：専門事業者に支払う着手金等の初期費用
補助率：1/2（上限50万円）
見込件数：2件

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	国内商談会等参加支援補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(8)	企業誘致や創業支援の推進	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、経済活動が活発となって商談会等の開催も再開される流れを受け、国内商談会等に参加する費用の一部を助成することで、販路開拓を支援する。
-------	---

事業概要	国内で開催される商談会等（商談会・展示会・見本市等で、物品販売を伴わないもの）に参加する際に必要となる費用への助成（1回につき上限5万円、年間2回まで）を行う。
------	--

現状、背景、課題	海外の商談会等への出展については、中海・宍道湖・大山圏域市長会の助成があるものの、国内の商談会に関する支援制度はない状況である。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交付件数 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 9社・15件 令和5年度 10社・12件（令和6年1月末時点） ・ 商談成立件数・金額 <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度 29件・9,658千円 令和5年度 5件・638千円（令和6年1月末時点）
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
財源内訳	事業費	750	750	750	0	750	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
	国庫支出金	0	0	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	750	750	750	0		
	一般財源	0	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	<p>負担金補助及び交付金</p> <p>対象経費：国内商談会等に係る出展料・展示装飾費・運搬費</p> <p>※オンライン商談会の出展料も対象</p> <p>補助率：10/10（上限5万円）</p> <p>※1社につき、1年度あたり2回、通算6回まで</p> <p>見込件数：15件</p>
-----------	--

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	令和4年度燃油及び原材料価格高騰・円安対策特別金融支援事業利子補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	コロナ禍に加え、燃油や原材料価格の高騰等により経営が圧迫されている中小企業者の資金繰りを支援する。
-------	---

事業概要	燃油や原材料価格の高騰等の影響を受けた中小企業者向け融資制度である「地域経済変動対策資金（令和4年度燃油及び原材料価格高騰・円安）」を借り入れた事業者の利子負担を軽減するため、借入から3年間、利子相当額を助成する。
------	---

現状、背景、課題	コロナ禍に加え、燃油価格の高騰や円安の影響などによる原材料価格の高騰を受けて、令和4年4月25日に地域経済変動対策資金に指定されたもの。
----------	--

事業計画・効果	当資金を借り入れた事業者の利子負担を軽減するため、借入れから最大3年間、利子相当額を県と折半し助成するもの。 ・補助実績 「令和4年度燃油及び原材料価格高騰・円安」 41社・45件
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	15,387	11,448		△ 3,939		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	7,693	5,724		△ 1,969	
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	7,694	5,724		△ 1,970	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 補 助 額：利子相当額（年1.43%） 交付期間：借入から最大3年間 負担割合：県1/2、市1/2
-----------	---

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	令和5年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業利子補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	エネルギーや原材料価格の高騰により経営が圧迫されている中小企業者の利子負担を軽減する。
-------	---

事業概要	エネルギーや原材料価格の高騰の影響を受けた中小企業者向け融資制度である「地域経済変動対策資金（令和5年度エネルギー・原材料価格の高騰）」を借り入れた事業者の利子負担を軽減するため、借入から3年間、利子相当額を助成する。
------	---

現状、背景、課題	燃油をはじめとしたエネルギーや原材料価格の高騰が続いていたことから、令和5年4月3日に地域経済変動対策資金の経済変動事象に「令和5年度エネルギー・原材料価格の高騰」を指定。
----------	--

事業計画・効果	<p>令和5年6月補正予算計上。 当資金を借り入れた事業者の利子負担を軽減するため、借入れから最大3年間、利子相当額を県と折半し助成するもの。</p> <p>・補助実績 「令和5年度エネルギー・原材料価格の高騰」 26社・27件 (R5.12月末融資実行時点)</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	9,680	9,680		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	4,840	4,840	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	4,840	4,840	

令和6年度歳出内訳	<p>負担金補助及び交付金</p> <p>補助額：利子相当額（年1.43%）</p> <p>交付期間：借入から最大3年間</p> <p>負担割合：県1/2、市1/2</p>
-----------	--

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	海外との産業経済連携支援事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	「中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書」に基づき、産業・経済分野における交流を促進するため、圏域市長会事業だけでなく、本市の特性に沿った事業を実施することで、市内経済の活性化を図る。
-------	---

事業概要	市内企業と海外との産業経済連携を促進するため、本市の特性に沿った支援事業を実施する。
------	--

現状、背景、課題	令和4年10月20日に「中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書」を締結。圏域市長会の「海外商談会参加等支援事業」「台湾との経済交流事業」を活用し、市内企業が台湾との見本市や商談会に参加しているものの、試食のための水産加工品等は冷蔵・冷凍が必要なものが多く、現地で提供するのが難しいため、成約に至りにくいという現状がある。
----------	---

事業計画・効果	R4. 10. 20に締結した中海・宍道湖・大山圏域市長会と台北市間の交流促進覚書に基づき、台北市との産業・経済分野における連携を強化するため、台湾から日本商品を取り扱うバイヤーを招請し、市内水産加工会社との商談会や工場見学を行うほか、懇親会を行い、事業者とバイヤーの交流促進を図る。 実施時期：令和6年9月頃 期 間：3泊4日 対 象：台湾バイヤー5人、市内水産加工事業者5～10社 会 場：おさかなパークほか
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	1,298	1,298			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	1,298	1,298		

令和6年度歳出内訳	報 償 金	150
	商談会通訳（5人）	
	旅 費	592
	台湾バイヤー航空運賃（台北～岡山）・宿泊費（3泊×5人）	
	需 用 費	197
	燃料費（岡山～境港）	22
	食糧費	175
	委 託 費	350
台湾バイヤー紹介業務		
使用料及び賃借料	9	
有料道路通行料（米子～岡山）		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	7	1	2	令和6年度エネルギー・原材料価格高騰対策特別金融支援事業利子補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			2-(9)	地元企業の振興（販路拡大・事業承継の支援など）	
SDGs	8	働きがいも経済成長も		9	産業と技術革新の基盤をつくろう

事業の目的	エネルギーや原材料価格の高騰により経営が圧迫されている中小企業者の利子負担を軽減する。
-------	---

事業概要	エネルギーや原材料価格の高騰の影響を受けた中小企業者向け融資制度である「地域経済変動対策資金（令和6年度エネルギー・原材料価格の高騰）」を借り入れた事業者の利子負担を軽減するため、借入から3年間、利子相当額を助成する。
------	---

現状、背景、課題	燃油をはじめとしたエネルギーや原材料価格の高騰が依然として続いているため、令和6年度についても令和5年度と同様に、地域経済変動対策資金の経済変動事象に「令和6年度エネルギー・原材料価格の高騰」を指定する予定。
----------	--

事業計画・効果	当資金を借り入れた事業者の利子負担を軽減するため、借入れから最大3年間、利子相当額を県と折半し助成するもの。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	4,290	4,290		
財源内訳	国庫支出金	0	0		
	県支出金	0	2,145	2,145	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	2,145	2,145	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 補助額：利子相当額（年1.43%） 交付期間：借入から最大3年間 負担割合：県1/2、市1/2
-----------	---

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	とっとりコンベンションビューロー運営費負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	コンベンションの誘致促進により県内の産業・観光振興、交流人口の拡大を図る。
-------	---------------------------------------

事業概要	とっとりコンベンションビューローの誘致事業費(誘致事業、調査企画事業、広報宣伝事業など)の1/2を鳥取県が負担し、残り1/2を県内4市で負担する。
------	---

現状、背景、課題	とっとりコンベンションビューローは、鳥取県内での会議等の開催誘致を目的として平成7年度に設立された。 【令和4年度誘致実績】コンベンション開催件数：116件 参加人数：33,089人
----------	--

事業計画・効果	鳥取県内での全国規模の会議や大会の開催や合宿等の誘致に取り組むとっとりコンベンションビューローに対する運営費の負担金及び誘致団体へのインセンティブ助成に係る地元負担金
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称		
事業費		1,382	1,482	100	1,482	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	1,382	1,482	100				
	一般財源	0	0	0				

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	
	コンベンションビューロー運営費負担金	1,332
	コンベンション開催実績及び出捐割合により算出 鳥取県 25,511、米子市 12,957、鳥取市 7,940、 倉吉市 3,282、境港市 1,332	
	コンベンション開催助成金負担金	150
	境港市で開催される大会等の地元負担金（コンベンション1件、合宿1件） 負担割合：県1/2、市1/2	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	(一社) 境港観光協会補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	(一社) 境港観光協会の事業を通じ、本市観光の情報発信、観光客の受入事業の充実等観光振興を図る。
-------	--

事業概要	(一社) 境港観光協会の人件費(8割)、企画・宣伝事業費(5割)、案内所運営費(10割)を補助。
------	--

現状、背景、課題	人件費及び公益的事業については一定の割合で補助を行い、収益事業については観光協会の自助努力により、観光協会のインセンティブを高め、自主的な事業展開を促進することで質の高いサービスの向上をめざす。令和3年度に法人化し、更なる収益性の向上及びサービスの向上をめざす。
----------	---

事業計画・効果	観光に関する情報発信、観光客の受入事業の充実など観光振興を図る(一社) 境港観光協会の運営に対する補助 YoutubeやXなどの公式SNSでは計1.6万人のフォロワーを有し、新たな情報発信に取り組んでいる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称
事業費	31,753	32,255	502	32,255	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	31,753	32,255	502		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金				
	観光協会事務局費			24,592	
		事業費	補助率	補助額	
		企画事業	250	50%	125
		宣伝事業	3,126	50%	1,563
		事務費	3,004	50%	1,502
		人件費(職員8人)	29,960	80%	21,402
		計	36,340		24,592
	※人件費は収益事業活動を除く公益事業分(26,752千円)の80%				
		観光案内所運営費(補助率100%)			7,663
	人件費(職員3人)			6,939	
	事務費(通信費・消耗品費等)			724	

令和6年度 境港市観光協会事務局・観光案内所 収支予算計画

収入の部							単位：千円
項目	6年度 予算	5年度 予算	比較 増減	収入内訳			
				補助金	事業収入	補助率	
事業収入	30,000	30,000	0	0	30,000	0	
会費収入	3,000	3,000	0	0	3,000	0	
境港市観光ガイドブック広告収入	2,000	2,000	0	0	2,000	0	
収益事業収入	25,000	25,000	0	0	25,000	0	
境港市補助金	32,255	31,753	502	32,255	0	0	
境港市補助金（事務局）	24,592	24,082	510	24,592	0	0	
境港市補助金（案内所運営）	7,663	7,671	△8	7,663	0	0	
収入の部 合計	62,255	61,753	502	32,255	30,000		
支出の部							
項目	6年度 予算	5年度 予算	比較 増減	財源内訳			
				補助金	自主	補助率	
事務局事業費	54,592	54,082	510	24,592	30,000	45%	
収益事業費	18,252	17,167	1,085	0	18,252	0%	
企画事業費	250	1,630	△1,380	125	125	50%	
共催イベント費	(20)	(20)	0	(10)	(10)	50%	
WEB活用イベント費	(0)	(330)	△330	(0)	(0)	50%	
妖怪川柳コンテスト	(130)	(100)	30	(65)	(65)	50%	
特別講演会イベント	(0)	(500)	△500	(0)	(0)	50%	
ARアプリ広報等	(100)	(430)	△330	(50)	(50)	50%	
水木しげるロード30周年イベント	(0)	(250)	△250	(0)	(0)	50%	
宣伝事業費	3,126	2,659	467	1,563	1,563	50%	
広告宣伝（新聞雑誌テレビ等）費	(220)	(220)	0	(110)	(110)	50%	
宣伝ツール（境港市観光ガイドマップ）作成費	(0)	(500)	△500	(0)	(0)	50%	
案内ツール（観光案内図）作成	(942)	(345)	597	(471)	(471)	50%	
ホームページ管理費	(935)	(935)	0	(468)	(467)	50%	
観光PR動画製作費	(358)	(261)	97	(179)	(179)	50%	
V案内所サポート年会費等	(33)	(33)	0	(16)	(17)	50%	
物産観光キャラバン費	(390)	(165)	225	(195)	(195)	50%	
誘客促進キャラバン費	(248)	(200)	48	(124)	(124)	50%	
負担金（観光団体参画負担金）	342	342	0	171	171	50%	
事務費（電話・コピー等）	2,458	2,287	171	1,229	1,229	50%	
会議費（総会・役員会）	204	204	0	102	102	50%	
人件費（役員1名・職員7名）補助対象26,752千円	29,960	29,793	167	21,402	8,558	80%	
観光案内所運営事業費	7,663	7,671	△8	7,663	0	100%	
観光案内所運営事業費	(724)	(724)	0	(724)	(0)	100%	
人件費（4名）	(6,939)	(6,947)	△8	(6,939)	(0)	100%	
支出の部合計	62,255	61,753	502	32,255	30,000		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会開催補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	地域活性化イベントである「ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会」の開催を支援することで、本市のPR及び観光の活性化を図る。
-------	---

事業概要	境港青年会議所が観光振興及び地域活性化イベントとして開催する「ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会」の会場設営及び広告宣伝に係る経費に対する補助。
------	---

現状、背景、課題	令和6年度で第23回を迎えるこのイベント（令和2年度～令和4年度は中止）は、境港青年会議所のまちづくり事業のひとつ。ゲタ飛ばしという単純明快な競技であり、老若男女を問わず、多数の参加があるほか、運営に多くの市民がボランティアスタッフとして参加している。マスコミ等を通じて境港市の情報発信・PRに寄与している。
----------	--

事業計画・効果	日本下駄とばし協会の公式ルールに沿って、下駄を飛ばし、その距離を競うもの。子供から大人まで誰でも気軽に参加でき、これまで22回開催している。 開催時期 R6.7月（みなと祭内で検討中）
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	85	85	0	0	43	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	42	42	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	43	43	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 交 付 先 : (一社) 境港青年会議所
-----------	------------------------------------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	みなと祭実行委員会補助金	見直し
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	観光振興や地域の文化継承に加え、各種団体や民間企業等の参加により、住民参画の気運を高める。
-------	---

事業概要	「みなと祭」及び前夜祭の開催支援補助金。
------	----------------------

現状、背景、課題	令和6年度で第79回目。当日は大漁祈願祭を皮切りに、踊りパレード、お祭広場の各種イベントなどに加え花火大会を開催。前日は前夜祭を開催。※新型コロナウイルスの影響により、令和2、3年度は、みなと祭は大漁祈願祭のみ実施。令和4年度はみなと祭のみ規模を縮小し、夢みなと公園ステージを主会場に、令和5年度は水木しげるロード周辺、大正町大型バス駐車場を主会場に開催。これまで前夜祭として18回開催してきた妖怪ジャズフェスティバル開催継続が課題となっている。
----------	---

事業計画・効果	これまで前夜祭として実施してきた「妖怪ジャズフェスティバル」を一旦終了し、代わりに音楽活動をされている市民団体、グループ等が演奏を披露する「市民音楽祭」を開催する。「市民音楽祭」は令和5年秋に開催実績があり、みなと祭の前日に野外開催することにより、みなと祭への市民参加や関わりを促進する。前日に開催する「市民音楽祭」とみなと祭の本祭で同じステージを使用することで、経費の削減を図る。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		3,100	4,200	1,100	2,100	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	1,550	2,100	550			
	地方債	0	0	0			
	その他	1,550	2,100	550			
	一般財源	0	0	0			

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金		
	みなと祭	交付先：みなと祭実行委員会	3,100
	前夜祭	交付先：みなと祭前夜祭企画実施本部	1,100

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	境港妖怪検定補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	「境港妖怪検定」を通じて、本市の観光イメージと地元住民のホスピタリティを向上させ、本市の文化・観光の活性化を図る。
-------	---

事業概要	境港市出身である水木しげる氏の妖怪に関する考察をもとに、境港商工会議所がご当地検定として開催する「境港妖怪検定」に対する補助。
------	---

現状、背景、課題	平成18年からご当地検定として開催され、毎回、県内外から多くの受験者が集う。平成19年度以降、初級に加えて中級検定を実施。平成22年度以降は、最難関となる上級検定を実施。令和5年度受験者数：379人
----------	---

事業計画・効果	県外から宿泊を伴う受験者が見込めるほか、「妖怪の聖地」として全国的に認知され、新たな観光客を呼び込む効果が期待できる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	360	360	0	0	180	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	180	180	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	180	180	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 交 付 先 : 境港商工会議所
-----------	---

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	情報発信連携強化事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興
				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	「さかなと鬼太郎のまち 境港市」を全国に向け発信し、観光地としての定着、磨き上げを図ることを目的とする。
-------	--

事業概要	県外の鳥取県人会や、妖怪や水木先生などでつながっている各団体と連携し、本市の誘客につなげるための情報発信の強化を図る。
------	---

現状、背景、課題	平成23年度に策定した「境港市観光振興プラン」（H30年度改訂）重点施策として位置づけられている。令和7年春には、大阪万博も開催されるため、水木しげる記念館再整備を契機とし、鳥取県や中海・宍道湖・大山圏域観光局などの関係機関と誘客対策を進めている。
----------	--

事業計画・効果	4月：水木しげる記念館オープニングセレモニー 7～8月：水木しげるロード土曜夜市（4回） 8月：鳴門市阿波踊り納涼花火大会（徳島県鳴門市） 11月：ゲゲゲ忌（東京都調布市） 12月：ゲゲゲのクリスマス JRA阪神競馬場境港特別競走（兵庫県宝塚市） 1月：都道府県駅伝大会（広島県）
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		6,566	5,554	△ 1,012	4,433		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	1,158	1,121	△ 37					
	地方債	0	0	0					
	その他	5,408	4,433	△ 975					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	旅 費	734
	需 用 費	496
	消耗品費	14
	印刷製本費	343
	賄材料費（カニ汁材料費）	139
	役 務 費	2,000
	委 託 料	2,244
	水木しげる記念館オープニングセレモニー設営委託ほか 使用料及び賃借料	80

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	着ぐるみによるおもてなし向上事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	着ぐるみを活用するためにスタッフを確保し、観光客の満足度を向上する。着ぐるみをメンテナンスしキャラクターのイメージを維持する。
-------	---

事業概要	水木しげる作品のキャラクター着ぐるみによるおもてなしで、全国への情報発信強化と、観光客の満足度向上を図る。
------	---

現状、背景、課題	着ぐるみによるおもてなしが観光客に対して大変満足度が高い。市の会計年度任用職員6人の着ぐるみ隊員で運営している。現状の体制を維持し、効果的におもてなしを行い、年間を通じて安定したサービスを提供していく。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・着ぐるみ（11種）によるおもてなし 実施時期：毎日 実施場所：「水木しげる記念館」及び「水木しげるロード」 ・「妖怪お休み処 砂かけ屋」の維持管理
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		11,490		16,419	4,929	16,419	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	11,490		16,419	4,929		
	一般財源	0		0	0		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員6人分）	14,769
	需用費	1,129
	役務費	167
	委託料	192
	使用料及び賃借料	144
	負担金補助及び交付金	18
	松ヶ枝町アーケード維持管理費（砂かけ屋分）	
	交付先：松ヶ枝町2区アーケード会	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	水木しげるロード維持管理事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	水木しげるロードを訪れる観光客をもてなすために、ブロンズ像や公衆トイレなどの施設を適切に維持管理し、観光振興に寄与する。
-------	--

事業概要	水木しげるロードのブロンズ像やモニュメントなどの施設の点検・維持修繕等や、ロード沿線の公衆トイレの清掃・環境美化等の維持管理を行う。
------	--

現状、背景、課題	県内有数の観光地である水木しげるロードには、今後も多くの観光客が見込まれ、訪れる方々に満足いくおもてなしをするために、ブロンズ像の定期的な点検やロードの維持管理、公衆トイレの清掃等を行い、環境美化に努める。また、季節に応じた限定影絵の投影や演出照明により、夜の賑わい創出を図っている。
----------	--

事業計画・効果	水木しげるロードやロード周辺のトイレ清掃を業務委託し、年間を通して環境美化に努めているほか、季節に応じた限定影絵の投影や演出照明により、夜の賑わい創出を図っている。 (清掃) 通年 (ロード) (福) まつぼっくり (トイレ) (福) まつぼっくり、個人 (妖怪影絵) 5パターン ・春休み、夏休み、秋、クリスマス、正月
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		17,451		18,338	887	18,230	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	128		108	△ 20		
	地方債	0		0	0		
	その他	17,323		18,230	907		
一般財源		0		0	0		

令和6年度歳出内訳	需用費	2,210
	役務費	341
	委託料	13,978
	夜間演出照明保守点検委託料	2,200
	妖怪影絵取替委託料	216
	施設清掃委託料	11,562
	使用料及び賃借料	883
	土地借上料	352
	下水道使用料	531
工事請負費	926	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	水木しげる生誕祭開催事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	水木しげる先生の顕彰と誘客、観光PRを目的とする。
-------	---------------------------

事業概要	平成27年11月に亡くなられた水木しげる先生の功績をたたえ、感謝の気持ちを表すイベントを、誕生日である3月8日前後に毎年開催している。
------	---

現状、背景、課題	令和4年3月8日に水木しげる氏の生誕100年を迎えた。また、令和7年11月30日で没後10年となる。
----------	--

事業計画・効果	水木しげる先生の生誕のお祝いと先生への感謝の気持ちを表すため、県が毎年3月に開催している「水木しげる生誕祭」にあわせて、市では前日に「水木しげる先生生誕祭プレイベント」を開催。全国から訪れる水木ファンや観光客、市民と一緒に先生の生誕をお祝いする毎年3月の恒例イベントとして定着している。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	503	528	25	528	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	503	528	25		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	旅 費	76
	委 託 料	452
	生誕祭開催委託料	268
	交通整理警備員委託料	184

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	クルーズ客船おもてなし事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり
				2-(3)	東アジアのゲートウェイ「境港・米子鬼太郎空港」の利用促進
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	環日本海の交流拠点として境港（さかいこう）の利用促進、クルーズ客船の誘致を図り、地域経済の発展に資する。
-------	--

事業概要	境港（さかいこう）へのクルーズ客船の寄港増加を図るため、関係機関との情報交換やクルーズ客船誘致のためのポートセールス等を実施する。また、入港時の二次交通として有料シャトルバスの運行に係る赤字額の補助を行い、民間事業者による運行を支援する。
------	---

現状、背景、課題	境港（さかいこう）は、アジアにおけるクルーズ観光の需要の増大や、境港管理組合の積極的な誘致活動により、クルーズ客船の寄港地として定着しつつある。
----------	--

事業計画・効果	境港（さかいこう）へのクルーズ客船誘致のために必要となる情報交換や船会社へのポートセールスを実施する。 また、クルーズ客船寄港時のオプションツアーに参加しないフリー客を対象とした二次交通対策として、シャトルバスを運行する事業者に対し、運行にかかる費用の赤字分を補助し、乗船客やクルーの市内周遊を促進し、満足度の向上を図っている。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,115	687		△ 428		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	419	200	△ 219		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	696	487	△ 209		

令和6年度歳出内訳	需用費	287
	負担金補助及び交付金	400
	クルーズ客船シャトルバス運行事業補助金	
	交付先	： シャトルバス運行事業者
	負担割合	： 県1/2、市1/2

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	水木しげる記念館文化観光拠点施設機能強化事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	8	働きがいも経済成長も			

事業の目的	文化庁の認定を受けた「水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画」に基づき、水木しげる記念館の限定グッズの作成やSNSを使用した情報発信などを行い、本市主要観光施設の認知度を高め、来訪者の満足度向上と滞在時間を延長させるとともに、リピーターの獲得に繋げる。
-------	--

事業概要	文化庁の認定を受けた「水木しげる記念館を中核としたさかなと鬼太郎のまち境港市拠点計画」に基づいた事業実施により、水木しげる記念館を中核とし圏域施設との連携を図り、来訪者の満足度向上と滞在時間を延長させるとともに、リピーターの獲得に繋げる。
------	---

現状、背景、課題	水木しげる記念館は、令和5年3月9日からリニューアル工事のため休館中。令和6年4月20日リニューアルオープンの予定。
----------	--

事業計画・効果	<p>○ミュージアムネットワーク事業 他施設と連携し、周遊性を高めるための冊子「山陰まんなか、巡らいや」を作成する。</p> <p>○もののけ3館連携事業 水木しげる記念館、小泉八雲記念館、湯本豪一記念日本妖怪博物館の3館で連携し、3館周遊パスポートの発行や各館でのトークショー、3館を巡るツアーなど、各館の入館者数増と地域経済の波及効果が高まる取組を進める。</p> <p>○妖怪文化伝承事業 市内の小学2～3年生を対象に妖怪についての授業を実施し、本市の特色ある妖怪文化を伝承していく。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,295	1,079		△ 216	538	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	770	541	△ 229		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	525	538	13		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	73
	旅 費	57
	需 用 費	939
	使用料及び賃借料	10

所 属	款	項	目	事業名	種 別
観光振興課	7	1	3	水木しげる先生から学ぶ平和学習事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	16	平和と公正をすべての人に			

事業の目的	水木しげる先生が、自身の戦争経験に基づいて鋭く描いた作品や言葉を通じた平和学習を学んでもらうとともに、教育旅行の誘致などにより、水木しげるロードや水木しげる記念館への平日の誘客増を図ることを目的とする。
-------	---

事業概要	令和5年度に制作した「水木しげる先生を通じた戦争と平和に関する動画コンテンツ」を通じ、教育旅行や課外事業で本市を訪れる児童・生徒をはじめ、幅広い世代の方々に、平和の尊さについて学び、考えてもらう機会を提供する。
------	---

現状、背景、課題	水木しげる先生は、自身の経験から、戦争の実態を鋭く描いた作品を数多く残している。こうした作品や言葉で表現された独特の世界観は、近年の世界情勢を背景に、作品が再販されるなど、若い世代にも影響を与え、見直されている。
----------	--

事業計画・効果	<p>作成したコンテンツの周知、教育旅行につなげるため、都市部で開催される商談会に参加し、旅行代理店などを通じ、全国にPRを行う。また県内や圏域市町村の課外授業での学びの場として「平和学習」を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイトル「水木しげるが見た戦場 ～どんなにつらくても、己の道を進む～」 ・テーマ「水木しげる氏を通じた戦争と平和」 ・対 象 小学校5年生から中学校3年生程度 ・場 所 水木しげる記念館多目的ホール、しおさい会館 市内小・中学校（出前事業） ・進行役 市職員、境港観光協会職員に加え、市内読み聞かせ団体などを想定。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称		
事業費		0	587	587				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
一般財源		0	587	587				

令和6年度歳出内訳	報 償 費	65
	旅 費	222
	需 用 費	300

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	1	1	住宅・建築物耐震化促進事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市民の生命・財産を守り、減災に繋げるため、耐震診断・改修の費用の一部を助成し、耐震化の促進を図る。
-------	---

事業概要	昭和56年5月31日以前に建築された建築物及び、平成12年5月31日以前に建築された木造住宅の所有者が行う耐震化に係る費用の一部を補助する。
------	--

現状、背景、課題	耐震診断及び耐震改修には相当の費用を要することから、所有者等の費用負担の軽減を図ることが課題となっている。 鳥取県は補助額の増加等を検討しており、市は鳥取県の結果に準じる予定としている。
----------	--

事業計画・効果	○事業計画	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイレクトメール 15,000件 ・木造住宅耐震診断業務 <li style="padding-left: 20px;">見込件数 33戸 ・住宅・建築物耐震化促進事業補助金 <li style="padding-left: 20px;">見込件数 <li style="padding-left: 40px;">一戸建て住宅耐震診断 1戸 <li style="padding-left: 40px;">一戸建て住宅補強設計 5戸 <li style="padding-left: 40px;">一戸建て住宅耐震改修 5戸 <li style="padding-left: 40px;">一戸建て住宅除却 2戸 <li style="padding-left: 40px;">建築物耐震診断 1棟（予定者あり） 	
	○効果	建築物の耐震化を促進することにより、建築物の安全性の向上を図る。 住宅所有者に対して、耐震化補助制度に関するダイレクトメールを送付し、周知を図る。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称		
事業費		12,866	15,553	2,687					
財源内訳	国庫支出金	6,110	7,450	1,340					
	県支出金	3,354	3,993	639					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	3,402	4,110	708					

需用費	ダイレクトメール印刷費	78
役務費	郵送料	50
委託料		3,739

区分	金額	見込件数	説明
一戸建て木造住宅 耐震診断	3,739	33戸	所有者負担なし

委託先：（一社）鳥取県建築士事務所協会

負担割合：国1/2、県1/4、市1/4

負担金補助及び交付金 11,686

区分	金額	見込件数	説明
一戸建て住宅 耐震診断	76	1戸	対象：非木造住宅 診断費用の2/3（上限7.6万円）
一戸建て住宅 補強設計	600	5戸	設計費用の1/2 （上限12万円）
一戸建て住宅 耐震改修	5,000	5戸	改修費用の4/5 （上限100万円）
一戸建て住宅 除却	1,676	2戸	除却費用の23% （上限83.8万円）
建築物 耐震診断	4,334	1棟	診断費用の2/3 （床面積で上限有り）
計	11,686		

負担割合（補助1/2）：県1/4、市1/4、所有者1/2

負担割合（補助2/3）：国1/3、県1/6、市1/6、所有者1/3

負担割合（補助4/5）：国2/5、県1/5、市1/5、所有者1/5

負担割合（補助23%）：国11.5%、県5.75%、市5.75%、所有者77%

令和6年度歳出内訳

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	1	1	アスベスト撤去支援事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	アスベストの除去等を促進し、アスベスト飛散の防止、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。
-------	--

事業概要	民間建築物の天井裏等に使用されている吹付アスベスト等の除去等及びアスベスト含有調査に要する費用の一部を補助する。
------	--

現状、背景、課題	平成21年度よりアスベスト含有調査の補助、平成22年度より吹付アスベスト等の除去等について補助制度を創設し本年度に至る。国の制度上調査・除去の補助制度は令和7年度まで。
----------	--

事業計画・効果	<p>○事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> アスベスト撤去支援事業補助金 見込件数 調査 2件 除去 1棟（予定者あり） <p>○効果</p> <p>アスベストの除去等を促進し、アスベスト飛散の防止、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		1,240	10,732	9,492					
財源内訳	国庫支出金	740	5,485	4,745					
	県支出金	375	3,934	3,559					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	125	1,313	1,188					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	
	<p>アスベスト分析調査 (見込み件数：2件) 240</p> <p>上限額：補助対象建築物1棟につき25万円</p> <p>負担割合：国10/10</p> <p>アスベスト除去等 (見込み件数：1件) 10,492</p> <p>15,737千円×2/3=10,492千円</p> <p>上限額：補助対象建築物1棟につき1,334万円</p> <p>負担割合：国1/3、県1/4、市1/12、所有者1/3</p>	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	1	1	空家等対策事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）
				4-(4)	空家の利活用などによる地域の賑わいづくり
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市民の生活環境に影響を及ぼしている空家の解消と未然に防止すること、空家所有者や関係者への相談体制を構築して継続的な空家対策を行うことを目的とする。
-------	---

事業概要	相談対応や空家相談会の開催などにより、空家の適正管理、賃貸・売買等の利活用や除却を促すことにより、市民の生活環境に影響を及ぼしている空家の解消を図るとともに、倒壊の危険性が高い空家に対し緊急安全措置などを行う。また、「空き家・空き地情報バンク」の運用により、空家等の流通促進を行う。
------	---

現状、背景、課題	近年、適正に管理されていない空家が問題となっており、管理不足の空家の増加が予想されるため、平成26年7月より「境港市空家の適正管理に関する条例」を施行した。また、現在は令和2年3月に策定した境港市空家等対策計画に基づいて空家等対策を実施している。人口減少、高齢者世帯の増加により、年間50件程度の空家が新規に発生すると見込まれる。空家の適正管理、利活用、除却などを推進するとともに「住まいの終活」など空家をどうしていくか広報していく必要がある。
----------	--

事業計画・効果	空き家相談会の実施（令和7年2月頃開催予定） 空家対策推進室による相談体制の強化（年間約200件程度相談有り） 空家等に関する情報（補助金等）の情報発信・広報 必要に応じて、緊急安全措置を想定 「空き家・空き地情報バンク」の運営
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		1,138	998		△ 140	485	所有者等負担金
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	485	485		0		
	一般財源	653	513		△ 140		

令和6年度歳出内訳	報 償 金	20
	空き家相談会弁護士報酬	
	需 用 費	171
	消耗品費	65
	印刷製本費（空き家相談会チラシ）	106
	役 務 費	36
	通信運搬費（空き家相談会チラシ）	10
	手 数 料（市報折込料）	26
	使用料及び賃借料	286
	空き家相談会会場使用料（市民交流センター大会議室）	15
	有料道路等通行料	7
	空家台帳システム使用料	264
	工事請負費	485
	緊急安全措置費	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	1	1	特殊建築物等定期点検事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	<p>多数の者が利用する建築物では、火災や災害等が発生したとき、不適切な維持管理が原因で惨事につながったり、外壁材等の損傷、腐食、その他の劣化による剥落等が原因で事故が起きる場合がある。こうした事態を防ぎ建築物を安心して使い続けるための定期点検である。</p>
-------	--

事業概要	<p>多数の者が利用する建築物を安心して使い続けるため、建築基準法第12条第2項に基づく定期点検を行う。</p>
------	--

現状、背景、課題	<p>定期点検は 建築：3年に一度、建築設備：毎年、外壁：10年に一度行うもので年次計画を作成し実施している。点検結果については対象施設所管課に報告し適切な維持保全を求めている。</p>
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外壁全面調査対象 <ul style="list-style-type: none"> ①旧誠道小学校（延床面積 3,052㎡） ②渡小学校（延床面積 2,971㎡） ・ 調査方法 全面打診及び目視調査 ・ 応急処置 剥落の危険性が高い箇所については応急的に補修を行う ・ 計画 調査結果を担当課に報告し今後の改修計画に反映する
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		3,170		2,975	△ 195		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	3,170		2,975	△ 195		

令和6年度歳出内訳	委託料	2,975
	外壁全面調査費（10年に1度）	
	旧誠道小学校	1,515
	渡小学校	1,460

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	1	1	福祉のまちづくり推進事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	既存の民間特定建築物（集会場、百貨店、ホテル、事務所、その他多数の方が利用する建築物）のバリアフリー化を支援し、高齢者や障がい者の住みやすいまちづくりを実現することを目的とする。
-------	---

事業概要	既存の民間特定建築物（集会場、百貨店、ホテル、事務所、その他多数の方が利用する建築物）のバリアフリー化を支援するため、バリアフリー法等の整備基準に基づいて整備を行う建築主に対し、その費用の一部を助成する。
------	--

現状、背景、課題	平成20年度から県条例により、2,000平方メートル以下の特別特定建築物もバリアフリー化が義務化された。対象となる新築建物がバリアフリー化となる中、条例施行以前に建築された建物は依然として段差など障壁が解消されないままである。
----------	---

事業計画・効果	<p>○事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉のまちづくり促進事業補助金 <table border="0"> <tr> <td></td> <td>見込件数</td> </tr> <tr> <td>一般トイレ改修工事</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>トイレ手摺設置工事</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>オストメイト整備工事</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>車いす使用者用便房整備工事</td> <td>1件（予定者あり）</td> </tr> </table> <p>○効果</p> <p>補助金の交付を行うことで、建築物のバリアフリー化を促進し、高齢者や障がい者の住みやすいまちづくりを促進する。</p>		見込件数	一般トイレ改修工事	2件	トイレ手摺設置工事	1件	オストメイト整備工事	1件	車いす使用者用便房整備工事	1件（予定者あり）
	見込件数										
一般トイレ改修工事	2件										
トイレ手摺設置工事	1件										
オストメイト整備工事	1件										
車いす使用者用便房整備工事	1件（予定者あり）										

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,743	5,106	3,363					
財源内訳	国庫支出金	867	2,549	1,682					
	県支出金	433	1,274	841					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	443	1,283	840					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金			
	区 分	金 額	見込件数	説 明
	一般トイレ 改修工事	668	2件	改修費用の2/3 (上限33.4万円)
	トイレ手摺 設置工事	37	1件	改修費用の2/3 (上限3.7万円)
	オストメイト 整備工事	734	1件	改修費用の2/3 (上限73.4万円)
	車いす使用者用便房 整備工事	3,667	1件	改修費用の2/3 (上限366.7万円)
計	5,106			
負担割合（補助2/3）：国1/3、県1/6、市1/6、所有者1/3 ※建物用途、工事種別により一部負担割合が異なる。				

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	1	1	危険ブロック塀撤去費等補助金	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	地震等災害時におけるブロック塀の倒壊は周辺住民に危険を及ぼすほか、避難、消火、救命活動の支障となることから、危険なブロック塀の撤去、改修等を促進することで、住民の安全確保と避難、消火、救命活動の円滑化を図る。
-------	--

事業概要	住宅等において、危険なブロック塀の撤去等を行う費用に対する補助金。
------	-----------------------------------

現状、背景、課題	平成30年6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震において、ブロック塀の倒壊を原因とする死者が出ており、全国的に危険ブロック塀への対策が求められている。 令和4年度より市独自の基準で危険ブロックの解消を目的とした部分撤去を制定した。 令和5年度より敷地単位からブロック塀単位へと変更し、基礎の撤去を行う場合は補助金の限度額を2倍とした。 実績 H30…除去8件、改修2件、R1…除去3件、改修2件、R2…除去6件、改修3件、R3…除去8件、改修2件、R4…除去12件、改修3件、部分除去4件
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画 <ul style="list-style-type: none"> ・避難路沿道危険ブロック塀撤去費等補助金 見込件数 除去 6件 改修 3件 部分除去 3件 ・危険ブロック塀撤去費等補助金 見込件数 除去 1件 改修 1件 ○効果 危険ブロック塀の解消を促進する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		3,087		3,100	13		
財源内訳	国庫支出金	1,318		1,325	7		
	県支出金	658		661	3		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	1,111		1,114	3		

○避難路沿危険ブロック塀撤去費等補助金

・撤去

見積額と基準額（18,000円/mただし、基礎を撤去する場合は36,000円/m）により算出した
いずれか少ない額の2/3

限度額：構造的に独立した塀につき最大30万円（基礎を撤去する場合は最大60万円）

・改修

見積額と基準額（25,000円/m）により算出したいずれか少ない額の1/3

限度額：構造的に独立した塀につき最大20万円

・部分撤去

敷地内における危険ブロック塀を、部分的に撤去する費用について補助するもの

見積額と基準額（18,000円/m）により算出したいずれか少ない額の2/3

ただし1敷地につき最大15万円

○危険ブロック塀撤去等補助金

・撤去

見積額と基準額（18,000円/m）により算出したいずれか少ない額の2/3

ただし、構造的に独立した塀につき最大15万円（基礎を撤去する場合は最大30万円）

・改修

見積額と基準額（25,000円/m）により算出したいずれか少ない額の1/3

ただし、構造的に独立した塀につき最大10万円

負担金補助及び交付金

区 分	金 額	見込件数	説 明
避難路沿 危険ブロック塀 撤去	1,800	6件	撤去費用の2/3 (基礎撤去なしの上限30万円)
避難路沿 危険ブロック塀 改修	600	3件	改修費用の1/3 (上限20万円)
避難路沿 危険ブロック塀 部分撤去	450	3件	撤去費用の2/3 (上限15万円)
危険ブロック塀 撤去	150	1件	撤去費用の2/3 (基礎撤去なしの上限15万円)
危険ブロック塀 改修	100	1件	改修費用の1/3 (上限10万円)
計	3,100		

負担割合(撤去)：国1/3、県1/6、市1/6、所有者1/3

負担割合(改修)：国1/6、県1/12、市1/12、所有者2/3

負担割合(部分撤去)：市2/3、所有者1/3

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	1	1	空家関連事業費補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）
				4-(4)	空家の利活用などによる地域の賑わいづくり
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	空家の利活用や除却に要する費用を助成することにより、今後増加が見込まれる空家の抑制や将来に危険を及ぼす可能性のある空家の発生未然防止を促進し、市民の安全・安心な生活環境の確保を図る。
-------	---

事業概要	空家の利活用や利用の見込みのない空家及び特定空家の除却を推進するため、利活用や除却に要する費用の一部を補助する。利活用することを目的として空家を改修した費用の1/2（住宅として活用した場合：上限90万円、住宅以外に活用した場合：上限150万円）を助成。利活用に適さない空家の除却費用の4/5（上限60万円）を助成。特に危険であると認定された特定空家の除却費用の4/5（上限120万円）を助成。
------	--

現状、背景、課題	空家は、長年放置されると近隣の生活環境に影響を及ぼす可能性が高くなる。一方で多くの人が空家を相続等で取得しており、金銭面を含め空家をどう管理・活用していくか苦心している。特定空家除却に加え、令和3年度より特定空家に至らない空家除却および空家の利活用への補助金制度を創設し、空家の除却及び利活用を推進してきており、令和3年度からの3年間で、127件の補助金申請により、除却や利活用の取り組みがなされた。（令和3年度37件、令和4年度44件、令和5年度46件）なお、特定空家に至らない空家除却補助金は、令和3年度から7年度までの5年間の予定としている。
----------	--

事業計画・効果	特定空家等除却支援事業費補助金（5件分） 負担割合：国1/2、県1/4、市1/4 補助率：4/5（上限120万円） 空家利活用流通促進事業費補助金（10件分） 負担割合：県2/3、市1/3 補助率：1/2 住宅として使用 90万円（上限）×8件 住宅以外として使用 150万円（上限）×2件 空家除却支援事業費補助金（30件分） ※令和3年度から7年度（5年間予定） 負担割合：県1/4、市3/4 補助率：4/5（上限60万円） 補助金の活用により、空家の除却や利活用を促進する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		28,200	34,200	6,000					
財源内訳	国庫支出金	3,000	3,000	0					
	県支出金	11,300	12,800	1,500					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	13,900	18,400	4,500					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	34,200
	境港市特定空家等除却支援費補助金 (国庫支出金3,000 県支出金1,500、一般財源1,500)	6,000
	境港市空家利活用流通促進事業費補助金 (県支出金6,800、一般財源3,400)	10,200
	境港市空家除却支援事業費補助金 (県支出金4,500、一般財源13,500)	18,000

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	1	2	交通安全施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	交通安全施設を整備することにより、快適な交通環境や安心安全な生活環境の確保を図る。
-------	---

事業概要	夜間における市民の安全や犯罪被害を未然に防止するために防犯灯の設置、見通しの悪い交差点等において車両や歩行者が安全に通行できるようカーブミラーの設置、道路の区画線が薄くなり夜間や雨天時の視認性が悪くなった箇所の補修等を行う。
------	--

現状、背景、課題	自治会から提出される、カーブミラーや街路灯の設置要望について、必要性等を考慮して対応する。
----------	---

事業計画・効果	交通安全施設の設置・維持管理を行い、交通事故の防止を図る。 [令和6年度実施箇所] ○防犯灯・カーブミラー：自治会から提出される要望箇所について必要性や設置箇所等を考慮して設置。 ○区画線補修：竹内団地5号線、竹内誠道線、弥生町浜ノ線 [令和7年度以降] ○区画線補修：元町馬場崎線、樋ノ上川線、内浜中央線、高松渡線、中浜63号線、竹内団地(竹内団地6号線、竹内団地8号線) 西工業団地(外江46号線、渡98号線、渡84号線) 昭和町(境昭2号線、境昭3号線)
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		7,567	7,567	0	1	交通安全施設処分金			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	320	400	80					
	地方債	0	0	0					
	その他	10	1	△9					
	一般財源	7,237	7,166	△71					

令和6年度歳出入内訳	需用費	1,367
	修繕料	
	工事請負費	6,200
街路灯新設、カーブミラー新設、区画線補修等		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	8	1	2	高齢者等運転免許自主返納支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的 運転免許を自主返納しやすい環境を整備し、高齢者等の交通事故の減少を図る。

事業概要 高齢者等の交通事故防止の観点から、運転免許証の自主返納を推進するため、自主返納した高齢者等に対し、代替交通手段として、はまるーぷバスの回数乗車券またはタクシーチケットを交付する。

現状、背景、課題 鳥取県警察本部の報告では、県内の令和5年中の交通事故の発生件数は656件、死者数は14人、負傷者数は762人で、平成17年から18年連続で減少していた発生件数及び負傷者数は19年ぶりに増加している。
死傷者の年齢層別では、65歳以上の高齢者が149人（19.2%）と最多であり、第一当事者の年齢層別においても、65歳以上の高齢者が179件（27.3%）と最多となっている。

事業計画・効果 令和4年9月より、はまるーぷバス回数券とタクシーチケットの選択制
 ◆はまるーぷバス回数券
 11千円（回数乗車券11枚綴り：千円×11冊分）
 ◆タクシーチケット
 12千円（500円券×24枚）
 ※令和4年度の交付者：94人、平均年齢79.3歳
 ※はまるーぷバス：平成23年度（開始）～令和4年度：952人 交付
 タクシーチケット：令和4年度開始：54人 交付
 ◆運転免許自主返納支援事業広報ポスター作成
 配架依頼先：警察署、公民館、境港市地域包括支援センター、高齢者利用施設等
 運転免許の返納を促進することにより、交通事故の減少を図る。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,331	811		△ 520		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	1,331	811		△ 520	811

令和6年度歳出内訳	報 償 費	723
	はまるーぷバス回数券：36人分 タクシーチケット：68人分	
	需 用 費	70
	運転免許自主返納支援事業広報ポスター 100枚	
手 数 料		18
	タクシーチケット発行手数料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	8	1	2	チャイルドシート購入費補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(2)	保育環境・保育サービスの充実
				4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	チャイルドシート及びジュニアシートの使用を推進し、乳幼児の死傷事故の防止を図る。子育て世帯の経済的負担を軽減し、少子化対策及び子育て支援を推進する。
-------	--

事業概要	同器具を購入する市民に、購入費の一部（補助率1/2、限度額5,000円）を補助する。
------	--

現状、背景、課題	道路交通法において、自動車の運転者はチャイルドシートを使用しない6歳未満の幼児を乗車させて運転してはならないと規定されている。令和4年の警察庁と日本自動車連盟（JAF）の全国調査によると、チャイルドシートの使用率は年々上昇しており、鳥取県における使用率は61.7%である。
----------	--

事業計画・効果	<p>チャイルドシート及びジュニアシート購入費用の一部助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆補助対象：満6歳未満の乳幼児の保護者（乳幼児一人につき1台） ◆補助金額：購入金額の1/2（限度額5千円） ※平成25年度（開始）～令和4年度：1,391人に補助 ※実績：令和元年度：114人/令和2年度：112人/令和3年度：127人/令和4年度：108人 ※広報：市報4月号、母子手帳交付時、各種検診時にチラシ配布 ※受付窓口：防災危機管理課、子育て支援課 <p>チャイルドシート及びジュニアシート購入費用の一部を補助することにより、チャイルドシート及びジュニアシートの使用の推進及び乳幼児の死亡事故減少効果を見込む。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		539	504	△ 35					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	269	0	△ 252					
	地方債	0	0	0					
	その他	270	0	△ 270					
	一般財源	0	504	504					

令和6年度歳出入内訳	<p>補助金 504</p> <p>幼児用チャイルドシート分 平均補助単価：4,700円×101人</p> <p>学童用ジュニアシート分 平均補助単価：2,600円×11人</p>
------------	--

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	1	2	夕日ヶ丘防犯灯設置事業	継 続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	照明を設置することにより、安全性の向上を図る。
-------	-------------------------

事業概要	夕日ヶ丘の幹線道路には、交差点部にしか道路照明がなく、設置間隔が広いために、歩道が暗くて危険であったことから、平成30年度より計画的に防犯灯の設置を行う。
------	---

現状、背景、課題	夕日ヶ丘地区のコンセプトとして、幹線道路の明りは住宅からの明りにより確保するとしていたが、十分ではなく、平成26年度自治連合会より幹線道路に照明灯設置の要望があり、平成30年度より年次的に整備している。
----------	---

事業計画・効果	夕日ヶ丘の幹線道路の歩道に防犯灯を設置し、歩行者の安全確保を図る。平成30年度から開始して、令和6年度が最終年度となる。														
	実施状況														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年度</th> <th>設置基数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成30年度</td> <td>15基</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>7基</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>19基</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>11基</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>8基</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>14基</td> </tr> </tbody> </table>	実施年度	設置基数	平成30年度	15基	令和元年度	7基	令和2年度	19基	令和3年度	11基	令和4年度	8基	令和5年度	14基
	実施年度	設置基数													
	平成30年度	15基													
	令和元年度	7基													
	令和2年度	19基													
	令和3年度	11基													
令和4年度	8基														
令和5年度	14基														

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		4,797		3,690	△ 1,107	390	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金繰入金
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	130		200	70		
	地方債	4,200		3,100	△ 1,100		
	その他	467		390	△ 77		
一般財源		0		0	0		

令和6年度歳出内訳	工事請負費 夕日ヶ丘防犯灯新設工事（10基）	3,690
-----------	---------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	1	2	L E D防犯灯更新事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市内のLED防犯灯のうち、更新時期が経過又は近づいている防犯灯を新しいものに更新（交換）することで、安心安全な街づくりに資するとともに、快適な道路空間の確保を図る。
-------	--

事業概要	市内のLED防犯灯のうち、更新時期が経過又は近づいている防犯灯を新しいものに更新（交換）する。
------	---

現状、背景、課題	LED防犯灯は器具本体の耐用年数が15年とされており、市内に設置してある約3,700灯のLED防犯灯のうちの3,309灯が令和10年度までに更新時期を迎える状況となっている。
----------	---

事業計画・効果	令和10年度までに更新時期がくる3,309灯のL E D防犯灯を令和6年度から令和10年度までの5年間で順次更新していく。	
	年度	更新計画
	令和6年度	688基
	令和7年度	656基
	令和8年度	655基
	令和9年度	655基
	令和10年度	655基
	合計	3,309基

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		0		25,060	25,060	20,303	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金繰入金
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		4,757	4,757		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		20,303	20,303		
	一般財源	0		0	0		

令和6年度歳出内訳	需用費 修繕料 LED防犯灯 688基	25,060
-----------	---------------------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	2	1	中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議負担金	新規
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的
 山陰自動車道、米子・境港間の高規格道路、境港出雲道路など中海と宍道湖を介して8の字につながる高規格道路の整備推進団体と連携し、沿線の地方創生に寄与するとともに、圏域内におけるミッシングリンクの解消を図るため、中海・宍道湖8の字ルートを早期に整備することを目的とする。

事業概要
 中海と宍道湖を介して8の字につながる高規格道路の整備推進や早期事業化に向けて、国等への要望活動や高規格道路の必要性・効果を知っていただくための普及啓発イベント等を行う。

現状、背景、課題
 8の字ルートの全体計画延長約172kmのうち約81kmが未開通となっており、商業施設や物流施設などが集積している市街地を中心に交通が集中し慢性的な交通渋滞が発生。さらに、港湾や空港などの交通拠点へのアクセス性の強化などの課題により、経済活動や観光振興に対する広域交流の機能が十分に果たせていない状況となっている。このような背景から、圏域の官民が一体となって8の字ルートの早期整備を実現するために、行政（米子市・松江市・出雲市・境港市・安来市）や議会、経済団体で構成される「中海・宍道湖8の字ルート整備推進会議」が令和5年8月7日に設立。

事業計画・効果
 ○令和6年度も8の字ルートの早期整備を実現するため、国等への要望活動や高規格道路の必要性や効果を知っていただくための普及啓発イベント等を行っていく。
 ○圏域内を結ぶ『8の字ルート』が整備されると、機能強化・拡充が進む「漁港・港湾・空港の3つの港」の機能が最大限に引き出されるとともに、「ひと」や「もの」の流れが一層活発となり、産業振興や企業誘致、広域観光など、多くの効果が生み出されます。さらに圏域内の移動が車で1時間程度となれば、圏域内に立地している様々な企業が通勤圏内となり「あたかも一つのまち」のような生活圏が形成され、山陰地方の人口流出に歯止めをかけるダム効果も期待されている。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	210	210		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	210	210	

令和6年度歳出内訳
 負担金補助及び交付金 210

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	2	2	道路維持費	継 続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市道、法定外公共物や水路の状態をパトロールしながら、危険箇所の修繕等を行い、安全で円滑な交通の確保を図る。
-------	---

事業概要	日常の道路パトロールや市民からの通報による道路側溝や舗装等の危険箇所の緊急修繕・清掃・除草等を行い、道路交通の安全確保と適切な管理を行う。
------	---

現状、背景、課題	道路の老朽化による側溝や床板の破損、舗装の陥没など応急的な修繕を行っているが、箇所数は年々増加傾向にある。毎年11月～12月に渡・外江地区のケヤキ並木の落ち葉清掃活動を地域住民ボランティアと協働作業を行っている。
----------	--

事業計画・効果	管理課の職員3人体制により、毎日、市内の道路の巡回を実施し、危険箇所を発見した場合には、速やかに補修等の対応を行い、道路交通の安全を確保する 職員で対応できない、舗装陥没箇所の補修や舗装の打替え工事、側溝等のコンクリート構造物の補修などについては、1年間を通して契約を行っている建設業者が補修や修繕等の対応を行う。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		37,118		40,884	3,766	7,103	道路占用使用料
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	7,086		7,103	17		
	一般財源	30,032		33,781	3,749		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員1人分）	2,417
	需用費	5,620
	消耗品費（側溝蓋・道路補修材等）	5,069
	燃料費	374
	修繕料	177
	役務費	283
	除草処分手数料	219
	保険料	64
	委託料	14,509
	道路等除草委託料	10,946
	市道路面清掃業務	2,163
	登記委託料	1,400
	使用料及び賃借料	515
	道路維持管理車借上料	
	工事請負費	17,535
	市道補修等工事	
	公課費	5
自動車重量税		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	2	2	除雪事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	積雪時期の除雪体制を整備することにより、大雪による交通への支障を早期に解消することを目的とする。
-------	--

事業概要	冬季の降雪による交通及び市民生活への支障を早期に解消するため、業者への除雪委託、市道の除雪に使用する機械の借り上げを行い、除雪体制を整備する。令和6年度、新たにホイールローダ2台を整備し、継続的な除雪体制の確保と地震等の災害時に避難の妨げとなる、がれき等の撤去に活用する。
------	--

現状、背景、課題	平成22年の記録的な大雪の翌年度より市内の建設業者と除雪契約を締結している。また、平成30年2月の大雪による除雪対応の改善を行っている(除雪担当路線の見直し、除雪機械の増強)。
----------	--

事業計画・効果	冬季の積雪時における道路交通の確保、市民の日常生活と経済活動を維持するために、本市の除雪計画に基づき、除雪作業を実施する。	
	境港市道路除雪計画	
	除雪基準	対象路線
	1次除雪	積雪が概ね10cm程度 交通幹線、救急病院への接続路線、はまる一ぱバス路線 など
	2次除雪	積雪が概ね20cm程度 準交通幹線、経済地区(昭和町) など
	歩道除雪	積雪が概ね15cm程度 通学路の歩道設置道路の歩道部分 など

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	7,880	24,009	16,129		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	111	7,111	7,000	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
一般財源	7,769	16,898	9,129		

令和6年度歳出内訳	需用費	470
	役務費	232
	委託料	6,009
	使用料及び賃借料	5,671
	備品購入費	11,627
	ホイールローダリース料 (1.5㎡×2台 3か月分)	
ホイールローダ (0.4㎡×2台)		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	2	2	安全・安心な道づくり事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	道路は、市民生活や経済・社会活動を支える根本的な社会資本であるとともに、地域住民が快適で豊かに、そして安全・安心に暮らし続けることのできる社会を構築するために、必要不可欠な基礎的なインフラであることから、道路管理者として適切な点検を実施し、点検結果を基に計画的に修繕や整備を行うことで、安全・安心で快適な道路空間を維持していく。
-------	--

事業概要	国の道路メンテナンス補助金や防災・安全交付金等の財源を活用し、橋梁や舗装などの老朽化対策や通学路の安全対策を計画的に行う。
------	---

現状、背景、課題	○平成24年12月に発生した中央自動車道の笹子トンネル天井板落下事故を受け、平成25年に道路法が改正され、平成26年7月から道路管理者は橋梁やトンネル等については、5年に1回、近接目視で点検を行い、健全性の診断結果を4段階に区分することが義務付けとなった。○通学路の安全対策は、平成24年に京都府亀岡市などで、登下校中の児童生徒が死傷する事故が相次いで発生したことを受け、より一層の安全確保に向けた合同点検を学校や警察等の関係機関と連携して実施し、対策が必要となった箇所について、計画的に整備を進めている。
----------	---

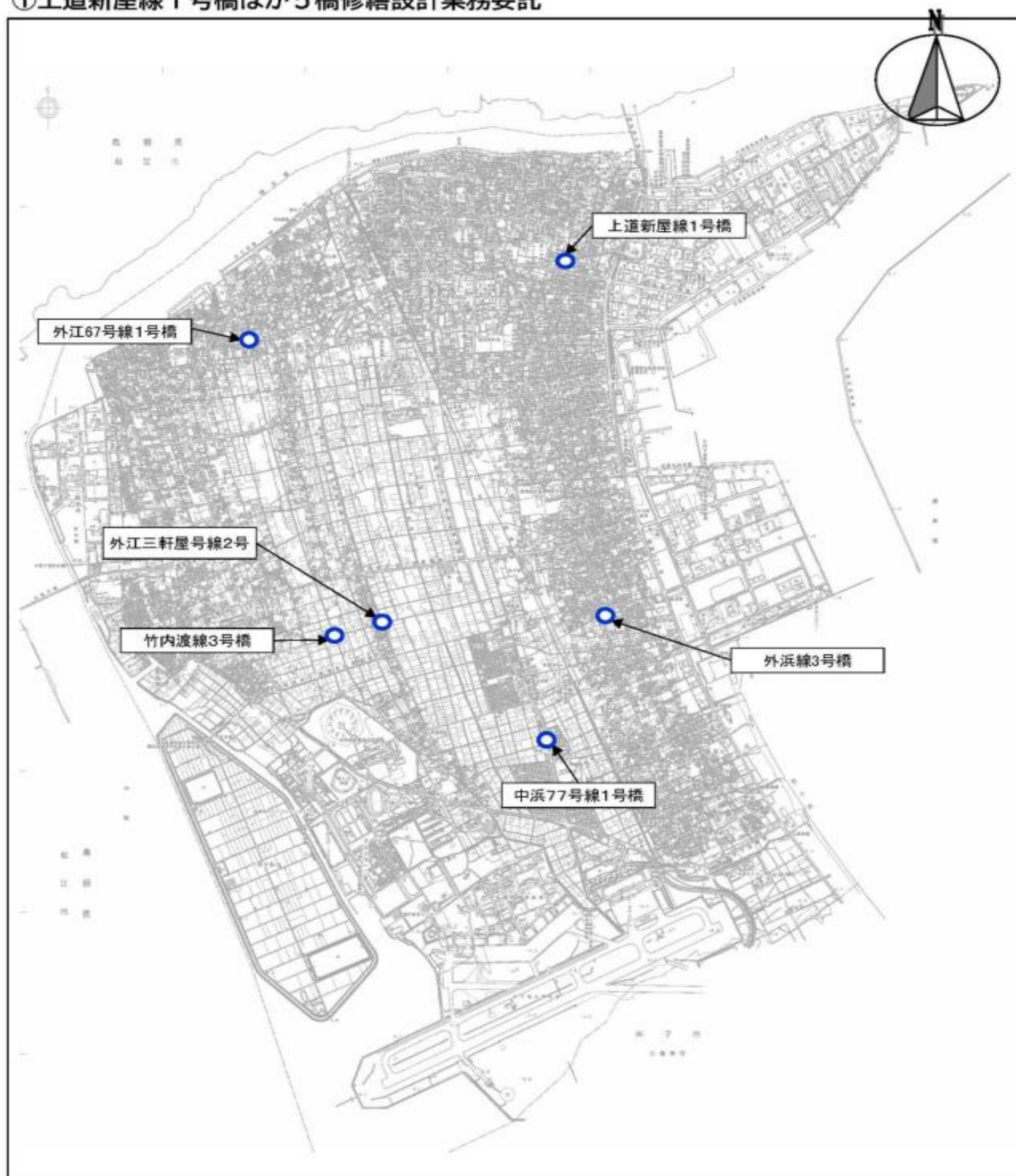
事業計画・効果	<p>[橋梁修繕] 令和5年度 橋梁定期点検結果（橋梁：127橋、横断歩道橋：1橋） I・健全：15橋、II・予防保全段階：107橋、III・早期措置段階：6橋、 IV・緊急措置段階：なし 令和6年度：定期点検結果III・早期措置段階、6橋の修繕設計 令和7年度：修繕工事</p> <p>[舗装修繕] 令和5～6年度：渡中浦水門連絡線舗装修繕工事 令和6年度：境昭8号線・境昭3号線、外江47号線舗装修繕設計 令和7年度：境昭3号線、外江47号線舗装修繕工事 令和8年度：境昭8号線舗装修繕工事、</p> <p>[通学路安全対策] 令和6年度：令和4年度、令和5年度通学路合同点検箇所の工事 令和7年度：令和5年度通学路合同点検箇所の工事 ※平成25年度～令和3年度に行った通学路点検箇所については、整備済</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		165,079	102,170		△ 62,909		
財源内訳	国庫支出金	64,811	32,040		△ 32,771		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	71,100	61,500		△ 9,600		
	その他	0	0		0		
	一般財源	29,168	8,630		△ 20,538		

令和6年度歳出入訳	委託料	12,870
	【橋梁修繕】	
	①上道新屋線1号橋ほか5橋修繕設計業務委託	8,100
	【舗装修繕】	
	②境昭8号線ほか1路線舗装修繕設計(L=430m)	2,600
	③外江47号線舗装修繕設計(L=310m)	2,170
	工事請負費	87,800
	[通学路安全対策]	
	④外浜線ほか3路線通学路安全対策工事 5か所	12,200
	⑤外江18号線通学路安全対策工事(L=68m)	5,500
	【舗装修繕】	
	⑥渡中浦水門連絡線舗装修繕工事(その2)(L=210m)	25,700
	⑦境132号線歩道根上り対策及び舗装修繕工事 7か所	6,300
	⑧福定森岡1号線舗装修繕工事(L=70m)	5,000
[その他・道路付属物修繕]		
⑨境73号線ほか1路線側溝修繕工事(L=197m)	33,100	
補償補填及び賠償金	1,500	
水道管移設補償費		

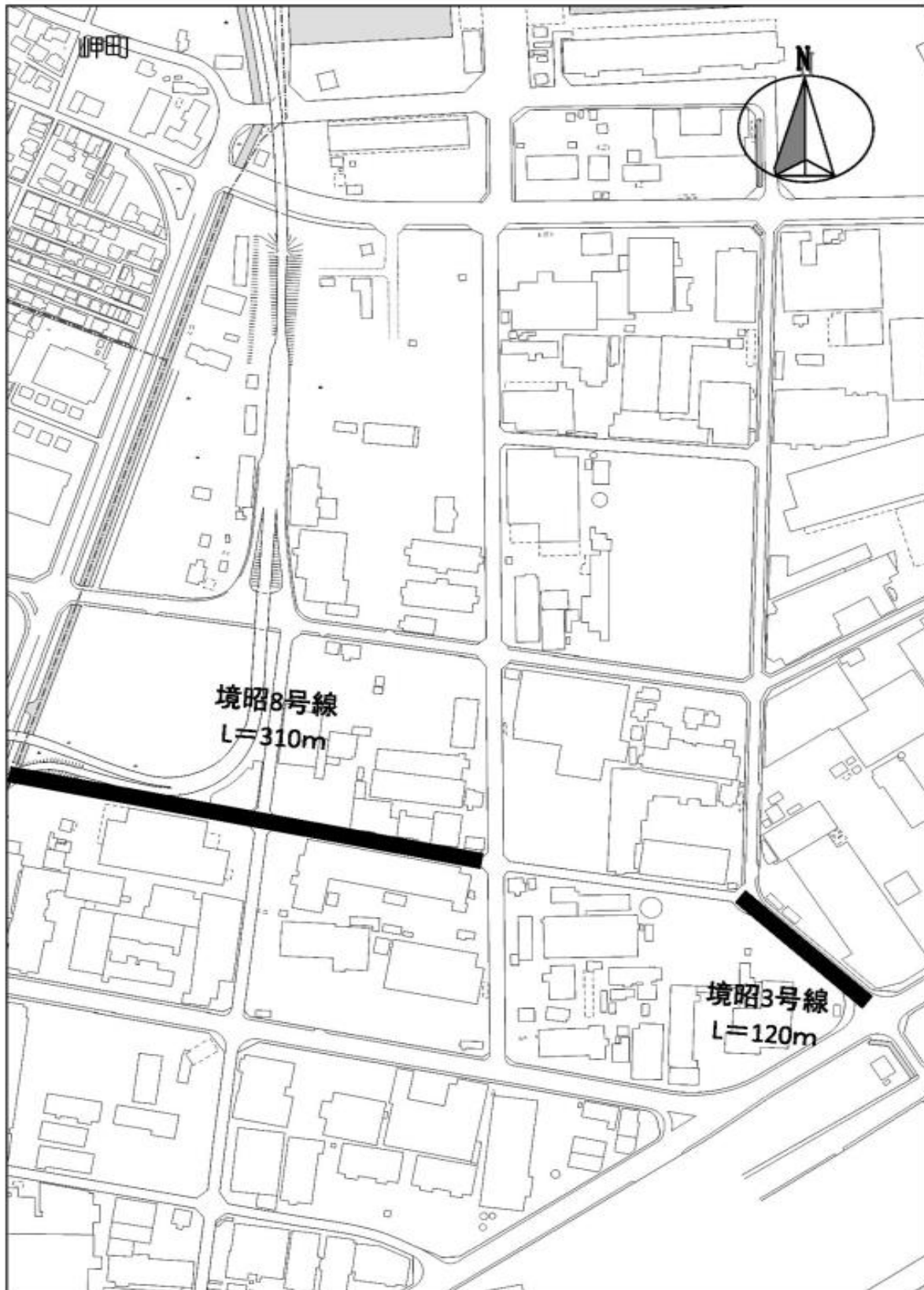
安全・安心な道づくり事業

①上道新屋線1号橋ほか5橋修繕設計業務委託



安全・安心な道づくり事業

②境昭8号線ほか1路線舗装修繕設計



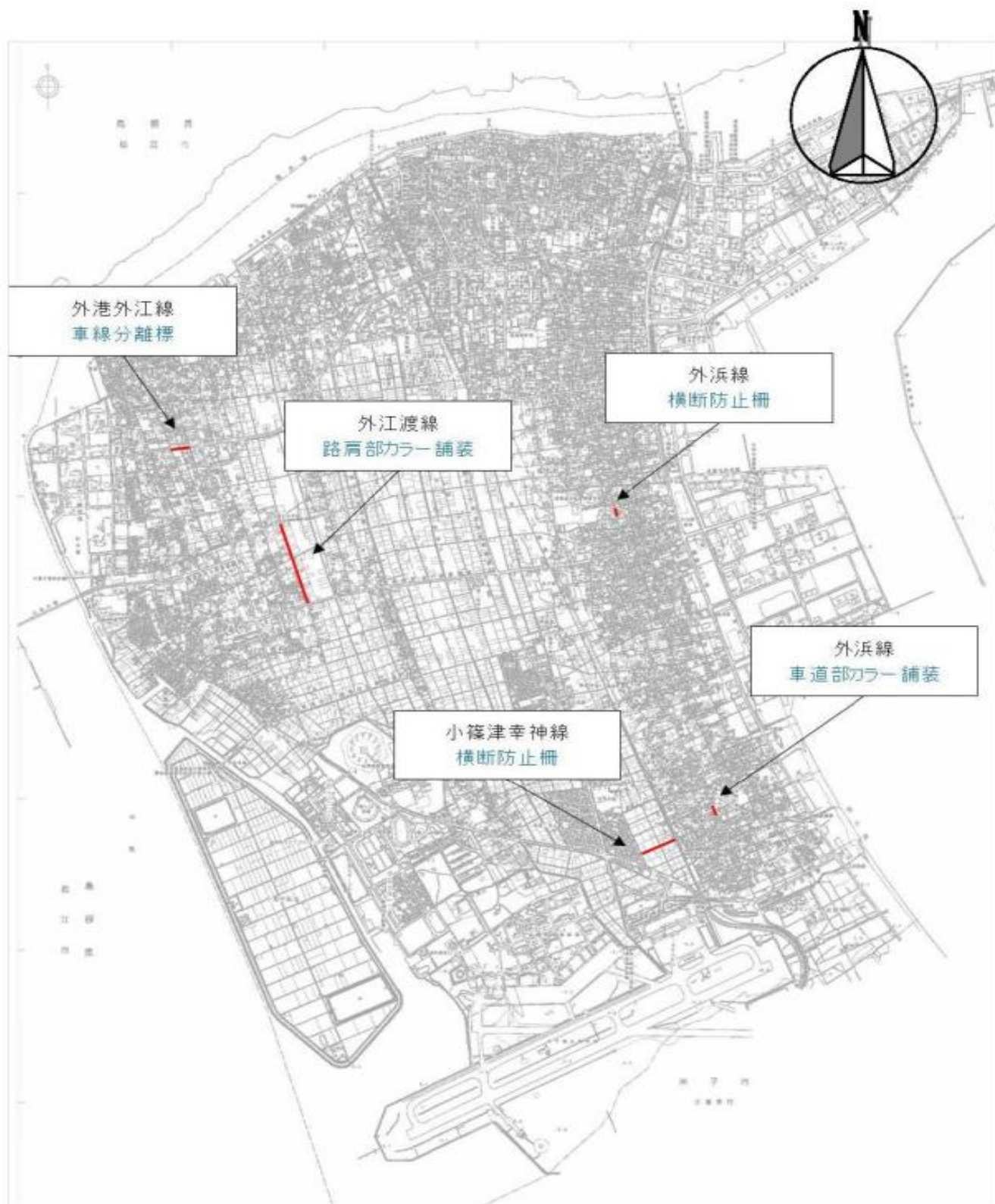
安全・安心な道づくり事業

③外江47号線舗装修繕設計



安全・安心な道づくり事業

④外浜線ほか3路線通学路安全対策工事



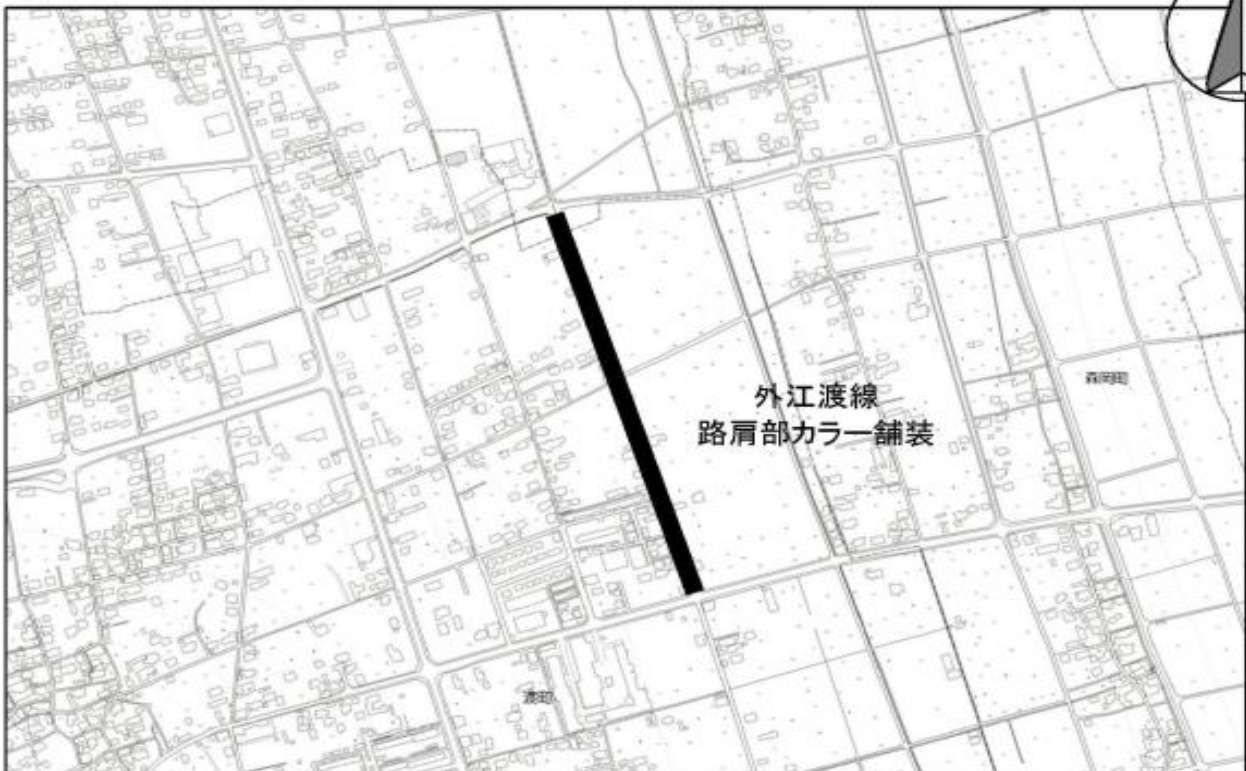
安全・安心な道づくり事業

④外浜線ほか3路線通学路安全対策工事



安全・安心な道づくり事業

④外浜線ほか3路線通学路安全対策工事



安全・安心な道づくり事業

④外浜線ほか3路線通学路安全対策工事



安全・安心な道づくり事業

④外浜線ほか3路線通学路安全対策工事



安全・安心な道づくり事業 ⑤外江18号線通学路安全対策工事



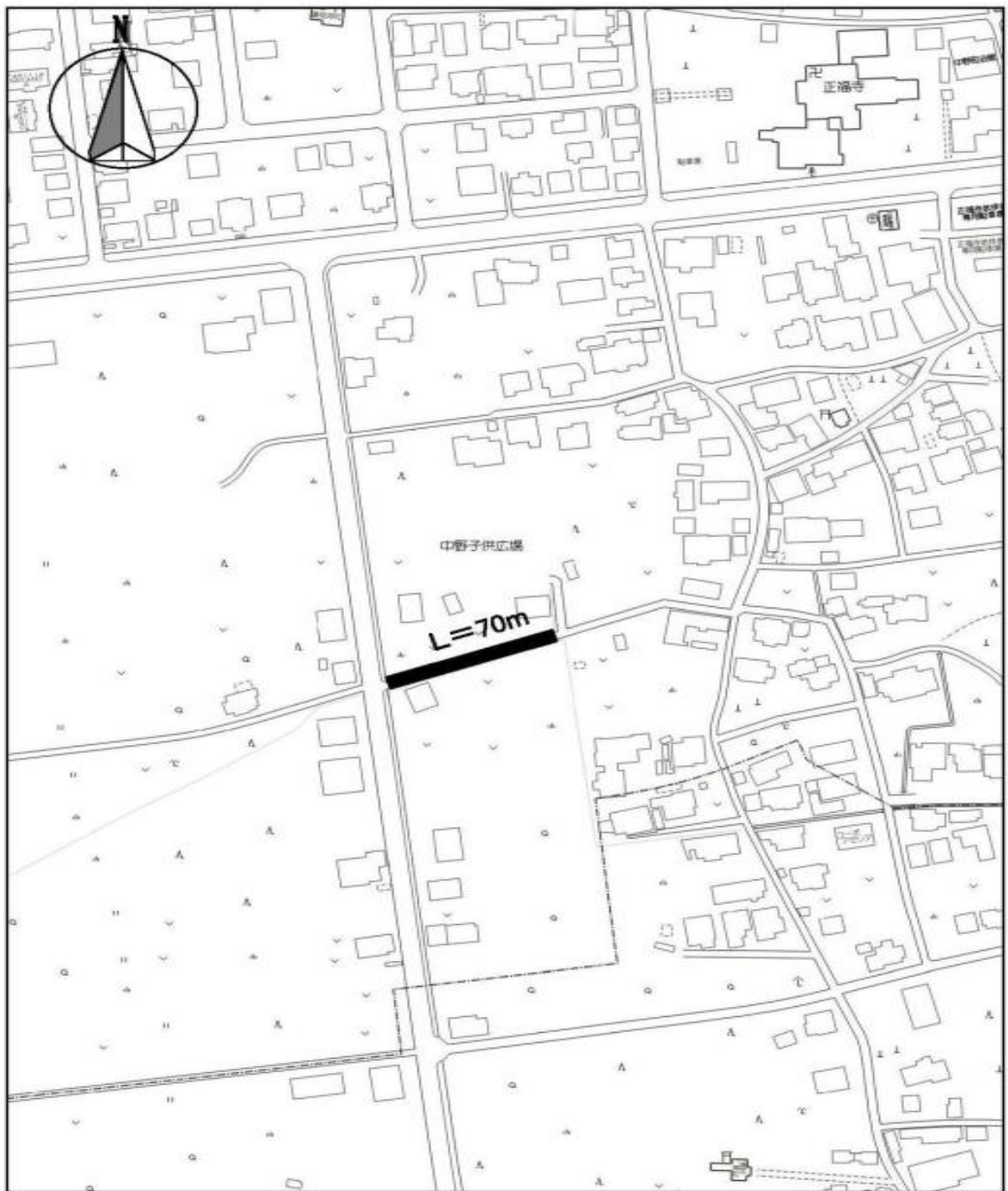
安全・安心な道づくり事業 ⑥渡中浦水門連絡線舗装修繕工事(その2)



安全・安心な道づくり事業 ⑦境132号線歩道根上り対策及び舗装修繕工事



安全・安心な道づくり事業 ⑧福定森岡1号線舗装繕繕工事



安全・安心な道づくり事業 ⑨境73号線ほか1路線側溝修繕工事



所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	2	2	除雪機械運転手育成支援事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	除雪機械を運転するための運転免許の取得費を補助を行うことにより、除雪機械運転手を増えること、並びに新規運転手への除雪技術の継承育成を行い冬期の安心・安定した除雪作業を行う。
-------	--

事業概要	除雪体制を維持していくためには、除雪機械の運転手となる担い手の確保が必要となるため、除雪機械を運転するために必要な、免許を取得するための費用の2/3を助成する。
------	--

現状、背景、課題	除雪体制の維持において除雪機械運転手の高齢化による減少が課題となっている。
----------	---------------------------------------

事業計画・効果	市内の道路除雪における除雪機械の運転手となる人材を育成し、冬期も安心して暮らすことが出来る地域づくりを進める。 令和元年度から開始し、令和5年度までに合計21名が取得した。 令和6年度から、対象年齢を「50歳未満の者」から「60歳未満の者」に拡充する。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	274	297	23		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	136	148	12	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	138	149	11	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 補助金（4人分）	297
-----------	------------------------	-----

所属	款	項	目	事業名	種別
管理課	8	2	3	生活関連道整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市民生活に最も身近な社会基盤である道路を整備し、市民生活環境の向上を図る。
-------	---------------------------------------

事業概要	防衛省の特定防衛施設周辺整備調整交付金の財源を活用し、自治会要望や道路パトロール等を基に、老朽化した道路側溝の改修や新設等を計画的に行う
------	--

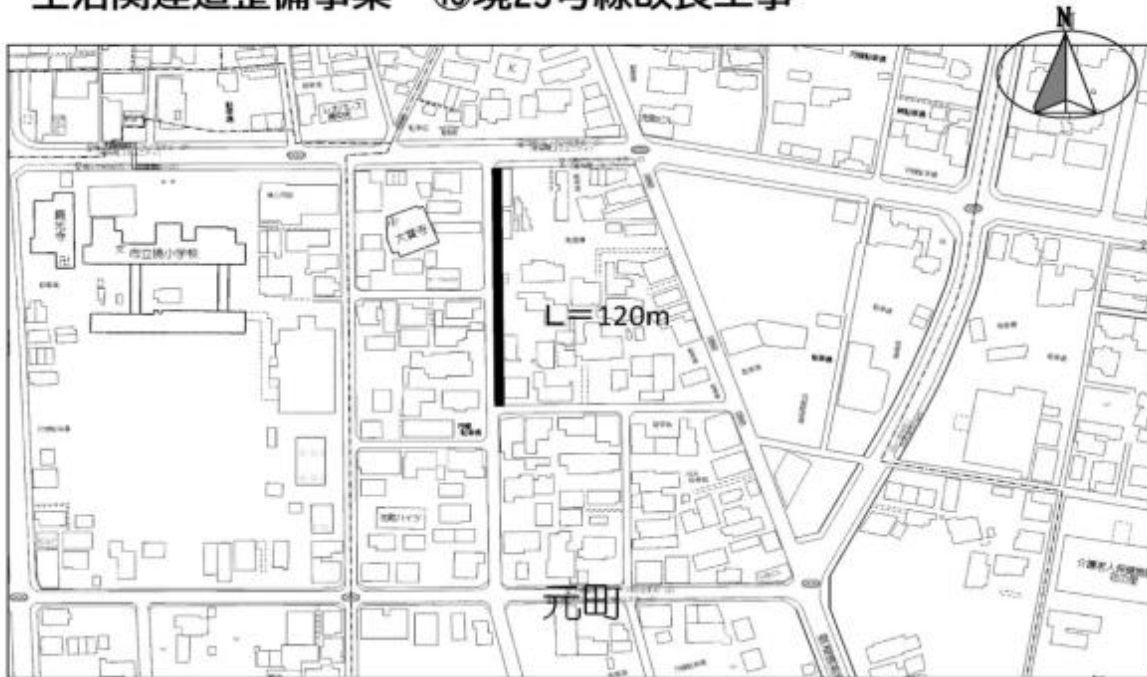
現状、背景、課題	自治会要望や道路パトロール等を基に、必要性や緊急性を考慮しながら、対策が必要な箇所の整備を計画的に実施している。
----------	--

事業計画・効果	令和5年度：側溝改修工事 L=753m（7路線） 令和6年度：側溝改修工事 L=705m（8路線） ※令和7年度以降も、自治会要望や道路パトロール等を基に、必要性や緊急性を考慮しながら、対策が必要な箇所の整備を計画的に実施していく。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予算	予算	予算前年度比較	予算	予算前年度比較	予算	名称	
事業費		104,688	113,191	8,503					
財源内訳	国庫支出金	52,000	52,000	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	44,300	51,400	7,100					
	その他	0	0	0					
	一般財源	8,388	9,791	1,403					

令和6年度歳出内訳	旅 費	131
	需 用 費	345
	委 託 料	10,866
	余子14号線外改良工事「測量・設計業務」(L=1,360m)	10,400
	図面作成ソフト年間保守契約	66
	登記委託料	400
	使用料及び賃借料	2,049
	電子複写機借上料	93
	有料道路等通行料	33
	用具借上料(土木積算システム等)	1,923
	工事請負費	92,600
	⑩境23号線改良工事(L=120m)	13,400
	⑪上道28号線改良工事(L=89m)	7,100
	⑫境95号線改良工事(L=129m)	21,000
	⑬余子9号線改良工事(L=62m)	7,500
	⑭境昭6号線改良工事(L=16m)	4,200
	市道舗装新設工事(セットバック等)(A=550㎡)	8,100
	⑮余子85号線ほか1路線改良工事(L=111m)	20,500
	⑯入船町上道2号線側溝修繕工事(L=75m)	8,800
	⑰樋ノ上川線点字ブロック修繕工事(L=400m)	2,000
公有財産購入費	1,000	
補償補填及び賠償金	6,200	
水道管移設補償費		

生活関連道整備事業 ⑩境23号線改良工事



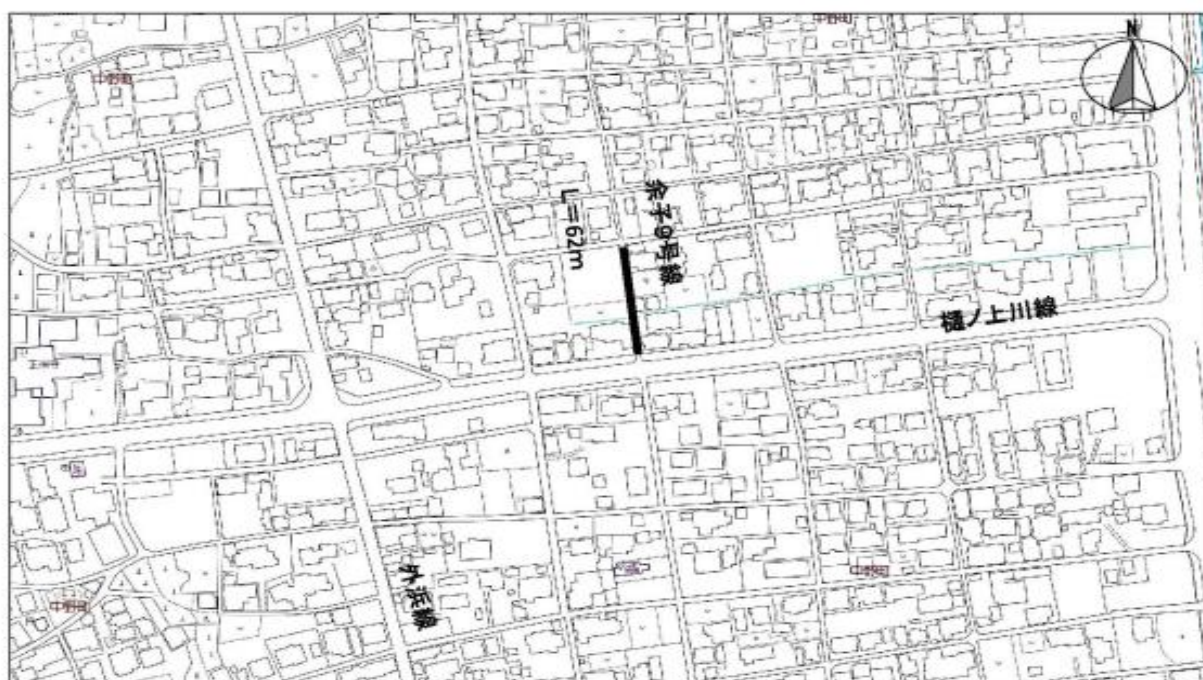
生活関連道整備事業 ⑪上道28号線改良工事



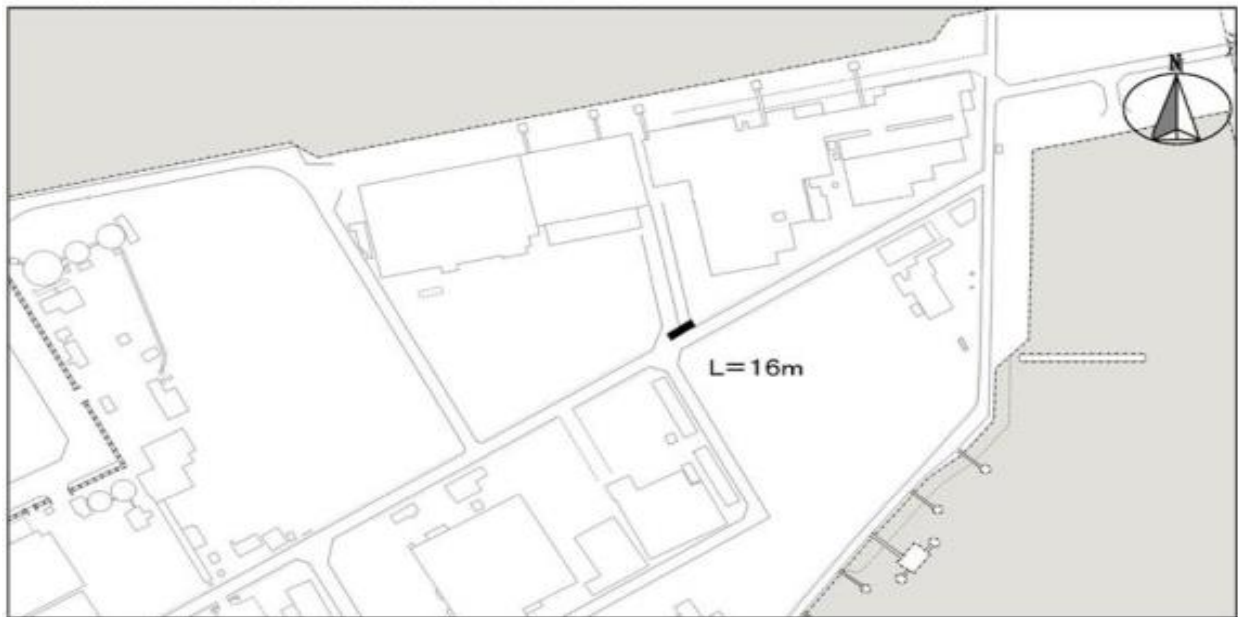
生活関連道整備事業 ⑫境95号線改良工事



生活関連道整備事業 ⑬余子9号線改良工事



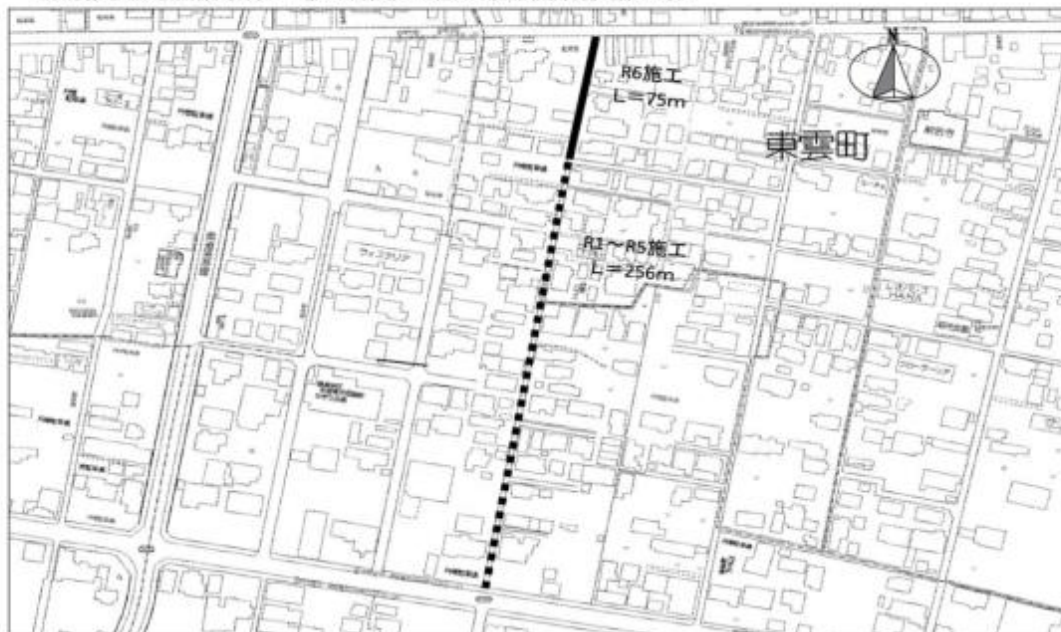
生活関連道整備事業 ⑭境昭6号線改良工事



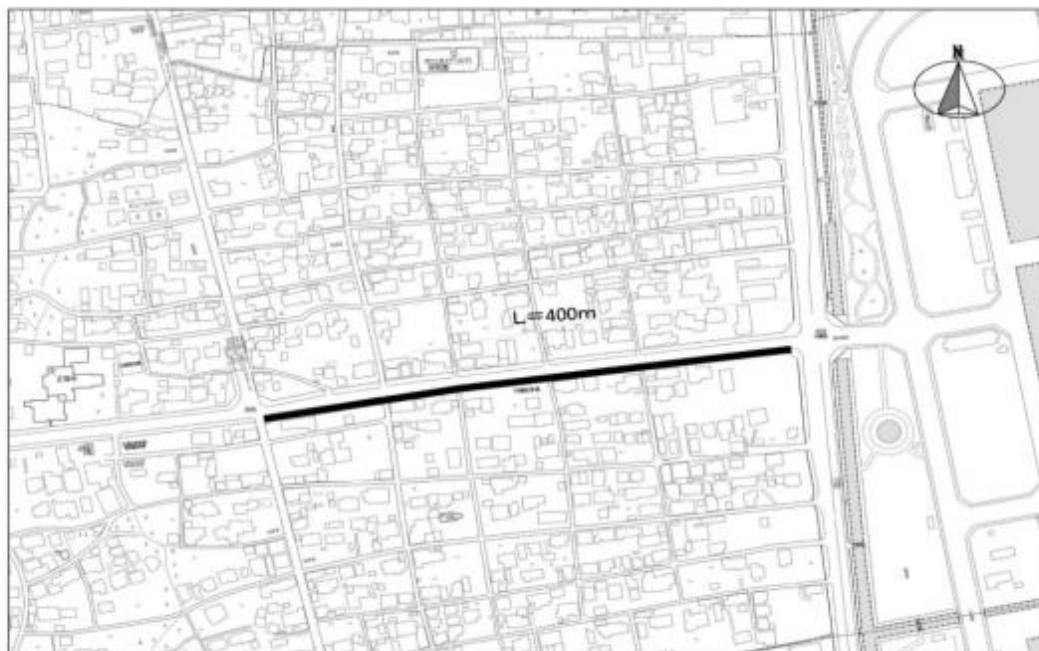
生活関連道整備事業 ⑮余子85号線ほか1路線改良工事



生活関連道整備事業 ⑯入船町上道2号線側溝修繕工事



生活関連道整備事業 ⑰樋ノ上川線点字ブロック修繕工事



所 属	款	項	目	事業名	種 別
管 理 課	8	2	3	中海護岸整備関連事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	渡漁港周辺地区の安全で安心して快適な生活環境の実現を目指す。
-------	--------------------------------

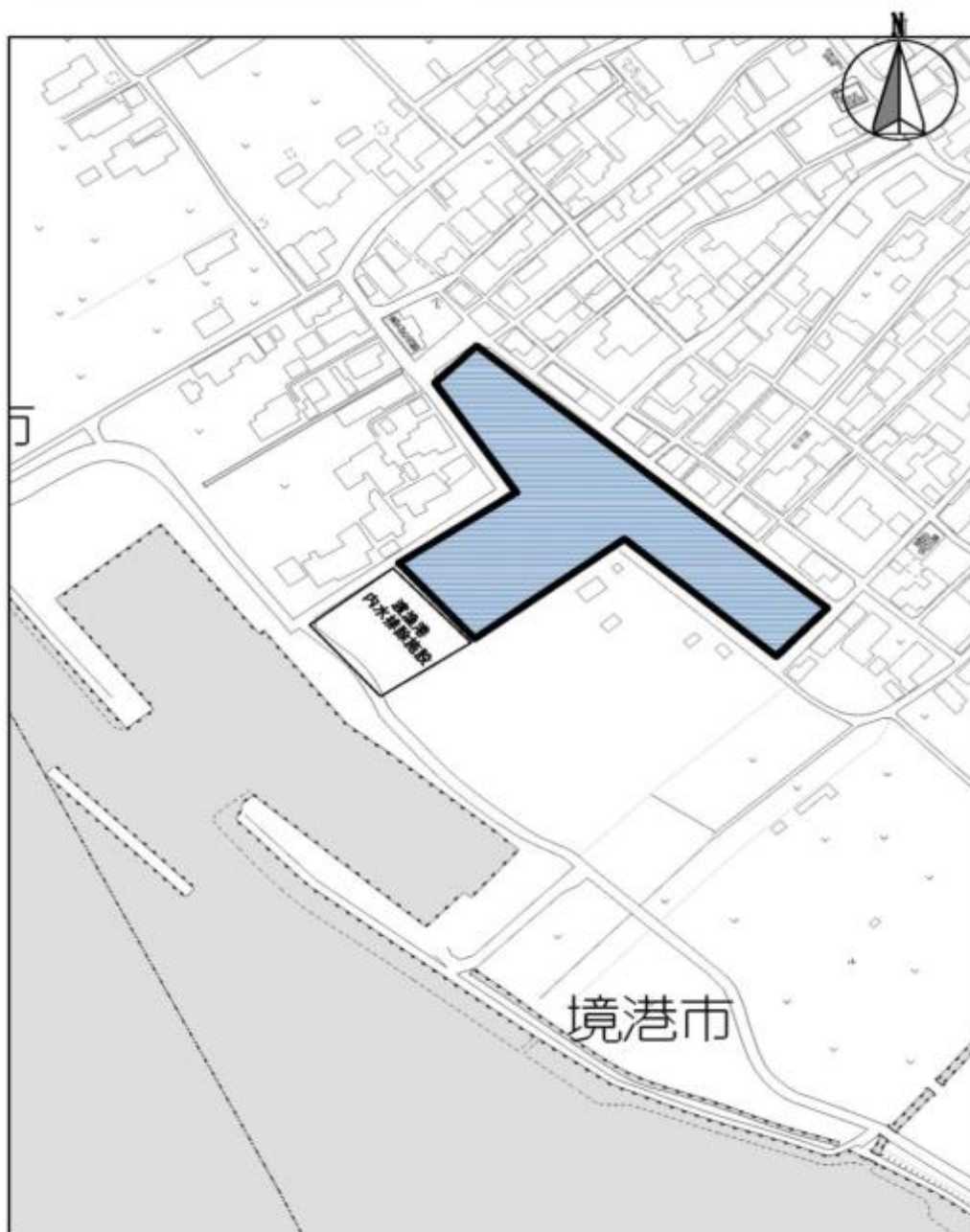
事業概要	国土交通省が進める斐伊川水系の中海護岸整備と併せて、渡漁港周辺の道路拡幅や多目的広場・内水排除施設等の整備を行う。
------	---

現状、背景、課題	国事業である渡漁港の海側への移設、護岸整備により中海からの直接的な浸水被害は解消されるが、渡漁港周辺地区は地盤が低いことに加え、「道路が狭小」、「広場がない」などの状況にあることから、旧渡漁港を埋立て、その敷地を活用し、生活環境の充実を図る必要がある。
----------	--

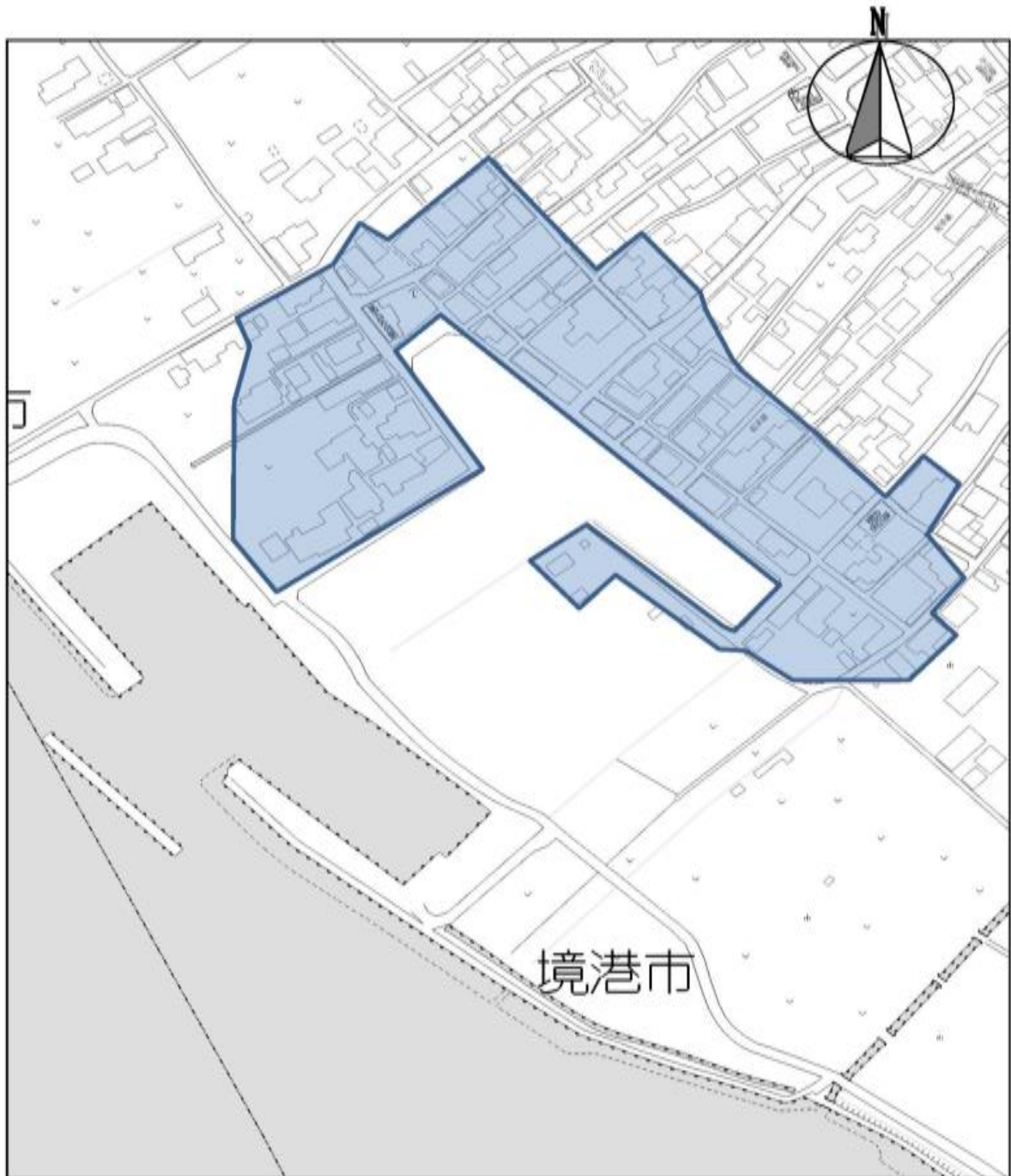
事業計画・効果	<p>国土交通省が行う斐伊川水系の中海護岸整備とあわせて、渡漁港周辺の道路や内水排除施設の整備を一体的に整備することで、渡漁港周辺地区の安全・安心で快適な生活環境の向上を図る。</p> <p>平成28年：新漁港完成（中海湖岸堤整備（短期整備箇所）：国土交通省施工） 平成27年～令和3年：渡84号線整備（L=1,250m） 平成28年：旧渡漁港埋立（1次造成工事） 平成28年～令和3年：旧渡漁港周辺道路整備（L=591m） 平成30年～令和5年：内水排除施設整備 令和5年：旧渡漁港造成 令和6年：広場整備（設計） 令和7年：広場整備（工事）</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		24,416	33,033	8,617					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	17,200	3,700	△ 13,500					
	その他	0	0	0					
一般財源		7,216	29,333	22,117					

令和6年度歳出内訳	旅 費	534
	需 用 費	785
	委 託 料	31,700
	⑱渡漁港広場設計業務委託	5,000
	⑲渡漁港埋立造成工事「地盤変動影響事後調査業務委託」	26,700
	使用料及び賃借料	14
	有料道路通行料	



中海護岸整備関連事業
⑨渡漁港埋立造成工事「地盤変動影響事後調査業務委託」



所属	款	項	目	事業名	種別
管理課	8	2	3	狭あい道路拡幅整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	地域住民の理解と協力のもとに道路幅を拡げ、日常交通の安全や災害時の避難路を確保することにより、安全で安心の市街地形成と快適な住環境の整備を図る。
-------	--

事業概要	道路幅が4m未満の狭あい道路について、道路中心線から2mまでの用地の寄付を受け、市が測量や道路の整備等を行い、道路を拡幅する事業である。
------	--

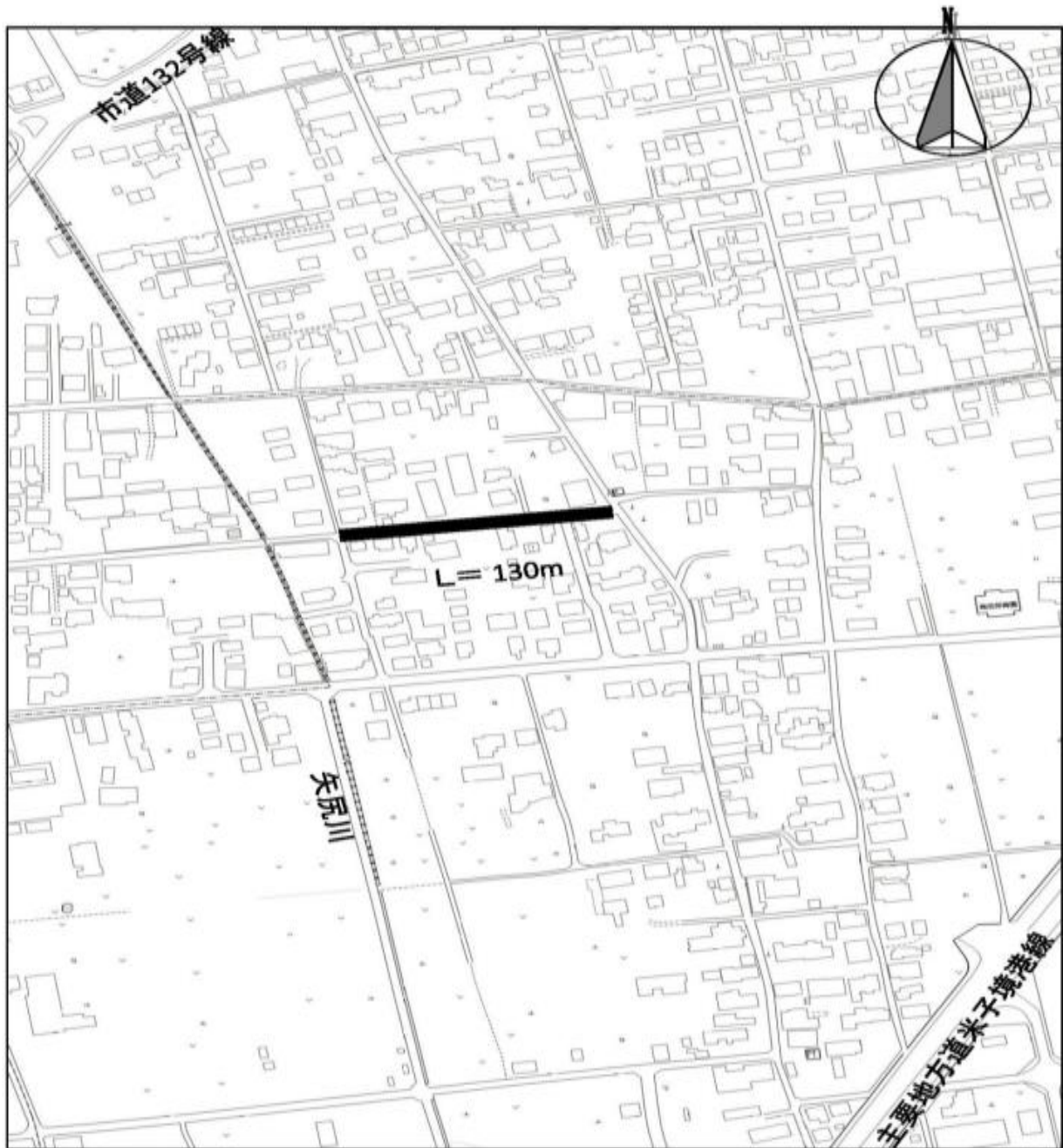
現状、背景、課題	○市道総延長約321kmの内、幅員が4m未満の市道は約160km(約50%) ○これまでには、住宅の新築時等にセットバック部分の寄付を受けていたが、部分的にしか拡幅ができないため、路線全体として拡幅が進んでいない。 ○防災・安全交付金を活用する。
----------	---

事業計画・効果	<p>建築基準法第42条第2項の規定により指定された、道路の幅員が4mに満たない道路について、道路中心線から2mまでの用地の寄付を受け、市が測量や道路整備等を行い、道路を拡幅するもの。</p> <p>平成29年～平成30年：余子42号線（L=70m（竹内町）） 平成29年～平成30年：外江三軒屋線（L=80m（三軒屋町）） 令和3年～令和4年：余子3号線（L=105m（竹内町）） 令和3年～令和4年：余子152号線（L=100m（竹内町）） 令和4年～令和6年：外江15号線（L=270m（外江町）） 令和6年～令和8年：外江67号線（L=130m（芝町））</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予算	予算	予算前年度比較	予算	名称			
事業費		37,031	6,700	△ 30,331					
財源内訳	国庫支出金	17,359	3,350	△ 14,009					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	15,600	3,000	△ 12,600					
	その他	0	0	0					
一般財源		4,072	350	△ 3,722					

令和6年度歳出入内訳	<p>委託料</p> <p>②外江67号線狭あい道路拡幅工事「測量・設計業務」(L=130m)</p>	6,700
------------	---	-------

狭あい道路拡幅整備事業 ②外江67号線狭あい道路拡幅工事「測量・設計業務」



所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	3	1	港湾管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	重要港湾境港の施設整備事業、港湾の利用促進について長期的な展望に立ち港湾計画の実行、拡充を図るため、国等への要望活動を行う。
-------	--

事業概要	国土交通省及び境港管理組合が行う港湾整備事業や利用促進事業等、また地域発展事業を図るため国等への要望活動を行う。
------	--

現状、背景、課題	国内外の物流の増加や重要港湾の機能を向上させるため、国への要望活動などを行い、山陰、中海・宍道湖圏域の港湾施設としての重要な役割を果たす。
----------	---

事業計画・効果	国土交通省港湾局及び県選出国會議員に対して、境港の港湾整備要望を年間3回程度実施する。各種港湾関連団体の総会や意見交換会に出席し、境港の要望を訴える。 (港湾関連団体) 日本港湾協会、港湾都市協議会、中国地区港湾協議会、鳥取県港湾漁港協会、ウォーターフロント協会、日本海にぎわい交流海道ネットワーク、リサイクルポート4港勉強会、みなとオアシス全国協議会（R6は境港市で開催）
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,523	1,186	△ 337					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	236	0	△ 236					
	一般財源	1,287	1,186	△ 101					

令和6年度歳出入内訳	旅 費	1,087
	港湾整備要望活動ほか	
	需 用 費	68
	消耗品費、燃料代	
	使用料及び賃借料	31
有料道路等通行料ほか		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	3	1	境港港湾整備事業地元負担金	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	圏域の経済を支える境港の港湾整備を促進し、地域経済の振興につなげる。
-------	------------------------------------

事業概要	重要港湾境港の港湾管理者（境港管理組合）が行う境港の港湾施設整備について、港湾法及び地方自治法に基づき工事費の一部を市が負担するもの。
------	---

現状、背景、課題	現行の負担割合は、平成22年2月に境港市が同意し、平成22年度当初予算から適用されている。
----------	---

事業計画・効果	<p>■境港公共マリーナ（外港竹内南地区竹内南防波堤） 事業期間：令和4年度～令和10年度 整備概要：防波堤整備、小型栈橋整備、心頭用地整備</p> <p>■竹内南地区航路 事業期間：令和6年度～令和8年度 整備概要：航路浚渫</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		5,250		7,950	2,700		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	4,700		7,100	2,400		
	その他	0		0	0		
	一般財源	550		850	300		

令和6年度歳出入内訳	負担金補助及び交付金	
	■境港公共マリーナ	7,500
	令和6年度 事業費300,000千円×0.25/10 防波堤整備	
	■竹内南地区航路	
令和6年度 事業費18,000千円×0.25/10 測量設計	450	

■境港公共マリーナ（外港竹内南地区竹内南防波堤）



■竹内南地区航路



所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	3	1	Sea級グルメ全国大会in境港実行委員会負担金	新規
境港市まちづくり総合プラン			2-(2)	みなとや海辺等を生かした賑わいづくり	
SDGs	9	産業と技術革新の基盤をつくろう			

事業の目的	「境夢みなとターミナル」の全国に向けた情報発信と、全国の海の幸を市内で気軽に食べられるイベントを通じて、市民に向けても港湾と境港の発展性を体感していただく。
-------	--

事業概要	全国の港の水産物を活かした料理で、地元の人たちに親しまれたグルメ「Sea級グルメ」が集まり、来場者の投票によりその年のSea級グルメ・ナンバーワンを決定するイベント。
------	---

現状、背景、課題	令和2年春の竹内南地区貨客船ターミナルの完成を記念するイベントとして、平成28年から同大会の誘致に取り組み、令和2年度に本市での開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、延期や中止を重ね、令和6年11月9日～10日に本市で開催されることとなった。「境夢みなとターミナル」が令和2年春に供用開始されたことや、近年のクルーズ客船の寄港増加など、境港（さかいこう）の発展性が評価され、令和6年度に本市での開催が決定した。
----------	--

事業計画・効果	<p>【開催概要】</p> <p>大会名称：第15回みなとオアシスSea級グルメ全国大会in境港 開催日時：R6.11.9～11.10 開催場所：境夢みなとターミナル・周辺エリア 主催：みなとオアシス全国協議会、Sea級グルメ全国大会in境港実行委員会</p> <p>【目的等】</p> <p>全国の海の幸を味わうことができる食イベントを楽しんでもらうほか、境港の水産物の全国発信や「みなとを核とした賑わい創造」のきっかけとする。また、マイ食器・リサイクル可能な食器等の利用を促進してゴミを削減することや、ブルーカーボン・ブルーインフラの取り組みをPRし、海の環境保護を積極的に発信する。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	27,291	27,291	27,291	300	ウォーターフロント協会助成金
財源内訳	国庫支出金	0	10,141	10,141	100	みなとオアシス全国協議会助成金
	県支出金	0	4,000	4,000	200	日本海にぎわい交流海道ネットワーク助成金
	地方債	0	0	0	300	みなと総合研究財団助成金
	その他	0	13,150	13,150	12,250	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
	一般財源	0	0	0	0	

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金		27,291		
	【主催実行委員会予算】				
	(収入)	30,423	境港市 27,291 日本財団 3,132		
(支出)	30,423	会場設営費 13,355 広報・デザイン 5,298 スタッフ等 2,915 駐車場等 1,837 併催イベント等 1,760 出展者補助 1,970 その他（リユース食器等） 3,288			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
下水道課	8	4	1	公共下水道事業会計繰出金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	公共下水道事業が担う生活排水の浄化処理及び雨水排除に対して、雨水処理費、水洗化普及費、特殊な起債の元利償還金など、一般会計が負担すべき経費について繰出金として計上し、公共下水道事業経営の適正化と継続的な事業の推進に資する。
-------	---

事業概要	公共下水道事業の財源のうち、雨水施設維持管理費及び建設改良費、水洗化の普及にかかる経費、起債償還金のうち公費で負担すべき部分について、一般会計から繰り出す。
------	--

現状、背景、課題	雨水処理費、水洗化普及費、特殊な起債の元利償還金等に加えて、雨水分の建設改良費など、下水道使用料の充当が相応しくない経費や、処理場建設等の先行投資のために多額となっている元利償還金の一部について、一般会計から繰り出しを行っている。
----------	---

事業計画・効果	公共下水道事業会計のうち、一般会計で負担すべき費用を繰り出す。	
	雨水処理費（維持管理費、減価償却費及び利息）負担金	37,457千円
	水洗化普及費、水質規制費等負担金、特別措置債等（利息）負担金	11,990千円
	分流式下水道経費（減価償却費及び利息）等負担金	393,863千円
	下水道使用料製造業減免補助金	26,684千円
	雨水処理費（元金）、特別措置債等（元金）負担金	146,423千円
	建設改良費補助金（雨水管理総合計画等）	69,380千円

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	677,093	685,797	8,704	25,000	公共下水道事業推進基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	25,000	25,000		
	一般財源	677,093	660,797	△ 16,296		

令和6年度歳出内訳	繰 出 金	685,797
	支払先：境港市公共下水道事業会計	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	4	1	水木しげるロード街なみ環境整備事業（住宅等修景助成）	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(1)	さかな・鬼太郎を核とした観光振興	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	将来にわたり水木しげるロードの賑わいを継続していくためには、公共の行うリニューアル事業（道路改修）以外にも、地元が主体となり沿道の魅力の向上を図ることが必要不可欠である。この事業をきっかけとして、商店街組織等の更なる活性化を図り、子や孫の代までを視野に入れた、より自立性の高い持続的なまちづくりを目指す。
-------	--

事業概要	国土交通省の街なみ環境整備事業を活用し、沿道の店舗等における地元が主体となった景観形成に対する支援を行う。
------	---

現状、背景、課題	水木しげるロードリニューアル事業と並行して、沿道においても修景に関するルール作りの必要性が議論されてきた。これを受け、水木しげるロードの沿道で「街なみ環境整備協定運営協議会」が発足し、「街なみ環境整備協定」が締結され、平成30年度より、修景改修事業がスタートした。実績 H30…5件、R1…6件、R2…3件、R3…4件、R4…4件
----------	---

事業計画・効果	<p>○事業計画</p> <ul style="list-style-type: none"> 住宅等修景助成補助金 見込件数：5件 (アンケートにて回答があった3件を含め、過去5年間の実績件数の平均) <p>○効果</p> <p>地元主体となった独立性の高い、持続的なまちづくりを促進させる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	10,000		10,000	0	4,290	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	4,285	4,285	0		
	県支出金	1,425	1,425	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	4,290	4,290	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金			
	区 分	金 額	見込件数	説 明
	住宅等修景助成補助金	10,000	5件	改修費用等の7/9 (上限200万円)
負担割合（補助7/9）：国3/9、県1/9、市3/9、所有者2/9				

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	4	2	公園維持管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	公園を適正に維持管理し、快適かつ安全に利用できる環境を維持・形成することを目的とする。
-------	---

事業概要	公園が安らぎと憩いの場、レクリエーションやコミュニティー活動の場、災害時の避難場所などとして、快適かつ安全な空間となるように、遊具・トイレ・樹木などの公園施設の維持管理や除草・清掃などの環境美化に努める。
------	--

現状、背景、課題	公園が市民に親しまれ、地域の憩いの場となるためには、日常の維持管理が必要不可欠である。身近な住民が主に利用する公園の除草や清掃などの維持管理については、身近な住民に積極的な参加を促し、住民が愛着を持って利用できる公園を目指す。
----------	---

事業計画・効果	年間を通じて、遊具・トイレ・樹木などの公園施設の維持管理や除草・清掃などの環境美化を進める。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	44,627	42,258		△ 2,369	515	公園占用料
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	6	公園電力使用料
	県支出金	0	0	0	80	自動販売機電力使用料
	地方債	0	0	0		
	その他	557	601	44		
	一般財源	44,070	41,657	△ 2,413		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	872
	除草ボランティア・放置自動車立会人	
	需 用 費	5,718
	光熱水費、修繕料ほか	
	役 務 費	505
	建物（トイレ）損害保険ほか	
	委 託 料	33,785
	境台場公園灯台管理業務	141
	公園遊具点検業務	674
	樹木等維持管理業務	30,704
	公園芝生維持管理業務	356
	トイレ清掃業務	1,892
	トイレ浄化槽保守点検業務	18
	使用料及び賃借料	264
	公園トイレ下水道使用料	
工事請負費	1,100	
公園遊具等修繕工事		
公 課 費	14	
自動車重量税		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	4	2	都市公園遊具更新事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	公園利用者が安心・安全に利用できる遊具を提供する。
-------	---------------------------

事業概要	公園利用者や当該公園が所在する自治会と意見交換を行い、老朽化の著しい遊具を順次更新する。
------	--

現状、背景、課題	劣化や老朽化が著しく、部分補修では利用者の安全の確保が難しくなってきた遊具を順次更新する。
----------	---

事業計画・効果	下ノ川2号公園の老朽化した2連ブランコを更新する。
---------	---------------------------

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,892	1,758		△ 134	1,758	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,892	1,758		△ 134	
	一般財源	0	0		0	

令和6年度歳出内訳	工事請負費 下ノ川2号公園遊具更新工事
-----------	------------------------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	4	2	境中央公園改修事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進
				1-(7)	障がいのある方が地域で安心して暮らせる社会の構築
				4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	広い空間の中で憩いの場となる環境整備と、「インクルーシブ遊具」の設置など、子どもから高齢者、障がいのある方からない方まで、幅広い年齢層が利用しやすい公園に改修し、日常的に多くの人が行き交い、誰もが快適で安全に利用できる公園として整備する。
-------	---

事業概要	境中央公園と隣接するみなとテラスとの一体感を創出し、広い空間の中で憩いの場となり、日常的に多くの人が行き交い、子どもから高齢者、障がいのあるなし問わず、誰もが快適で安全に利用できるインクルーシブ公園として改修する。
------	---

現状背景、課題	整備後40年以上が経過し、遊具などの設備の老朽化が進行しているほか、園内には歩行の妨げとなる段差が多数ある状態。使われていない花壇を撤去するなど、広いスペースを確保し、市民交流センターからも利用可能で開放的な公園整備が必要。
---------	--

事業計画・効果	<p>■境中央公園の主な改修内容 植栽の撤去・移植、園路の整備、インクルーシブ遊具の設置、給排水整備、照明整備</p> <p>■スケジュール ・令和6年5～6月：防衛省交付申請→交付決定 ・令和6年7月：起工→入札→契約 ・令和6年8月～令和7年3月：工事</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		21,622	152,379	130,757	13,674	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	14,414	100,905	86,491			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	5,400	37,800	32,400			
	その他	1,808	13,674	11,866			
	一般財源	0	0	0			

令和6年度歳出内訳	委託料	1,021
	境中央公園改修工事積算業務	
	工事請負費	151,358
	境中央公園改修工事	

■境中央公園改修事業



所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	8	4	2	竜ヶ山エリア屋根付き広場整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(3)	快適な生活環境づくり（空家の解体促進・防犯対策など）
				4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	夏場の熱中症対策や雨天時にもスポーツや健康イベントなどでの利用、災害時には緊急避難場所との利用など多目的に活用できる屋外施設として屋根付き広場を整備する。
-------	---

事業概要	竜ヶ山球場の南側に、スポーツや健康イベント、災害時の緊急避難場所など多目的に活用できる屋根付き広場を整備する。
------	---

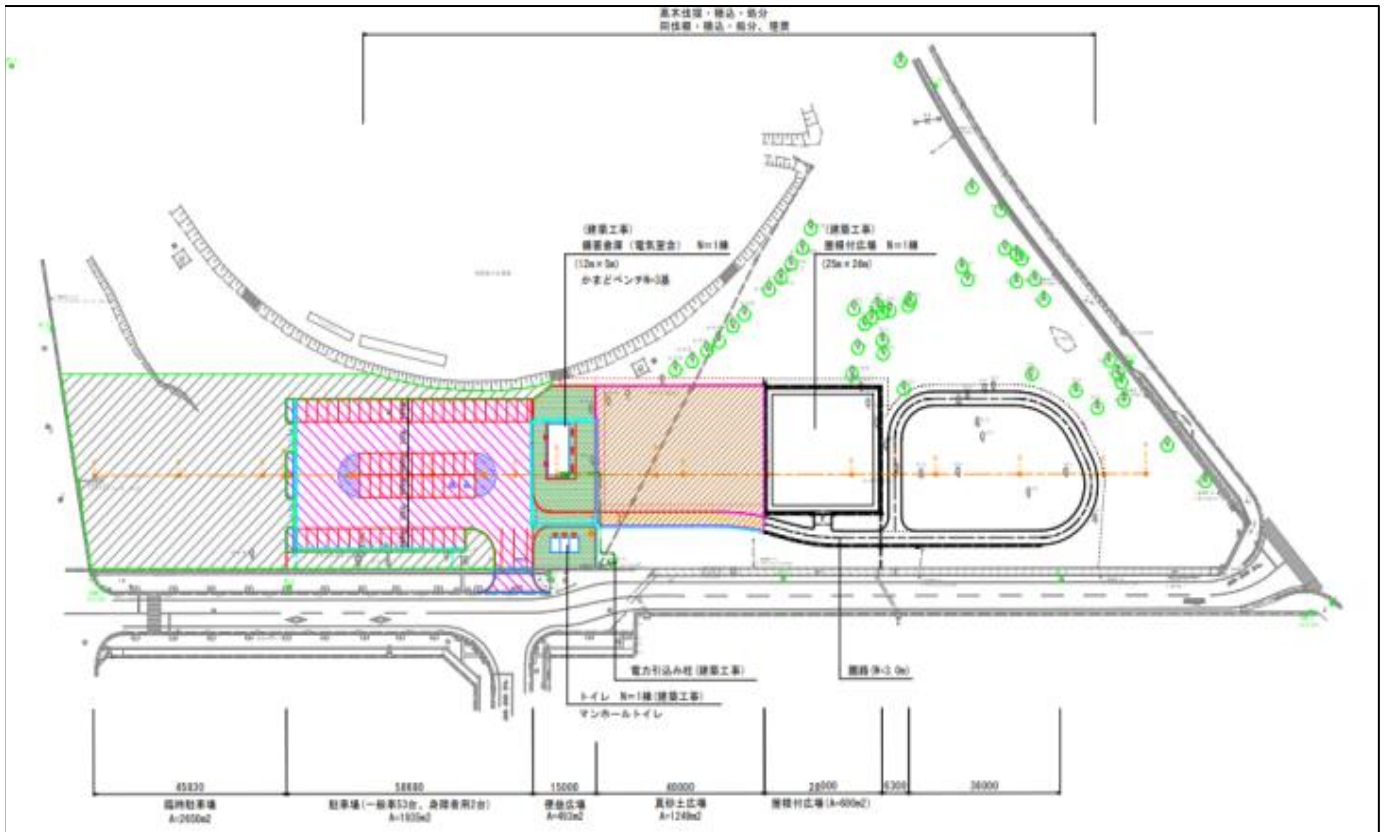
現状、背景、課題	竜ヶ山エリアは、陸上競技場・野球場などスポーツ施設が集積しており、自衛隊官舎や三軒屋町に加え、夕日ヶ丘地区の宅地分譲により人口の増加も進んでいる。
----------	---

事業計画・効果	■竜ヶ山エリア屋根付き広場の主な整備内容 防災備蓄倉庫・防災用トイレの新築、かまどベンチ・マンホールトイレの整備、駐車場の整備、真砂土広場の整備
	■スケジュール ・令和6年5～6月：防衛省交付申請→交付決定 ・令和6年7月：起工→入札→契約 ・令和6年8月～令和7年3月：工事
	■令和7年度の整備予定 屋根付き広場（600㎡）の新築、スケートボードヤードの整備

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	61,379	134,065	72,686	841	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	37,772	88,824	51,052		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	19,600	44,400	24,800		
	その他	4,007	841	△ 3,166		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出入内訳	委託料	2,247
	工事に係る工事監理業務	1,418
	竜ヶ山エリア屋根付き広場整備工事積算業務	829
	工事請負費	131,818
	竜ヶ山エリア屋根付き広場整備工事	

■竜ヶ山エリア屋根付き広場整備事業



所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	5	1	市営住宅管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	市営住宅の維持・管理を適切に行い、入居者の生活環境を守る。
-------	-------------------------------

事業概要	市営住宅9団地22棟329戸（令和6年4月1日現在）の維持・管理を行うための経費。
------	---

現状、背景、課題	多くの市営住宅が老朽化し、維持・管理費がかさんでいる。
----------	-----------------------------

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・境港市公営住宅等長寿命化計画に基づき、令和6年度については既存ストックの延命化のために上道団地10棟の外壁修繕と遊具修繕を実施する。 ・費用対効果を高めるため、建物保険を公営住宅に特化し補償も手厚い全国公営住宅火災共済機構へ変更する。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		18,926	20,775	1,849	20,405		市営住宅使用料等		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	220		共済給付金		
	県支出金	0	0	0	150		手数料・占用料		
	地方債	0	0	0					
	その他	18,926	20,775	1,849					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	需用費	12,657
	消耗品費	84
	燃料費	33
	印刷製本費	52
	光熱水費	665
	修繕料	11,823
	退去修繕ほか	6,580
	その他修繕（上道団地関係）	5,228
	公用車法定点検費用等	15
	役務費	1,322
	通信運搬費	93
	手数料	600
	保険料	629
	委託料	6,237
	委託料（エレベーター点検委託ほか）	4,220
	施設警備委託料	330
	施設清掃委託料（貯水槽清掃）	1,056
	消防設備保守点検委託料	631
	使用料及び賃借料	227
	土地借上料	56
	施設借上料	2
下水道使用料	35	
量水器借上料	134	
備品購入費（消火器更新）	332	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	5	1	市営住宅建替事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	境港市長寿命化計画等に基づき市営住宅管理戸数の縮減・適正化を行うことで、住宅に困窮する低所得者に対して適切な市営住宅を供給する。
-------	--

事業概要	老朽化した既存住宅の集約、一部建替および政策空家対象住宅の解体を行う。
------	-------------------------------------

現状、背景、課題	R5.10月現在、政策空家対象住宅（5棟31戸）は、空家25戸、入居世帯6戸である。棟毎の入居状況がまばらなこともあり、防犯、環境面での管理が難しい状況にある。
----------	--

事業計画・効果	老朽化した既存住宅を集約、一部建替を行うことにより、政策空家対象住宅の解体と管理戸数の縮減を行う。 令和6年度は、誠道団地2棟10戸（2DK）を建設する。												
	【実績・計画】												
	<table border="1"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>解体：5棟15戸（誠道）</td> </tr> <tr> <td>令和2年度 （令和3年度に繰越）</td> <td>建設：1棟5戸（一般）（1DK） 解体：4棟14戸（誠道）</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>建設：1棟5戸（SH）（1DK） 集会室（LSA室） 変更設計 解体設計：47A・47B・渡5～10 解体：2棟7戸（47B・渡11～12）</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>建設：1棟5戸（SH）（2DK） 解体：4棟16戸（47A・渡5～10）</td> </tr> <tr> <td>令和5年度 （令和6年度に繰越）</td> <td>解体：2棟10戸（中野・渡1～4）</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>建設：2棟10戸（一般5戸・SH5戸） （2DK）</td> </tr> </table>	令和元年度	解体：5棟15戸（誠道）	令和2年度 （令和3年度に繰越）	建設：1棟5戸（一般）（1DK） 解体：4棟14戸（誠道）	令和4年度	建設：1棟5戸（SH）（1DK） 集会室（LSA室） 変更設計 解体設計：47A・47B・渡5～10 解体：2棟7戸（47B・渡11～12）	令和5年度	建設：1棟5戸（SH）（2DK） 解体：4棟16戸（47A・渡5～10）	令和5年度 （令和6年度に繰越）	解体：2棟10戸（中野・渡1～4）	令和6年度	建設：2棟10戸（一般5戸・SH5戸） （2DK）
	令和元年度	解体：5棟15戸（誠道）											
	令和2年度 （令和3年度に繰越）	建設：1棟5戸（一般）（1DK） 解体：4棟14戸（誠道）											
	令和4年度	建設：1棟5戸（SH）（1DK） 集会室（LSA室） 変更設計 解体設計：47A・47B・渡5～10 解体：2棟7戸（47B・渡11～12）											
	令和5年度	建設：1棟5戸（SH）（2DK） 解体：4棟16戸（47A・渡5～10）											
	令和5年度 （令和6年度に繰越）	解体：2棟10戸（中野・渡1～4）											
令和6年度	建設：2棟10戸（一般5戸・SH5戸） （2DK）												
SH：シルバーハウジング LSA：ライフサポートアドバイザー（生活相談員）													

歳入・歳出の推移 （単位：千円）	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	162,156	275,531	113,375		
財源内訳	国庫支出金	81,078	137,765	56,687	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	80,900	137,700	56,800	
	その他	0	0	0	
	一般財源	178	66	△ 112	

令和6年度歳出内訳	委託料	3,558
	監理委託料	
	工事請負費	270,798
	新築（2棟10戸）	
	補償補填及び賠償金	1,175

所 属	款	項	目	事業名	種 別
建築営繕課	8	5	1	住宅セーフティネット支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(10)	生活困窮者に対する支援の充実	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	市営住宅の存在しない地区に居住する住宅確保要配慮者のうち子育て世帯に対して円滑かつ安定して住宅を供給する。
-------	---

事業概要	市営住宅の存在しない地区に居住する住宅確保要配慮者のうち子育て世帯を入居させるための専用賃貸住宅を整備する大家等に対する補助。
------	---

現状、背景、課題	住宅確保要配慮者は今後も増加見込みだが、住宅セーフティネットの根幹である公営住宅は既存ストックの充実化は行っているものの、大幅な増加は見込めない。一方、民間賃貸住宅は空家・空室が増加。相談の多かった子育て世帯については、本事業による補助対象となっているが、その他の世帯については公営住宅の建替時に検討する。
----------	---

事業計画・効果	【効果】 国が提言している住宅確保要配慮者の入居を拒まない市内の民間賃貸住宅を所有する大家等に対して補助をすることにより、住宅確保要配慮者の居住の安定を図ると共に民間賃貸住宅の空家解消を図る。
	○住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化補助 公営住宅の存在しない小学校区（境・誠道町を除く余子・中浜）に居住し、様々な事情により校区を変更せずに公営住宅並みの家賃の住宅への転居を希望する子育て世帯を入居させるための住宅確保要配慮者専用賃貸住宅を所有する大家等に対する補助金。 ○住宅確保要配慮者家賃債務保証料低廉化補助 入居契約の際の保証人が確保できない住宅確保要配慮者に対する家賃債務保証料の補助金。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,620	2,100	480					
財源内訳	国庫支出金	810	1,050	240					
	県支出金	405	525	120					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	405	525	120					

令和6年度歳出入訳	負担金補助及び交付金	2,100
	住宅確保要配慮者専用賃貸住宅家賃低廉化補助金	1,920
	補助上限4万円(月額家賃)×12月分×4人(継続1件・新規3件)	
	負担割合:国1/2、県1/4、市1/4	
	住宅確保要配慮者家賃債務保証料低廉化補助金	180
	補助上限6万円(補助率10/10)×3人	
	負担割合:国1/2、県1/4、市1/4	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	9	1	2	消防団活動費	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(7)	地域防災力の強化・充実
				4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的
消火活動をはじめ、あらゆる災害から市民の生命、財産を守るため、地域の防災力の中核として大きな役割を担っている消防団の機能の維持及び活動を強化する。

事業概要
消防団の活動に要する経費（報酬・各種手当・資機材整備・訓練活動等）

現状、背景、課題
消防団は本部及び6つの分団で構成されている。団員の条例上の定数は116人であるが、団員数は減少傾向にあり、令和6年2月1日現在で89人である。
令和4年度に「境港市消防団あり方検討委員会」で検討し、現在の6分団体制の維持を基本とし、団員獲得のため、さまざまな媒体を活用した広報や地域との連携強化、また、団員の減少等により維持が困難になった分団が生じた場合は、団本部内に団本部分団を創設し、団員の受け入れ体制を整えるなどの報告が、令和5年6月に市長に提出された。

事業計画・効果
編成（令和6年2月1日）
◆条例定数116人、実員89人（男性75人、女性14人）
◆団本部17人 第1分団（境・上道）14人 第2分団（余子）14人 第3分団（中浜）15人
第4分団（渡）12人 第5分団（外江）9人 第6分団（誠道）8人
令和4年度の出動実績（延べ人数）
◆災害現場出動：169人/16件
◆警備警戒出動：373人、教養訓練出動：668人、機械器具点検：168人
消防団は、火災における消火活動はもとより、台風や地震などの自然災害における救助活動など、市民の生命、身体、財産を守る活動を行っている。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		23,260	20,232	△ 3,028	4,346	消防団員退職報奨金			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	3,558	消防団員等公務災害補償費			
	県支出金	1,160	222	△ 938	9	市有地占用料			
	地方債	0	0	0					
	その他	9,414	7,913	△ 1,501					
一般財源		12,686	12,097	△ 589					

令和6年度歳出内訳	報酬	(消防団員年報酬、出動報酬等)	8,988
	災害補償費	(療養補償費、休業補償費、障害補償費等)	3,558
	報償費	(退職報奨金、賞賜金等)	4,378
	旅費	(消防学校研修)	37
	需用費	(出初式、消防団制服、燃料費等)	2,589
	役務費	(通信運搬費、保険料等)	289
	使用料及び賃借料	(出初式会場借上料、下水道使用料、電波使用料等)	169
	負担金補助及び交付金	(中国五県消防関係者大会)	95
公課費	(自動車重量税)	129	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	9	1	2	消防・防災フェア開催事業	継続
境港市まちづくり総合プラン				4-(7)	地域防災力の強化・充実
				4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実
SDGs	2	飢餓をゼロに		3	すべての人に健康と福祉を
	6	安全な水とトイレを世界中に		11	住み続けられるまちづくりを

事業の目的	防災について家庭で話し合ってもらおうきっかけとして、令和4年度に制定した「境港市家族防災会議の日（10月6日）」と消防団等の消防活動を理解してもらおう「消防フェア」を集約し、避難所体験や非常食の試食など、身近に楽しみながら防災全般の知識習得・体験や活動を深めることを目的とする。
-------	---

事業概要	毎年10月6日の「境港市家族防災会議の日」に合わせ、境港市消防団や境港消防署、自衛隊・警察等の防災関係機関と連携し行う、市民の「防災」への意識向上を図るための周知・啓発活動。
------	---

現状、背景、課題	これまで別々で行っていた消防フェアと防災講演会等を合わせた「さかいみなと消防・防災フェア」を令和5年10月1日に初めて開催。約3,000人の来場があり、多彩なイベントを通じ、境港市や関係機関での防災の取り組み、地域防災力の中核となる「消防団」を知っていただく良い機会となった。
----------	--

事業計画・効果	<p>消防・防災フェア開催に係る経費</p> <ul style="list-style-type: none"> 消防・防災関連車両展示 防災食体験 地震、津波や大雨など自然災害に係る防災講演会 避難所運営訓練 <p>令和6年度以降も継続して実施することで、一人ひとりが防災を自分事として捉え、意識の向上に繋がられるように普及啓発を図る。令和6年度は、9月29日（日）実施予定。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	533	722	189			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	361	361		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	533	361	△ 172		

令和6年度歳出内訳	需用費	467
	消耗品費（美保基地カレー用スプーン、食器皿等）	
	燃料費（起震車燃料代）	
	印刷製本費（ポスター・チラシ）	
	役務費	22
	手数料（クリーニング代）	
	委託料	6
プロパンバス設置委託料		
使用料及び賃借料	227	
会場借上料		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
防災危機管理課	9	1	3	消防団施設整備事業	新規
境港市まちづくり総合プラン				4-(7)	地域防災力の強化・充実
				4-(8)	防災・危機管理体制の強化・充実
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	境港消防団第1分団車庫の雨漏り修繕工事及び第1、第4、第5分団のホース乾燥塔のサビ止め、塗装修繕を行い、消防団車庫等の適切な維持管理を行い、消防団活動の円滑化を図る。
-------	---

事業概要	境港市消防団第1分団車庫の雨漏り修繕工事及び第1、第4、第5分団のホース乾燥塔修繕を行う。
------	---

現状、背景、課題	第1分団車庫の屋根が錆や腐食による破損により雨漏りが発生した。そのため、車庫2階の天井の剥落と、1階北側壁面の一部にも破損が生じている。また、第1、第4、第5分団のホース乾燥塔に経年劣化による塗装剥離、錆が発生している。
----------	--

事業計画・効果	<p>◆消防団第1分団車庫修繕工事 雨漏りの修繕</p> 
	<p>◆第1、第4、第5分団車庫のホース乾燥塔修繕 腐食、錆部分の修繕</p>  <p>※地域防災拠点の一つである消防団車庫等を適正に管理し、地域防災力の健全な確保に努める。</p>

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		0	6,413	6,413		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	4,800	4,800		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	1,613	1,613		
令和6年度 歳出内訳	工事請負費					6,413
	第1分団車庫修繕工事 (雨漏り、壁面破損部) 第1・第4・第5分団ホース乾燥塔修繕 (錆発生箇所の補修、塗装)					

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校備品整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	老朽化した備品の取替えや新たに必要となった教育備品を購入することで、児童により良い学習環境の場を提供する。
-------	---

事業概要	児童への適切な学習指導を行うため、教育活動に必要な備品購入費を予算化している。
------	---

現状、背景、課題	机・椅子については傷みが激しく、PTA等各所から要望も出ており、服に引っかけて机の上のものや給食などを落としたりする危険性もあるため、必要数を整備する。
----------	--

事業計画・効果	机・椅子の購入（机 88台、椅子 157脚、天板 97枚） 6月 入札 6月～7月中旬 調達 7月中旬～8月 納入
	参考 

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	3,315	6,289	2,974		
財源内訳	国庫支出金	0	3,031	3,031	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	3,315	3,258	△ 57	

令和6年度歳出内訳	需用費	765
	修繕料	
	役務費	210
	廃棄手数料（学校配当分）	
	備品購入費	5,314
	庁用器具費（学校配当および事務局分）	1,670
	児童生徒机イス（廃棄含む）	3,031
	上道小 配膳台	183
	境小 オルガン	192
余子小 シンセサイザー・キーボードスタンド	238	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	小学校施設は、児童が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、危険箇所等の修繕を早急に行い、快適で十分な安全性、衛生的な環境を確保する。
-------	---

事業概要	小学校施設の整備のための費用を予算化している。
------	-------------------------

現状、背景、課題	市内小学校の校舎は昭和40～50年代の建設であり、平成22年度に耐震補強及び大規模改修を実施し、本体部分については不安が減少しているが、設備等の老朽化が顕著であり、施設の維持のための修繕等が年々増えている。
----------	---

事業計画・効果	<p>小学校屋上防水及び外壁劣化部調査業務</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度小学校全校の調査業務委託、実施計画を策定する。 令和7年度以降に順次防水工事や外壁の改修を行う。 <p>老朽化している市内小学校の建物について、適切な改修を行うことによって、児童が安心・安全な学校生活を送ることができる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	10,975	14,315	3,340			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	10,975	14,315	3,340		

令和6年度歳出内訳	需用費	8,784
	余子小学校教室ロッカー取替えほか	
	委託料	614
	小学校屋上防水及び外壁劣化部調査業務	
工事請負費	4,917	
	小学校不要建物解体撤去工事（渡小・上道小）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校指導補助員配置事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	指導補助員を配置することで、特別な支援が必要な児童への個別的な学習支援や補助を行う。
-------	--

事業概要	学力問題や心の問題をはじめ、LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）児童等、特別な支援が必要な児童に対して、各学校に指導補助員を配置する。指導補助員の人件費を予算化している
------	---

現状、背景、課題	平成20年度から各小学校に指導補助員を配置し、現在はすべての小学校を2人体制としている。特別な支援を必要とする児童の数は年々増加しており、学校現場からのニーズは高い。現在の週29時間×40週の配置では、担任との打ち合わせ時間が取れない状況にある。
----------	---

事業計画・効果	週29時間×40週の勤務を1週増やし、週29時間×41週にすることで担任との打ち合わせの時間を確保する。 情報を共有し、より有効な支援を行うことで、児童・生徒が安心して学べる環境が整う。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	20,291	25,797	5,506	25,797	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	20,291	25,797	5,506		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	人 件 費（学校指導補助員12人分）	25,797
-----------	--------------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校グラウンド芝生維持管理事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市内全小学校の校庭の芝生を維持することにより、児童の健康増進や飛び砂の防止、温度上昇の抑制を行う。また、維持管理をシルバー人材センターに委託することにより定期的に適切な芝生の管理を行う。
-------	---

事業概要	市内全小学校の校庭を芝生化している。平成30年度からシルバー人材センターへ維持管理を委託する費用と肥料や芝刈り機の燃料及び修繕費等の経費を予算化している。また、乗用芝刈り機が老朽化しているため年次的に自動芝刈り機を導入する。
------	--

現状、背景、課題	平成20年度に誠道小学校の校庭を芝生化し、平成22年度には残りの6校を芝生化した。維持管理については、保護者・地域と学校、市教委で分担して行っていたが、平成30年度から定期的な管理を行うためシルバー人材センターに業務を委託した。乗用芝刈り機の老朽化とシルバー人材センターの人員不足のため、令和4年度から年次的に自動芝刈り機を導入している。 令和4年度 余子小1台、令和5年度 境小1台 上道小1台
----------	---

事業計画・効果	【自動芝刈り機導入計画】 令和6年度 渡小1台、中浜小1台、令和7年度 外江小1台 【効果】 芝生管理について、R4からの自動芝刈り機導入により、乗用芝刈り機での芝刈りの回数が導入前に比べて約半分になった。またシルバー人材センターに委託することで、自動芝刈り機ではカバーしきれない部分についても適切な管理ができ、教職員の負担軽減につながっている。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	3,804	3,993	189	3,993	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	3,804	3,993	189		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	需用費	1,490
	修繕料ほか	
	委託料	394
	芝刈り委託業務	
	工事請負費	75
	芝刈り機充電電源増設工事	
備品購入費	2,034	
自動芝刈り機購入（渡小、中浜小）		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校体育館改修事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市内小学校体育館の機能維持と利用者の安心・安全の確保を目的とする。
-------	-----------------------------------

事業概要	昭和49年から昭和60年に整備され老朽化が懸念される体育館を年次的に改修する。
------	---

現状、背景、課題	各小学校体育館について部分的な改修は実施されているが、全面的な改修は実施されていない。屋上防水の劣化による雨漏りや外壁の劣化による壁材落下、露筋、床の劣化は施設の耐久性に悪影響を与えるだけでなく利用者の安全確保の点からも問題となる。 改修工事実施年度 平成29年度 余子、令和元年度 上道、令和2年度 渡、令和4年度 中浜、令和5年度 外江
----------	---

事業計画・効果	境小学校体育館改修等工事設計業務 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 境小学校体育館改修等工事設計業務を実施する。 ・令和7年度 令和6年度の工事設計業務に基づき改修工事を行う。 ・境小学校体育館の改修が市内小学校の体育館で最後の改修になる。 <p>老朽化している市内小学校の体育館について、年次的に改修を行うことによって、利用者の安心・安全の確保をすることができる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	70,499	3,154		△ 67,345	854	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	14,345	0	△ 14,345		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	46,300	2,300	△ 44,000		
	その他	9,854	854	△ 9,000		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	委託料 境小学校体育館改修工事設計業務	3,154
-----------	------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校 I C T 教育推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	学習活動の充実を目指し、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を有効的に活用し、I C T 教育を推進する。
-------	---

事業概要	分かりやすく深まる授業を実現するために、I C T 教育を推進する。
------	------------------------------------

現状、背景、課題	令和2年度には国が提唱する「G I G A スクール構想」の早期実現に向けて、一人一台端末や高速大容量通信環境等、I C T 環境整備が加速化された。令和3年度からはI C T 教育を推進している。令和6年度は教育用サーバの更新を行う。
----------	--

事業計画・効果	教育用サーバ更新 9月 入札 9月～11月 調達 12月～1月初旬 設定 1月初旬～中旬 機器入替 2月 リース開始
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	24,805	15,676		△ 9,129	15,676	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	24,805	15,676		△ 9,129	
	一般財源	0	0		0	

令和6年度歳出内訳	需用費	609
	消耗品費	70
	修繕料	539
	役務費	690
	インターネット通信料（学校分）	460
	インターネット通信料（事務局分）	71
	インターネット通信料（貸出用モバイルルーター）	159
	委託料	10,587
	ICT支援業務委託料	10,349
	ネットワーク保守委託料	238
	使用料及び賃借料	3,579
	無線アクセスポイント等借上料	322
	共同利用型サーバ等借上料	122
	ネットワーク回線装置借上料	370
	ハウジングサービス利用料	705
	生徒系プリンター借上料	440
	教育用センターサーバ借上料	250
	教育用サーバデータセンター利用料	216
	鳥取県教育情報通信ネットワークフィルタリングソフト利用料	441
	ウイルス対策ソフトウェアライセンス	713
負担金補助及び交付金	211	
授業目的公衆送信補償金		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校教職員用パソコン設置事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	教職員の校務用パソコンを整備し、校務の円滑化及びセキュリティ機能の強化を図る。
-------	---

事業概要	教職員の校務用パソコンを設置する。
------	-------------------

現状、背景、課題	平成30年度より「学校業務支援システム」及び「勤怠管理システム」が県内で一斉に運用開始され、校務用パソコンの整備は必要不可欠となっている。令和6年度8月で現在のリース契約が終了するため、更新を行う。
----------	---

事業計画・効果	校務用パソコン更新（185台） 4月 入札 4月～5月 調達 6月～7月 設定・データ移行 ※移行が完了した学校からデータ消去（NAS） 8月 機器入替 9月 リース開始
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	4,509	11,775	7,266			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	4,509	11,775	7,266		



令和6年度歳出内訳	需用費	165
	修繕料	
	委託料	4,011
	設定作業委託料	
	使用料及び賃借料	7,599
	小学校教職員用パソコンリース	6,983
	共同利用型サーバ機器等借上料	171
ハウジングサービス利用料	445	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校空調設備改修事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	小学校の空調設備が老朽化等により不具合が目立ってきたため、一括空調方式を個別空調化することで効率的かつ安心な空調整備を行う。また、改修までの間の故障に対する修繕を行う。
-------	--

事業概要	小学校の空調設備について一括空調方式（灯油）から個別空調方式（電気）へ整備を行う。
------	---

現状、背景、課題	空調機器は耐用年数を大幅に過ぎており、令和5年夏に4小学校で空調が止まる状況となった。更新に向けては、防衛補助を活用する考えで令和4年度に上道小学校の騒音測定を実施、4級補助の騒音が認められたため、令和5年度に計画書を提出、令和6年度実施設計、令和7年度に工事を目指してきたが、空調機器の老朽化により全小学校が待てる状況にないと判断し文部科学省の補助を活用し、短期間での改修を目指す。 防衛補助：騒音測定 計画 実施設計 工事 最短で4年で完了 文科補助：実施設計 工事 最短で2年で完了
----------	--

事業計画・効果	<p>【スケジュール】</p> <p>令和5年9月補正 実施設計業務（境・上道・中浜）</p> <p>令和6年4月 学校施設環境改善交付金 交付申請</p> <p>6月 学校施設環境改善交付金 交付決定</p> <p>7月 入札・契約 夏休みに集中して工事を実施</p> <p>8月 残り3校（渡・外江・余子）実施設計業務</p> <p>令和7年4月 学校施設環境改善交付金 交付申請</p> <p>6月 学校施設環境改善交付金 交付決定</p> <p>7月 入札・契約 夏休みに集中して工事を実施</p>
	<p>①工事で設置する部屋と機器：普通教室 天吊空調（室内が狭いため）</p> <p>②リースで設置する部屋と機器：特別教室 床置き空調（室内が広いため）</p>
	<p>① </p> <p>② </p>

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		6,664	314,213	307,549			
財源 内訳	国庫支出金	0	69,990	69,990			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	167,300	167,300			
	その他	0	0	0			
	一般財源	6,664	76,923	70,259			

令和6年度 歳出内訳	需用費					3,040
	余子小学校冷却水ポンプ取替					
	外江小学校送風ファン電動機取替					
	その他修繕工事					
	委託料					28,875
	小学校空調改修工事監理業務（境・上道・中浜）					
	小学校空調改修実施設計業務（渡・外江・余子）					
	使用料及び賃借料					18,012
	境小学校空調リース					
	上道小学校空調リース					
中浜小学校空調リース						
工事請負費					264,286	
境小学校空調改修工事						
上道小学校空調改修工事						
中浜小学校空調改修工事						


所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校トイレ改修事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的
避難所にも指定されている小学校トイレについて改修を行い、通常利用の多い児童や職員、来校される地域の方々が使用しやすいよう改修する。

事業概要
市内小学校トイレについて、ドライ化、洋式化、男女の間仕切り壁設置、多目的トイレ・オールジェンダー対応トイレの設置等の改修を行うことで、通常時の児童や職員、来校される地域の方々、災害時の避難所として利用するすべての方が不自由なく利用できるトイレ空間の実現を目指す。

現状、背景、課題
小学校のトイレは水を使った清掃を行っており不衛生、洋式トイレの個数も少ない。男女の間仕切りも上部が空いている箇所があり安心して利用できるトイレでない。また、令和3年度～令和5年度の小学校連合PTAから改修要望も上がっている。多目的トイレが設置されていない学校もある。（余子・中浜のみ設置あり）

現在のトイレ



事業計画・効果

【スケジュール】

令和6年4月	学校施設環境改善交付金	交付申請
6月	学校施設環境改善交付金	交付決定
7月	入札・契約	夏休みに集中して工事を実施
8月	残り3小学校（境・上道・中浜）	実施設計業務
令和7年4月	学校施設環境改善交付金	交付申請（6小学校）
6月	学校施設環境改善交付金	交付決定
7月	入札・契約	夏休みに集中して工事を実施
令和8年4月	学校施設環境改善交付金	交付申請（3小学校）
6月	学校施設環境改善交付金	交付決定
7月	入札・契約	夏休みに集中して工事を実施

前期に工事する3小学校の工事費

令和6年度

学校	建築	電気	機械	国費
渡		70,000		23,333
外江		80,000		23,333
余子		70,000		23,333

令和7年度

学校	建築	電気	機械	国費
渡		60,000		20,000
外江		80,000		23,333
余子		70,000		23,333

工事を2回に分けて行うことで、対象上限額7,000万円の3分の1の有効的な活用を目指す。

各校のトイレのスペース数、広さが違うため、工事費に差が発生。2期目は1期目工事の残りの施工を行う。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		4,737	240,486	235,749		
財源 内訳	国庫支出金	0	69,990	69,990		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	127,800	127,800		
	その他	4,737	0	△ 4,737		
	一般財源	0	42,696	42,696		

令和6年度 歳出内訳	委託料				20,486
	小学校トイレ改修工事監理業務（渡・外江・余子）				
	小学校トイレ改修実施設計業務（境・上道・中浜）				
	工事請負費				220,000
	余子小学校トイレ改修工事				
	外江小学校トイレ改修工事				
	渡小学校トイレ改修工事				

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	1	小学校プール授業委託事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	水泳のライセンス保有者による指導を行うことで、児童・生徒が水泳の専門的な指導を受け、泳力を高める。市民温水プールを活用することで、熱中症対策、健康面での配慮を行うことができる。プール授業の監視員を委託することで、教員の子どもに費やす時間を確保する。
-------	--

事業概要	今後小中学校のプール維持費は老朽化により上がることが見込まれる。学校のプール授業において、プールの管理の負担、監視員配置の教員不足、気候問題（熱中症や寒い場合）の対応などの負担を解消するため、市民温水プールによる水泳授業に段階的に移行する。
------	--

現状、背景、課題	熱中症対策や寒い中での指導を回避する必要がある。老朽化により、プールの維持・管理費用が上がるが見込まれる。監視員の配置が人員不足により、非常に難しい。水泳指導が苦手な教員が増えつつある。
----------	---

事業計画・効果	<p><事業計画></p> <p>令和5年度 児童・生徒、保護者への説明。</p> <p>令和6年度 モデル校での実施（小学校1、中学校1） 水曜日（休館日）を使って実施 平日の利用できる時間を使い、一般利用者との同時利用についても検証する。 成果と課題の報告・検証</p> <p>令和7年度 全小・中学校の水泳指導を市民温水プールで行う。</p> <p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育担当者とライセンス保有者によるアシスタントコーチによるT.T指導で、児童・生徒が専門的な指導を受けることができるようにすることで、泳力を高めることができる。 ・全天候型の市民温水プールを活用することで、熱中症対策等、児童・生徒の健康面への配慮ができる。 ・監視員の配置により、教職員の負担軽減を図り、子どもに接する時間や教材研究する時間を確保できる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	1,220	1,220			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	1,220	1,220		

令和6年度歳出内訳	委託料	504
	水泳指導委託料	396
	プール監視員委託料	108
	使用料及び賃借料	716
	市民プールコース占有料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	2	2	小学校教師用教科書・指導書購入事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	授業づくりに向けての単元構成の工夫、学習計画の立案、教材研究・評価等の充実のための参考とする。指導者用デジタル教科書を活用することで児童にとって視覚的にも分かりやすい授業展開を行うことができる。教材の準備等を考えると教員の負担が軽減し、働き方改革の推進につながる。
-------	--

事業概要	GIGAスクール構想に伴い、令和6年度から新たに使用する教科書が大幅に改訂となるため、教師用教科書・指導書、指導者用デジタル教科書を購入する。
------	---

現状、背景、課題	現在使用している教科書と比較して、QRコードを利用した動画や静止画の収録数が大幅に増加している。また、プログラミング教育に利用できる素材が増加している。
----------	--

事業計画・効果	<p><事業計画> 教師用教科書・指導書および指導者用デジタル教科書を購入する。 指導者用デジタル教科書については、 国語、算数、理科、社会（5・6年）、地図、英語、音楽、図工、道徳</p> <p><効果> ・動画や静止画の利用等で、視覚的に分かりやすい授業づくりができる。 ・教材の準備にかかる時間が短縮され、働き方改革につながる。 また、生み出された時間を使って、児童と関わったり、 教材研究を深めたりすることができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		851	33,731	32,880	33,731		魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	33,731	33,731					
	一般財源	851	0	△ 851					

令和6年度歳出入内訳	需用費	33,731
	教科書	582
	指導書	33,149

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	1	中学校備品整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	老朽化した備品の取替えや新たに必要となった教育備品を購入することで、生徒により良い学習環境の場を提供する。
-------	---

事業概要	生徒へ適切な学習指導を行うために必要な教育備品の購入費を予算化している。
------	--------------------------------------

現状、背景、課題	机・椅子については傷みが激しく、PTA等各所から要望も出ており、服に引っかけて机の上のものや給食などを落としたりする危険性もあるため、必要数を整備する。
----------	--

事業計画・効果	机・椅子の購入（机 18台、椅子 16脚、天板 19枚） 6月 入札 6月～7月中旬 調達 7月中旬～8月 納入
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,271	2,093		△ 178		
財源内訳	国庫支出金	0	69	69		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	2,271	2,024		△ 247	

令和6年度歳出内訳	需用費	560
	修繕料	
	役務費	105
	廃棄手数料（学校配当分）	
	備品購入費	1,428
	庁用器具費（学校配当および事務局分）	945
児童生徒机イス（廃棄含む）	483	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	1	中学校施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	中学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、危険箇所等の工事、修繕を早急に行い、快適で十分な安全性、衛生的な環境を確保する。
-------	--

事業概要	中学校施設の整備のための費用を予算化している。
------	-------------------------

現状、背景、課題	第二中学校の校舎は、平成25年度に改築を実施しているが、第一中学校の校舎は一番古いもので昭和37年、第三中学校の校舎は昭和59年の建設であり、第一中学校は平成22年度に、第三中学校は令和3年度に大規模改修を実施し、本体部分については不安が減少しているが、設備等の老朽化が顕著であり、施設の維持のための修繕や工事が必要となっている。
----------	---

事業計画・効果	<p><事業計画></p> <p>○中学校の自転車置場の増設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第三中学校の自転車置場の増設工事を行う。また、鳥取県福祉のまちづくり条例に基づき、第三中学校の玄関に自動ドアを整備する。 ・第一中学校の自転車置場の増設工事の実設計を行う。 <p>○中学校屋上防水及び外壁劣化部調査業務（第一中、第二中）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度第一中及び第二中の調査業務委託、実施計画を策定する。 ・令和7年度以降に順次防水工事や外壁の改修を行う。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		5,165	56,410	51,245					
財源内訳	国庫支出金	0	6,110	6,110					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	28,900	28,900					
	その他	0	0	0					
一般財源		5,165	21,400	16,235					

令和6年度歳出内訳	需用費	4,766
	第一中学校高圧気中開閉器取替修繕ほか	
	委託料	4,124
	第一中学校自転車置場増設工事実施設計業務ほか	
工事請負費	47,520	
第三中学校自転車置場増設工事		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	1	中学校指導補助員配置事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	指導補助員を配置することで、特別な支援が必要な生徒への個別的な学習支援や補助を行う。
-------	--

事業概要	学力問題や心の問題をはじめ、LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）生徒等、特別な支援が必要な生徒に対して、各学校に指導補助員を配置する。指導補助員の人件費を予算化している
------	---

現状、背景、課題	平成21年度から各中学校に指導補助員を配置し、現在はすべての中学校を2人体制としてる。特別な支援を必要とする生徒の数は年々増加しており、学校現場からのニーズは高い。
----------	--

事業計画・効果	週29時間×40週の勤務を1週増やし、週29時間×41週にすることで担任との打ち合わせの時間を確保する。 情報を共有し、より有効な支援を行うことで、児童・生徒が安心して学べる環境が整う。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	10,588	13,140	2,552	13,140	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	10,588	13,140	2,552		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	人 件 費（学校指導補助員6人分）	13,140
-----------	-------------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	1	中学校グラウンド芝生維持管理事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	第一中学校の校庭及び第二中学校外構部分の芝生を維持することにより、生徒の健康増進や校庭の飛び砂の防止、温度上昇抑制を行う。また、維持管理をシルバー人材センターに委託することにより定期的に適切な芝生の管理を行う。
-------	---

事業概要	第一中学校の校庭及び第二中学校外構部分を芝生化している。平成30年度からシルバー人材センターへ維持管理を委託する費用と肥料や芝刈り機の燃料及び修繕費等の経費を予算化している。
------	---

現状・背景・課題	平成20年度に実施した誠道小学校の校庭芝生化を受け、第一中学校で平成22年度に芝生化を実施した。第二中学校の外構部分については平成26年度に芝生化している。維持管理については、保護者・地域と学校・市教委で分担して行っていたが、平成30年度から定期的な管理を行うためシルバー人材センターに委託している。乗用芝刈り機の老朽化とシルバー人材センターの人員の確保が難しくなっているため、令和5年度に第一中学校に自動芝刈り機2台を導入した。
----------	---

事業計画・効果	【効果】 芝生管理について、令和5年度に自動芝刈り機2台を導入した第一中学校は、導入前に比べて乗用芝刈り機の利用が約半分になった。またシルバー人材センターに委託することで、自動芝刈り機ではカバーしきれない部分についても適切な管理ができ、教職員の負担軽減につながっている。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	2,245		411	△ 1,834	411	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	2,245	411	△ 1,834		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	需用費	345
	修繕料ほか	
	委託料	66
	芝刈り委託業務	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	1	中学校 I C T教育推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	学習活動の充実を目指し、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を有効的に活用し、I C T教育を推進する。
-------	--

事業概要	分かりやすく深まる授業を実現するために、I C T教育を推進する。
------	-----------------------------------

現状、背景、課題	令和2年度には国が提唱する「G I G Aスクール構想」の早期実現に向けて、一人一台端末や高速大容量通信環境等、I C T環境整備が加速化された。令和3年度からはI C T教育を推進している。令和6年度は教育用サーバの更新を行う。
----------	---

事業計画・効果	教育用サーバ更新 9月 入札 9月～11月 調達 12月～1月初旬 設定 1月初旬～中旬 機器入替 2月 リース開始
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	10,540	4,817		△ 5,723	4,817	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	10,540	4,817		△ 5,723	
	一般財源	0	0		0	

令和6年度歳出内訳	需用費	270
	修繕料	270
	役務費	310
	インターネット通信料（学校分）	230
	インターネット通信料（貸出用モバイルルーター）	80
	委託料	2,341
	ICT支援業務委託料	2,218
	ネットワーク保守委託料	123
	使用料及び賃借料	1,735
	無線アクセスポイント等借上料	126
	共同利用型サーバ等借上料	61
	ネットワーク回線装置借上料	185
	ハウジングサービス利用料	353
	生徒系プリンター借上料	221
	教育用センターサーバ借上料	118
	教育用サーバデータセンター利用料	102
	鳥取県教育情報通信ネットワークフィルタリングソフト利用料	212
	ウイルス対策ソフトウェアライセンス	357
	負担金補助及び交付金	161
	授業目的公衆送信補償金	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	1	中学校教職員用パソコン設置事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	教職員の校務用パソコンを整備し、校務の円滑化及びセキュリティ機能の強化を図る。
-------	---

事業概要	教職員の校務用パソコンを更新し、校務の円滑化及びセキュリティ機能の強化を図る。
------	---

現状、背景、課題	平成30年度より、「学校業務支援システム」及び「勤怠管理システム」が県内で一斉に運用開始され、校務用パソコンの整備は必要不可欠となっている。令和6年度8月で現在のリース契約が終了するため、更新を行う。
----------	--

事業計画・効果	校務用パソコン更新（87台） 4月 入札 4月～5月 調達 6月～7月 設定・データ移行 ※移行が完了した学校からデータ消去（NAS） 8月 機器入替 9月 リース開始
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,286	5,658	3,372			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	2,286	5,658	3,372		

令和6年度歳出内訳	需用費	165
	修繕料	165
	委託料	1,886
	設定作業委託料	1,886
	使用料及び賃借料	3,607
	中学校教職員用パソコンリース	3,335
	共同利用型サーバ機器等借上料	74
ハウジングサービス利用料	198	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	1	中学校プール授業委託事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的
 水泳のライセンス保有者による指導を行うことで、児童・生徒が水泳の専門的な指導を受け、泳力を高める。市民温水プールを活用することで、熱中症対策、健康面での配慮を行うことができる。プール授業の監視員を委託することで、教員の子どもに費やす時間を確保する。

事業概要
 今後小中学校のプール維持費は老朽化により上がることが見込まれる。学校のプール授業において、プールの管理の負担、監視員配置の教員不足、気候問題（熱中症や寒い場合）の対応などの負担を解消するため、市民温水プールによる水泳授業に段階的に移行する。

現状、背景、課題
 熱中症対策や寒い中での指導を回避する必要がある。老朽化により、プールの維持・管理費用が上がるが見込まれる。監視員の配置が人員不足により、非常に難しい。水泳指導が苦手な教員が増えつつある。

事業計画・効果
 <事業計画>
 令和5年度
 児童・生徒、保護者への説明。
 令和6年度
 モデル校での実施（小学校1、中学校1）
 水曜日（休館日）を使って実施
 平日の利用できる時間を使い、一般利用者との同時利用についても検証する。
 成果と課題の報告・検証
 令和7年度
 全小・中学校の水泳指導を市民温水プールで行う。
 <効果>
 ・体育担当者とライセンス保有者によるアシスタントコーチによるT.T指導で、児童・生徒が専門的な指導を受けることができるようにすることで、泳力を高めることができる。
 ・全天候型の市民温水プールを活用することで、熱中症対策等、児童・生徒の健康面への配慮ができる。
 ・監視員の配置により、教職員の負担軽減を図り、子どもに接する時間や教材研究する時間を確保できる。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	656	656			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	656	656		

令和6年度歳出内訳	委託料	324
	水泳指導委託料	297
	プール監視員委託料	27
	使用料及び賃借料	332
	市民プールコース占有料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	2	運動部活動外部指導者活用事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	学校教育活動として位置づけられている運動部活動において、地域の専門的指導者と連携し、生徒が質の高い指導を受けることができ、運動部活動の活性化を図ることが目的である。
-------	--

事業概要	中学校の運動部活動で、顧問が当該種目に関して専門的知識や技術を十分に有しない運動部を対象に、市教育委員会が外部指導者を委嘱・派遣する。指導者の謝金等を予算化している。
------	---

現状、背景、課題	令和元年度から令和5年度の5年間は1人の指導者を配置。学校からの要望により、令和6年度は3人の指導者を配置する。
----------	--

事業計画・効果	令和元年度～令和5年度 1人（第一中・軟式野球部） 令和6年度 3人（第一中・軟式野球部、バスケットボール部、第二中・軟式野球部） ※学校の要望によって、活用を検討。 <効果> 専門的な指導ができる顧問不足の解消や、顧問への負担を軽減できる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	106	318	212	159	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	53	159	106		
	地方債	0	0	0		
	その他	53	159	106		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	報 償 金		300
	100,000円×3人		
	旅 費		12
	3,960円×3人 費用弁償		
役 務 費		6	
1,850円×3人 スポーツ安全保険			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	2	国際理解教育推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	オールイングリッシュの英語プログラムの世界で、これからのグローバルな人材を育成し、英語を使って他者と良好な関係を築こうとする態度を育成する。また、世界の多様な国々の人々との関わりをとおして、豊かな国際感覚、人権感覚を磨くことを目的とする。
-------	---

事業概要	面接、作文により中学生を選考し、アジア諸国などに派遣して国際感覚を身につけ、ホームステイ体験を実施する。未来のグローバル人材を育成し、英語を使って他者と良好な関係を築くコミュニケーション能力の育成を図る。
------	--

現状、背景、課題	平成28年度からの2年間、境港市と関係の深いロシアとの交流の歴史や現在の課題を学ぶため、根室市へ派遣した。平成30年度からの2年間は、シンガポール共和国へ派遣している。令和2年度、3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、派遣を中止とした。令和4年度、5年度は国内で英語を使って英語力や国際感覚を身につける体験型英語プログラムへと変更した。令和6年度以降は海外派遣を再開することとしている。
----------	--

事業計画・効果	<p>英語による面接、作文等の選考により、中学生8人をシンガポール共和国に派遣する。英語圏であり、多文化が共存するシンガポール共和国に派遣し、海外の多文化に触れ、ホームステイ体験をとおして、現地の方々と実践的な英語を使ってコミュニケーション能力を育成することを目的とする。</p> <p>4月：指名競争入札 5月：生徒・保護者案内 6月：派遣者の選考 7月：事前学習会（3回）・シンガポール派遣（3泊4日） 10月：成果報告会（各中学校）</p> <p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・異文化に対する理解の促進と日本文化の良さを再確認できる良い機会となる。 ・英語を使ってより良い人間関係を築こうとする態度を育成する。 ・体験をとおして考えたことや感じたこと、自ら学んだことを表現する力を身につける。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,379	3,711	2,332	3,311	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	400	生徒負担金
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,379	3,711	2,332		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	旅 費		71
	日当、パスポート		
	需 用 費		109
	事前学習資料、ガイドブックほか		79
	募集ポスター作製		30
	役 務 費		36
	海外旅行傷害保険料 4,390円×8人		
	委 託 料		3,495
	シンガポール派遣委託料 286,300円×8人×1.1(生徒)		
	シンガポール派遣委託料 295,500円×3人×1.1(引率)		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	2	スクールソーシャルワーカー活用事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	いじめ、不登校、児童虐待など生徒指導上の問題に対応するため、専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、学校と関係諸機関を結び、支援体制を構築する。
-------	---

事業概要	教育総務課に会計年度任用職員として配置する。定期的な学校訪問を行い、各学校で活用しているアセスメントシート（こどもカルテ）を学校と共有しながら情報収集にあたる。また、小中高生徒指導連絡会、個別支援会議（ケース会議）等に参加し、アドバイス、他機関とのコーディネートを行うことを職務とする。
------	---

現状、背景、課題	児童生徒の課題の背景には、学校生活を起因とするものと、家庭環境を起因とするものがあり、問題を抱える子どもたちを取り巻く環境への働きかけが必要不可欠となっている。学校のみでの対応が難しい現状もあり、関係機関との連携、調整を行うスクールソーシャルワーカーの配置が急務である。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に配置し、他機関と連携しながら問題行動、不登校対応を行う。 ・小中学校生徒指導連絡会（定例会）、個別支援会議にアドバイザーとして参加する。 ・すべての小中学校を巡回し、アセスメントシートの管理に努める。 ・要請に応じて児童生徒、保護者面談を行う。 <p>令和6年度の問題行動件数を前年度の8割以内に抑え、アセスメントシートを活用して、問題行動、不登校の未然防止に努める。（問題行動件数前年度比2割減、支援が入っていない不登校児童生徒0を目指す）</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,418	6,274	3,856			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	1,576	4,114	2,538		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	842	2,160	1,318		

令和6年度歳出内訳	人件費 スクールソーシャルワーカー2人分	6,174
	需用費 関係図書、ファイル	20
	役務費 通信運搬費	11
	使用料及び賃借料 パソコンリース料	69

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	2	特別支援教育総合推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(3)	家庭に寄り添った子育て支援の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	発達障がいを含むすべての障がいのある幼児・児童・生徒への就学に係る保護者や園及び学校担当者と教育相談等を行い、適切な就学に向けての支援を行う。また、特別支援教育担当者や管理職を対象とした研修の計画等を行う。その他、園や学校の各クラスを参観した上で、具体的な支援について助言する。
-------	---

事業概要	発達障がいを含むすべての障がいのある幼児・児童・生徒への一貫した支援を行うため、幼稚園・保育所、小学校、中学校における特別支援教育を総合的に推進するため、地域支援コーディネーターを複数配置する。適切な就学に向けての教育相談等の支援や園や学校での様子を参観した上で、各クラスにおける具体的な支援を行う。
------	--

現状、背景、課題	発達障がいを含むすべての障がいのある幼児・児童・生徒への教育的ニーズが増加してきており、幼稚園・保育所、学校等を含む関係機関との連携やさらなる地域の体制整備を行ってきた。現在、園からの就学判定依頼や小中学校の特別支援学級の在籍する児童・生徒数が増加傾向にあり、一人のコーディネーターでは、対応が難しい状況にある。
----------	--

事業計画・効果	<p>令和5年度より、特別支援教育コーディネーターを1人増員し、2人体制で業務を行っている。</p> <p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> 教育相談数の増加及び複数体制で対応できるようになった。 令和4年度：延べ50件 令和5年度：延べ136件 今後も予定あり 小中学校での学級経営について、管理職や主任、担任に 単元構成や学習内容等、具体的な助言を行うことができた。 就学支援委員会にあがるすべての児童・生徒の学習等、 学校生活の様子を参観し、実態を把握した上で、 就学支援委員会で委員に特性等について具体的な説明を行った。 これまでは幼保の年長児の参観を行い、 就学判定を原則12月の就学支援委員会で行ってきたが、 複数体制になったことで、年中児の参観ができるようになり、 令和6年度より、園児によっては小学校での体験活動を早め、 就学判定を8月の就学支援委員会で行う予定である。 <p><就学支援委員会判定実績></p> <p>令和元年度 8月：11人 12月：23人 令和2年度 8月：13人 12月：23人 令和3年度 8月：12人 12月：32人 令和4年度 8月：15人 12月：33人 令和5年度 8月：9人 12月：36人</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		4,957	6,782	1,825	6,782	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	4,957	6,782	1,825		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度 歳出内訳	人件費	6,668
	特別支援教育コーディネーター2人分	
	需用費	114
	関係図書、DVD、ファイル	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	2	中学校部活動指導員配置事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	中学校における部活動に係る教員の負担軽減や部活動の質的な向上を図ることを目的とし、各中学校に部活動指導員を配置する。
-------	--

事業概要	指導員が学校の教育計画に基づき、生徒の自主的な参加により行われる部活動において、校長の監督を受け、技術指導、大会等への引率、生徒指導に係る対応、事故発生時の現場対応等に従事する。
------	---

現状、背景、課題	中学校の教員にとって部活動は過重負担の原因の一つとなっている。各部活動に指導力があり、専門性の高い部活動指導員を配置することで、教員の働き方改革を促進させ、生徒にとっても部活動を充実させることができる体制を継続して構築したい。
----------	---

事業計画・効果	令和元年度 : 各中学校に1人配置 令和2、3年度 : 各中学校に2人配置 令和4、5年度 : 各中学校に3人配置 令和6年度 : 各中学校に4人配置 令和7年度(予定) : 各中学校に5人配置 (全体の部活動数の5割)																			
	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <th colspan="5">令和6年度配置予定</th> </tr> <tr> <td>第一中</td> <td>軟式野球</td> <td>陸上競技</td> <td>ソフトテニス</td> <td>バスケット</td> </tr> <tr> <td>第二中</td> <td>ソフトテニス</td> <td>剣道</td> <td>バスケット</td> <td>吹奏楽</td> </tr> <tr> <td>第三中</td> <td>サッカー</td> <td>卓球</td> <td>バスケット</td> <td>未定</td> </tr> </table> <p>教員の業務から部活動指導業務を軽減し、教員が本来行うべき業務により専念できる体制が構築できる。部活動指導員を配置した部の顧問については、1週間で11時間、他の業務(教材研究や授業準備、家庭訪問等)に専念できる。また、生徒は専門性のある指導者のもとで質の高い指導を受けることが可能となる。 令和7年度までに各中学校の部活動の半数を部活動指導員が担う体制を構築する。</p>	令和6年度配置予定					第一中	軟式野球	陸上競技	ソフトテニス	バスケット	第二中	ソフトテニス	剣道	バスケット	吹奏楽	第三中	サッカー	卓球	バスケット
令和6年度配置予定																				
第一中	軟式野球	陸上競技	ソフトテニス	バスケット																
第二中	ソフトテニス	剣道	バスケット	吹奏楽																
第三中	サッカー	卓球	バスケット	未定																

歳入・歳出の推移 (単位:千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称	
事業費	3,774	5,041	1,267	1,681	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	2,516	3,360	844		
	地方債	0	0	0		
	その他	1,258	1,681	423		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出入内訳	人件費(中学校部活動指導員12人分)	5,041		
	報酬 1,520円×230時間×12人	4,196		
	費用弁償	845		
	8,000円×12月 ×5人(米子市)			
	2,200円×12月 ×6人(境港市)			
	17,200円×12月 ×1人(松江市)			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	3	2	地域クラブ活動推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(2)	新しい時代を生き抜く力を育む学校教育の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	令和7年度末までを学校部活動を地域へと移行する「改革推進期間」と位置づけ、体制整備を進める。また、生徒の健全育成及び教職員の負担軽減を図るために、地域の運営団体や実施団体と学校とが連携し、部活動改革に段階的に取り組むことを目的とする。
-------	---

事業概要	学校部活動を地域クラブ活動へと移行し、教員が休日の部活動に従事しなくてもよい環境を構築する。また、将来にわたり子どもたちが様々な活動の機会を確保するために段階的な体制整備を進める。それに向けた地域クラブに係る運営費を予算化する。
------	--

現状、背景、課題	地域クラブ活動の整備方法等は、地域の実情に応じた多様な方法があることを踏まえ、学校と地域とが連携しながら、生徒の活動機会や指導者、講師を確保していくことが今後の課題である。
----------	--

事業計画・効果	令和5年度：													
	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <th colspan="2">休日における地域移行</th> </tr> <tr> <td>軟式野球</td> <td>(境港SBC・余子マリナーズ)</td> </tr> <tr> <td>陸上競技</td> <td>(境港J. H. S T&F)</td> </tr> <tr> <td>ハンドボール</td> <td>(S. H. C)</td> </tr> <tr> <td>卓球</td> <td>(さんたくHUMMERS)</td> </tr> <tr> <td>サッカー</td> <td>(境港サッカー教室FC)</td> </tr> <tr> <td>写真クラブ</td> <td></td> </tr> </table> <p>鳥取県文化部活動地域移行推進事業を活用し、文化部の地域クラブを立ち上げ、活動を実施。</p> <p>令和6年度：昨年度同様に県の推進事業を活用し、文化部の地域クラブ活動を継続して実施する。 (写真クラブ・補助率10/10)</p> <p>生徒の興味関心に応じた文化芸術に親しむ機会の確保に取り組む。平日に運動部活動に所属する生徒も休日には文化芸術活動に参加できるような、誰もが参加できる地域文化クラブ活動を実施する。</p>	休日における地域移行		軟式野球	(境港SBC・余子マリナーズ)	陸上競技	(境港J. H. S T&F)	ハンドボール	(S. H. C)	卓球	(さんたくHUMMERS)	サッカー	(境港サッカー教室FC)	写真クラブ
休日における地域移行														
軟式野球	(境港SBC・余子マリナーズ)													
陸上競技	(境港J. H. S T&F)													
ハンドボール	(S. H. C)													
卓球	(さんたくHUMMERS)													
サッカー	(境港サッカー教室FC)													
写真クラブ														

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		268	220	△ 48	6	文化部活動個人参加費
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	21	142	121		
	地方債	0	0	0		
	その他	247	6	△ 241		
	一般財源	0	72	72		

令和6年度 歳出内訳	報 償 費					95
	連絡協議会出席謝金	3,000円×8人×3回				
	写真クラブ講師謝金	1,520円×3時間×5回				
	旅 費					2
	費用弁償					
	需 用 費					104
	消耗品、現像代					
役 務 費					10	
切手代、保険料						
使用料及び賃借料					9	
会場借上料等						

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	1	文化財保護事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			3-(4)	文化芸術活動の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市内にある重要な文化財を保存、活用することにより、市民文化の向上に資する。
-------	---------------------------------------

事業概要	文化財保護審議会を開催し、文化財の保存・活用に向けた調査活動を行う。 また、「文化財巡り」の開催やパンフレット「境港市の誇る先人たち」の配布（中学校2年生対象）などにより、市内の文化財等の周知を行う。 令和6年度より、文化財説明看板の修繕や新規作成に係る費用、埋蔵文化財試掘調査費を予算化している。
------	---

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年に第4次、平成29年に第5次文化財指定を行った。 ・平成29年3月に「境港市の文化財ハンドブック」を発行して、文化財の適切な保存・活用を図るとともに、市民への周知に努めている。 ・文化財説明看板については、既存看板の損傷が進んでいることから、年次的な修繕や更新が必要である。 ・埋蔵文化財包蔵地内での開発計画（建築・土木工事等）の相談が年に数件あることから、試掘調査が必要な場合に早急に対応できるよう、試掘調査に係る経費を毎年予算化する必要がある。
----------	---

事業計画・効果	<p>○文化財の説明看板の修繕・更新等（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存看板23基のうち、現段階で修繕が必要な看板は10基。 ・令和6年度は、1基修繕し、未設置の場所に新たに2基を設置する。令和7年度以降も2基ずつ修繕予定。 <p>【効果】</p> <p>市民の文化財への理解を深めることにつながる。</p> <p>○埋蔵文化財包蔵地内の開発計画に係る試掘調査（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築・土木工事等において「埋蔵文化財包蔵地」内で発掘を行う場合は、文化財保護法に基づき、工事着手60日前までに開発者が市を通じて県に対して、開発内容等について届け出なければならない。（市は届出に対して意見を付して県に通達する。） ・令和5年度中に埋蔵文化財包蔵地内の開発相談があったことから、令和6年度より、必要経費（作業員人件費、消耗品費、重機による掘削業務委託料）を予算計上している。 <p>【効果】</p> <p>試掘調査が必要になった場合に、速やかに対応することが可能となる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称		
事業費		109	1,209	1,100				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	49	312	263				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	60	897	837				

令和6年度歳出内訳	報酬	24
	文化財保護審議会委員（8人）	
	報償費	27
	文化財巡り（講師謝金）	7
	発掘調査作業員	20
	需用費	149
	消耗品費（チラシ用紙、発掘作業用品、資料ほか）	70
	燃料費（文化財巡り用マイクロバス燃料費）	4
	印刷製本費（「境港市の誇る先人たち」増刷）	75
	委託料	995
	掘削業務委託料（試掘調査）	500
	文化財看板製作業務委託料	495
	負担金補助及び交付金	14
	全史協中国地区協議会負担金	10
	全史協中国地区協議大会参加費（開催地：島根県雲南市）	3
弓浜緋保存会会費	1	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	1	文化財保存・保護事業補助金	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(4)	文化芸術活動の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市および県指定文化財の保存・保護事業に対して補助金の交付を行い、文化財の維持・活用を図っていくことを目的とする。
-------	--

事業概要	市および県指定文化財の保存・保護事業に対して補助を行う。 補助対象者：指定文化財の所有者 補助率：①市指定文化財の場合：補助対象経費の2分の1以内 ②県指定文化財の場合：補助対象経費の県補助を除いた額の2分の1以内
------	--

現状、背景、課題	文化財は、年数を経ているものがほとんどであり、保存・保護・活用するためには修繕等の整備事業が不可欠である。文化財所有者の費用負担が大きいことが課題となっていることから、市及び県指定文化財所有者に対して、保存・保護に必要と認められた事業費について、市と県で連携して補助を行っている。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○（県指定文化財）庄司家住宅に対する補助 <ul style="list-style-type: none"> ・消防用設備保守点検・消火器交換費補助（経常） （負担割合：県1/2、市1/4、所有者1/4） ・茶座敷・後座敷雨戸修繕費補助（新規） （負担割合：県1/2、市1/4、所有者1/4） ○（県指定文化財）弓浜緋伝承事業に対する補助 <ul style="list-style-type: none"> ・技術継承や普及啓発に係る経費補助（経常） （負担割合：県1/2、米子市1/8、境港市1/8、弓浜緋保存会1/4） ○（県指定文化財）トンド保存修理事業に対する補助（新規） <ul style="list-style-type: none"> ・「竹内町煤竹講行事実行委員会」（トンド保存会参加団体）が所有する篠笛（横笛）の購入費補助（新規） （負担割合：県1/2、市1/4、団体1/4） <p>【効果】 文化財の保存・保護に必要な費用を支援することで、市民の財産である文化財の維持・活用につながる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		72		648	576		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	72		648	576		

令和 6年 度 歳 出 内 訳	負担金補助及び交付金	648
	庄司家住宅管理事業補助金（消防設備）	18
	庄司家住宅保存修理事業補助金（雨戸修繕）	523
	弓浜緋伝承事業補助金	52
	弓浜半島及び近隣地域のトンド保存修理事業補助金	55

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	1	地域学校協働推進事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	中学校区にコミュニティースクール（学校運営協議会）を導入し、地域とともにある学校づくりを進める。また、地域学校協働本部を立ち上げ、地域住民及び関係諸団体などが学校と連携・協働し地域づくりに貢献することを目指す。
-------	---

事業概要	コミュニティースクール（学校運営協議会）を設置することで、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校運営に取り組み、「地域とともにある学校」「学校を核とした地域づくり」を目指し、各学校区ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくり・地域づくりを進める。
------	---

現状、背景、課題	児童生徒数の減少や多様化・複雑化する社会状況の変化等を背景に、小中学校の統廃合や、今後少子化の更なる進行により、学校の小規模化に伴う教育上のデメリットの顕在化や、学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退が懸念されており、実情に応じた学校づくりと地域づくりの好循環が求められている。そこで、カタリ場などの対話を活かした事業を行い、学校と地域のつながりを深め、協働活動を推進していく。
----------	---

事業計画・効果	<p>境港版カタリ場プロジェクト</p> <p>6月 第1回オンライン協議 7月 益田市への視察 8月 第2回オンライン協議 11月 境港市でのカタリ場開催 2月 第3回オンライン協議</p> <p>学校と地域、子どもと大人をつなぎ、対話による交流の場をコーディネーターがデザインすることで、学校と地域のつながりが深まり、協働活動が円滑に推進される。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	5,924	7,046	1,122			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	3,279	3,651	372		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	2,645	3,395	750		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員4人分）	6,180
	報償費	112
	地域学校協働活動運営委員会委員謝金ほか	
	旅費	211
	費用弁償ほか	
	需用費	84
	広報誌作成等	60
	ひとが育つまち益田フォーラム視察燃料代	19
	地域学校協働フォーラム 講師・発表者弁当代	5
	委託料	165
	カタリ場企画運営業務	165
	使用料及び賃借料	223
	地域学校協働推進フォーラム、カタリ場会場使用料	113
	ひとが育つまち益田フォーラム視察高速道路代	7
地域学校コーディネーター パソコン借上料	103	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	2	公民館管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	地域住民の生涯学習及びコミュニティの拠点である公民館の充実を図る。
-------	-----------------------------------

事業概要	地域活動の拠点である7公民館の職員人件費及び維持管理にかかる経費、地域住民により構成され、公民館運営に関する審議を行う公民館運営審議会委員の報酬を予算化している。
------	---

現状、背景、課題	公民館の重点目標として、「集い、ふれあい、学びあい」というスローガンを掲げている。世代を超えた交流の場としての機能、地域課題解決のための機能などを充実させることが、課題となっている。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館職員、公民館運営審議会委員人件費（経常） ・ 消耗品、燃料費、光熱水費、修繕料（経常） ・ 通信運搬費、保険料（経常） ・ 委託料、使用料及び賃借料、備品購入費（経常） <p>○ パソコン更新 新たに5年間（R6.9.1～R11.8.31）のリース契約を結ぶ。</p> <p>【効果】 同じ仕様のパソコンを使用することによって、公民館職員の作業効率が高まる。また、不具合発生や職員異動時においても、対応力が高まる。 5年間のリース期間の更新となることで、パソコンのスペック、ウイルス対策において、業務の滞りを低減することにつながる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	81,697	95,113	13,416	642	公民館使用料ほか	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	671	642	△ 29		
	一般財源	81,026	94,471	13,445		


令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員28人分）	74,317
	報酬	2,520
	公民館運営審議会委員105人	
	需用費	11,622
	光熱水費・燃料費等	
	役務費	1,801
	電話料・保険料等	
	委託料	3,210
	空調機保守点検委託料等	
	使用料及び賃借料	1,448
パソコン賃借料・下水道使用料等		
備品購入費	195	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	2	公民館施設整備事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的
老朽化が進んでいる市内の公民館施設の修繕工事を実施し、利用者の利便性を向上させる。

事業概要
老朽化が進んでいる市内7公民館の施設整備・修繕工事を実施する。

現状、背景、課題
平成29年度をもって、市内7公民館の改修工事を終えたが、年度が経過することで修繕が必要な箇所が生じてくる。耐用年数を過ぎているものもあり、安全性、快適性を損なうもの、緊急性を要するものなど優先度を見極めて、対応していくことが課題である。

事業計画・効果	境公民館	畳表替え	
	中浜公民館	集会室照明取り換え	
渡公民館	冷却水ポンプ取替修繕		
上道公民館	冷温水ポンプ取替修繕		
上道公民館	玄関ポーチ修繕工事		

施設設備の老朽化により、安心・安全な利用を損なう箇所がでてくる。危険を伴う箇所、快適な利用の障壁となる箇所の修繕を行い、安心・安全に利用できる環境を整えることで、利用者の利便性を高め、住民の交流を促進することにつながる。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	3,106	1,637		△ 1,469		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	3,106	1,637		△ 1,469	

令和6年度歳出入内訳	需用費	1,164
	修繕料	
	工事請負費	473
	上道公民館 玄関ポーチ修繕工事	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	2	中浜公民館集会所改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	中浜公民館集会所の外壁を改修し、利用者の安心・安全を確保する。
-------	---------------------------------

事業概要	中浜公民館集会所の外壁改修工事にかかる実施設計を行う。 修繕内容：クラックの補修、剥離部分、外壁材が浮いている部分の補修、再塗装
------	---

現状、背景、課題	剥離やクラックがみられる。（直下にコーンを設置し立入禁止対応中） 今すぐ利用を停止するほどではないが、徐々に剥離面が広がる可能性がある。
----------	---

事業計画・効果	令和6年6月 実施設計発注（空調改修及びトイレ改修の設計と合わせて発注） 令和7年 改修工事
	現在は、利用者の通行を制限している箇所がある。改修工事を行うことで、施設の危険箇所が改善され、安心して使用することが可能となる。



歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	2,008	2,008			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	1,500	1,500		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	508	508		

令和6年度歳出入内訳	委託料 中浜公民館集会所実施設計業務	2,008
------------	-----------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	2	公民館空調改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	利用者の安心・安全を確保するために、公民館の空調改修を行う。
-------	--------------------------------

事業概要	老朽化が進んでいる公民館の空調改修工事を実施する。
------	---------------------------

現状、背景、課題	<p>平成23～29年度の公民館改修の際に耐用年数が経過していなかったことから、4館（中浜、渡、外江、余子公民館）は耐震工事中心の改修を行い、冷暖房設備の更新などを行わなかった。</p> <p>老朽化のため、必要な部品交換や修繕を行い、性能を維持してきたが、4館とも設置から20年が経過し、冷房能力低下したり、送風機が停止したりする症状が現れ、安定した稼働が難しい状況となってきた。</p> <p>このたび、原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金を活用して、4館の個別空調化にかかる設計を実施する。</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>令和6年4月 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金交付申請</p> <p>5月 同上交付決定</p> <p>6月 公民館空調改修事業開始</p> <p>令和7年 改修工事</p> <p>安定した稼働により、安心して施設を利用できる。 熱中症が心配される夏季、夜間、土日の利便性が高まる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		0	19,620	19,620					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	17,600	17,600					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	2,020	2,020					

令和6年度歳出内訳	<p>委託料</p> <p>公民館空調改修設計業務 (外江公民館、中浜公民館、渡公民館、余子公民館)</p>	19,620
-----------	--	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	2	公民館トイレ改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	生涯学習とコミュニティの核となる公民館について、トイレ環境を整えることが、利用者の利便性を高め、利用者の利便性を高め、住民の学びや交流を促進する。
-------	---

事業概要	中浜公民館集会所（多目的トイレの新設、男女兼用から男女別トイレ、床のドライ化）、中浜公民館（多目的トイレ扉の鍵・非常ブザーの設置、床のドライ化）、余子公民館（洋式トイレの設置、床のドライ化）の改修工事を行う。
------	--

現状、背景、課題	中浜公民館、余子公民館は和式便器が2つ残存。利用者から洋式化を求める声があった。中浜公民館集会所のトイレは男女兼用のため、使用中の入室について支障をきたしており、利用者から改修を求める声があった。
----------	--

事業計画・効果	<p>令和6年4月 原子力発電施設等立地地域基盤整備支援事業交付金交付申請</p> <p>5月 同上交付決定</p> <p>6月 実施設計発注</p> <p>8月 実施設計の完了</p> <p>9月 工事費の補正予算計上</p> <p>10月 工事発注</p> <p>工事完了</p> <p>トイレ改修を行うことで、子どもや高齢者が安心してトイレを使用できる。誰もが公民館を利用しやすい環境を整えることで、利用者の利便性を高め、住民の学びや交流を促進することにつながる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	5,708	5,708			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	5,100	5,100		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	608	608		

令和6年度歳出入内訳	<p>委託料</p> <p>公民館トイレ設計業務</p> <p>(中浜公民館集会所、中浜公民館、余子公民館)</p>	5,708
------------	--	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	3	図書館管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(5)	図書館機能の強化による読書活動や各種支援の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	市民の知の拠点である市民図書館の充実を図る。
-------	------------------------

事業概要	知の拠点としての市民図書館職員の人件費及び維持管理にかかる経費、新書の購入費を予算化している。
------	---

現状、背景、課題	<p>令和4年7月から新しい図書館をスタートし1日あたりの入館者数が旧図書館と比較し約2.8倍、また1日あたりの貸出し冊数も約1.9倍と大幅に増えている。</p> <p>学び交流体験の場を目標に掲げる図書館として、開館当初から利用者に喜んでもらえる企画運営を行ってきている。</p> <p>令和5年度は米子市や松江市の登録者が市内登録者を上回っており、今後も新規登録者の動向から、利用者が様々な年齢層で増えるとともに、中海圏域に広がっていくと予想される。それに合わせて、入館者数・利用者数・貸出冊数・リクエスト数なども増えるだけでなく、障がいがある人を含めて多様な方々に対応することも一層求められてくる。</p>
----------	--

事業計画・効果	<p>○図書館司書1人増について</p> <p>入館者数、貸出利用者数、貸出数とも順調に増えていることに伴い業務量・レファレンス数・事務作業量も増えている。</p> <p>図書館司書を1人増員することにより図書館サービスの提供やイベント開催の維持につながる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		52,275	62,986	10,711	1	基金運用収入(図書館図書整備基金)			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	23	コピー機使用料ほか			
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	119	24	△ 95					
	一般財源	52,156	62,962	10,806					

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員14人分）	43,658
	報酬	60
	図書館協議会委員10人	
	報償費	35
	市民講座講師謝金	
	旅費	9
	市民講座講師旅費	
	需用費	6,949
	新聞・雑誌・消耗品購入費等	1,498
	印刷製本費	89
	光熱水費	5,344
	修繕料	18
	役務費	310
	インターネット利用料等	213
	図書購入の際のフィルムコート経費	97
	委託料	5,150
	図書館情報システム、ホームページ・読書通帳機保守委託料	2,648
	施設清掃委託料	2,502
	使用料及び賃借料	207
	市民講座会場使用料、パソコン・複写機借上料	145
下水道使用料	62	
備品購入費	6,608	
新書購入費		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	3	まちまるごと図書館事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(5)	図書館機能の強化による読書活動や各種支援の充実	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	図書館への来館が難しい高齢者、子育て世代の方、障がい者の方への図書環境を整備することで、図書館への認知度を高め、地域の活性化に寄与する。また、子育て関係図書の充実、移動図書館車で保育所・幼稚園・子育て支援施設へ出張しおはなし会の実施も行う。
-------	--

事業概要	日常的に図書館へ来館が難しい高齢者、子育て世代の方、障がい者の方へより近くへ本を届けるため、移動図書館車を配備し、分館（公民館）に常設する本の充実や福祉施設等への訪問を行う。
------	---

現状、背景、課題	まち全体に図書を届ける環境を整備する。
----------	---------------------

事業計画・効果	<p>実施時期：R5.12.15から運用開始。公民館や福祉施設など月15回程度予定。</p> <p>内容：様々なジャンルの図書、約五百冊を乗せ運行を開始し、公民館や福祉施設など様々な場所を訪問する。</p> <p>効果：移動図書館車導入という図書館機能の強化により、市内全域で市民が必要な情報を入手できるよう、図書館と公民館、学校図書館、関係団体・機関とのネットワークを密にし、資料を届けることができる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0		503	503	400	図書館図書整備基金繰入金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	400	400		
	一般財源	0	103	103		

令和6年度歳出入内訳	需用費		32	
	移動図書館車の運用にかかる燃料費			
	ガソリン代	月15回 1日10km×180日=1800km 1800km/10km/ℓ×174.9=31,482円		
	役務費		21	
	保険料（自動車損害共済基金分担金）			
	備品購入費		450	
	図書購入費		400	
	移動図書館用書架		50	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	4	市史編さん事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(3)	ふるさと境港への愛着を育む教育や活動の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	市史に関する資料や記録を収集・編集し、市史などを発行する。
-------	-------------------------------

事業概要	市史に関する資料や記録を収集・編集し、市史などを発行することを目的とし、市史編さんにかかる経費及び会計年度任用職員の人件費を予算化している。
------	--

現状、背景、課題	昭和61年に「境港市史上下巻」を発行、平成9年に「新修境港市史」発行している。また、平成3年に「境港市35周年史」（資料編）を発行、平成13年に「境港市45周年史」を発行、平成25年に「境港市55周年史」を発行している。 市制75周年の節目（令和13年）に新たな市史発刊を行う。
----------	--

事業計画・効果	令和6年4月から5月 審議会委員の選定、承認、委嘱 6月から 審議会委員会（全6回） 編さん方針、内容、執筆者選定、体制、次年度計画、出版計画など 歴史をテーマとした学習会、関連イベント、行事が増え、境港市の歴史についての関心が高まる。境港市の歴史について、興味関心が高まること、郷土への愛着、誇りを醸成することにつながる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,688	3,003	315			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	3	0	△3		
	一般財源	2,685	3,003	318		

令和6年度歳出入内訳	人件費（会計年度任用職員1人分）	2,734
	（審議会委員報酬）	47
	需用費	
	消耗品費	
	使用料及び賃借料	42
	電子計算機賃借料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	6	海とくらしの史料館管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(4)	文化芸術活動の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	海とくらしの史料館の管理運営
-------	----------------

事業概要	魚介類の剥製・民具等を展示している海とくらしの史料館の管理運営
------	---------------------------------

現状、背景、課題	<p>○指定管理者：一般財団法人境港市文化振興財団</p> <p>○指定期間：令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）</p> <p>○施設の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に展示棟の梁の脱落（一か所）が判明したことから、令和6年度に梁補強修繕（応急処置）と管理棟の梁劣化診断調査（追加調査）を行う。 ・開館から30年が経過し、建物や設備の老朽化が進んでいるため、改修を検討している。 ・「海とくらしの史料館のあり方に関する提言書」（令和4年3月提出）を基に展示リニューアルの実施を検討している。
----------	--

事業計画・効果	<p>○展示棟の脱落梁の補強修繕（新規）</p> <p>○管理棟の梁劣化診断調査（新規）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5か所の梁劣化診断調査を行い、管理棟の梁の状況を把握する。 <p>○スケジュール</p> <p>補強修繕及び劣化診断調査に伴う現地作業期間：約1週間</p> <p>※修繕及び調査に伴う休館時期については、指定管理者と協議して決める。</p> <p>【効果】</p> <p>梁全体の状況を把握することで、屋根改修方法の検討が可能となる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		14,400		16,640	2,240		
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		0	0		
	一般財源	14,400		16,640	2,240		

令和6年度歳出内訳	需用費	330
	修繕料（展示棟の梁補強修繕）	
	役務費	118
	保険料（建物総合損害共済基金分担金）	
	委託料	16,192
	管理棟梁劣化診断業務委託料	1,906
	文化施設指定管理委託料（海とくらしの史料館）	14,286

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	6	海とくらしの史料館開館30周年記念事業補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(4)	文化芸術活動の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	海とくらしの史料館の開館30周年の節目の年、館のメインテーマである「海や魚」に関連したイベントを開催し、館の魅力を発信することで、市民の関心を高めていく。
-------	---

事業概要	海とくらしの史料館開館30周年を記念し、海や魚をテーマとした講演会・企画展示を実施する事業に対して補助を行う。
------	---

現状、背景、課題	海とくらしの史料館では、はく製や民具を中心とした常設展示や、各種企画展などを行っている。節目の年にあたる令和6年度（開館30年）に、近年恒例となっている「マンボウ祭」「サメ展」について、通常の展示とあわせ記念イベントを同時開催する。
----------	--

事業計画・効果	<p>【企画案】</p> <p>○マンボウ祭（R6.4.27～R6.5.20）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展（パネル展、アニメ動画放映、グッズ販売など） ・特別イベント（5/18～19）大人向け（特任マンボウ研究員トークショー、マンボウたこ焼き振る舞いなど） ・特別イベント（5/4～5）子ども向け（わらべ歌と手遊び、絵本「ゆ～らりマンボウ」読み聞かせなど） <p>○サメ祭（R6.7.20～R6.9.2）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設展（サメの生態図解パネル展、ワニの歴史パネル展、グッズ販売など） ・特別イベント（美ら海水族館館長によるトークショー、サメの骨と動物の骨のワークショップ及び講演、サメナゲット振る舞いなど） <p>【効果】</p> <p>30周年記念イベントを開催することにより、来館者の増加が見込まれ、施設の魅力発信にもつながる。25周年記念イベント（マンボウ祭、サメ祭）の際には約9,000人（通常の約2倍）の来館者があったことから、30周年記念イベントにおいても、同程度の来館者を目指す。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	前年度比較	予 算	名 称	
事業費		0	250	250	250		250	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0				
	県支出金	0	0	0	0				
	地方債	0	0	0	0				
	その他	0	250	250	250				
	一般財源	0	0	0	0				

令和6年度歳出入内訳	負担金補助及び交付金 海とくらしの史料館開館30周年記念事業補助金	250
------------	--------------------------------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	8	市民交流センター管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(4)	文化芸術活動の推進	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	市民交流センターの管理運営
-------	---------------

事業概要	ホールや会議室、図書館、防災拠点施設など多彩な機能を備える複合施設「市民交流センター」の管理運営及び「市民交流センター運営協議会」の開催
------	--

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者：きさらぎ・さんびる共同企業体 ○指定管理期間：令和4年4月1日～令和7年3月31日（3年間） ○市民交流センター連絡調整会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・目的：市民交流センター内の関係団体において連携を図る。 ・構成メンバー：生涯学習課、防災危機管理課、市民図書館、指定管理者 ・開催回数：月1回 ○市民交流センター運営協議会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・目的：各分野の方々からご意見をいただき、施設の適切な管理運営を図る。 ・委員：15人（文化、図書館、防災、福祉、経済、青年、学校・保育園、学識、公募） ・開催回数：年1回 ○施設の現状 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年7月の開館から今日まで、多くの方にご来場、ご利用いただき、賑わいあふれる施設となっている。
----------	--

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ○市民交流センター連絡調整会の開催 関係団体が月1回集まり、情報共有及び課題解決に向けた検討を行う。 ○市民交流センター運営協議会の開催 適切な施設運営を行うため、年1回会議を開催し、委員の方から意見を伺う。 <p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月連絡調整会を行うことで、緊密な連携体制が構築される。 ・運営協議会委員から意見を伺い、安心、安全、快適な施設運営が図られる。 《令和4年度運営協議会で出た主な意見》R5.3.23開催 ・スタインウェイピアノの弾きならしの機会を増やしてほしい。 ・会議室の利用方法などのマニュアルを作成し、誰でもわかるようにしてほしい。 ・ホールイベント時（来場者が多い時）の図書館利用者の駐車場を確保してほしい。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		104,785	98,071	△ 6,714	160		カフェ電気水道等使用料		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	200	160	△ 40					
一般財源		104,585	97,911	△ 6,674					

令和6年度歳出内訳	報 償 費	45
	市民交流センター運営協議会委員謝金（15人）	
	需 用 費	18,487
	消耗品費（コピー料金等）	163
	光熱水費	18,324
	（図書館を除く区域の電気・水道料金）	
	役 務 費	488
	通信運搬費（電話料金）	313
	保険料（建物総合損害共済基金分担金）	175
	委 託 料	78,400
	市民交流センター指定管理委託料	
	使用料及び賃借料	651
下水道使用料（図書館を除く）	643	
会場使用料（市民交流センター運営協議会）	8	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	4	8	みなとテラス学港	継続
境港市まちづくり総合プラン			3-(4)	文化芸術活動の推進	
SDGs	4	質の高い教育をみんなに			

事業の目的	交流センターに多様な世代が集い、交流することを通して、学びの場としての機能を高める。
-------	--

事業概要	交流センターの基本理念である「市民が集い、安心できる、交流と防災の拠点づくり～みんなが集まる広場のような複合施設～」を実現するため、市民の利活用を促す事業を実施する。
------	---

現状、背景、課題	R4.7の開館以来、交流センターでは様々なイベントが実施され、多くの人々が訪れ、賑わいをみせている。この賑わいを継続していくための課題として、賑わいの担い手育成が挙げられる。そこで、若者世代が主体的にかかわることができる場、多様な世代と交流できる場が必要であり、交流センターがその役割を果たす事業を展開する。
----------	--

事業計画・効果	<p>みなとフィールドスタディ・キャンプ2024</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講師の選定、依頼 ・5月 チラシ、ポスター作成 ・告知、参加者、大学生募集 ・地域講師との打ち合わせ ・8月 イベント実施 <p>交流センターに中高生、大学生、事業所や各種団体の関係者が集い、対話を深めることで、多様な世代の交流が生まれる。また、フィールドワークを通して境港市内の生徒・学生が境港の魅力に気づき、アイデアを発表することで、参加者の主体的な学びを促すことにつながる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	252	196		△ 56		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	252	196		△ 56	
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	116
	講師謝金	
	大学生交通費相当	
	需 用 費	35
	消耗品費	
	使用料及び賃借料	45
	会場借上料	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	5	1	弓ヶ浜シーサイドマラソン開催補助金	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	弓ヶ浜サイクリングロードを走るマラソン大会を通じて、白砂青松の美しい弓ヶ浜など境港市のPRを図る。
-------	---

事業概要	弓ヶ浜サイクリングロードを走る「弓ヶ浜シーサイドマラソン」の開催事業に対して補助を行う。
------	--

現状、背景、課題	<p>【令和5年度開催】</p> <p>と き：令和5年10月29日（日）</p> <p>コース：皆生プレイパーク～夢みなとタワー（往復）</p> <p>種 目：フルマラソン（非公認42.195km）、ハーフマラソン（非公認21.0975km）</p> <p>参加者：フルマラソン（参加者：300人）、ハーフマラソン（参加者：210人）</p> <p>その他：川内優輝選手（ゲストランナー）招聘</p> <p>※令和5年度は9月補正予算で25万円計上（県、米子市と連携）</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>【令和6年度開催】</p> <p>と き：令和6年10月27日（日）</p> <p>コース：皆生プレイパーク～夢みなとタワー（往復）</p> <p>種 目：フルマラソン（非公認42.195km）、ハーフマラソン（非公認21.0975km）</p> <p>定 員：フルマラソン（先着300人）、ハーフマラソン（先着200人）</p> <p>その他：ゲストランナー招聘</p> <p>【効果】</p> <p>県内外から多くの参加者が集まり、地域の活性化や特色あるスポーツ文化の構築、観光振興が図られる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称		
事業費		0	100	100				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0				
	県支出金	0	0	0				
	地方債	0	0	0				
	その他	0	0	0				
	一般財源	0	100	100				

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金 弓ヶ浜シーサイドマラソン開催補助金	100
-----------	---------------------------------	-----

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	5	2	陸上競技場第4種ライト公認検定事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	令和7年3月23日をもって、第4種陸上競技場の公認期間（5年間）が満了する。引き続き、公認競技場として認定を受けるために、条件を満たすよう施設及び備品の整備が必要となる。なお、次期は、新設された第4種ライトでの認定を受ける。
-------	--

事業概要	竜ヶ山陸上競技場について、引き続き、(公財)日本陸上競技連盟から公認競技場として認定を受けるため、トラック・フィールド内を第4種ライト競技場の条件を満たすよう施設及び備品を整備する。
------	---

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公式記録を取得するためには、公認競技場としての認可が必要である。（境港市の公認経緯：平成2年3月～平成22年3月は第3種、平成22年3月～令和7年3月は第4種） ・令和5年6月、(公財)日本陸上競技連盟より、公認期間満了に伴う、継続認定手続きの依頼文書が届いた。 ・令和5年7月、次期公認を受けるにあたり、境港市陸上競技協会と協議し、条件が緩和された第4種ライト（新設）の認定を受けることに支障がないことを確認した。 ※境港市竜ヶ山陸上競技場においては、トラック、走高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、やり投、円盤投の競技が可能な公認競技場として整備する。 ・令和5年9月、日本陸上競技連盟公認検定員による第4種公認検定のための事前調査が現地で行われた。 ・令和5年10月、事前調査の結果が通知され、公認を受けるために必要な施設改修及び備品整備について指摘された。 <p>◎日本陸上競技連盟競技規則の改定により、第4種ライトが2020年4月に新設された。</p> <p>《第4種ライトが新設された理由》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「棒高跳」、「円盤投」、「ハンマー投」施設の整備費が高額であるため、第4種公認をとりやめる競技場が全国的に増えてきて、地域からの公認要件緩和の要望があった。要件を緩和することにより、競技種目が限定されてしまうが、小中学生の普及啓発（育成）を進め、ウェルネス陸上の実現のため、地域の特性に応じた競技会を行い、陸上を楽しめる場を確保するという目的で第4種ライトを設けることになった。 <p>《第4種ライト公認要件》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「トラック」、「走高跳」、「走幅跳」、「砲丸投」の施設整備は必須であるが、その他の施設は選択可能とする。 ・開催できる競技会の種別の標準は、「加盟団体（県陸上競技協会）の記録会」、「加入団体等（県陸上競技協会に加入している団体：市陸上競技協会、各クラブチーム等）の競技会・記録会」とする。 ・既存の施設において、種目を選択しない場合は、施設を撤去する。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も公認競技場として維持していくためには、ルール改正や施設の不備に伴う施設改修及び備品整備が必要であり、多額の費用を要するため、財源の確保が課題となる。
----------	--

- 改修内容
 《施設改修》
 ・棒高跳、3,000m障害施設等の撤去（選択しない種目の施設撤去）
 ・走路レーン改修（ルール改定によるレーン幅の変更：1.25m→1.22m）及び不陸整正
 ・走路標識タイル、縁石補修
 ・円盤投サークルのサイドネット整備
 ・砲丸投サークルの補修
 ・走幅跳・三段跳助走路の補修、踏切板の補修、砂場の砂補充 ほか
 《備品整備》
 ・更新や補充が必要な備品の購入（やり、円盤、ハードルバー、競技者用長椅子ほか）
 ○スケジュール
 ・工事期間（予定）：令和6年10月～令和7年3月（6か月）
 ※境港市陸上競技協会からの要望により、12月から利用停止（現地工事）とする。
 ・検定期間：令和7年3月中旬

【効果】
 公式記録を取得する大会等が開催可能となり、スポーツの振興が図られる。



歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		0	54,079	54,079			
財源 内訳	国庫支出金	0	43,300	43,300			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	0	0	0			
一般財源		0	10,779	10,779			

令和6年度 歳出内訳	需用費	3
	消耗品費	
	役務費	112
	手数料（第4種ライト公認検定料）	55
	手数料（日本陸上競技連盟役員派遣費用）	57
	検定員1人、技術役員2人	
	使用料及び賃借料	55
	距離測定機材借上料	
	工事請負費	51,040
	陸上競技場第4種ライト公認検定改修工事	
備品購入費	2,869	
庁用器具費（競技用備品）		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	5	2	市民テニス場改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	スポーツの振興を図るため、利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な環境整備を行う。
-------	--

事業概要	経年劣化したテニスコートやフェンスの改修工事を行う。（令和6年度は実施設計）
------	--

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・第5、6コートは平成元年度に整備し、平成20年度～平成22年度にコートの全面張替を行っている。それ以降は部分的に補修を行ってきたが、全体的に人工芝が摩耗して、表面が擦れてきており、プレイに支障が出ている。 ・第1～4コートのフェンス下部が全体的に腐食しているため、改修の必要がある。フェンスの端が切れて危険なため、令和4年度に応急処置（防護材の取り付け）を行っている。 ・コート外の水はけが悪く、コートまでの通行に支障が出ている。 ・第1～4コートは、平成26年度に人工芝化してから、張り替えていない。あと3～4年で、第5、6コートと同じような状態になることが考えられる。 ・ナイター照明については、設備の状況を確認しながら、今後LED化改修を検討する。
----------	--

事業計画・効果	<p>○改修内容（令和6年度は実施設計）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5、6コートの全面張替（排水対策、不陸整正含む） ・第1～4コートのフェンス改修 ・既存器具庫の屋上防水改修 ・コート外の水はけ対策改修（側溝、舗装整備） <p>○スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計期間：約6か月 <p>※改修工事は令和7年度に実施予定。</p> <p>【効果】</p> <p>安全で快適な環境を整備することで、スポーツの振興が図られる。</p>
---------	--



歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	7,049	7,049	1,849	魚と鬼太郎のまち境港ふるさと基金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	5,200	5,200	
	その他	0	1,849	1,849	
	一般財源	0	0	0	

令和6年度歳出内訳	委託料 市民テニスコート改修工事実施設計業務委託料	7,049
-----------	------------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	5	2	竜ヶ山陸上競技場改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	スポーツの振興を図るため、利用者が安全で快適に利用できるよう、適切な環境整備を行う。
-------	--

事業概要	外周フェンス、観客スタンド、管理棟、器具庫等老朽箇所の改修及びトイレの洋式化を行う。(令和6年度は実施設計)
------	--

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・外周フェンスの支柱が腐食しており、部分的に破損しているところもある。 ・観客スタンドの擁壁に亀裂が認められる。 ・観客スタンド内ベンチの固定金具が破損して、ベンチが外れている。 ・管理棟の支柱の腐食、外壁の剥落や亀裂、建具の不良等が認められる。 ・器具庫の外壁の剥落や亀裂、建具の不良等が認められる。 ・ナイター照明については、設備の状況を確認しながら、今後LED化改修を検討する。
----------	---

事業計画・効果	<p>○改修内容(令和6年度実施設計)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外周フェンスの改修 ・観客スタンド(擁壁、ベンチ等)の改修 ・管理棟(支柱、外壁、建具等)の改修 ・器具庫(外壁、建具等)の改修 ・トイレの洋式化 など <p>○スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計期間:約6か月 <p>※改修工事は令和7年度に実施予定。</p> <p>【効果】</p> <p>安全で快適な環境を整備することで、スポーツの振興が図られる。</p>
	     


歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		0	6,605	6,605		
財源 内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	5,900	5,900		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	705	705		
令和6 年度歳 出内訳	委託料					6,605
	竜ヶ山陸上競技場改修工事実施設計業務委託料					

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	5	2	スポーツ広場キュービクル改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	経年劣化したキュービクルの更新
-------	-----------------

事業概要	経年劣化により、キュービクルの更新を行う。
------	-----------------------

現状、背景、課題	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検を行っている中国電気保安協会より、経年劣化によるキュービクルの更新を指摘されている。 ・現状、ケーシングの腐食も進んでおり、早急に改修が必要。
----------	---

事業計画・効果	<p>○改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュービクルの改修 <p>○スケジュール</p> <p>工事期間：約5か月（発注～設置）</p> <p>※作業期間（電気設備が使用できない期間）は1週間程度。</p> <p>【効果】</p> <p>安全で快適な環境を整備することで、スポーツの振興が図られる。</p>
	

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	17,578	17,578			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	15,800	15,800		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	1,778	1,778		

令和6年度歳出内訳	工事請負費 スポーツ広場キュービクル改修工事	17,578
-----------	---------------------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
生涯学習課	10	5	2	市民温水プールキュービクル改修事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(6)	生涯学習・スポーツの推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	経年劣化によるキュービクルの部品（トランス）取替
-------	--------------------------

事業概要	経年劣化により、キュービクルの部品（トランス）の取替を行う。
------	--------------------------------

現状、背景、課題	定期点検を行っている中国電気保安協会より、経年劣化によるキュービクルの部品（トランス）の取替を指摘されている。
----------	---

事業計画・効果	<p>○改修内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キュービクルの部品（トランス）取替 <p>○スケジュール</p> <p>工期：約5か月（発注～取替）</p> <p>※作業期間（電気設備が使用できない期間）は1日程度。</p> <p>【効果】</p> <p>安全で快適な環境を整備することで、スポーツの振興が図られる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	0	1,793	1,793		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	
	地方債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	0	1,793	1,793	

令和6年度歳出内訳	<p>工事請負費</p> <p>市民温水プールキュービクル改修工事</p>	1,793
-----------	---------------------------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	5	3	学校給食事業（学校給食センター）	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	学校給食を通じて、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため食育の推進を図る。
-------	--

事業概要	市内小・中学校9校の児童・生徒を対象に学校給食を提供する
------	------------------------------

現状、背景、課題	平成27年度に学校給食センターを稼働し、小学校・中学校すべてで完全給食を実現。同センターは、老朽化していた小学校の給食調理室に代わり、ドライシステムを導入するなど衛生面にも配慮した施設となっている。平成31年度から調理・洗浄業務の民間委託を実施し、民間事業者の有するノウハウを活用した調理等業務の向上に取り組んでいる。
----------	---

事業計画・効果	物価高騰の影響により増大した学校給食の食材費に応じて値上げが必要となる給食費について、子育て家庭の経済的負担軽減のため、令和5年度に引き続き値上げ相当額を公費で負担します。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		207,795	229,380	21,585	125,708		学校給食費		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	840		学校給食費（過年度分）		
	県支出金	0	0	0	2,011		学校給食費（その他）		
	地方債	0	0	0	267		物品売払収入（給食センター）		
	その他	125,946	128,826	2,880					
	一般財源	81,849	100,554	18,705					

令和6年度歳出内訳	人件費		5,795
	会計年度任用職員2人分		
	需用費		208,895
	消耗品費(白衣、事務用品ほか)	1,416	
	燃料費(給食配送車ほか、LPガス)	7,557	
	印刷製本費	212	
	光熱水費(水道、電気)	27,776	
	修繕料(車両関係、厨房関係ほか)	4,869	
	賄材料費	167,065	
	役務費		7,004
	通信運搬費	663	
	手数料	5,974	
	保険料	367	
	委託料		1,526
	電気保安業務委託料	735	
	廃棄物収集運搬委託料	633	
	施設警備委託料	70	
	消防施設保守点検委託料	88	
	使用料及び賃借料		6,030
下水道使用料			
公課費		130	
自動車重量税			

所 属	款	項	目	事業名	種 別
教育総務課	10	5	3	学校給食食器更新事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			3-(1)	学校を支える教育環境の充実	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的
 現在、本市の学校給食において使用している食器は、耐用年数及び破損の状況等から、早急な更新が必要であり、児童生徒により良い給食を継続的に提供するため、令和6年度から年次的に安全安心で使いやすい食器の更新を行う。

事業概要
 現在使用している食器は使用開始から8年目を迎えており、耐用年数及び破損の状況等を踏まえ、新しい食器に更新する。

現状、背景、課題
 8年間の使用で食器には非常に多くのキズ・汚れが蓄積し、食器全体の痛みはかなり進んでいる。また、黄ばみの進行、光沢の低下なども見られ、更新の時期に到達していると考えられる。更新にあたっては、材質を現在使用のPEN（ポリエチレンナフタレート）とし、サイズ、絵柄等も現在使用のものとする。

事業計画・効果
 ・学校給食食器更新事業
 古くなり傷がついた食器を新しいものに更新することによって、児童・生徒が安心して給食を食べることができる。
 令和6年度より順次給食食器を更新する。
 ○3か年の計画とした場合
 ・令和6年度 飯椀5,000、汁椀1,000
 ・令和7年度 仕切皿3,000、カレー皿3,000
 ・令和8年度 トレイ3,000、小皿3,000

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	8,029	8,029	8,029		
財源内訳	国庫支出金	0	4,800	4,800		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	0	3,229	3,229		

令和6年度歳出内訳
 需用費 8,029
 学校給食食器更新（飯椀・汁椀の更新）

基金名	区分	所属名称	款	項	目	事業名称	充当額	充当額計
魚と鬼太郎のまち境港 ふるさと基金	(1) 自然及び生活 環境の保全に関する 事業	環境・ごみ対策課	4	1	3	側溝清掃事業	7,301	473,787
		環境・ごみ対策課	4	1	4	猫不妊去勢手術費補助金	964	
		環境・ごみ対策課	4	1	4	小規模発電設備等導入推進事業補助金	11,971	
		環境・ごみ対策課	4	1	4	海洋ごみ対策事業	1,149	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	廃棄物減量等推進事業	1,621	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	生ごみ堆肥化促進事業	4,716	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ固形燃料等資源化事業	16,820	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	廃品回収奨励金	669	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ集積施設整備事業補助金	1,510	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	災害廃棄物処理計画策定事業	3,630	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	ストックヤード整備事業	1,185	
		環境・ごみ対策課	4	2	1	ごみ集積場所不法投棄防止対策設備設置事業補助金	400	
		農政課	6	1	4	農業用排水路管理清掃事業	4,200	
		水産商工課	6	3	2	豊かな海を守る漁場環境緊急回復事業	1,153	
	(2) 産業の振興に 関する事業	農政課	6	1	3	農地賃借料助成事業補助金	657	
		農政課	6	1	3	緑肥作物作付推進事業補助金	154	
		農政課	6	1	3	特産野菜産地維持対策事業補助金	266	
		農政課	6	1	3	就農条件整備事業補助金	4,289	
		農政課	6	1	3	学校給食米栽培委託事業	508	
		農政課	6	1	3	伯州綿製品産地消推進事業	1,958	
		農政課	6	1	3	がんばる地域プラン事業費補助金	4,783	
		農政課	6	1	4	ストップ荒廃農地支援事業補助金	260	
		農政課	6	1	4	農地耕作条件改善事業	9,751	
		水産商工課	6	3	2	境港水産まつり補助金	325	
		水産商工課	6	3	2	境港地域資源活用推進事業補助金	650	
		水産商工課	6	3	2	境港お魚ガイド活動支援事業補助金	2,812	
		水産商工課	6	3	2	漁業就業者確保対策事業補助金	5,011	
		水産商工課	6	3	2	沖合底びき網漁船代船建造推進事業補助金	1,216	
		水産商工課	6	3	2	アワビ放流支援事業補助金	33	
		水産商工課	6	3	2	船員入浴施設利用助成事業	500	
		水産商工課	7	1	2	企業誘致推進事業	940	
		水産商工課	7	1	2	企業立地促進関連補助金	10,077	
	水産商工課	7	1	2	中海圏域就業支援連携事業負担金	1,269		
	水産商工課	7	1	2	事業承継支援補助金	1,000		
	水産商工課	7	1	2	国内商談会等参加支援補助金	750		
	都市整備課	8	3	1	Sea級グルメ全国大会in境港実行委員会負担金	12,250		
(3) 観光の振興に 関する事業	観光振興課	7	1	3	(一社)境港観光協会補助金	32,255		
	観光振興課	7	1	3	米子鬼太郎空港ターミナル物産観光PR事業	1,128		
	観光振興課	7	1	3	着ぐるみによるおもてなし向上事業	16,419		
	観光振興課	7	1	3	水木しげるロード維持管理事業	18,230		
	観光振興課	7	1	3	水木しげる生誕祭開催事業	528		
	観光振興課	7	1	3	水木しげる記念館文化観光拠点施設機能強化事業	538		

基金名	区分	所属名称	款	項	目	事業名称	充当額	充当額計
魚と鬼太郎のまち境港 ふるさと基金	(4) 子育て支援、 教育環境の充実に関 する事業	総合政策課	2	1	6	高等学校学生寮運営事業費補助金	451	
		子育て支援課	3	2	1	地域子育て支援センター運営事業	15,506	
		子育て支援課	3	2	1	就学前の食育推進事業	296	
		子育て支援課	3	2	1	子育て拠点施設環境整備事業	3,768	
		子育て支援課	3	2	1	子育て世代訪問支援事業	1,144	
		子育て支援課	3	2	1	世帯第3子等副食費助成事業	4,005	
		子育て支援課	3	2	1	未就園児等全戸訪問事業	1,049	
		子育て支援課	3	2	2	特定教育・保育施設運営費補助金	2,811	
		子育て支援課	3	2	2	病児・病後児保育事業	2,762	
		子育て支援課	3	2	2	保育所待機児童対策事業	1,275	
		子育て支援課	3	2	2	子育て支援保育料等軽減事業	1,068	
		子育て支援課	3	2	2	公立保育所ICTシステム事業	1,136	
		子育て支援課	3	2	2	公立保育園リニューアル事業	13,346	
		健康づくり推進課	4	1	1	不妊治療費等支援事業	1,608	
		健康づくり推進課	4	1	1	新生児聴覚検査費用助成事業	415	
		健康づくり推進課	4	1	1	ハイハイ期親子応援事業	530	
		健康づくり推進課	4	1	1	不育症助成事業	50	
		健康づくり推進課	4	1	2	小児インフルエンザ予防接種費助成事業	1,770	
		健康づくり推進課	4	1	2	妊産婦インフルエンザ予防接種費助成事業	299	
		都市整備課	8	4	2	都市公園遊具更新事業	1,758	
		教育総務課	10	1	2	学校活動用バス運行事業	2,129	
		教育総務課	10	2	1	小学校グラウンド芝生維持管理事業	3,993	
		教育総務課	10	2	1	小学校遊具整備事業	1,475	
		教育総務課	10	2	1	小学校ICT教育推進事業	15,676	
		教育総務課	10	2	2	小学校教師用教科書・指導書購入事業	33,731	
		教育総務課	10	2	2	小学校よりよい学級づくり事業	955	
		教育総務課	10	2	2	小学校学力向上事業	870	
		教育総務課	10	3	1	中学校グラウンド芝生維持管理事業	411	
		教育総務課	10	3	1	中学校ICT教育推進事業	4,817	
		教育総務課	10	3	2	国際理解教育推進事業	3,311	
		教育総務課	10	3	2	中学生職場体験学習事業	209	
		教育総務課	10	3	2	中学校各種競技大会参加費補助金	8,356	
		教育総務課	10	3	2	中学校よりよい学級づくり事業	575	
	教育総務課	10	3	2	中学校学力向上事業	439		
	教育総務課	10	4	1	青少年芸術鑑賞事業	1,114		
	教育総務課	10	4	1	教育支援センター「やすらぎルーム」運営事業	6,012		
	教育総務課	10	5	3	食育推進事業（学校給食センター）	17		
	(5) 境港市まち・ ひと・しごと創生推 進計画に関する事業	水産商工課	6	3	2	魚食普及推進事業	173	
		生涯学習課	10	4	6	海とくらしの史料館開館30周年記念事業補助金	250	
	(6) 前各号に掲げ るもののほか、市長 が特に認める事業	観光振興課	2	1	6	高校生通学費助成事業補助金	149	
		都市整備課	2	1	6	空家活用移住定住奨励金	300	
		観光振興課	2	1	9	防災情報ステーション等整備事業	1,336	
		水産商工課	2	1	10	国際交流促進事業	1,493	
水産商工課		2	1	10	外国人材地域交流事業	280		

基金名	区分	所属名称	款	項	目	事業名称	充当額	充当額計
魚と鬼太郎のまち境港 ふるさと基金	(6) 前各号に掲げるもの のほか、市長が特に認 める事業	水産商工課	2	1	10	多文化共生推進事業	548	
		子育て支援課	3	2	2	公立保育所環境整備事業	2,071	
		健康づくり推進課	4	1	1	小児・AYA世代のがん患者の妊孕性温存療法研究促進事業補助金	100	
		環境・ごみ対策課	4	1	4	環境保全対策事業	3,551	
		環境・ごみ対策課	4	2	2	障がい者就労支援事業	8,173	
		農政課	6	1	3	ふれあい農園事業	92	
		水産商工課	6	3	2	栽培漁業推進事業負担金	318	
		水産商工課	6	3	2	水産加工品ブランド化事業補助金	2,127	
		水産商工課	7	1	2	境港貿易振興会補助金	6,092	
		水産商工課	7	1	2	創業支援補助金	3,400	
		水産商工課	7	1	2	境港市オープンカンパニー事業	124	
		観光振興課	7	1	3	とっとりコンベンションビューロー運営費負担金	1,482	
		観光振興課	7	1	3	観光案内所運営事業	996	
		観光振興課	7	1	3	ゲゲゲの鬼太郎ゲタ飛ばし大会開催補助金	43	
		観光振興課	7	1	3	みなと祭実行委員会補助金	2,100	
		観光振興課	7	1	3	桜まつり実行委員会補助金	143	
		観光振興課	7	1	3	境港妖怪検定補助金	180	
		観光振興課	7	1	3	情報発信連携強化事業	4,246	
		管理課	8	1	2	夕日ヶ丘防犯灯設置事業	390	
		管理課	8	1	2	LED防犯灯更新事業	20,303	
		建築営繕課	8	4	1	水木しげるロード街なみ環境整備事業(住宅等修景助成)	4,290	
		都市整備課	8	4	2	境中央公園改修事業	13,674	
		都市整備課	8	4	2	竜ヶ山工リア屋根付き広場整備事業	841	
		教育総務課	10	2	1	小学校指導補助員配置事業	25,797	
		教育総務課	10	2	1	小学校体育館改修事業	854	
		教育総務課	10	3	1	中学校指導補助員配置事業	13,140	
		教育総務課	10	3	1	中学校楽器整備事業	1,013	
		教育総務課	10	3	2	運動部活動外部指導者活用事業	159	
		教育総務課	10	3	2	特別支援教育総合推進事業	6,782	
		教育総務課	10	3	2	中学校外国語指導業務委託事業	16,316	
		教育総務課	10	3	2	中学校部活動指導員配置事業	1,681	
		生涯学習課	10	4	3	地域で交流し学びあう図書館学びの講座事業	107	
生涯学習課	10	4	3	働くを幸せにするビジネス支援サービス推進事業	701			
生涯学習課	10	4	3	読書バリアフリー推進事業	944			
生涯学習課	10	4	8	みなとテラス学港	196			
生涯学習課	10	5	2	市民テニス場改修事業	1,849			
新型コロナウイルス感染症 対策利子補給基金		水産商工課	7	1	2	新型コロナウイルス感染症対策資金利子補助金	7,915	7,915
公共下水道事業推進基金		下水道課	8	4	1	公共下水道事業会計繰出金	25,000	25,000
森林環境基金		農政課	6	2	1	市民の山管理・ふれあい交流事業	1,933	2,402
		農政課	6	2	1	松くい虫被害木伐倒駆除事業	416	
		農政課	6	2	1	枯松伐採促進事業補助金	53	
図書整備基金		生涯学習課	10	4	3	まちまるごと図書館事業	400	400

国民健康保険費特別会計

被保険者数（年度平均） (単位：人・%)

年度	一般	退職	計	うち前期高齢者		うち介護2号 被保険者
				人数	割合	
R3	6,145	0	6,145	3,245	52.8	1,794
R4	5,951	0	5,951	3,168	53.2	1,771
R5	5,699	0	5,699	2,976	52.2	1,716
R6	5,524	0	5,524	2,868	51.9	1,676

※R5・6年度は見込数

税 率

	医療分	後期高齢者支援分	介護分	合計
所得割	8.00%	2.75%	2.62%	13.37%
均等割	25,600円	7,700円	9,400円	42,700円
平等割	25,000円	8,000円	6,000円	39,000円
限度額	650,000円	240,000円	170,000円	1,060,000円

※R6年度の税率は、R5年度から変更なし。

賦課限度額は、後期高齢者支援分を2万円増額予定。

総括表

【歳入】

科目	(千円)
国民健康保険税	
現年課税分	453,347
滞納繰越分	18,589
計	471,936
県支出金	2,393,595
一般会計繰入金	289,234
国民健康保険基金繰入金	0
その他	11,941
計	3,166,706

【歳出】

科目	(千円)
総務費	25,005
国民健康保険基金積立金	61,564
保険給付費	2,361,201
保険事業費納付金	654,883
保健事業費	40,890
その他	23,163
計	3,166,706

歳 入

(款) 1 国民健康保険税 (項) 1 国民健康保険税

種 別	目	説 明																																										
【継続】	1 一般被保険者 国民健康保険税 471,835 《市民課》	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額</th> <th>収納率</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">現年分</td> <td>医療分</td> <td>324,614</td> <td>96.26%</td> <td>312,473</td> </tr> <tr> <td>後期分</td> <td>107,804</td> <td>96.26%</td> <td>103,772</td> </tr> <tr> <td>介護分</td> <td>38,544</td> <td>96.26%</td> <td>37,102</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>453,347</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">滞納分</td> <td>医療分</td> <td>72,897</td> <td>17.54%</td> <td>12,786</td> </tr> <tr> <td>後期分</td> <td>20,906</td> <td>18.15%</td> <td>3,794</td> </tr> <tr> <td>介護分</td> <td>12,730</td> <td>14.99%</td> <td>1,908</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>18,488</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td></td> <td>471,835</td> </tr> </tbody> </table>		調定額	収納率	予算額	現年分	医療分	324,614	96.26%	312,473	後期分	107,804	96.26%	103,772	介護分	38,544	96.26%	37,102	計			453,347	滞納分	医療分	72,897	17.54%	12,786	後期分	20,906	18.15%	3,794	介護分	12,730	14.99%	1,908	計			18,488	合 計			471,835
	調定額	収納率	予算額																																									
現年分	医療分	324,614	96.26%	312,473																																								
	後期分	107,804	96.26%	103,772																																								
	介護分	38,544	96.26%	37,102																																								
	計			453,347																																								
滞納分	医療分	72,897	17.54%	12,786																																								
	後期分	20,906	18.15%	3,794																																								
	介護分	12,730	14.99%	1,908																																								
	計			18,488																																								
合 計			471,835																																									
【継続】	2 退職被保険者等 国民健康保険税 101 《市民課》	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額</th> <th>収納率</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">滞納分</td> <td>医療分</td> <td>403</td> <td>16.81%</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>後期分</td> <td>116</td> <td>13.90%</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>介護分</td> <td>137</td> <td>13.25%</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>101</td> </tr> </tbody> </table>		調定額	収納率	予算額	滞納分	医療分	403	16.81%	67	後期分	116	13.90%	16	介護分	137	13.25%	18	計			101																					
	調定額	収納率	予算額																																									
滞納分	医療分	403	16.81%	67																																								
	後期分	116	13.90%	16																																								
	介護分	137	13.25%	18																																								
	計			101																																								

(款) 3 県支出金 (項) 1 県補助金

種 別	目	説 明	
【継続】	1 保険給付費等 交付金 2,393,595 《市民課》	普通交付金	2,348,715
		保険給付等に要する費用について交付される。	
		特別交付金	44,880
		保険者努力支援分	13,768
		保険者の医療費適正化等の取組状況に応じて 交付される。	
		特別調整交付金分	14,945
特別な事情に応じて交付される。			
県繰入金（県調整交付金）		9,853	
県が定める基準に基づき交付される。			
特定健康診査等負担金		6,314	
特定健康診査、特定保健指導に要した費用の 2/3が交付される。			

(款) 5 繰入金 (項) 1 一般会計繰入金

種 別	目	説 明	
【見直し】	1 一般会計繰入金 289,234 《市民課》	保険基盤安定繰入金	195,589
		保険税軽減分	131,370
		保険者支援分	64,219
		未就学児均等割保険料繰入金	966
		産前産後保険料繰入金	364
		出産育児一時金等繰入金	5,000
		出産育児一時金の2/3	
		事務費繰入金	17,633
		財政安定化支援事業繰入金	64,447
		低所得や高齢者の割合が高いなど、保険者の責めに 帰すことができない要因を基に算定される。	
その他繰入金		5,235	

【令和6年度実施事業一覧】

■国民健康保険費特別会計

単位：千円

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
市民課	1	1	1	国民健康保険事務費	10,723	10,768	45	
市民課	1	1	1	国民健康保険制度改正対応事業	0	5,841	5,841	418
市民課	1	1	1	国民健康保険基金積立金	2,820	61,564	58,744	
市民課	1	1	2	国民健康保険団体連合会負担金	2,661	2,666	5	
市民課	1	1	3	医療費適正化対策事務費	3,520	3,208	△ 312	420
市民課	1	1	3	後発医薬品普及啓発事業	235	197	△ 38	421
市民課	1	2	1	賦課徴収事務費	1,949	2,113	164	
市民課	1	3	1	国民健康保険運営協議会費	212	212	0	
市民課	2	1	1	一般被保険者療養給付費	1,977,754	2,010,005	32,251	422
市民課	2	1	2	退職被保険者等療養給付費	1	1	0	
市民課	2	1	3	一般被保険者療養費	5,823	6,880	1,057	423
市民課	2	1	4	退職被保険者等療養費	1	1	0	
市民課	2	1	5	審査支払手数料	6,785	6,718	△ 67	
市民課	2	2	1	一般被保険者高額療養費	309,717	328,793	19,076	424
市民課	2	2	2	退職被保険者等高額療養費	1	1	0	
市民課	2	2	3	一般被保険者高額介護合算療養費	355	315	△ 40	
市民課	2	2	4	退職被保険者等高額介護合算療養費	1	1	0	
市民課	2	3	1	一般被保険者移送費	1	1	0	
市民課	2	3	2	退職被保険者等移送費	1	1	0	
市民課	2	4	1	出産育児一時金	7,500	7,500	0	425
市民課	2	4	2	出産育児一時金支払事務手数料	4	4	0	
市民課	2	5	1	葬 祭 費	1,140	980	△ 160	426
市民課	2	6	1	傷病手当金	500	0	△ 500	
市民課	3	1	1	事業費納付金(医療給付費分)	515,399	413,976	△ 101,423	427
市民課	3	2	1	事業費納付金(後期高齢者支援金等分)	182,375	182,794	419	428
市民課	3	3	1	事業費納付金(介護納付金分)	60,118	58,113	△ 2,005	429
市民課	4	1	1	財政安定化基金拠出金	1	1	0	
健康づくり推進課	5	1	1	特定健康診査事業	16,922	16,416	△ 506	430
健康づくり推進課	5	1	1	特定保健指導事業	135	898	763	431
健康づくり推進課	5	1	1	特定健康診査未受診者対策事業	2,275	2,320	45	432
健康づくり推進課	5	2	1	保健衛生普及費	19,788	18,003	△ 1,785	433
健康づくり推進課	5	2	1	糖尿病重症化予防事業	2,728	3,253	525	434
市民課	6	1	1	一時借入金利子償還金	1	1	0	
市民課	7	1	1	一般被保険者保険税還付金	3,000	3,000	0	
市民課	7	1	2	退職被保険者等保険税還付金	50	50	0	
市民課	7	1	3	国県負担金補助金等返還金	1	1	0	
市民課	7	1	4	一般被保険者還付加算金	100	100	0	
市民課	7	1	5	退職被保険者等還付加算金	10	10	0	
市民課	8	1	1	予 備 費	20,000	20,000	0	
市民課	9	1	1	その他共同事業事務費拠出金	1	0	△ 1	
計					3,154,608	3,166,706	12,098	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	1	1	1	国民健康保険制度改正対応事業	新規
境港市まちづくり総合プラン			5-(3)	デジタル化の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	国民健康保険制度の改正に対応したシステム改修を行い、制度の適正な運用を図る。
-------	--

事業概要	国民健康保険制度の改正に対応した総合行政システム等の改修を行う。
------	----------------------------------

現状、背景、課題	現行の健康保険証等が廃止され、マイナ保険証に一本化されるといった制度改正が予定されている。本市の被保険者のうち、マイナ保険証保有者の割合は約61%（令和6年1月現在）である。
----------	---

事業計画・効果	<p>【制度改正等の内容】</p> <p>○現行の健康保険証等の廃止（令和6年12月2日） 廃止日以降、マイナ保険証非保有者には「資格確認書」を、保有者には「資格情報のお知らせ」をそれぞれ交付し、すべての被保険者が受診できるようにする。 なお、廃止日までに発行済の保険証は、資格情報に変更がない限り、廃止日から1年間有効（有効期限が先に到来する場合は、当該有効期限までとなるため、本市の発行する保険証は、令和7年7月末まで有効）との経過措置が設けられている。よって、「資格確認書」・「資格情報のお知らせ」の被保険者への一斉送付は、令和7年度の更新時となる。</p> <p>○加入者情報のお知らせの送付（令和6年10月までに世帯主宛に送付） 国民健康保険制度のデータベースに登録されている個人番号が正確に登録されていることをお知らせするために、被保険者に係る個人番号の下4桁の情報を送付する。</p> <p>○負担割合等の表示内容をチェックする仕組みの導入（令和6年8月から運用開始） 「オンライン資格確認等システム」の登録情報と「保険者システムの登録情報」を突合することで、両システム間で被保険者の負担割合等の情報に相違が出ていた場合に、早期の検知を可能にする。</p> <p>このような制度改正に対応したシステム改修を行うことで、適正かつ正確な制度運用を図ることができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		0	5,841	5,841					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	5,593	5,593					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	248	248					

令和6年度歳出内訳	需用費		516
	資格確認書台紙	248	
	制度改正に関するチラシ	194	
	加入者情報のお知らせ送付用封筒	74	
	役務費		1,002
	加入者情報のお知らせ郵送料		
	委託料		4,323
	総合行政システム改修委託料	3,960	
	国保事業報告システム改修委託料	198	
加入者情報のお知らせ送付業務委託料	165		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	1	1	3	医療費適正化対策事務費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	医療機関からの国保への請求に間違いがないか、請求された診療・調剤報酬明細書（レセプト）を点検したり、必要以上の診療を受けていないか、被保険者に医療費通知を送付することにより医療費の適正化を図る。
-------	---

事業概要	医療機関等から請求のあった診療・調剤報酬明細書（レセプト）の点検、被保険者への医療費通知等を行う。
------	---

現状、背景、課題	高齢化や医療の高度化により、医療費は増加傾向にある。国民健康保険においては、制度上、高齢者の割合が高く医療費の伸びが大きいことから、過度な増大を抑制する必要がある。
----------	--

事業計画・効果	<p>○レセプト点検 鳥取県国民健康保険団体連合会に委託して実施。</p> <p>○被保険者への医療費通知 年4回（6月・10月・1月・2月の予定）送付。</p> <p>レセプトの請求誤りの発見や被保険者の健康や医療に対する理解増進などにつながり、医療費の適正化を図ることができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		3,520	3,208	△ 312					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	1,470	1,470					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	3,520	1,738	△ 1,782					

令和6年度歳出内訳	需用費	126
	医療費適正化に関するチラシほか	
	役務費	2,111
	医療費通知郵送料ほか	
	委託料	859
	レセプト二次点検業務委託料	467
	資格確認業務委託料	392
負担金補助及び交付金	112	
第三者行為請求事務負担金		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	1	1	3	後発医薬品普及啓発事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	先発医薬品より低価格な後発医薬品（ジェネリック医薬品）の利用を増やすことにより、医療費のうちの薬剤費の削減を図る。
-------	---

事業概要	ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知の送付や加入者へのジェネリック医薬品希望カードの配布など、ジェネリック医薬品の普及啓発を行う。
------	---

現状、背景、課題	令和4年度の普及率は86.6%（3月診療分）であり、国の定めた目標値を超えているが、後発医薬品に対する情報や知識について、継続して啓発していくことが必要である。
----------	--

事業計画・効果	<p>○ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知 35歳以上で1か月の自己負担軽減額が300円以上の被保険者に、年3回（5月・9月・1月の予定）送付。</p> <p>○新規加入者への啓発 国保加入手続き時に、ジェネリック医薬品希望カードが付いたパンフレットを配布。</p> <p>差額通知や希望カードの配布といった被保険者への啓発等を図ることで、医療費（薬剤費）の削減につなげることができる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		235	197	△ 38					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	197	197					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	235	0	△ 235					

令和6年度歳出内訳	需用費	60
	ジェネリック医薬品パンフレット（希望カード付）	
	役務費	137
	差額通知郵送料ほか	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	1	1	一般被保険者療養給付費	継 続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	一般被保険者が疾病等により医療機関等を受診した際に現物給付（医療サービスそのものの給付）等を行うことで、被保険者の医療にかかる負担軽減を図る。
-------	---

事業概要	医療機関等から審査支払代行機関である鳥取県国民健康保険団体連合会を經由して請求される療養給付費と、標準負担額減額認定証を提示しなかった非課税世帯の人の入院時食事療養費の差額分を給付する。
------	---

現状、背景、課題	一般被保険者が医療機関等で現物給付を受ける際には、一部負担金を支払わなければならない。負担割合は、小学校入学前：2割、小学校入学後70歳未満：3割、70歳以上75歳未満：2割（一定所得以上の者3割）となっている。
----------	--

事業計画・効果	現物給付は、審査支払代行機関である鳥取県国民健康保険団体連合会からの毎月の請求に基づき行う。 一定の自己負担金を支払えば医療が受けられることで、医療費の負担が大幅に軽減される。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,977,754	2,010,005	32,251	1,000			一般被保険者保険給付費返納金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	3,000			一般被保険者第三者納付金	
	県支出金	1,973,754	2,006,005	32,251					
	地方債	0	0	0					
	その他	4,000	4,000	0					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	2,010,005
-----------	------------	-----------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	1	3	一般被保険者療養費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	療養費（診療費10割負担、補装具購入、鍼灸治療等）の保険者負担分を支給することで、一般被保険者の医療にかかる負担軽減を図る。
-------	--

事業概要	一般被保険者が医師の診断・指示の下で補装具の購入や鍼灸治療等を受けた場合や、医療機関等の窓口で保険証の提示をしなかったため10割負担となった場合の保険者負担分を給付する。
------	---

現状、背景、課題	被保険者の自己負担割合（小学校入学前：2割、小学校入学後70歳未満：3割、70歳以上75歳未満：2割（一定所得以上の者3割））に応じて給付している。
----------	--

事業計画・効果	被保険者から支給申請を受け、審査した後に給付する。 事後に被保険者に対して一定の給付を行うことで、被保険者の医療費の負担軽減を図ることができる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		5,823	6,880	1,057					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	5,823	6,880	1,057					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	6,880
-----------	------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	2	1	一般被保険者高額療養費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	医療費の自己負担限度額を超えた額を高額療養費として給付することにより、一般被保険者の一部負担金の軽減を図る。
-------	--

事業概要	現金給付（一般被保険者からの申請により自己負担限度額を超えた額を支給）と、現物給付（窓口での限度額適用認定証等の提示に基づき自己負担限度額を超えた額を医療機関に支給）を行う。
------	---

現状、背景、課題	自己負担限度額（月額）は、被保険者の所得状況等により、70歳未満が5段階、70歳以上が6段階に区分されている。現金給付については、支給申請手続の簡素化を図っており、一度簡素化の申請を行うと、以降に高額療養費が発生した際は申請することなく、指定口座に振り込まれる仕組みとなっている。
----------	--

事業計画・効果	<p>現金給付分については、被保険者から支給申請を受け、審査した後に給付し、現物給付分については、審査支払代行機関である鳥取県国民健康保険団体連合会等からの請求に基づき給付する。</p> <p>被保険者は所得状況等に応じた自己負担限度額までの負担で済むため、高額な医療費を負担する必要がなく、経済的負担の軽減を図ることができる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		309,717	328,793	19,076					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	309,717	328,793	19,076					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	328,793
-----------	------------	---------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	4	1	出産育児一時金	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(1)	出会いから妊娠・出産に至るまでの支援	
SDGs	1	貧困をなくそう		3	すべての人に健康と福祉を

事業の目的	被保険者の分娩に対し、出産育児一時金を支給することで、出産にかかる経済的負担の軽減を図る。
-------	---

事業概要	被保険者の出産、または妊娠12週以降の死産・流産に対して、出産育児一時金を支給する。
------	--

現状、背景、課題	支給額は、出産児1人につき50万円（医療機関等が産科医療保障制度対象外の場合は48万8千円）。
----------	---

事業計画・効果	<p>被保険者が直接支払制度を利用する場合には、審査支払機関である鳥取県国民健康保険団体連合会を經由して医療機関等に直接支給する。直接支給額との差額や被保険者が直接支払制度を利用しない場合については、被保険者から支給申請を受け支給する。</p> <p>出産にかかる費用の大部分を一時金で賄うことができるため、被保険者の経済的負担の軽減を図ることができる。</p>
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		7,500	7,500	0					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	7,500	7,500	0					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	7,500
-----------	------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	5	1	葬 祭 費	継 続
境港市まちづくり総合プラン			1-(9)	互いの人権を尊重する社会の実現	
SDGs	1	貧困をなくそう		3	すべての人に健康と福祉を

事業の目的
被保険者が亡くなった際の葬祭を執り行った人に対し、葬祭費を支給することで、葬祭にかかる経済的負担の軽減を図る。

事業概要
被保険者が亡くなった際、その葬祭を執り行った人に対して、葬祭費を支給する。

現状、背景、課題
支給額は、2万円。

事業計画・効果
亡くなった被保険者にかかる葬祭を執り行った人から支給申請を受け、支給する。
葬祭執行者の経済的負担の軽減を図ることができる。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,140	980	△ 160					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	1,140	980	△ 160					

令和6年度歳出内訳
負担金補助及び交付金 980

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	3	1	1	事業費納付金(医療給付費分)	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり(健康寿命の延伸)の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	国保の財政運営の責任主体である鳥取県が算定した国民健康保険事業費納付金を納めることで、国保の安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等を図る。
-------	---

事業概要	鳥取県が県全体の医療費の見込みを立てた上で、公費等で賄われる部分を除いた額を、各市町村の所得水準や被保険者数、医療費水準等に応じて、市町村ごとに算定する国民健康保険事業費納付金のうち、医療給付費分。
------	---

現状、背景、課題	平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体として、国保運営の中心的な役割を担っており、鳥取県は、市町村から国民健康保険事業費納付金を徴収する一方、市町村が保険給付等に必要とする額を保険給付費等交付金として市町村に交付している。
----------	--

事業計画・効果	鳥取県が毎年度、県全体で見込んだ医療費から公費等で賄われる部分を除いた額を、各市町村の所得水準や被保険者数、医療費水準等に応じて、市町村ごとに算定。 各市町村は、算定額を8月～3月の8回払いで鳥取県に納付。 県全体で国保の運営が行われることにより、安定的な財政運営や効率的な事業運営等を図ることができる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		515,399	413,976	△ 101,423	7,929			一般被保険者延滞金	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	1			退職被保険者等延滞金	
	県支出金	0	0	0	1			一般被保険者加算金	
	地方債	0	0	0	1			退職被保険者等加算金	
	その他	8,586	7,932	△ 654					
	一般財源	506,813	406,044	△ 100,769					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	413,976
-----------	------------	---------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	3	2	1	事業費納付金（後期高齢者支援金等分）	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	国保の財政運営の責任主体である鳥取県が算定した国民健康保険事業費納付金を納めることで、国保の安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等を図る。
-------	---

事業概要	鳥取県が県全体の医療費の見込みを立てた上で、公費等で賄われる部分を除いた額を、各市町村の所得水準や被保険者数、医療費水準等に応じて、市町村ごとに算定する国民健康保険事業費納付金のうち、後期高齢者支援金等分。
------	---

現状、背景、課題	平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体として、国保運営の中心的な役割を担っており、鳥取県は、市町村から国民健康保険事業費納付金を徴収する一方、市町村が保険給付等に必要とする額を保険給付費等交付金として市町村に交付している。
----------	--

事業計画・効果	鳥取県が毎年度、県全体で見込んだ医療費から公費等で賄われる部分を除いた額を、各市町村の所得水準や被保険者数、医療費水準等に応じて、市町村ごとに算定。 各市町村は、算定額を8月～3月の8回払いで鳥取県に納付。 県全体で国保の運営が行われることにより、安定的な財政運営や効率的な事業運営等を図ることができる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		182,375	182,794	419					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
	一般財源	182,375	182,794	419					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	182,794
-----------	------------	---------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	3	3	1	事業費納付金（介護納付金分）	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	国保の財政運営の責任主体である鳥取県が算定した国民健康保険事業費納付金を納めることで、国保の安定的な財政運営や効率的な事業運営の確保等を図る。
-------	---

事業概要	鳥取県が県全体の医療費の見込みを立てた上で、公費等で賄われる部分を除いた額を、各市町村の所得水準や被保険者数、医療費水準等に応じて、市町村ごとに算定する国民健康保険事業費納付金のうち、介護納付金分。
------	---

現状、背景、課題	平成30年度から都道府県が財政運営の責任主体として、国保運営の中心的な役割を担っており、鳥取県は、市町村から国民健康保険事業費納付金を徴収する一方、市町村が保険給付等に必要とする額を保険給付費等交付金として市町村に交付している。
----------	--

事業計画・効果	鳥取県が毎年度、県全体で見込んだ医療費から公費等で賄われる部分を除いた額を、各市町村の所得水準や被保険者数、医療費水準等に応じて、市町村ごとに算定。 各市町村は、算定額を8月～3月の8回払いで鳥取県に納付。 県全体で国保の運営が行われることにより、安定的な財政運営や効率的な事業運営等を図ることができる。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		60,118	58,113	△ 2,005					
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	0	0	0					
一般財源		60,118	58,113	△ 2,005					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	58,113
-----------	------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	5	1	1	特定健康診査事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	特定健康診査を実施し、メタボリックシンドローム該当者及び予備群を抽出し、それらの人に特定保健指導を実施して生活習慣の改善を促すことにより、将来の生活習慣病の発生を抑制し、被保険者の健康管理を図る。
-------	--

事業概要	40～74歳の国保被保険者に対して、生活習慣の改善が必要な者を抽出するために、メタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施する。
------	--

現状・背景・課題	特定健康診査の受診率は、R2：23.7%、R3：29.9%、R4：30.8%となっており、受診率は3割を超えたが、40～50歳代の受診率向上が課題であり、40歳の被保険者に対する全戸訪問による受診勧奨や健診の無料化及び未受診者への個別受診勧奨通知など、継続して受診勧奨の取り組みを行っている。
----------	--

事業計画・効果	≪事業計画≫ ・市内17医療機関で個別健診を実施予定。 ・集団健診を平日6日間、休日3日間実施予定。 ・休日に実施することで、働き世代が受診しやすい環境を整える。
	≪効果≫ 生活習慣病の重症化予防と医療費の抑制を図る。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	16,922	16,416		△ 506		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	6,472	16,416	9,944		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	10,450	0	△ 10,450		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	71
	看護師（2人）	
	需 用 費	222
	消耗品費	5
	印刷製本費（受診券等）	217
	役 務 費	1,198
	通信運搬費（受診券・結果通知郵送料）	405
	手数料（みなし健診事務処理手数料など）	793
委 託 料	14,925	
各種健診委託料		

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	5	1	1	特定保健指導事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクの高い、メタボリックシンドローム該当者及び予備群に該当する者に対し、特定保健指導を実施することで生活習慣の改善を促し、生活習慣病の予防を図る。
-------	--

事業概要	特定健康診査の結果、生活習慣の改善が必要とされた者に対して特定保健指導を実施する。
------	---

現状、背景、課題	特定保健指導の実施率は、2～3割程度となっており、令和6年度からは、保健指導を済生会境港総合病院に委託することで、国保人間ドックを済生会境港総合病院で受診された方については、健診当日に保健指導が受けられる体制を整え、実施率の向上と効果的な指導につなげる。
----------	---

事業計画・効果	<p>《事業計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別もしくは集団のいずれかを選択してもらい、保健指導を行う。 ・保健指導の内容は、保健師・栄養士による相談のほか、ユミナ24の運動指導などを予定している。 ・実施率40%を目標とし、生活習慣病予防、健康寿命の延伸を図る。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算			予 算			予 算	
事業費		135			898			763	
財源内訳	国庫支出金	0			0			0	
	県支出金	135			898			763	
	地方債	0			0			0	
	その他	0			0			0	
	一般財源	0			0			0	

令和6年度歳出内訳	需用費	51
	消耗品費（コピー用紙等）	24
	印刷製本費（受診券）	27
	役務費	25
	通信運搬費（結果通知等）	
	報償費	51
	委託料	771
	特定保健指導業務委託	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	5	1	1	特定健康診査未受診者対策事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	未受診者の背景事情などを分析し、健診の実施方法、広報活動等において有効な対策を検討するとともに、受診勧奨を行うことで受診率向上につなげる。
-------	---

事業概要	特定健康診査の受診率向上を目的とした事業の実施にかかる費用を計上する。
------	-------------------------------------

現状、背景、課題	特定健康診査実施計画では、特定健康診査受診率目標を60%としており、年々受診率は向上しているものの、令和4年度の実績は30.8%と目標値には届いていない。受診率向上に向けて、被保険者への取り組みを強化する必要がある。
----------	--

事業計画・効果	<p>《事業計画》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 未受診者全体への受診勧奨 未受診者を傾向によって分析・分類し、効果的な受診勧奨はがきを送付予定。 ■ みなし健診の実施 令和6年度に健診を受診されなかった者のうち、生活習慣病関連で医療受診している者について、勧奨通知を送付予定。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,275	2,320		45		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	2,320	2,320		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	2,275	0	△ 2,275		

令和6年度歳出内訳	需用費	10
	印刷製本費（みなし健診案内送付用窓あき封筒）	
	役務費	106
	通信運搬費（受診勧奨通知・みなし健診案内通知郵送料）	55
	手数料（医療機関分析にかかるレセプトデータ等提供手数料）	51
	委託料	2,204
	みなし健診未受診者勧奨通知作成業務委託料	43
	人口知能を活用した特定健診受診勧奨業務委託料	2,161

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	5	2	1	保健衛生普及費	見直し
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	国保被保険者を対象として、人間ドックと脳MRI検査を実施し、疾病の予防、早期発見を図る。
-------	--

事業概要	40歳から74歳の国保被保険者に対し、人間ドックと脳MRI検査を市内の医療機関に委託し、実施する。 ※実施機関…人間ドック：7医療機関、脳MRI：済生会境港総合病院
------	---

現状、背景、課題	定員：人間ドック500人、脳MRI検査200人 ※国保被保険者数は、年々減少している。
----------	--

事業計画・効果	<p><実施期間> R6. 8. 1～R7. 1. 31 ※済生会病院のみ R6. 7. 1～R7. 1. 31</p> <p><対象者> 40歳～74歳までの国民健康保険被保険者</p> <p><定員> 人間ドック：500人 脳MRI検査：200人</p> <p><内容> 人間ドック：人間ドック：血液検査（腫瘍マーカー）、心電図、腹部超音波、眼底検査、視力検査 脳MRI検査：脳MRI検査・脳MRA検査</p> <p><実施医療機関> 人間ドック：済生会境港総合病院、市場医院、小林外科内科医院、つちえ内科・小児科医院、つのだ循環器内科医院、松野医院、村上内科医院 脳MRI検査：済生会境港総合病院</p> <p><周知方法> 国保の納税通知にチラシ送付。市報、HP掲載。</p> <p><予約方法> 希望者は健康づくり推進課に予約→受付票を発行→各医療機関日程を決める→実施</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	19,788	18,003		△ 1,785		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	14,623	14,623		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	19,788	3,380		△ 16,408	

令和6年度歳出入内訳	需用費	202
	印刷製本費（記録票等）	
	役務費	117
	通信運搬費（結果通知等）	
	委託料	17,684
	人間ドック委託料（500人）	14,292
脳MRI検査委託料（200人）	3,392	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
健康づくり推進課	5	2	1	糖尿病重症化予防事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	糖尿病治療中の人及び特定健診で糖尿病による腎臓機能の低下が危惧される人に対し、面談や訪問を通して適切な医療の継続や生活習慣の改善を図り、重症化を予防する。
-------	---

事業概要	特定健診の結果、医療や再検査が必要な人に通知するとともに電話や訪問により保健指導や受診勧奨を行い、必要な方には早期に適切な医療に結び付け、人工透析に至る重症化を予防する。
------	---

現状、背景、課題	国保被保険者数の減少により、医療費総額が減少傾向にある中、一人当たりの医療費は増加傾向となっている。本市の令和4年度の医療費の状況では、県と比較して、入院も外来も糖尿病が高くなっている。 特定健診結果からも、男女ともに空腹時血糖が高い者が県平均より高い状況となっている。
----------	--

事業計画・効果	健診結果より対象者を抽出し、看護師および保健師による家庭訪問や電話等による受診勧奨や保健指導を行う。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,728	3,253	525			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	3,253	3,253		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	0	0		
	一般財源	2,728	0	△ 2,728		

令和6年度歳出内訳	人件費（会計年度任用職員1人）	3,207
	需用費	36
	印刷製本費（各種パンフレット）	
	役務費	10
	保健指導用医師指示書作成手数料	

駐車場費特別会計

総括表		
事業費 内訳	駐車場管理費	13,134千円
	予備費	500千円
合計		13,634千円
財源内訳	定期駐車場使用料	5,568千円
	普通駐車場使用料	8,050千円
	駐車場占用料	16千円

事業費 内訳	駐車場管理費	13,134千円
	予備費	500千円
合計		13,634千円
財源内訳	定期駐車場使用料	5,568千円
	普通駐車場使用料	8,050千円
	駐車場占用料	16千円

歳入
(款) 1 使用料及び手数料 (項) 1 使用料

目	説明																
1 駐車場使用料 13,618 《都市整備課》	<table border="1"> <tr> <td>定期駐車使用料</td> <td>5,568</td> </tr> <tr> <td>普通駐車使用料</td> <td>8,050</td> </tr> <tr> <td>駐車台数</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 駐車場名</td> <td>定期駐車 普通駐車</td> </tr> <tr> <td> 境港駅前駐車場</td> <td>76台 116台</td> </tr> <tr> <td> 大正町駐車場</td> <td>- 58台</td> </tr> <tr> <td> 日ノ出駐車場</td> <td>40台 87台</td> </tr> <tr> <td> 合計</td> <td>116台 261台</td> </tr> </table>	定期駐車使用料	5,568	普通駐車使用料	8,050	駐車台数		駐車場名	定期駐車 普通駐車	境港駅前駐車場	76台 116台	大正町駐車場	- 58台	日ノ出駐車場	40台 87台	合計	116台 261台
定期駐車使用料	5,568																
普通駐車使用料	8,050																
駐車台数																	
駐車場名	定期駐車 普通駐車																
境港駅前駐車場	76台 116台																
大正町駐車場	- 58台																
日ノ出駐車場	40台 87台																
合計	116台 261台																

(款) 2 諸収入 (項) 1 雑入

1 雑入 16 《都市整備課》	駐車場占用料
-----------------------	--------

【令和6年度実施事業一覧】

■ 駐車場費特別会計

単位：千円

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
都市整備課	1	1	1	駐車場管理費	10,497	13,134	2,637	437
都市整備課	2	1	1	予備費	500	500	0	
計					10,997	13,634	2,637	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
都市整備課	1	1	1	駐車場管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	11	住み続けられるまちづくりを			

事業の目的	水木しげるロード周辺や市街地に市営駐車場を配置し、市民や観光客の自動車交通の利便性の向上及び道路交通の円滑化を図る。
-------	--

事業概要	市営駐車場（境港駅前、大正町、日ノ出）3か所の管理・運営を行う。
------	----------------------------------

現状、背景、課題	本市の市営駐車場として、境港駅前駐車場と大正町駐車場及び日ノ出駐車場が整備されている。3駐車場の普通駐車は、主に水木しげるロードへの観光客及び境港駅や商店街を訪れる市民に利用されている。また、定期駐車は境港駅前駐車場と日ノ出駐車場にあり、駅前は主に隠岐の関係者、日ノ出は主に近隣の住民に利用されている。
----------	---

事業計画・効果	市営駐車場（境港駅前、大正町、日ノ出）の管理・運営を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・新紙幣発行（令和6年7月）に対応するため駐車場料金精算機を改修 新紙幣対応紙幣リーダー・ソフトウェア更新（各普通駐車場3台分） ・市営駐車場照明LED化 水銀灯16灯（日ノ出8灯、境港駅前5灯、大正町3灯）をLED照明に交換 電気料金の削減、脱炭素化の推進を図る 繁忙期を終えた8月から9月頃に実施予定 ・日ノ出駐車場（定期）機器更新 老朽化した定期駐車場のゲートシステム（平成23年設置）を更新
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		10,497	13,134	2,637	13,134	駐車場使用料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	その他	10,497	13,134	2,637			
	一般財源	0	0	0			

令和6年度歳出内訳	需用費	1,769
	光熱水費、修繕料ほか	
	役務費	98
	電話料、公金取扱い手数料	
	委託料	5,386
	管理機器保守、警備委託料、新紙幣対応改修ほか	
	使用料及び賃借料	818
	管理機器リース料	
工事請負費	3,041	
照明LED化工事、日ノ出駐車場（定期）機器更新工事		
公課費	2,022	
消費税及び地方消費税		

介護保険費特別会計 予算総括表

(単位：千円)

費目	事業名	事業費	財源内訳			
			国庫 支出金	県支出金	支払基金 交付金等	一般財源
1.1.1	一般管理費	14,797			6	14,791
1.2.1	賦課徴収費	1,621			27	1,594
1.3.1	介護認定審査会費	7,264				7,264
1.3.2	認定調査等費	10,014				10,014
2.1.1	介護サービス等諸費	3,777,415	917,121	537,039	1,095,010	1,228,245
2.2.1	介護予防サービス等諸費	199,494	48,435	28,362	53,863	68,834
2.3.1	審査支払手数料	5,134	1,247	730	1,386	1,771
3.1.1	介護予防・生活支援サービス事業費	106,018	32,980	12,654	27,747	32,637
3.2.1	一般介護予防事業費	8,624	1,840	921	2,929	2,934
3.3.1	包括的支援事業費	120,390	31,889	15,066	24,764	48,671
3.3.2	任意事業費	10,384	3,164	1,582	100	5,538
3.4.1	審査支払手数料	486	117	58	126	185
4.1.1	公債費	1				1
5.1.1	第1号被保険者保険料 還付金	1,000				1,000
5.1.2	返還金	1				1
6.1.1	予備費	1,000				1,000
合計		4,263,643	1,036,793	596,412	1,205,958	1,424,480

介護保険費特別会計

歳入

(款) 1 保険料

(項) 1 介護保険料

事業名	説明
1 第1号被保険者 保険料 825,088 《長寿社会課》	現年度分 特別徴収保険料 760,080 普通徴収保険料 61,551 滞納繰越分 普通徴収保険料 3,457

(款) 3 国庫支出金

(項) 1 国庫負担金

事業名	説明
1 介護給付費負担金 728,030 《長寿社会課》	現年度分 介護給付費負担金 (施設給付費の15%、その他給付費の20%)

(款) 3 国庫支出金

(項) 2 国庫補助金

事業名	説明
1 調整交付金 238,773 《長寿社会課》	現年度分 調整交付金
2 地域支援事業 交付金 (介護予防事業) 27,266 《長寿社会課》	現年度分 介護予防事業 (事業費の25%)
3 地域支援事業 交付金 (包括的支援事業等) 33,297 《長寿社会課》	現年度分 包括的支援・任意事業 (事業費の38.5%)
4 保険者機能強化 推進交付金 3,960 《長寿社会課》	「保険者機能の評価指標毎の加点数×第1号被保険者数」 により算出した点数を基準として、県全体の合計に占める 割合に応じて交付される。
5 介護保険保険者 努力支援交付金 5,467 《長寿社会課》	地域支援事業を充実させて行う、介護予防・健康づくりに 必要な取組みを支援するため、令和2年度に創設されたも のであり、国、都道府県、市町村及び第2号保険料の法定 負担割合に加えて、介護保険特別会計に充当し活用するも のである。 【算定方法】 「介護予防・健康づくりに関するの評価指標毎の加点数× 第1号被保険者数」により算出した点数を基準として、県 全体の合計に占める割合に応じて交付される。

(単位：千円)

(款) 4 支払基金交付金

(項) 1 支払基金交付金

事業名	説明
1 介護給付費交付金 1,075,150 《長寿社会課》	現年度分 介護給付費交付金 (第2号被保険者保険料 給付費総額の27%)
2 地域支援事業 交付金 (介護予防事業) 29,448 《長寿社会課》	現年度分 地域支援事業支援交付金 (第2号被保険者保険料 介護予防事業費の27%)

(款) 5 県支出金

(項) 1 県負担金

事業名	説明
1 介護給付費負担金 566,131 《長寿社会課》	現年度分 介護給付費負担金 (施設給付費の17.5%、その他給付費の12.5%)

(款) 5 県支出金

(項) 2 県補助金

事業名	説明
1 地域支援事業 交付金 (介護予防事業) 13,633 《長寿社会課》	現年度分 介護予防事業 (事業費の12.5%)
2 地域支援事業 交付金 (包括的支援事業等) 16,648 《長寿社会課》	現年度分 包括的支援・任意事業 (事業費の19.25%)

(款) 7 繰入金

(項) 1 一般会計繰入金

事業名	説明
1 介護給付費繰入金 497,754 《長寿社会課》	現年度分 介護給付費繰入金 (給付費総額の12.5%)
2 地域支援事業 繰入金 (介護予防事業) 13,633 《長寿社会課》	現年度分 介護予防事業 (事業費の12.5%)
3 地域支援事業 繰入金 (包括的支援事業等) 16,648 《長寿社会課》	現年度分 包括的支援・任意事業 (事業費の19.25%)
4 その他一般会計 繰入金 71,356 《長寿社会課》	職員給与等繰入金 11,944 事務費繰入金 22,752 保険料軽減分繰入金 36,660

【令和6年度実施事業一覧】

■介護保険費特別会計

単位：千円

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
長寿社会課	1	1	1	介護保険事務費	11,990	14,792	2,802	
長寿社会課	1	1	1	介護給付費等準備基金積立金	12,911	5	△ 12,906	
長寿社会課	1	2	1	賦課徴収事務費	1,606	1,621	15	
長寿社会課	1	3	1	介護認定審査会費	5,455	7,264	1,809	
長寿社会課	1	3	2	認定調査等費	9,352	10,014	662	
長寿社会課	1	4	1	計画策定委員会費	254	0	△ 254	
長寿社会課	2	1	1	介護サービス等諸費	3,448,484	3,777,415	328,931	443
長寿社会課	2	2	1	介護予防サービス等諸費	176,141	199,494	23,353	444
長寿社会課	2	3	1	審査支払手数料	5,200	5,134	△ 66	
長寿社会課	3	1	1	介護予防・生活支援サービス事業	111,474	106,018	△ 5,456	445
長寿社会課	3	2	1	運動器機能向上事業	56	59	3	446
長寿社会課	3	2	1	認知症予防事業	271	215	△ 56	
長寿社会課	3	2	1	介護予防筋力向上トレーニング事業	4,505	4,507	2	
長寿社会課	3	2	1	介護支援ボランティアポイント事業	39	24	△ 15	
長寿社会課	3	2	1	健康教育事業	72	65	△ 7	
長寿社会課	3	2	1	高齢者サークル活動支援事業	60	30	△ 30	
長寿社会課	3	2	1	高齢者実態調査	2,228	2,255	27	
長寿社会課	3	2	1	口腔機能向上・栄養改善事業	100	101	1	
長寿社会課	3	2	1	元気シニア増やそう フレイル予防大作戦	1,029	1,368	339	447
長寿社会課	3	3	1	地域包括支援センター運営事業	96,624	111,732	15,108	449
長寿社会課	3	3	1	介護保険運営協議会費	120	120	0	
長寿社会課	3	3	1	包括ケア推進事業	142	145	3	
長寿社会課	3	3	1	在宅医療・介護連携推進事業	32	32	0	
長寿社会課	3	3	1	生活支援体制整備事業	3,968	4,363	395	
長寿社会課	3	3	1	認知症初期集中支援推進事業	3,448	3,998	550	
長寿社会課	3	3	2	家庭介護用品購入費助成事業	818	670	△ 148	
長寿社会課	3	3	2	介護相談員派遣事業	2,760	2,969	209	
長寿社会課	3	3	2	家族介護教室	36	26	△ 10	
長寿社会課	3	3	2	介護保険住宅改修支援事業	5	5	0	
長寿社会課	3	3	2	生活管理指導短期宿泊事業	22	22	0	
長寿社会課	3	3	2	成年後見制度利用支援事業	1,710	1,496	△ 214	451
長寿社会課	3	3	2	高齢者緊急通報システム事業	3,418	5,196	1,778	452
長寿社会課	3	4	1	介護予防事業審査支払手数料	490	486	△ 4	
長寿社会課	4	1	1	一時借入金利子償還金	1	1	0	
長寿社会課	5	1	1	第1号被保険者保険料還付金	1,000	1,000	0	
長寿社会課	5	1	2	国県負担金補助金等返還金	1	1	0	
長寿社会課	6	1	1	予備費	1,000	1,000	0	
計					3,906,822	4,263,643	356,821	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	2	1	1	介護サービス等諸費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	要介護認定によって常時介護が必要とされた要介護者に対し、介護の必要の程度に応じ、居宅介護支援事業所のケアマネジメントに基づく居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービスが提供され、その費用は介護サービス給付費として給付される。
-------	--

事業概要	要介護認定者が利用した介護サービス給付費のうち、利用者負担額を差し引いた経費を事業所等に支払う。
------	--

現状、背景、課題	令和4年度実績 3,422,001千円 令和3年度実績 3,385,198千円 令和2年度実績 3,312,458千円
----------	---

事業計画・効果	事業所による必要なサービス提供等について遅滞のない請求事務を行い、適正な給付費の支払いを実施している。また、事業所に対し定期的に実地指導を行うなど、利用者が安心して必要なサービスを受けることができる体制を整え、適切な給付管理を行っている。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		3,448,484	3,777,415	328,931	1,019,901		支払基金		
財源内訳	国庫支出金	847,449	917,121	69,672	75,104		介護給付費等準備基金繰入金		
	県支出金	488,694	537,039	48,345	5		諸収入		
	地方債	0	0	0					
	その他	931,094	1,095,010	163,916					
	一般財源	1,181,247	1,228,245	46,998					

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	
	居宅介護サービス給付費	1,383,161
	地域密着型介護サービス給付費	766,618
	施設介護サービス給付費	1,275,559
	居宅介護福祉用具購入費	2,867
	居宅介護住宅改修費	5,787
	居宅サービス計画給付費	164,970
	高額介護サービス費	76,369
	特定入所者介護サービス費	91,776
高額医療合算介護サービス費	10,308	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	2	2	1	介護予防サービス等諸費	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	要支援認定によって、介護が必要な状態の軽減のための支援や日常生活の支援が必要とされた要支援者に対し、支援の必要の程度に応じ、在宅の介護予防サービス、地域密着型介護予防サービスが提供され、その費用は介護予防サービス給付費として給付される。
-------	--

事業概要	要支援認定者が利用した介護予防サービス給付費のうち、利用者負担額を差し引いた経費を事業所等に支払う。
------	--

現状、背景、課題	令和4年度実績 170,687千円 令和3年度実績 162,034千円 令和2年度実績 151,973千円
----------	---

事業計画・効果	事業所による必要なサービス提供等について遅滞のない請求事務を行い、適正な給付費の支払いを実施している。また、事業所に対し定期的に実地指導を行うなど、利用者が安心して必要なサービスを受けることができる体制を整え、適切な給付管理を行っている。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	176,141	199,494	23,353	53,863	支払基金	
財源内訳	国庫支出金	43,286	48,435	5,149		
	県支出金	24,961	28,362	3,401		
	地方債	0	0	0		
	その他	47,558	53,863	6,305		
	一般財源	60,336	68,834	8,498		

令和6年度歳出内訳	負担金補助及び交付金	
	介護予防サービス給付費	147,409
	地域密着型介護予防サービス給付費	14,830
	介護予防福祉用具購入費	2,032
	介護予防住宅改修費	7,671
	介護予防サービス計画給付費	27,179
	その他介護予防サービス給付費	373

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	1	1	介護予防・生活支援サービス事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(5)	市民の健康づくり（健康寿命の延伸）の推進	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	要支援1・2の者、要介護状態又は要支援状態となるおそれの高い虚弱な状態にある65歳以上の者がいつまでも在宅で自立した生活を継続できるよう支援する。
-------	---

事業概要	要支援1・2の者、65才以上の要介護状態又は要支援状態となるおそれが高いと認定された者に対して、介護予防や生活支援サービスを提供する。
------	---

現状、背景、課題	介護予防給付で行われていた要支援1・2の者に対する訪問介護・通所介護事業を平成28年度から市町村が地域の実情に応じた取り組みが可能となる地域支援事業へ移行。また、多様な主体による緩和基準サービスとして、平成29年度から通所型サービスを、令和2年度から訪問型サービスを実施。
----------	--

事業計画・効果	要支援1・2の者、要介護状態となるおそれの高い高齢者に対し、介護予防や生活支援サービスを提供する。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	その他の内訳 名 称
事業費		111,474	106,018	△ 5,456	414	介護予防・生活支援サービス手数料
財源内訳	国庫支出金	37,115	32,980	△ 4,135	27,333	支払基金
	県支出金	13,884	12,654	△ 1,230		
	地方債	0	0	0		
	その他	30,391	27,747	△ 2,644		
	一般財源	30,084	32,637	2,553		

令和6年度歳出内訳	役 務 費 (保険料ほか)	61
	委 託 料	2,851
	(訪問型サービス委託料)	248
	委 託 先 : (公社) 境港市シルバー人材センター	
	(通所型サービス委託料)	2,603
	委 託 先 : (福) こうほうえん	
	(福) 境港市社会福祉協議会 (福) 恩賜財団済生会 老健はまかせ	
負担金補助及び交付金	103,106	
訪問型介護予防サービス費	37,911	
通所型介護予防サービス費	64,728	
高額介護予防サービス費等	467	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	2	1	運動器機能向上事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	高齢者を対象とし、運動機能の向上を通じた生活機能の改善を図ることでフレイルを予防していく。
-------	---

事業概要	各地区のいきいき百歳体操グループによる住民主体の運営活動の広がりを支援するための交流会を開催する。また、リハビリテーション専門職による運動機能向上のための講座を開催するなど、フレイル予防対策の強化を行う。
------	--

現状、背景、課題	平成27年度より地域包括支援センターでいきいき百歳体操を取り入れた運動器機能向上事業を実施していた。平成28年10月から地域包括支援センターが直営1本化となり、本事業の強化を図り、平成29年度よりでシリーズ化した教室を7公民館で行い、その後住民主体の自主グループ化へ進めていき、広がりを見せている。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・足腰筋力アップ教室 開催回数：1クール3か月の4クール、週1回 内容：リハビリテーション専門職による運動方法の習得と習慣化。 ・いきいき百歳体操実施団体交流会 開催回数：1回 内容：百歳体操実施団体が一同に会して、いきいき百歳体操の実施と情報交換を行う。 ・いきいき百歳体操自主グループ支援 開催回数：随時 内容：各地区に出かけ、動作確認・はげまし支援などを実施する。 ・フレイル予防「運動」いきいき百歳体操パワーアップ講座 開催回数：2回 内容：リハビリテーション専門職により、体操の目的などの説明と実践を行う。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		56		59	3	15	支払基金
財源内訳	国庫支出金	14		14	0		
	県支出金	7		7	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	15		15	0		
	一般財源	20		23	3		

令和6年度歳出入内訳	需用費	57
	消耗品費（コピー用紙、色上質紙ほか）	
	使用料及び賃借料	2
	会場使用料（いきいき百歳体操実施団体交流会：境港市民体育館 大体育室）	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	2	1	元気シニア増やそう フレイル予防大作戦	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	<p>1. 健康寿命延伸に向けて住民同士で行える元気高齢者を増やしていく取り組みを推進する仕組みづくりを行う。</p> <p>2. フレイルチェック結果を用いて、個人や地域の健康課題を明らかにし、住民のフレイル予防、改善に向けた取り組み意欲を高め、実践につながる情報提供をしていく。また、データを利用、分析し、行政施策として予防効果のある事業に取り組む。</p>
-------	---

事業概要	フレイル予防取組の先駆けである、東京大学高齢社会総合研究機構(I0G)の指導の下、サポーターを養成し住民に対してフレイルチェックを実施する。住民は自主的に地域で健康づくり、介護予防に取組み、チェックを受け自分の予防効果を経年的に確認する事で、自分事化しやすくなる。また、ヒアリングフレイル予防対策も開始し、事業全般を連動させ、高齢者自身が地域で取組む、住民主体のフレイル予防を推進していく。
------	---

現状、背景、課題	近年、要介護になる理由は、フレイル（虚弱）によるものが多いと言われている。このことからフレイル予防が超高齢社会を迎える日本の最重要の国家戦略の一つとして位置づけられている。平成30年度からI0Gが開発した本取り組みを開始した。令和3年度境港市版フレイル予防実践動画を作成、YouTube配信。令和4年度は啓発ちらし、令和5年度は啓発のぼり、令和6年度は啓発看板作成及びヒアリングフレイル予防対策も開始する。
----------	---

事業計画・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングフレイル予防大作戦 <ul style="list-style-type: none"> 普及啓発講演会 開催回数：1回 内容：聴こえについて、医師などによる講演会 聴こえの相談会 実施回数：月1回 内容：1回2、3人を対象に言語聴覚士による相談会 ・フレイル予防記念講演会 <ul style="list-style-type: none"> 開催回数：1回 内容：東京大学高齢社会総合研究機構より講師を招いての講演会 ・フレイルチェックの実施 各公民館や保健相談センターで年間28回、387人実施予定。 ・フレイルサポーター養成講座 <ul style="list-style-type: none"> 開催回数1回 内容：1日半によりフレイルについての知識やフレイルチェックの内容や実技を習得し、地域でのフレイルチェックや啓発活動を実施。 ・ハイリスク者フォロー教室 <ul style="list-style-type: none"> 開催回数：2回 内容：フレイルチェックのハイリスク者に対するフォロー教室 ・データ管理業務（387人分） 委託先：（一財）健康・生きがい開発財団 内容：フレイルチェック実施者の分析・集計
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	1,029	1,368	339	354	支払基金	
財源内訳	国庫支出金	258	328	70		
	県支出金	129	164	35		
	地方債	0	0	0		
	その他	277	354	77		
	一般財源	365	522	157		

令和6年度歳出内訳	報 償 費	352
	ヒアリングフレイル予防大作戦	
	・普及啓発講演会（講師謝金）	26
	・聴こえの相談会（講師謝金）	114
	フレイル予防記念講演会（講師謝金）	193
	ハイリスク者フォロー教室（講師謝金）	19
	需 用 費	609
	消耗品費	
	コピー用紙、プリンタートナー代ほか	49
	フレイルチェック、フレイルサポーター用物品	323
	燃料費（マイクロバス軽油代）	3
	印刷製本費（フレイルサポーターポロシャツ代）	234
	役 務 費	37
	通信運搬費（フレイルチェック資材・テキスト送料）	
	委 託 料	301
	フレイル予防啓発看板作成	75
	データ管理業務	226
使用料及び賃借料	69	
会場借上料		
（ヒアリングフレイル予防後援会：みなとテラス大会議室）	8	
（フレイル予防記念講演会：みなとテラスホール）	60	
（フレイルサポーター連絡会：市民体育館大体育室）	1	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	3	1	地域包括支援センター運営事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的
 地域包括支援センターは、地域の高齢者及びその家族のニーズに応じた保健福祉サービスが受けられるような支援を包括的に行い、また相談の窓口である。

事業概要
 地域包括支援センターは、地域の高齢者の心身の健康保持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に行う機関である。高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある暮らしが継続できるよう、高齢者の状態に応じた介護サービスや医療サービスの調整を行い、地域の高齢者福祉の向上を図る。また平成30年度からはフレイル予防に取り組み、健康寿命延伸に向けた展開をしている。

現状、背景、課題
 高齢者の福祉サービスの総合相談、要支援1・2の認定を受けた者に対するケアマネジメント支援、高齢者虐待の相談窓口、成年後見制度等の高齢者の権利擁護に関する支援、また介護予防支援事業などを行う。平成28年10月からセンターを直営で市役所内に設置した。場所の利便性などから、相談件数が増加している。センター出向職員を当初の11人から令和4年度から14人へ増員した。令和6年度からは、フレイル予防対策をはじめ、相談への対応など、更なる地域包括支援センターの機能強化が必要。

事業計画・効果
 包括支援センターの運営経費 1箇所
 ・令和5年度までに2法人からの出向職員3職種(保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員)を含め各7人ずつ及び市職員4人、18人体制で運営。
 ・令和6年度よりリハビリテーション専門職2人(理学療法士1人、作業療法士1人、いずれもケアマネジャーの資格を有する)を各法人から出向職員で増員し、センターの機能強化を図る。
業務内容
 ・フレイル予防対策として教室や地域の健康教育及び地域団体への後方支援。
 ・保健師同様、ケアマネジャーの業務も兼ねる。
 ・住宅改修や福祉用具導入時などにおけるケアマネジャーとの連携。
効果
 ・運動分野をはじめとするフレイル予防対策の強化及び今後も増えると予想される相談とそれに伴い増える困難事例へもより多くの専門職の視点を取り入れたケアマネジメントが可能。

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	96,624	111,732	15,108	24,731	介護予防ケアマネジメント計画作成料	
財源内訳	国庫支出金	30,424	28,578	△ 1,846		
	県支出金	13,965	13,411	△ 554		
	地方債	0	0	0		
	その他	24,078	24,731	653		
	一般財源	28,157	45,012	16,855		

令和6年度歳出内訳	需用費	1,015
	消耗品費（コピー用紙、プリンタートナー代など）	394
	燃料費（公用車ガソリン代）	621
	役務費	1,232
	通信運搬費（固定電話代、携帯電話代など）	1,041
	手数料（ウェブ会議用システム保守点検料）	40
	保険料（自動車損害共済保険、ケアマネ賠償責任保険）	151
	委託料	1,882
	ケアプラン作成委託料	
	使用料及び賃借料	3,436
	自動車借上料（公用車7台）	1,233
	電子計算機賃借料（パソコン19台）	561
	用具借上料（プリンター 1台）	32
	プログラム使用料（介護予防支援ソフト18台）	1,610
	備品購入費	149
	庁用器具費（机 2台、椅子 2脚）	60
	機械器具費（国保中央会伝送ソフト）	89
負担金補助及び交付金	104,018	
人件費：出向職員16人分（こうほうえん：8人、済生会：8人）	103,952	
職員基礎研修受講料：3人分	66	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	3	2	成年後見制度利用支援事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	老人福祉法第32条の規定により、市が後見開始の審判等の請求を行い、後見人等を定めて身寄りのない認知症高齢者等の権利と財産を守る。
-------	--

事業概要	令和6年度から本事業に「成年後見サポートセンター広報事業」を統合した。身寄りのない認知症高齢者等が介護保険サービスに係る契約の締結や金銭管理に支障が出ることを防ぎ、権利と財産を守るための支援をする。また、成年後見制度を周知するための広報事業について、西部後見サポートうえるかむに委託する。
------	--

現状、背景、課題	身寄りの無い認知症高齢者が増加している。 (市長申立件数) (報酬助成件数) 令和4年度 3件 5件 令和3年度 3件 2件 令和2年度 1件 2件
----------	--

事業計画・効果	身寄りのない認知症高齢者等が成年後見制度を利用するにあたり、市長申し立てに係る費用や後見人の報酬を助成する。令和4年4月から市長以外が申し立てを行い第三者が後見人等に就任する場合の助成も可能とするよう制度を拡充した。
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		1,710	1,496	△ 214	1	成年後見申立費用 (本人負担分)	
財源内訳	国庫支出金	658	461	△ 197			
	県支出金	329	230	△ 99			
	地方債	0	0	0			
	その他	1	1	0			
	一般財源	722	804	82			

令和6年度歳出内訳	役 務 費	100
	委 託 料	100
	扶 助 費	1,296
	後見人報酬助成金 (6人)	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
長寿社会課	3	3	2	高齢者緊急通報システム事業	継続
境港市まちづくり総合プラン			1-(6)	高齢者の方が地域で元気に生活できる体制の構築	
SDGs	1	貧困をなくそう			

事業の目的	病気等のため、在宅での生活に不安のある一人暮らし高齢者と緊急通報受信センターをシステムで結び緊急事態に備える事で、安心して在宅生活が送れるよう支援する。
-------	--

事業概要	一般家庭及びシルバーハウジングに緊急通報システムを設置し、病気などで救急対応が必要になった場合、協力員や生活相談員（LSA）が連携し、安否確認等を行う。また緊急通報システム事業者も必要に応じてかけつけや救急車の手配を行う。 一般家庭対象者要件：65歳以上の独居高齢者で心疾患、脳血管疾患その他突発的に生命に危険が及ぶ持病を有する者
------	--

現状、背景、課題	平成27年9月から機器のリース、受信センターを変更。 委託先：ALSOKあんしんサポートセンター（平成27年9月～令和2年8月） 令和2年9月委託先の更新 委託先：ALSOKあんしんサポートセンター（令和2年9月～令和7年8月） 設置台数（令和5年11月15日現在）シルバーハウジング上道 20台 一般家庭 9台 令和5年6月設置場所の追加 委託先：ALSOKあんしんサポートセンター（令和5年6月～令和6年3月） 設置台数（令和5年11月15日現在）シルバーハウジング誠道 5台
----------	--

事業計画・効果	在宅生活に不安のある高齢者住宅に緊急通報システムを設置し、緊急時に安否確認等を行う。 現行のシルバーハウジング上道20台に加え、令和5年度～令和7年度にかけて、シルバーハウジング誠道にて各年度5台ずつ設置し、合計15台となる。 一般家庭への設置は随時申請があった時点で設置する。 相談件数 令和5年度 32件（令和5年12月末現在） 令和4年度 35件 令和3年度 47件 通報（正報）件数 令和5年度 3件（令和5年12月末現在） 令和4年度 2件 令和3年度 1件
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	3,418	5,196	1,778	94	高齢者世話付住宅生活援助員派遣手数料	
財源内訳	国庫支出金	1,278	1,572	294	3	緊急通報システム利用料
	県支出金	640	786	146		
	地方債	0	0	0		
	その他	82	97	15		
	一般財源	1,418	2,741	1,323		

令和6年度歳出内訳	需用費	5
	役務費（設置費及び撤去費）	215
	委託料	4,929
	緊急通報システム委託料	1,658
	高齢者世話付住宅援助員派遣事業委託料	3,271
	使用料及び賃借料	47

市場事業費特別会計

総括表

(単位：千円)

事業費 内 訳	市場関係者詰所管理費	150
	污水处理施設管理費	5,567
	境港水産加工污水处理場整備基金積立金	3,549
	污水处理施設維持緊急対策事業	27,849
	公債費	49,881
	予備費	500
合 計		87,496
財源内訳	污水处理施設使用料	59,472
	境港水産加工污水处理場整備基金運用収入	9
	污水处理施設占用料	15
	污水处理公社寄附金	1
	前年度繰越金	150
	境港水産加工污水处理場整備基金繰入金	27,849

<参考>

市場関係者詰所

昭和58年度建設 鉄骨2階建て 499.66㎡

総事業費 61,650千円

部屋数 13室

(42㎡ 1室、40㎡ 1室、38㎡ 1室、27㎡ 10室)

污水处理施設

昭和52～53年度建設 1500 t 系施設 (標準活性汚泥法)

平成7～8年度建設 2000 t 系施設 (酸素活性汚泥法)

平成17～18年度改修 (昭和47年度建設、曝気槽→貯留槽)

平成25～27年度改修 (管渠、貯留槽、濃縮槽、汚泥設備など)

使用料 平成27年度まで 一般21円/t、鳥取県18円/t

平成28年度から 一般・鳥取県28円/t

【令和6年度実施事業一覧】

■市場事業費特別会計

単位：千円

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
水産商工課	1	1	1	市場関係者詰所管理費	463	150	△ 313	456
水産商工課	1	1	1	市場関係者詰所解体事業	3,068	0	△ 3,068	
水産商工課	1	1	2	污水处理施設管理費	5,626	5,567	△ 59	457
水産商工課	1	1	2	境港水産加工污水处理場整備基金積立金	2,958	3,549	591	458
水産商工課	1	1	2	污水处理施設維持緊急対策事業	0	27,849	27,849	459
水産商工課	2	1	1	長期借入金元金償還金	48,468	47,213	△ 1,255	460
水産商工課	2	1	2	長期借入金利子償還金	2,944	2,668	△ 276	461
水産商工課	3	1	1	予備費	500	500	0	
計					64,027	87,496	23,469	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	1	1	1	市場関係者詰所管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			2-(5)	鮮魚・加工品・産地境港のブランド化と情報発信の推進	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	境漁港の荷揚機能の集約化、円滑化を促進し、合理的な荷役体制の整備を図る。
-------	--------------------------------------

事業概要	市場関係者詰所の運営と維持管理に必要な経費。市場詰所の利用は令和5年3月に終了。令和5年度、6年度（繰越）にて施設の解体事業を実施。市場関係者詰所解体工事に係る工事期間中の用地利用料
------	---

現状、背景、課題	市場関係者詰所は昭和49年から供用開始され水産関係者に利用されていたが施設老朽化、当該敷地も活用した冷凍・冷蔵施設が整備されるため市場詰所の利用は令和5年3月に終了し、令和5年度、6年度（繰越）にて施設の解体事業を実施。
----------	--

事業計画・効果	
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	463		150	△ 313	150	前年度繰越金
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	463	150	△ 313		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	使用料及び賃借料 150 土地借上料（山陰旋網漁業協同組合所有地 905㎡） 37,444円×4月
-----------	---

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	1	1	2	汚水処理施設管理費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	水産加工場から排出される水産加工排水の汚水処理施設での一元処理により、安価な処理費と安定的な操業、周辺水域の環境保全の推進を図る。
-------	---

事業概要	汚水処理施設の運営と維持管理に必要な経費
------	----------------------

現状、背景、課題	汚水処理施設は昭和47年に水産加工排水の一元処理を目的に設置された。R5.4月時点で、汚水処理施設では22事業所（25工場）から排水される汚水の処理を行っている。
----------	---

事業計画・効果	汚水処理施設の運営と維持管理に必要な経費、汚水処理施設使用料収納に係る金融機関の事務手数料、施設に係る保険料、使用料収入に係る消費税の公課費を予算化している。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		5,626		5,567	△ 59	5,552	汚水処理施設使用料
財源内訳	国庫支出金	0		0	0	15	汚水処理施設財産占有料
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	5,626		5,567	△ 59		
	一般財源	0		0	0		

令和6年度歳出内訳	役 務 費	112
	公金収納事務手数料	4
	建物総合損害共済保険料	108
	公 課 費	5,455
	消費税及び地方消費税	
	R5確定申告分	2,720
R6中間申告分	2,735	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	1	1	2	境港水産加工汚水処理場整備基金積立金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	市場事業費特別会計で生じる余剰金、寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を「境港水産加工汚水処理場整備基金」に積立て、有効活用を図る。
-------	---

事業概要	境港水産加工汚水処理場整備基金条例に基づき、市場事業費特別会計で生じる余剰金、寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を積み立てるもの。
------	---

現状、背景、課題	境港水産加工汚水処理場の整備及び維持に関する事業の財源を確保するため、「境港水産加工汚水処理場整備基金」を設立し、市場事業費特別会計で生じる余剰金、寄附金又は基金に係る預金利息等の運用益を積み立てる。
----------	--

事業計画・効果	市場事業費特別会計の余剰金及び寄附金、基金に係る預金利息等の運用益を基金に積み立てる。
---------	---

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	2,958	3,549	591	3,539	汚水処理施設使用料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	9	基金運用収入（境港水産加工汚水処理場整備基金）
	県支出金	0	0	0	1	水産加工汚水処理公社寄附金
	地方債	0	0	0		
	その他	2,958	3,549	591		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度歳出内訳	境港水産加工汚水処理場整備基金積立金	3,549
-----------	--------------------	-------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	1	1	2	汚水処理施設維持緊急対策事業	見直し
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	水産加工業は境港市の基幹産業であり、加工排水処理は安定的な操業を確保するためには、重要かつ不可欠な条件である。汚水処理施設を維持管理していくため、緊急性の高いものから更新等を実施する。
-------	--

事業概要	境港水産加工汚水処理施設を維持していくため老朽化した設備の更新や修繕などを行う。
------	--

現状、背景、課題	H24年度からH27年度に管渠や処理施設の一部を更新した。 今後も老朽化した施設の更新・修繕など計画的に取り組む必要がある。
----------	---

事業計画・効果	<p>老朽化した施設、設備の更新等を実施する。 本年度は老朽化した汚泥掻き寄せ機の更新工事、汚水処理後の汚泥を活用した肥料製造設備の改修のための調査研究、耐用年数を超過したポンプ等の更新や不具合のある設備の修繕等を実施する。 なお、事業実施に際しては、汚水処理施設の運営委託者である（一社）境港水産加工汚水処理公社に事業委託を行う。</p> <p>(R6年度実施内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・汚泥掻き寄せ機更新工事 ・ポンプ等整備 ・肥料製造設備調査研究 ・設備修繕
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		0		27,849	27,849	27,849	水産加工汚水処理場整備基金繰入金
財源内訳	国庫支出金	0		0	0		
	県支出金	0		0	0		
	地方債	0		0	0		
	その他	0		27,849	27,849		
	一般財源	0		0	0		

令和6年度歳出入内訳	委託費 汚水処理場整備委託料	27,849
------------	-------------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	2	1	1	長期借入金元金償還金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	水産加工場から排出される水産加工排水の污水处理施設での一元処理により、安価な処理費と安定的な操業、周辺水域の環境保全の推進を図る。
-------	---

事業概要	污水处理施設の建設・改築で発行された市債の元金償還金
------	----------------------------

現状、背景、課題	昭和47年に設置された境港水産加工污水处理場の処理能力の向上や機能維持のため新たな施設の建設、既存施設の改築が実施された。平成17年度から18年度まで初期に設置された貯留槽を改築、また、平成24年度から27年度(26年度繰越)まで、国の産地水産業強化支援事業を活用し、汚泥濃縮槽・設備機器の改築、及び附帯施設である管渠の改築を行った。
----------	---

事業計画・効果	污水处理施設の改修工事の起債償還に掛かる元金償還金
---------	---------------------------

歳入・歳出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費	48,468	47,213		△ 1,255	47,213	污水处理施設使用料
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	48,468	47,213		△ 1,255	
	一般財源	0	0		0	

令和6年度歳出内訳	污水处理施設元金償還金	47,213
-----------	-------------	--------

所 属	款	項	目	事業名	種 別
水産商工課	2	1	2	長期借入金利子償還金	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	14	海の豊かさを守ろう			

事業の目的	水産加工場から排出される水産加工排水の污水处理施設での一元処理により、安価な処理費と安定的な操業、周辺水域の環境保全の推進を図る。
-------	---

事業概要	污水处理施設の建設・改築で発行された市債の利子償還金
------	----------------------------

現状、背景、課題	昭和47年に設置された境港水産加工污水处理場の処理能力の向上や機能維持のため新たな施設の建設、既存施設の改築が実施された。平成17年度から18年度まで初期に設置された貯留槽を改築、また、平成24年度から27年度(26年度繰越)まで、国の産地水産業強化支援事業を活用し、汚泥濃縮槽・設備機器の改築、及び附帯施設である管渠の改築を行った。
----------	---

事業計画・効果	污水处理施設の改修工事の起債償還に掛かる利子償還金
---------	---------------------------

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		2,944	2,668		△ 276	2,668	污水处理施設使用料
財源内訳	国庫支出金	0	0		0		
	県支出金	0	0		0		
	地方債	0	0		0		
	その他	2,944	2,668		△ 276		
	一般財源	0	0		0		

令和6年度歳出内訳	污水处理施設利子償還金	2,668
-----------	-------------	-------

後期高齢者医療費特別会計

被保険者数

年度	年度平均
R3	5,758人
R4	5,928人
R5	6,082人
R6	6,240人

※R5・6年度は見込数

保険料率

後期高齢者医療保険制度の保険料率は、2年に1回見直されている。

今回の見直しでは、通常の見直し（今後の被保険者数や給付費等の見込みによるもの）に、国による制度改正とそれに係る激変緩和措置が加味されたものとなっている。

○現行

年度	区分	保険料率				賦課限度額（円）	
		所得割(%)	前年度比	均等割(円)	前年度比	金額	前年度比
R4・5	総所得金額等：43万円以下	-		47,436		660,000	
	総所得金額等：43万円超	9.10					



○見直し①（今後の被保険者数や給付費をもとに算出したもの）

年度	区分	保険料率				賦課限度額（円）	
		所得割(%)	前年度比	均等割(円)	前年度比	金額	前年度比
R6・7	総所得金額等：43万円以下	-	-	52,138	4,702	670,000	10,000
	総所得金額等：43万円超	9.83	0.73				



【国による制度改正】

- ・後期高齢者医療制度が出産育児一時金に係る費用の一部を支援する仕組みを導入
- ・現役世代の負担上昇を抑制するため、後期高齢者医療における負担割合を見直し（12.24% → 12.67%）
（現役世代からの支援金（後期高齢者医療交付金）の減）
- ・賦課限度額の見直し（66万円 → 80万円）

【国による制度改正に係る激変緩和措置】

- ・出産育児一時金に対する支援については、令和6・7年度は1/2とし、負担増を抑制する。
- ・均等割については、制度改正に伴う増加が生じないよう対応。
- ・所得割については、一定以下の所得の者（年金収入155万円～211万円相当の者）を対象に、令和6年度は制度改正に伴う増加が生じないよう対応。
- ・賦課限度額の見直しは、段階的に実施（R5：66万円 → R6：73万円 → R7：80万円）
※令和6年度に75歳に到達する者は、賦課限度額の見直しの段階的实施については対象外。



○見直し②（見直し①に、制度改正と激変緩和措置を加味したもの）

年度	区分	保険料率				賦課限度額（円）	
		所得割(%)	前年度比	均等割(円)	前年度比	金額	前年度比
R6	総所得金額等：43万円以下	-	-	52,138	4,702	670,000	10,000
	総所得金額等：43万円超101万円以下	9.83	0.73			670,000	10,000
	総所得金額等：101万円超	10.64	1.54			730,000	70,000
R7	総所得金額等：43万円以下	-	-	52,138	0	800,000	130,000
	総所得金額等：43万円超101万円以下	10.64	0.81			800,000	130,000
	総所得金額等：101万円超	10.64	0.00			800,000	70,000

・・・激変緩和措置に係る部分

保険料率の推移

年度	所得金額	所得割	均等割	賦課限度額
H30・R1		8.07%	42,480円	620,000円
R2・R3		8.07%	42,480円	640,000円
R4・R5		9.10%	47,436円	660,000円
R6	所得金額：43万円以下	-	52,138円	670,000円
	所得金額：43万円超101万円以下	9.83%		
	所得金額：101万円超	10.64%		730,000円
R7	所得金額：43万円以下	-	52,138円	800,000円
	所得金額：43万円超101万円以下	10.64%		
	所得金額：101万円超	10.64%		

※H30～R5についても、所得金額：43万円以下の者は、均等割のみ賦課

総括表

【歳入】

科目	(千円)
後期高齢者医療 保険料	457,383
滞納繰越分	837
計	458,220
一般会計繰入金	143,849
その他	1,083
計	603,152

【歳出】

科目	(千円)
総務費	3,450
後期高齢者医療広域連合納付金	598,152
その他	1,550
計	603,152

歳入

(款) 1 後期高齢者医療保険料 (項) 1 後期高齢者医療保険料

種別	目	説明																				
【継続】	1 後期高齢者医療 保険料 458,220 《市民課》	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>調定額</th> <th>収納率</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特別徴収保険料</td> <td>333,295</td> <td>100.00%</td> <td>333,295</td> </tr> <tr> <td>現年度分普通徴収保険料</td> <td>124,762</td> <td>99.46%</td> <td>124,088</td> </tr> <tr> <td>滞納繰越分普通徴収保険料</td> <td>1,829</td> <td>45.80%</td> <td>837</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td></td> <td>458,220</td> </tr> </tbody> </table>		調定額	収納率	予算額	特別徴収保険料	333,295	100.00%	333,295	現年度分普通徴収保険料	124,762	99.46%	124,088	滞納繰越分普通徴収保険料	1,829	45.80%	837	計			458,220
			調定額	収納率	予算額																	
		特別徴収保険料	333,295	100.00%	333,295																	
		現年度分普通徴収保険料	124,762	99.46%	124,088																	
		滞納繰越分普通徴収保険料	1,829	45.80%	837																	
計			458,220																			

(款) 3 繰入金 (項) 1 一般会計繰入金

種別	目	説明
【継続】	1 事務費繰入金 3,948 《市民課》	事務費繰入金
【継続】	2 保険基盤安定 繰入金 139,901 《市民課》	保険基盤安定繰入金

【令和6年度実施事業一覧】

■後期高齢者医療費特別会計

単位：千円

所属名称	款	項	目	事業名称	R5	R6	差 (R6-R5)	掲載 ページ
市民課	1	1	1	後期高齢者医療事務費	2,301	2,567	266	
市民課	1	2	1	徴収事務費	677	883	206	
市民課	2	1	1	後期高齢者医療広域連合納付金	511,682	598,152	86,470	465
市民課	3	1	1	保険料還付金	1,000	1,000	0	
市民課	3	1	2	還付加算金	50	50	0	
市民課	4	1	1	予備費	500	500	0	
計					516,210	603,152	86,942	

所 属	款	項	目	事業名	種 別
市 民 課	2	1	1	後期高齢者医療広域連合納付金	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	3	すべての人に健康と福祉を			

事業の目的	市で徴収した保険料等と保険料の均等割軽減額を、鳥取県後期高齢者医療広域連合に納付することにより、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。
-------	--

事業概要	保険料等負担金（特別徴収（年金からの引き去り）及び普通徴収（納付書または口座振替）により徴収した保険料等）と保険基盤安定負担金（一般会計から繰り入れた保険料均等割軽減額）を、鳥取県後期高齢者医療広域連合に納付する。
------	---

現状、背景、課題	後期高齢者医療保険料の賦課は広域連合が行うが、保険料の徴収は市町村の事務となっている。（高齢者の医療の確保に関する法律）
----------	--

事業計画・効果	<p>○保険料等納付金 市で徴収した保険料等を、収納月の翌月に納付する。</p> <p>○保険基盤安定負担金 県負担分（保険料均等割軽減額の3/4）と市負担分（保険料均等割軽減額の1/4）を一般会計から後期高齢者医療費特別会計に繰り入れ、12月に納付する。</p> <p>徴収した保険料を広域連合へ適切に納付するとともに、保険料軽減額の公費負担を行うことで、安定した制度運営が可能となる。</p>
---------	--

歳入・歳出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		511,682		598,152	86,470	333,295	特別徴収保険料
財源内訳	国庫支出金	0		0	0	124,088	現年度分普通徴収保険料
	県支出金	0		0	0	837	滞納繰越分普通徴収保険料
	地方債	0		0	0	30	延滞金
	その他	388,864		458,250	69,386		
	一般財源	122,818		139,902	17,084		

令和6年度歳出入内訳	負担金補助及び交付金		598,152
	保険料等負担金		458,251
	現年度保険料徴収分	457,383	
	滞納繰越分保険料徴収分	837	
	延滞金分	30	
	前年度繰越分	1	
	保険基盤安定負担金		139,901

人 件 費 の 説 明

1 給 料
給与費明細書のとおり

2 職員手当等

(1) 扶養手当

子	10,000円
子以外の扶養親族(8級)	3,500円
子以外の扶養親族(7級以下)	6,500円
ただし、満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子に加算	5,000円

(2) 児童手当

3歳未満までの子1人につき	15,000円
3歳以上小学校修了までの子1人につき (第1、2子)	10,000円
3歳以上小学校修了までの子1人につき (第3子以降)	15,000円
中学生の子1人につき	10,000円

(3) 通勤手当

交通機関利用者	55,000円を限度として実情により支給する	
交通用具使用者	片道 2km以上 5km未満	2,200円
	片道 5km以上 10km未満	4,800円
	片道 10km以上 15km未満	8,000円
	片道 15km以上 20km未満	11,200円
	片道 20km以上 25km未満	14,400円
	片道 25km以上 30km未満	17,600円
	片道 30km以上 35km未満	20,800円
	片道 35km以上 40km未満	24,000円
	片道 40km以上 45km未満	27,200円
	片道 45km以上 50km未満	30,400円
	片道 50km以上 55km未満	33,600円
	片道 55km以上 60km未満	36,800円
	片道 60km以上 65km未満	40,000円
	片道 65km以上 70km未満	43,200円
片道 70km以上	46,400円	

(4) 時間外勤務手当

給料月額平均	8.1%
--------	------

(5) 管理職手当

部 長	70,500円	課 長	49,900円
参 事	62,000円	主 査	45,700円
次 長	57,500円	課長補佐	35,700円

(6) 期末手当

(給料月額 + 扶養手当) × 2.45か月 (特定管理職員は、2.05か月)	
職務の級等による加算措置 (15%以内)	有

(7) 勤勉手当

(給料月額)	× 2.05か月 (特定管理職員は、2.45か月)
職務の級等による加算措置 (15%以内) 有	

(8) 住居手当

家賃、間代を支払っている職員	家賃の月額から 16,000円を控除した額が 11,000円まではその差額 その差額が 11,000円を超える場合は、その超える額の2分の1 (限度額：17,000円) に11,000円を加算した額
----------------	--

(9) 管理職員特別勤務手当

勤務1回につき	2,500円 ~ 8,000円
---------	-----------------

(10) 単身赴任手当

月額	30,000円
交通距離区分に応じた加算額	8,000円 ~ 70,000円

(11) 特殊勤務手当

接触手当	感染症予防業務	1回	600円
	保健師の結核患者等の家庭への訪問	1日	200円
	結核患者等への精密検査従事	1日	200円
行旅死病人等処理手当	死亡人を自ら処理した者	1回	3,500円
	その他で自ら処理した者	1回	2,300円
犬猫等死体処理手当		1件	350円
感染手当		給料月額の1か月分以内	

※会計年度任用職員には、次の手当（職員と支給費目が異なるものあり）を支給
第1号職員(パートタイム勤務)…(3)、(4)、(6)、(7) 勤務時間による
第2号職員(フルタイム勤務) …(2)、(3)、(4)、(6)、(7)
(11) 保育所クラス担任手当等

3 共済費

市町村職員共済組合負担金（標準報酬の月額および標準期末手当等に係る率）

厚生年金	1,000分の 132.4
退職等年金	1,000分の 7.5
経過的長期	1,000分の 0.00990
短期	1,000分の 57.15
(介護保険料：1,000分の8.15)	
福祉	1,000分の 2.9
互助会	1,000分の 2.0
事務費	1人当たり年額 9,740円
長期給付に係る追加費用	令和6年4月分標準報酬月額×12か月×1,000分の12.1

※会計年度任用職員は、勤務時間により市町村職員共済組合・雇用保険に加入